ISSN 0912-8182

Vol. 68 通巻788号
昭和62年11月25日発行
毎月1回25日発行
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

建築と社会

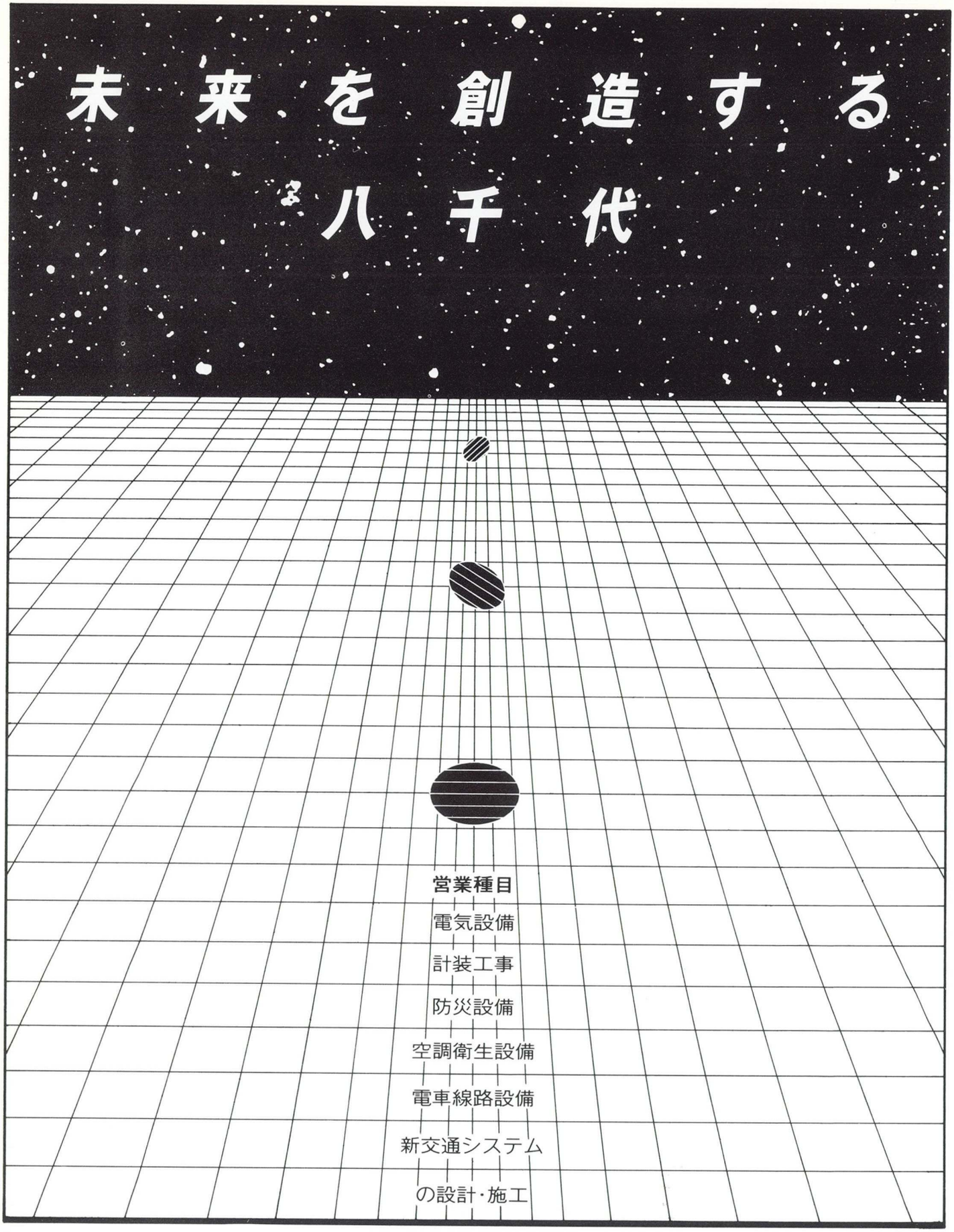
ARCHITECTURE AND SOCIETY

1987 11

特集●建物と街並みの接点ー建物の外構／昭和設計作品集



日本建築協会



八千代電設工業株式会社

本社/大阪市東区森ノ宮中央1丁目1番38号 TEL:06(941)6531㈹ FAX:06(941)7631

支店/東京・名古屋・札幌・九州 営業所/仙台・浜松・京都・東大阪・枚方・羽曳野・堺・尼崎・神戸・広島・徳島・北九州・宮崎

◀会員の受賞

このたび、下記会員の方々がそれぞれ表彰を受けられましたので、ここに誌してその栄誉をお慶び申し上げます。

記

勲一等瑞宝章	進藤 貞和氏	（元三菱電機会長）
勲二等瑞宝章	原田 鼎氏	（元新日本製鉄副社長）
勲三等旭日中綬章	鳥田 家弘氏	（神戸大学名誉教授）
〃	安 健一氏	（元日立製作所副社長）
勲三等瑞宝章	酒井 利勝氏	（元五洋建設副会長）
〃	中川 春三氏	（元清水建設副社長）
〃	筑木 二郎氏	（千歳電気工業社長）
勲五等瑞宝章	森 茂樹氏	（森設計会長）
勲七等青色桐葉章	小柳 壽吉氏	（東光電気工事工事班長）
〃	楯 安由氏	（元関西電力作業所長）
〃	小林 高男氏	（元千歳電気工業現場監督）
勲七等瑞宝章	木村 幸作氏	（元千歳電気工業副監）
藍綬褒章	淡河 義正氏	（大成建設副会長）
	河埜 要三氏	（西松建設副社長）
	山内 敏夫氏	（間組副社長）
	秋藤 義治氏	（佐藤工業副社長）
	長江健太郎氏	（六興電気社長）
	西 政隆氏	（日立製作所副社長）
	由布 震一氏	（三菱電機副社長）
	吉田 譲次氏	（大阪瓦斯副社長）
	太田 敏郎氏	（ノーリツ社長）
	齋藤 義則氏	（大建工業社長）
	野澤太一郎氏	（ノザワ社長）
黄綬褒章	桝谷 博行氏	（桝谷設計社長）

◀第33回工高生デザインコンクール入選者発表

——設計課題：学校に隣接して建つ同窓会館

日本建築協会主催による昭和62年度の標記コンクールの入選者が下記のとおり決定いたしましたので発表します。

なお、入選作品は昭和63年１月号に掲載いたします。

●応募校数／32校　●応募作品数／194点

（順不同）

	氏名	学校名	学年
入選・最優秀賞	椎葉美和	大分県立大分工業高等学校	３年
入選	稲田敦士	大阪市立工芸高等学校	３年
〃	原田新司	同上	３年
〃	片山真	岡山県立水島工業高等学校	３年
〃	鈴木新吾（代表者） 絹川和昭 ※共同製作	群馬県立高崎工業高等学校	３年 ３年
〃	寺島嘉美（代表者） 山田陽子 ※共同制作	同上	２年 ２年
〃	黒岩真一	群馬県立前橋工業高等学校	３年
〃	新田山直紀	同上	３年
〃	金平光次	兵庫県立尼崎工業高等学校	３年
〃	細山寛寿	同上	３年

◀原　広司氏講演会並びに展示会

■展示会

日時　1987年12月７日(月)～12月13日(日)AM10：00～PM５：00

場所　日本イタリア京都会館（京都市左京区吉田牛ノ宮町4　TEL075－761－4356）

会費　￥200

■講演会

日時　1987年12月12日(土)PM３：00～６：00

場所　日本イタリア京都会館

会費　￥1,800

■懇親会

日時　1987年12月12日(土)PM６：30～８：30

場所　京都ホテル３階宴会場・ルイの間（075－211－5111）

共催　（社）京都府建築士会、京都建築フォーラム

後援　（社）日本建築協会、大龍堂書店

◀'87建築関係団体合同忘年懇親会ご案内（再掲）

日　時　昭和62年12月14日(月)　午後６時～７時30分

会　場　太閤園ダイヤモンドホール

（ビュッフェ・スタイルのパーティ）

大阪市都島区網島町９－10　電話06(356)1111

（京阪京橋駅より西へ徒歩10分・市バス東野田より徒歩５分）

会　費　8,000円（別に多額の補助があります）

●ご面倒ですが会費を添えて申込期間中（11月11日～12月５日）に共催団体事務局までお越し下さるか、現金送金にてお願いします。（土曜休日）

●申込者には忘年懇親会参加証をお渡しします。

定　員　400名

余　興　芸能人による《楽団・司会者》

福　引　豪華景品が当たります。（寄贈品含む）

お土産　参加者全員に進呈

お願い

(1)出席者名簿を作成しますので申込の際に氏名・勤務先をお知らせ下さい。

(2)申込者で12月６日までに欠席の連絡がない場合は会費のご負担を願います。

(3)当日は参加証で受付いたしますから必ずご持参願います。

◀建築関係８団体合同新年交礼会（再掲）

日　時　昭和63年１月４日(月)　午後２時～３時

会　場　大阪コクサイホテル８階宴会場（大阪市東区内本町）

会　費　2,500円（申込者で当日欠席されても会費をいただきます）

申　込　12月14日までに会費を添えて最寄りの団体にお申込下さい。

企画：日本建築協会

建築技術選書〈特装版〉

新 建築と設備の接点

建築設備の新しい生産管理

宮脇 毅・南部 武 著

B5判・208頁・定価3500円

1 **接点の品質管理**
品質管理とは／建設業の品質管理／品質の保証と信頼性／管理手法／建築と設備の接点の品質管理／設計段階の接点管理／着工時の接点管理／施工段階の接点管理

2 **計画・設計段階の接点**
計画／設計／新しい分野の接点

3 **施工段階の接点**
施工計画／躯体関連工事／仕上げ関連工事／集合住宅／外構関連工事／試運転・検査・引渡し

4 **リフォーム工事の接点**
リフォームと耐用年数／リフォームの要因と例／リフォームの調査・診断／リフォーム工事の特色／リフォーム工事の施工管理の要点

トラブルを未然に防ぐための画期的労作！

インテリジェントビル，クリーンルームなどに代表されるニーズの多様化・高度化により，ますます広く複雑となる建築と設備の接点．建物の機能に深い関わりをもつ生産工程上の，この接点問題について，品質および工程管理面からの一貫した最新技術を，多数の図表とともに詳述．永遠の難題に正面から取組み，解決策を示す．とらえ難いテーマを余すところなく解説した，建築関係技術者の必携書．

〈目録進呈〉

学芸出版社

〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

企画：日本建築協会

建築技術選書〈特装版〉

建築設備の健康診断

牧野 茂 著

B5判・160頁(カラー48頁)・定価3800円

複雑化する設備の最適化を生む実践の書

1 建築設備のできるまで
2 建築設備の健康診断
3 建築設備とは
4 電気設備の診断
5 空調設備の診断1—冷熱源設備の診断
6 空調設備の診断2—配管系機能診断
7 空調設備の診断3—空調器の診断
8 空調設備の診断4—小型空調器の診断
9 これからのビル管理設備
10 故障予知と異常監視法
11 配管腐食の測定—管内水腐食速度の測定
12 資料編

〈診断実例カラー写真〉
- 小型空調器のクレーム
- 配管の腐食と蒸気消費量
- 冷熱源設備，台数制御・容量制御の動き
- 変風量方式空調器の運転状態
- 変電設備の診断
- 電動機類の診断
- 冷熱源設備の診断
- 配管系の診断
- 空調器の診断
- 小型空調器の診断　ほか

“トラブル”や“クレーム”の芽をつみ，あらゆる機器の最適化をはかることがいかに得か！

電気設備，空調設備，ビル管理設備はもとより配管系を含め，ますます複雑化しつつある，あらゆる建築設備を，トータルな立場から診断し，その運転や保守の最適化によるコストの削減を実現する．診断のカラー写真とともに，診断に役立つ資料も収録．設備を制することが求められる時代の絶好の技術書．

〈目録進呈〉

学芸出版社

〒600 京都市下京区木津屋橋通西洞院東入
TEL 075(343)0811

1917創刊
1987
68集
建築と社会 © ARCHITECTURE AND SOCIETY
CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

表紙デザイン●吉田隆一
（東畑建築事務所）

倉敷民芸館　余りにも知り尽くされた倉敷川の畔を避けて、町を見渡せる鶴形山からの家並み、白壁土蔵の路地や板石舗装、美しい構図を見せるなまこ壁などを描いてみたが飽き足りない。やはり川沿いの元米倉の民芸館まえで足がとまる。整った建物を真正面から取りくむのは嫌なものだが、ここではなぜか心が弾む。

11 通巻788

■特集予告
12月号／第34回青年技術者
1月号／ホテル物語
2月号／軟弱地盤と基礎(予定)
3月号／設備におけるLCCとリフレッシュ(予定)
4月号／リフォーム特集(予定)

会　長　佐野正一
副会長　足立　孝・市川　宏
松村雄二・桑袋公明
編集委員会（昭和62年度）
編集理事
井上　滉
金井　弘次
金多　潔
小島　雄
高木　登
竹中　練一
若山　繁
長谷部朗郎
松村　慶三
渡辺　恵
編集委員長
長谷部朗郎
代上田　信也
編集委員
（特集小委員会）
■計画分科会
角島　健二
川前　勉
河端　秀直
小浦　久子
☆佐野　潤一
清水　肇
鈴木　克彦
田附　尚
★田中　直人
高田　佳子
☆平岡　博
北條　誠
吉村　英祐
■構造分科会
和泉　一義
高垣　利夫
谷　明勲
出口　節夫
外園　隆
★向井　久夫
安田　光世
■設備分科会
安倍　浩一
石河　信治
石野　幸義
遠藤　進
梶井　宏修
河津　隆之
★田中　脩
別所　清
■施工材料分科会
大木　利文
内山　修之
水口　譲
山下　仁志
★山田　敏捷
横井　征夫
■法令分科会
笠井　精二
中島富三郎
松田　洋三
南出　和延
（作品作風小委員会）
荒川　朱美
遠藤　公介
◇加藤　力
北澤　修一
小林　正純
○高瀬　由康
塘　伸夫
中山　隆
林　浩二
水川　尚彦
宮崎ひろ志
（投稿欄小委員会）
浅野　貴志
伊藤　郁郎
北村　恭一
柴田　厚
◇高田　光雄
塚口　明洋
堀畑　裕一
○増渕　昌利
宗行　昌弘
吉本　安邦
（広告企画小委員会）
池渕　俊男
寛　秀明
北村　潤
鳴田　聖二
下村　甫
中井　進
中川源治朗
原田　常介
広田　和正
○藤田　孝吉
山下　修司
○渡辺　恵
○ 副委員長　◇ 副委員長代行
★ 幹事　☆ 幹事代行

編集人　松井昭光
印刷　昭和62年11月20日
発行　昭和62年11月25日
発行人　吉田悦二
発行所　(社)日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06—348—0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　日本写植印刷株式会社
電　06—606—1111㈹
大信印刷株式会社
電　06—451—7631
青葉印刷株式会社
電　06—351—5428㈹
定　価　950円（送料共）

会告
作品作風
作品作風探訪
Gallery
Being
レポート
書評
私が読んだ本
新建材紹介コーナー
GBRCニュース
建築の眼

特集

総論
各論 I
各論 II

特別企画

構造の頁152
設備の頁155
施工材料の頁155
読者の頁
Information

月報

特集●建物と街並みの接点—建物の外構—

SPECIAL FEATURE ON THE LINK BETWEEN BUILDINGS AND EXTERIOR

会員の受賞，第33回工高生デザインコンクール入選者発表，原広司氏講演会並びに展示会，'87建築関係団体合同忘年懇親会ご案内，建築関係8団体合同新年交礼会，— 1
マイドームおおさか〈大阪中小企業振興センター〉— 4
設計：日建設計　施工：大林組、竹中工務店、錢高組、鴻池組共同企業体
マイドームおおさか　——「Many Job 社会」を目指して／水川尚彦— 11
武庫の台ゴルフコースハウス／宮崎ひろ志— 12
産業革命 in 西陣—伊豆蔵明彦／北村恭一— 15
アメリカに見る都市型集合住宅の現在—2／高田光雄— 19
今、なぜ考現学なのか「今和次郎『その考現学』」（川添登著）／太田隆信— 20
住み手主体の住宅設計／竹山清明— 21
ノイズレスヒンジ、グレビティヒンジ／中川徹— 23
受託試験におけるコンクリートの圧縮試験に関する調査— 25
ハイテクベッド／加藤力，人と車／高木登
行政技術者への期待／谷山隆，高齢化社会の住宅／田中弘成— 26

建物と街並みの接点—建物の外構—

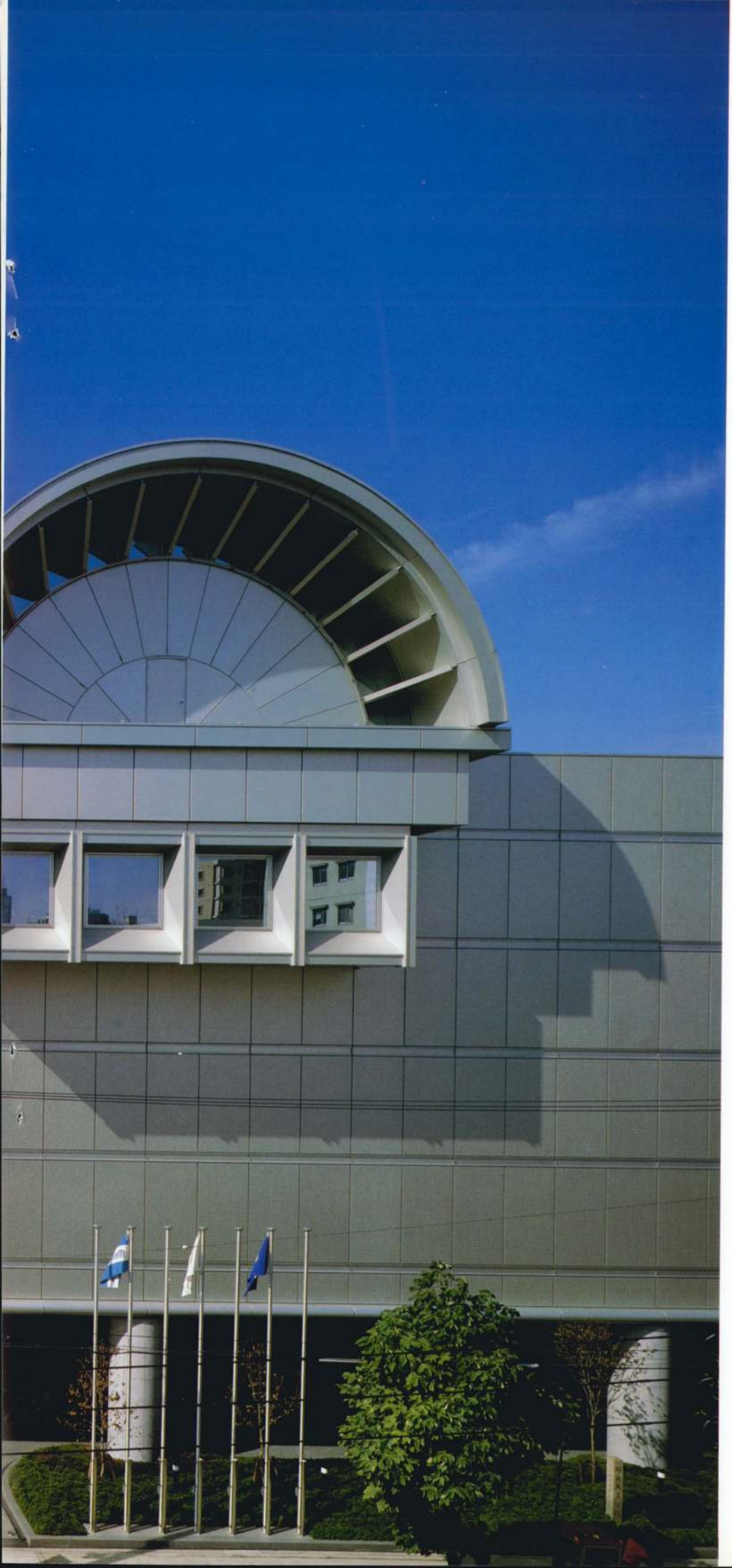
建物と街並みの接点
街並みと外構— 加藤　晃規— 28
地域計画と外構—計画論—
大阪ビジネスパークにおける外構計画— 松本　敏廣— 32
ベル・パークシティの環境デザイン— 今井哲也／塙　哲夫— 33
ポートアイランドファッションタウンの外部空間計画— 浅野　高史— 36
建物と外構—設計論・材料論—
子どものメイズ—アゼリアハウス「エトひろば」— 上田　篤／田中充子— 38
RE 1st—丘は丘でありえるように芝生を— 大石　義一— 40
サントリーホールの外部空間— 山口　哲生— 42
梅田センタービルのオープンスペース— 岩本　義夫— 44
成晃学院摂津ひかり幼稚園の中庭— 上原正行／茨木　保— 46
吉本ビルディングのアトリウムとサンクンガーデン— 小川　清一— 48
ポケットパーク—府立青少年会館「ヤング・スクエア」— 吉羽逸郎／河野哲夫— 51

昭和設計作品集—創立30周年記念—

宝塚市立図書館・ベガホール／阿倍野Ｂ１地区市街地再開発事業（阿倍野ベルタ）／ヨツギビル／三栄金属本社ビル／中華人民共和国駐大阪総領事館／ヒョウゴファー協業組合氷上工場／星電器製造神戸テクニカルセンター／ノーリツ中央研究所／ワールド記念ホール／神戸総合運動公園野球場／宝塚市立病院／堺市総合福祉会館／尼崎市老人ワークセンター和楽園／羽曳野市立保健センター・休日急病診療所／芦屋市立保健センター／高砂市福祉保健センター／フジッコ鳴尾工場／昭和アルミニウム彦根箔加工工場／フレッシュ阪神集配所／千趣会甲子園物流センター／田所テック東京コイルセンター／大阪市住宅供給公社佃第３コーポ／グランドメゾン東香里／神戸市都市計画住宅三宮東ハイツ／六甲アイランドシティプロジェクト— 63

超高耐久性コンクリート—その１／斉藤俊夫— 119
建築設備配管腐食の物理的防錆方法／木村靖— 120
鏡面タイル／秋本良樹— 122
『関西の建築家50』の出版に思う／山田修，河内義就先生を悼む／平本俊秋— 123
大阪府で建築美観誘導の手引きをまとめる，公共建築とデザイン運動—神戸市でデザインマニュアルの発刊，「京・白川」—白川周辺景観整備地区調査報告，「ひょうご住宅百選」決まる。第１回大阪市ハウジングデザイン賞決定，第５回京都美観風致賞，第５回神戸市建築文化賞，第７回大阪都市景観建築賞，（編集後記）124
日本建築協会月間の動き（昭和62年９月分）— 129





マイドームおおさか

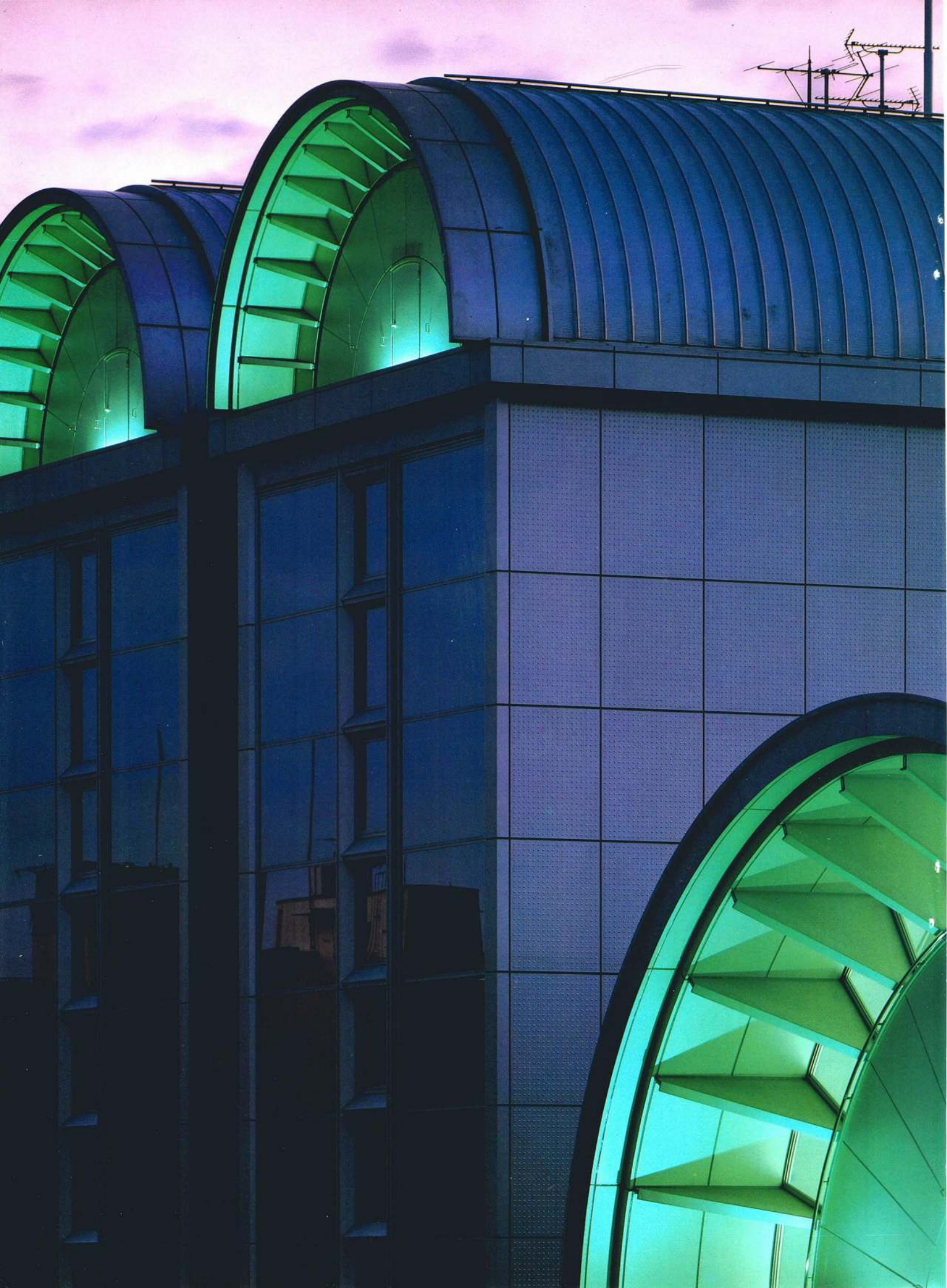
大阪中小企業振興センター

設計　日建設計・大阪
建築　大林組・竹中工務店
　　銭高組・鴻池組 JV

所 在 地　大阪市東区内本町橋詰町58-13
敷地面積　5,259.49㎡
建築面積　3,881.80㎡
延床面積　31,180.25㎡
構造規模　SRC、B3、8F、P1
工　　期　昭和60年5月～昭和62年7月

電気　近畿電気工事・近畿工業・八千代電設工業 JV
空調　三晃空調・須賀工業・ダイダン JV
衛生　西原衛生工業所大阪店・山田工業 JV

写真　東出清彦





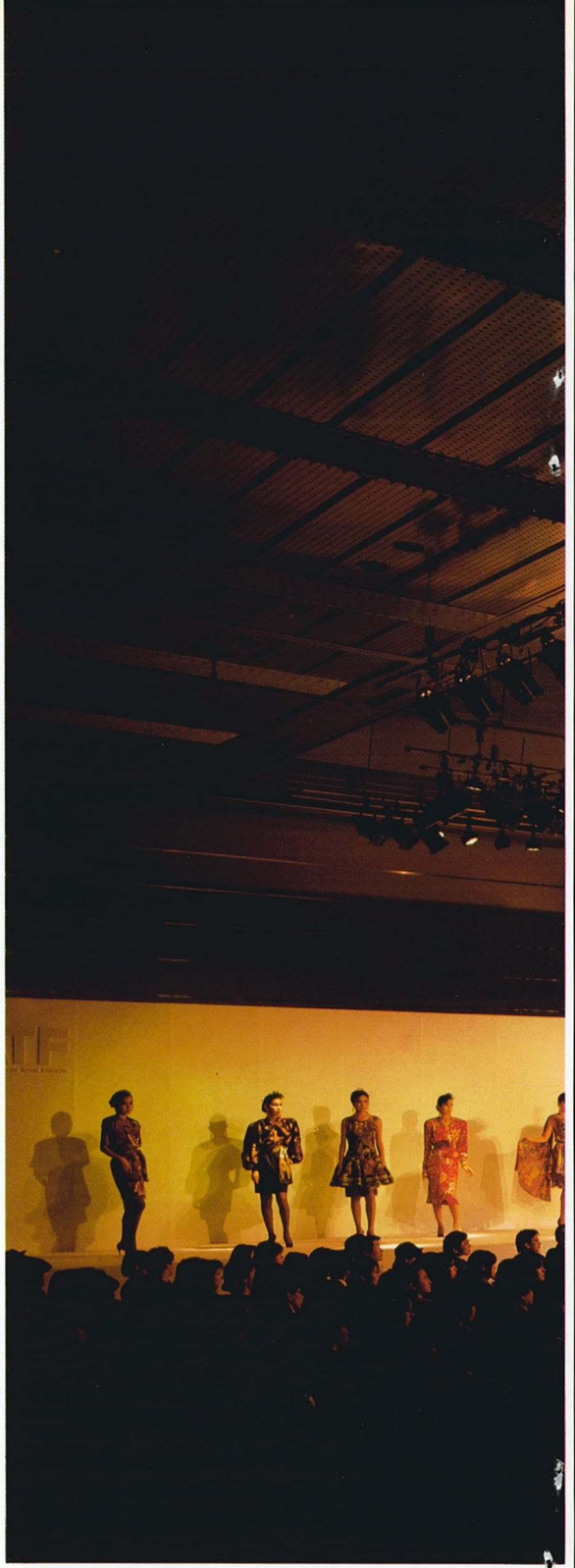


▲１階吹抜ロビー



▲１階展示場　▼レストラン１階





大阪商工会議所の北隣、大阪コクサイホテルの東隣に位置するこの施設は、会議、宿泊機能と一体化したコンベンション街区を形成すべく、都心型展示場はじめ、各種情報関連機能を集約した拠点として建設された。建物は、隣接する商工会議所との調和を配慮しつつ、１つの街並みを構成、そのシンボリックでユニークなシルエットにより、通りに活気と新鮮さを創出するよう計画されている。もう１つ大切にしたことは、周囲への配慮である。まず建物の高層部を商工会議所側に寄せ、北側にオープンスペースを確保、また展示機能の命でもある荷捌場、駐車場（床面積の３分の１以上を占める。）を地下に納め、周囲のスケールからはみ出さないよう配慮した。

▲▼3階展示場

外装は、屋根がステンレス防水、外壁がアルミパネルで包まれ、全体として明るく軽快な表情づくりを、一方、平面についても誰でもわかり易く、安心して心地良く使えるよう単純明快さを心掛けている。動線は北に車動線を集め、狭いスペースを有効に活用、南に歩動者アクセスを確保した。松屋町筋から5メートル後退した外壁から突出したガラスのレストランは、外部からの利用を促すと共にランドマークとして人々が集まり易い雰囲気を持たせた。

この建物は、展示場機能はじめ、研修会議機能、オフィス機能、駐車、荷捌機能から構成されている。メイン機能でもある展示場は、将来予想される高度情報化社会の多様なニーズを先取すべく、従来の物陳列型展示からより多彩なイベント空間への変身を積極的に試みた。とくに3階の展示場



は、マルチ装置空間としての機能と宴会場にも似た雰囲気の両面に応えることを狙った。3層に重なる展示場はそれぞれロビーを持ち、吹き抜けとエスカレーターで互いに結ばれたロビーは、視覚的にも一体感ある空間を目指している。8階の研修会議室は、中庭や屋上庭園など恵まれた景色をもって人々の利用を待っている。4～7階の事務フロアは、とくにインテリジェントビルとして計画されており、その用途にふさわしい業務空間となっている。

この地は、文化財の発掘も経験した、歴史的にも商都大阪に深く関わってきた地である。皆が自分の施設としての身近な親しみをもって利用してもらえる思いから生まれた、「マイドームおおさか」という愛称の文字通りこれから多くの人々に親しまれることを期待している。

（杉本寧治／日建設計）

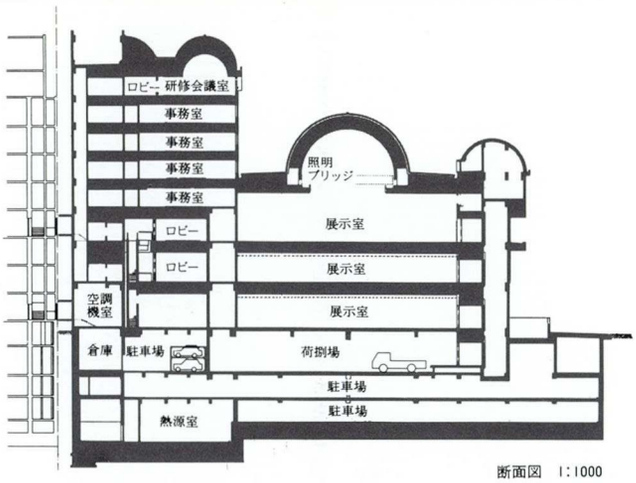


▲システム会議室　8階

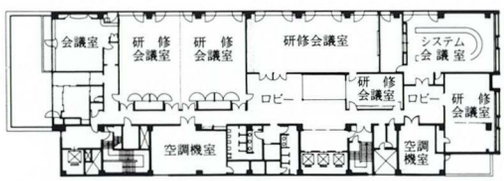


▲情報プラザ　7階　▼サロン会議室　8階

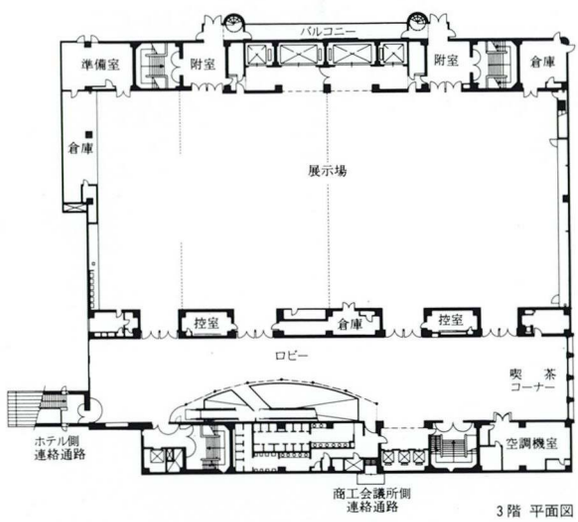




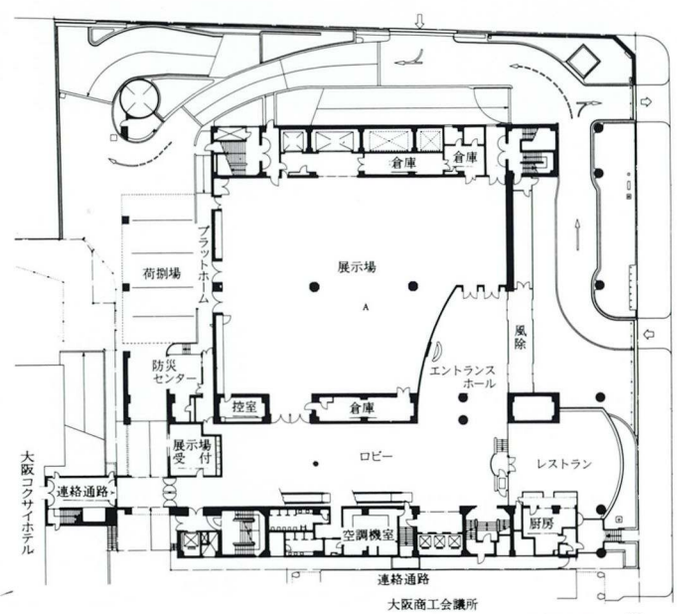
断面図　1:1000



8階　平面図



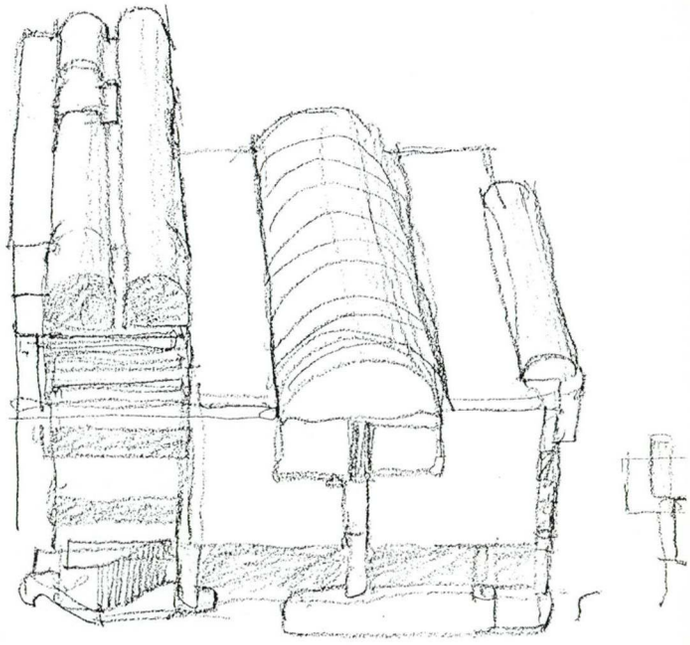
3階　平面図



1階　平面図
1:1000

「Many Job社会」目指して

水川　尚彦



初期のエスキース

大阪中小企業振興センター（マイドームおおさか）には、(財)大阪中小企業情報センターと大阪府立産業開発研究所が入居している。前者は中小企業に対する情報提供の中枢機関、後者は経済・経営系の新しい研究機関であり、所長に民間人を登用するなど話題を呼んでいる。これらの他にもいくつかの中小企業振興の関連団体が入居しており、展示・研修施設を含め(財)大阪中央地場産業センターと大阪府が、管理・企画・運営をおこなっている。中小企業が内部で高度な情報機能や企業経営ノウハウ・人材育成能力を備えることは効率的ではない。むしろ積極的に外部支援機関を利用し、様々な人的交流や新しい仕事をうみだすチャンスを創っていくことが、大阪にとってのぞましいことではないだろうか。「都市の原理」（ジェーン・ジェコブス著　鹿島出版会　1971年）という都市論の名著の中に、マンチェスターとバーミンガムの話がある。マンチェスターを「企業の町の驚異的な能率性」、バーミンガムを「はんぱ物のごったまぜの非能率性」とし、バーミンガムの都市成長性に軍配をあげている。「古い仕事から新しい仕事を、活発にうみだしていけるかどうかが都市の発展の鍵を握る」ということを、かなり実証的に論じたもので強く印象にのこっている。今、情報化時代を迎えているが、情報化はけっして「Job Less 社会」をめざすものではない。むしろ「Many Job 社会」につなげていく必然性を持っているから、人・物・情報の交流機能としての場が必要になるのはあきらかである。情報化社会の中での「はんぱ物のごったまぜの非能率性」は、イメージとして非常に大阪的である。中小企業の細分化された事業機会がネットワーク化され、あるときは融合しあるときは分離するといった変幻自在性が、企業の活性化につながっていく。このためにも、マイドームおおさかの果たす役割は重要である。

＊　　＊　　＊

「研究開発」「情報発信」「展示」「人材育成」の４つが、この施設の大きな機能である。建築としては、３層の展示機能の上に高層部として研究開発・情報発信・人材育成の機能が設置されており、光ファイバー・デジタルPBXの実装など設備的にも充実されている。展示スペースは、1000㎡（１室）・2000㎡（２室）の３室があり、都心型の展示場としてはこれまでにない規模である。また同時利用で5000㎡の展示スペースを確保でき、３層吹抜となったロビーが、空間的にも一体感をうみだしている。展示室は各種のイベントを想定し、サービス動線・スペースも含め建築・設備的に高度に装置化されているが、装置のハード化に対し、内装はあくまでもソフトにリッチにという思想で統一され、建築的にたくみに処理されている。特に３階展示室は、最上階ということもあり、天井の形・照明等に工夫がこらされ展示機能だけでなく、レセプション・国際会議場等にも利用できる設備をそなえている。高層部は、展示スペースと対照的に動線上閉鎖的である。情報プラザ・産業情報図書館など、もっとオープンな利用形態が望まれるところではないだろうか。いろいろな制約があったと思うが若干気になるところである。

外装材については議論が多くあったと聞くが、最終的にアルミパネルを採用し、隣接する商工会議所との一体感をだすために、材質は異なるがデザインを合わせた開口部が設置されている。低層部のアルミパネルと高層部妻面の反射ガラスの対照、ステンレスのアール屋根、１階のレストランの曲面ガラスなど松屋町筋にたいする参加意識は当然のことながら意欲的である。すこしクラシカルな表情をもつデザインとあいまって、いい意味で目立つ建築となっている。

＊　　＊　　＊

この計画は、大阪府が昭和44年に「国際貿易センター」の必要性を諮問されてから紆余曲折を経て、昭和57年現実化へ向けてスタートを切ったというから、長期にわたる関係者の苦労は想像に難くない。竣工まもないが展示スペースの利用も期待どうり数多く、「アジア・太平洋ビジネス・コンベンション」「第２回国際バイオテクノロジー会議・見本市」「'87 大阪国際ファッションフェスティバル」など内外大小とりまじえた各種の展示会がすでにおこなわれている。ビジネス社会では、「Many Job」をうみだすために３つの重要な「TION」機能があるという。それは、「CONVENTION」「PRESENTATION」「PECEPTION」である。[マイドームおおさか]は、商工会議所・大阪国際ホテルと一体的に利用もでき、この３つの機能をかねそなえた施設としてユニークな存在になることは間違いないだろう。

（みずかわ　　たかひこ／作品作風小委員会）

Gallery

まち・建築・ひと

武庫の台ゴルフコースハウス





アメリカでゴルフを覚えた。ボストンの効外にあるパブリックのゴルフ場だった。思いきり距離は長く、濃い緑に囲まれていてＯＢゾーンなどほとんどないが、林の中にひとたび入り込むと出すのが大変だった。アメリカでもトップレベルのパブリックゴルフ場であったが、クラブハウスはごく小さかった。プロショップと一体になった狭いレストラン兼コーヒーショップでは、立ちながらホットドッグとコーヒーで食事を済ませる人が多かった。それでも皆満足していた。

ゴルフはパートナーに恵まれて楽しく快適にプレーができればそれで良い。クラブハウスが華美である必要はない。パブリックならなおさらのことだ。

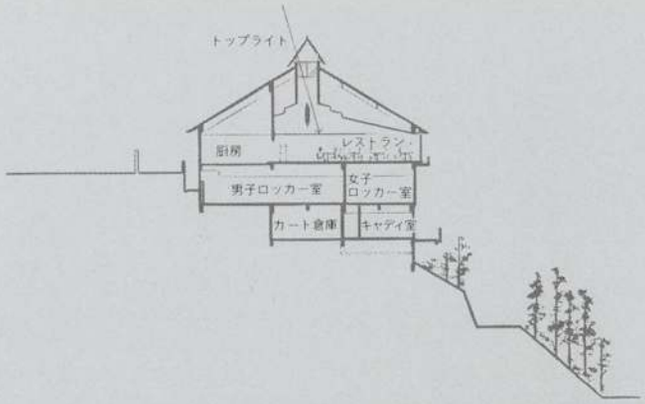
前置きが長くなったが、このクラブハウス建替の話があった時、クライアントの最初のことばがそれだった。“パブリックゴルフ場として華美な印象を与えない”こと。それに加えて“旧クラブハウスのカントリー風イメージを残す”こと。そして“パノラミックな眺望を生かす”こと。これら３つがこの建物のデザインコンセプトとなった。

しかし、ひとたびデザインをやり始めると、少しでもグレードの高い材料を志向し、デザインに凝り始める。もの足りない思いがして、クライアントにかけあって何度もしかられた。しかられながら少しずつねばってゆくやりとりの中でコミュニケーションが生まれた。

杉板下見貼りの素朴な造りの旧ハウスは、古くてもなかなか評判が良く、素朴な板貼りの雰囲気をＲＣ面のリブと塗装パターンで表現した。

コース内のピークに位置するクラブハウスからは北摂の山並が素晴らしい。眼下に広がるコースとパノラミックな景観をより迫力をもって望めるように、建物は斜面にせり出して配置された。

（黒川省二）







建 築 主　武庫ノ台開発
設　　計　竹中工務店
施　　工　竹中工務店・関西テックＪＶ
所 在 地　兵庫県神戸市北区道場町生野
建築面積　1,945㎡
延床面積　3,356㎡
構造規模　ＲＣ、Ｓ、Ｂ１、２Ｆ
工　　期　昭和60年12月～昭和61年10月
最 寄 駅　ＪＲ福知山線道場駅

村上元康／竹中工務店設計部設計課長
昭和42年東京大学建築学科卒
主な作品　ダイハツ琵琶湖荘　北野阪急ビル
　　ヌービル
黒川省二／竹中工務店設計部
昭和49年早稲田大学建築学科卒
昭和58年マサチューセッツ工科大学修士課程卒

企画編集　作品作風小委員会　宮崎ひろ志
撮　　影　納崎雄二　古川泰造



テベレ川河畔に建つサンタンジェロ城(ローマ)　小林正純(清水建設)画

being 4

逆産業革命　in　西陣

ひなや――伊豆蔵明彦――織陣

ひなや　時代の波が西陣から手織り機を放擲した時、布が人の手を離れて人肌を暖かく包むことは出来ないと、手織りへの回帰を主張し、実践した。この秋織陣Ⅲにオープンしたひなやショールーム「Sun moon」には20年の歳月をかけて技術開発した古代布「羅」をはじめ、筒状の継ぎ目の無い布、肌に最も優しい不織布フェルト、NASAにより技術開発を依頼された布などが展示されている。ファイバーアーチスト伊豆蔵氏の執念と気鋭のスタッフが創り出したテクスチュアの世界は、建物の醸す夢幻機運と相俟って観る者を古代から未来へと誘なう。

織陣　建築家高松伸とは友人の結婚式で偶然出会い意気投合した。建物は利便で作られるものでは無く、使う人を常に啓発してくれるものが良い。伊豆蔵明彦は、家なぶりの好きだった父親が20年かけて毎日家を改造し続け、2階建の家がやがて4階建になり家中に12ヵ所の階段が氾濫し、迷路のような家に細心の注意で暮らさざるを得なかった環境の中でこう思い始めた。馴染みの悪いものが10年15年経つ中に愛着が湧いてくる。歩きながら、使いながら考えることを要求する建物が好きだ。

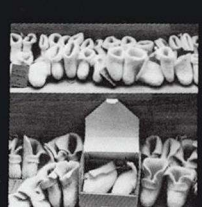
夢　古くなった西陣の建物に織布で造った新しいファサードを懸ける――着せ替え人形のように――街をテクスチュアで飾る。

言葉　心まで手で織る。手を加えるほど美しい。神が染めた色……。

（北村恭一／大建設計）



伊豆蔵明彦
昭和17年３月生まれ
同志社大学経済学部卒業
昭和58年２月より、ひなや㈱代表取締役社長
日本新工芸家連盟会員、日展会友
イタリア・トリエンナーレ展、日展などに
タペストリーを出品



同一素材でトータルコーディネーション

御影質磁器石材

サンセラミカゲ

豊富な色・形・サイズ。

つまり、

コーディネートできる舗石。



カラフルな64の色と、多彩な形・サイズバリエーションを用意しました。
サンセラミカゲで、都市に心やすらぐ新しい自然を創出。



アークヒルズ

アークヒルズ。
21世紀に向かう未来都市として、ひとつの形がそこにあります。ビジネス・情報・文化・生活、それらすべてを一体化して人間と共に機能する、知能を持った全環境都市。
その人間中心の都市空間にあって、基幹とも言える歩行者空間・プラザ・コミュニティ広場で、サンセラミカゲの自然感覚と安全性・快適性が大きな役割を担っています。

尚、製品については総合カタログを用意しておりますので、下記までご請求ください。

RYOWA リョーワ工業株式会社

営業本部物流センター　〒507 岐阜県多治見市高根町4－21　TEL.〈0572〉27-6161(大代)　FAX.〈0572〉27-6160
東京営業所　〒105 東京都港区新橋1－16－10(浅川ビル6F)　TEL.〈03〉580-1201㈹　FAX.〈03〉593-2247
大阪営業所　〒541 大阪市東区北浜4－50(北浜高田ビル7F)　TEL.〈06〉226-4747㈹　FAX.〈06〉226-4740

資料請求
建築と社会

フロアリングの新しい息吹——タキストロン。

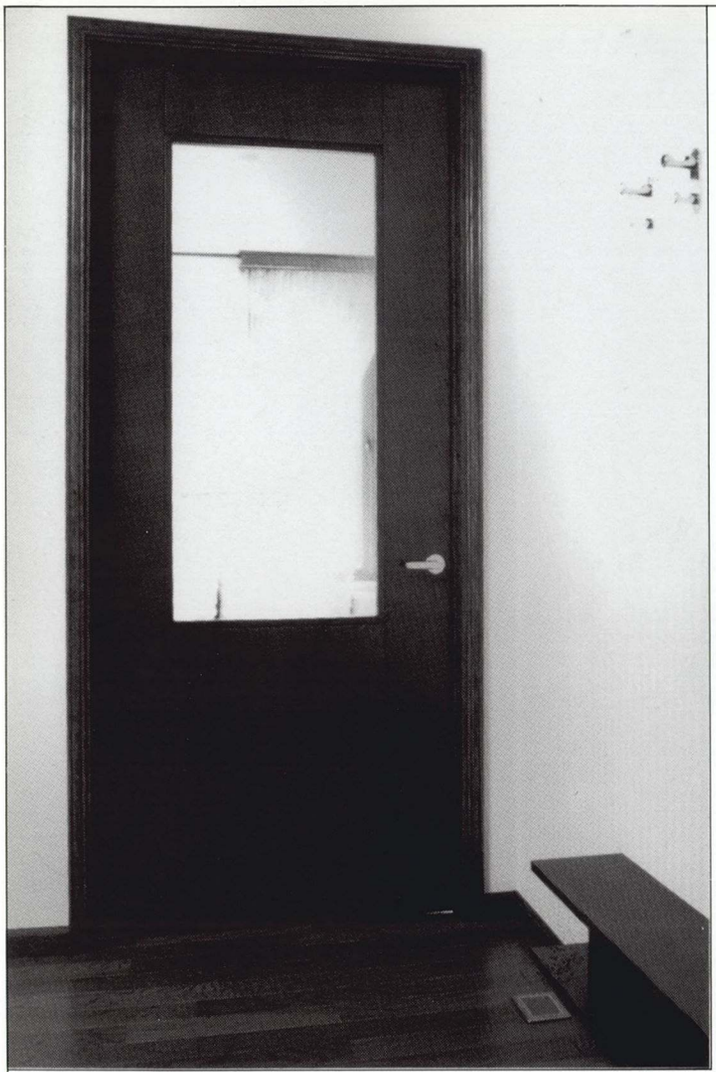


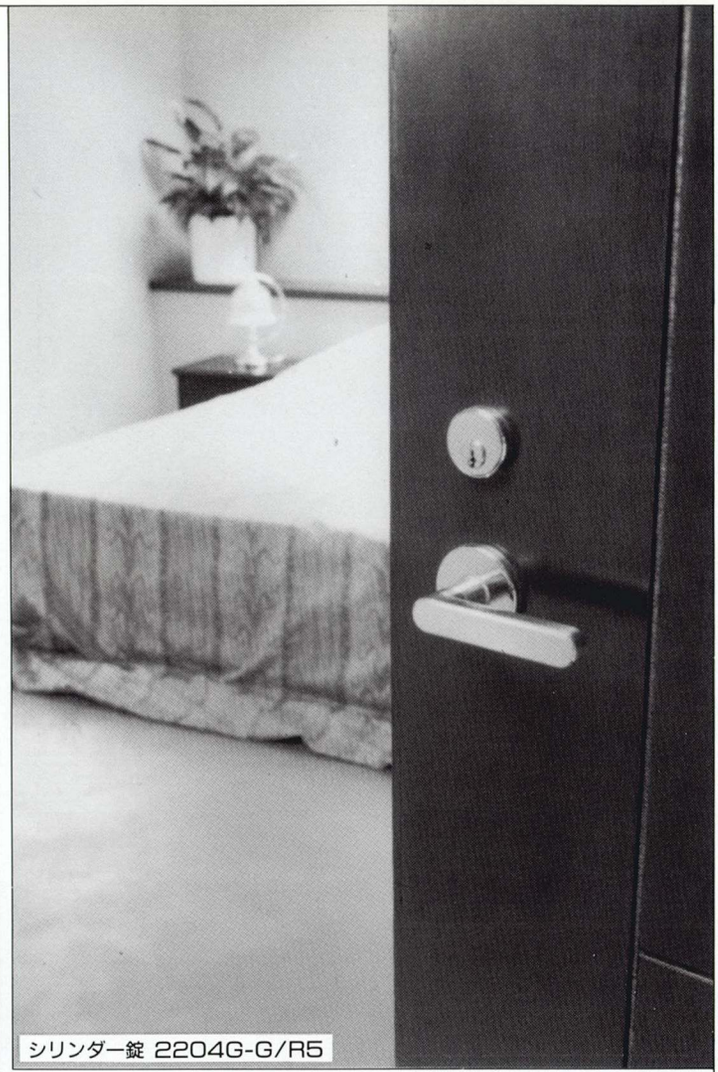
●タキストロン・プレステシリーズの新柄サンプル帳ができあがりました。ご請求ください。

いい素材は、演出家の発想を触発します——
商空間の、より斬新なフロアづくりのための床材〈タキストロン〉。11グレード、23柄、111配色と、シンプルでモダンな表情を中心に多彩に咲き揃いました。イメージに合わせた色・柄選びはもちろん、コーディネートや組み合わせの変化に挑戦できるのも、アイテムが充実していればこそ。クオリティには自信のあるスルーカラー、スルーパターンのメカニカル構造。どんな歩行量の多いフロアにも、安心してご採用いただけます。

タキロン長尺床材
メカニカルタイプ
タキストロン
〈プレステ〉

タキロン株式会社 本社 〒541 大阪市東区安土町2-30(大阪国際ビル)☎(06)267-2692 東京支店 〒104 東京都中央区京橋1-1-1(八重洲大阪ビル)☎(03)278-8874
札幌(011)231-7268 千葉(0472)24-3453 富山(0764)31-8961 岡山(0862)24-5581 鹿児島(0992)26-1055 東京タキストロン販売(03) 493-2011
仙台(022)266-2171 横浜(045)314-2421 名古屋(052)971-6600 高松(0878)51-0188 大阪タキストロン販売(06) 330-0404
新潟(025)241-3911 長野(0262)35-4600 京都(075)343-2551 広島(082)248-1581 九州タキストロン販売(092)472-5525
北関東(0485)25-1251 静岡(0542)55-2491 大阪(06) 267-2861 福岡(092)761-3381



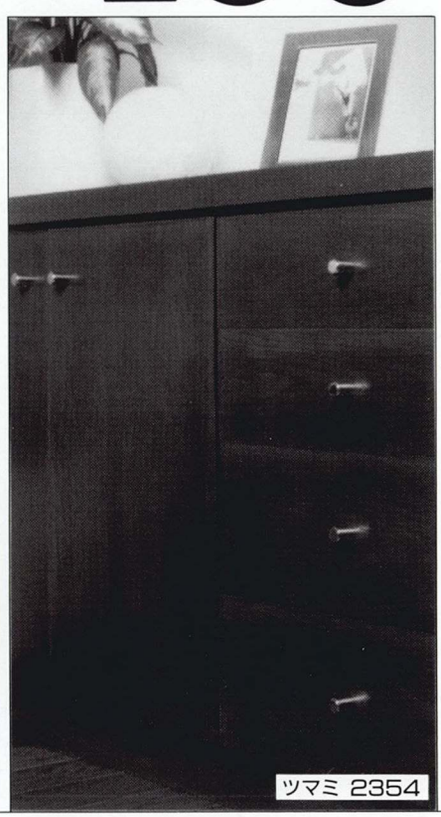


シリンダー錠 2204G-G/R5

Doors & Hardware 2000 SERIES



空錠 2224P-GS/R5



ツマミ 2354

良い建築は、良い金物の選定から。

今、建築金物が環境の重要な一端を担うものとして大きくクローズアップされています。つまり、クラシックあるいはモダーンを問わず、玄関から家具、サニタリーに至るまでトータルコーディネイトできる建築金物が要望されているのです。この多様なニーズに応えるべく開発されたのが2000シリーズです。モダーンなシルエットの中にコンテンポラリーの要素を組み入れたため、巾広い環境空間に対応でき、ノブ、レバーハンドルと錠とのコンビネーションは実用的で多様なバリエーションを作り出すことが出来ます。

BEST Doors & Hardware

太田興業株式会社

●本　社　〒101 東京都千代田区神田紺屋町41
TEL. 03(257)7700 FAX.03(256)2708
●ベスト青梅　青梅市 TEL.0428(31)7201
●SHOP　千代田区神田 TEL.03(257)7705
●営業所　大阪店 TEL.06(779)7004
東京店・神田店・西東京店・関東店

アメリカに見る都市型集合住宅の現在②

高田光雄／京都大学建築学科助手

スタイヴサントタウンの日曜日



左上スタイヴサントタウン　右上サウス・ブロンクス　左下ルーズベルト・アイランド　右下リヴァー・ベント

日曜日の朝、マンハッタンの南東部、イーストリヴァーの近くにあるスタイヴサントタウンを訪れた。今世紀半ばにできたこの団地は、戦後のスラムクリアランスの典型で、ニューヨーク市が収用し、無償で譲渡した土地の上に、メトロポリタン生命保険会社が中間所得者向住宅を建設したものである。13階建のレンガ貼り住棟が、惰円形をした噴水公園を中心に秩序正しく配置され、約9,000戸のコミュニティを形作っている。外周道路からは、単調な住棟が見えるだけであるが、一旦街区の中に入ると、すっかり成育した樹木とゆったりとしたオープンスペースが現れる。リスのはねまわる公園の中には、ベンチでくつろぐ老人の姿があり、そのまわりで遊ぶ子供たちの声が聞こえる—思わずマンハッタンにいることを忘れてしまいそうな、そんな光景をここではみることができるのである。

都市居住の魅力は、都心の商業施設と高層住宅だけによって生まれるものではない。刺激的な空間と共に安らぎのある空間が必要である。住戸や住棟の質も重要であるが、住環境の質が確保されなければ、都市住居適合者は極めて限定されるだろう。様々なライフステージの家族や様々なライフスタイルの人々がいり混じって生活する。誰もに、どこに住むか、どんな生活をするかを選択する自由がある。そんな多様性と選択性こそが都市居住の魅力であると考えるなら、都市の居住環境形成は居住の幅を広げる重要な手段ということができる。

ニューヨークでは、ジェントリフィケーションの波の中、都心から中低所得者が排除されつつあるが、中低所得者向けの住宅のストックが居住環境形成に果たしている役割は極めて大きなものであると言わねばならない。

マンハッタンに隣接するサウス・ブロンクスには、昼間でも人気のない荒れ果てた放棄住宅地がたくさんある。タクシーの運転手もなかなかハンドルを向けてくれないこの地域は、治安を回復しつつあるマンハッタンとは反対に荒廃の一途をたどっているようにみえる。大部分の住宅は空家化し、ガラスは割られ、落書きされ、挙句の果てには火がかけられている。不法侵入を防ぐため、出入口をコンクリートブロックで閉鎖した住宅も多い。こうした状況は、雇用問題、人種問題など、複雑で多様な社会問題の集積の結果であり、低所得者が都心に居住できなくなってきたことや、周辺部の白人が黒人の流入を恐れて移転することなどに関連していると言われているが、同時に、間切れもなく今日の都市住宅問題の一断面を示すものである。

かつて、サウス・ブロンクスなどのスラム化した地域を対象として、ニューヨーク市やニュヨーク州が積極的に再開発や住宅供給に取り組んだ時期があった。ニューヨーク州都市開発公社（ＵＤＣ）により開発されたその代表的プロジェクトであるトウィン・パークス地区のいくつかの団地に立ち寄ってみた。周囲の荒廃にもかかわらず、それらの多くはよく管理され、リチャード・マイヤー、ジェームス・Ｓ・ポルシェックなどの一流建築家を起用した建物を維持すると共に、住棟の出入口で外来者を厳密にチェックするなどの体制がとられていた。居住環境形成に対して、これらの公的住宅プロジェクトがいかに大きく寄与しているかを確認することができた。

同様の事例は他にもたくさんある。コンペで話題を呼んだルーズベルト・アイランドのハウジングもＵＤＣによる公的住宅である。マンハッタンからはケーブルカーでしかアクセスできないこの島は、かつて、ウエルフェア・アイランドと呼ばれ、福祉施設がいくつか立地する他は未開発同然の島であった。今日では、ホセ・ルイ・セルトらの設計による集合住宅が計画的に配置され、約2,000戸の住宅に多様な所得階層と人種が混在するニュータウンとなっている。歩行者主体のマスタープランにより自動車交通は抑制され、イースト・リヴァー沿いのプロムナードでは車椅子利用者の姿も多く見かけた。

ハーレムにあるリヴァーベント住宅は、ニューヨーク州と連邦政府の財政援助を受けて、60年代後半に中所得者を対象として建設された約600戸の高密住宅団地である。この住宅団地は、デービス・アンド・ブロディーの設計で駐車場の屋上にある人工地盤状の遊び場とそれを囲むメゾネット型住棟によって特徴づけられ、この地域に良質の環境を提供している。この点は、オスカー・ニューマンの「まもりやすい住空間（Defensible Space）」でも高く評価されている。

ヘンリー・フィップスにより設立されたフィップス・ハウジズのプロジェクトも、今日のニューヨークでは得ることが難しい住環境を維持しているといってよい。特に、マンハッタンのミドル・イーストサイドにあるフィップス・プラザでは、様々な設計上の配慮と共にコミュニティ・ディベロップメントによって居住活動の活性化が計られ、ユニークな非営利住宅として成功している。

公的住宅や非営利住宅は、低家賃の実現により中低所得者の住宅需要に応じるだけではなく、黒人や中低所得者が排除されることなく入居できる「公正な住宅」としての意義をもつが、同時に、上述のような良質の住環境形成とその維持・管理による都市全体へのインパクトも無視できないものがある。公的住宅供給は、今日多くの問題を抱えており、連邦政府同様、州や市でもこれを積極的に推進する兆しはない。1985年３月の住宅都市省（ＨＵＤ）の発表によれば、レーガン政権には公営住宅建設を再開する意思はなく、約120万戸の既存住宅も売却または用途廃止していく方針であるという。しかし、現実の公的住宅の現状は、むしろ今日的状況の中でこそ大きな意義を発揮しているように思われる。

書　評

今、なぜ考現学なのか

太田隆信

ちょっとした今和次郎ブーム。考現学ブームなのだそうだ。一昨年、タウン・ウオッチングの事が話題に上って、「考現学」のようなものですかと冗談半分に問いかけたところ、それよりは奥が深い、本格的なものです、と真面目な答えが返ってきて、ウオッチングもまだまだこれからだなと思っていたのが、このところの今先生ブーム、ウオッチングもようやく本物になりつつある……。人々の生活を見る目、生活環境を考えるスタンスがきちんと定まりつつある証であろうか。このあたりがきちんとふらつかなくなって、ようやく文化を云々する時と思うのだが……。どうも私達の文化、特に関西の復権に絡んだ文化論は、うさんくさいと迄言うと言いすぎかもしれないが、性急にすぎる、あせりがある。こんなことではいけない。本物ではないなと、しみじみ反省させられる。「今和次郎　その考現学」は、そんなきっかけを与えてくれる本である。

＊　　＊　　＊

今先生には、学部２年生の時「建築装飾実習」を教えていただいた。装飾論ではなく、相模書房から出版された先生のスケッチ集をお手本に、実習であった。全部書きあげると点をいただけるということで、最初は楽な授業と思っていたが、書き始めてみるとこれが大変。あやうく顎を出しかけた。先生は毎週アットランダムに、赤青黄白のチョークを使い分けて、訥弁気味の説明とほぼ同じ速さでスケッチをされる。「近頃、建築も議論が先に立つようだが、まずこれをきちんと書きたまえ。議論はそれから。４年生の授業で、ごってりやろうじゃないか……」とスケッチを続けられる。そのお姿が実に楽しそうであった。なるほど建築は楽しくなきゃいけないんだな、好きでなきゃ続けていけないんだな、これは実に貴重な教えであった。

２年生の頃、つまり昭和30年当時は、神田まで行かずとも、池袋、高円寺の古本屋街で、運が良ければ、オリジナル「考現学」を入手出来た。私は友人に池袋で買ってもらった。その頃の東京はまだまだ戦後の感じがそこかしこに漂よっていて、震災後の東京の生活との対比が面白かった。永井荷風に凝っていて、「考現学」の作法と、例えば「濹東綺譚」巻末の作者贅言との間には何等かの接点があるのではないか等と、文学部の友人と真面目に



今 和次郎
その考現学

川添 登 著

リブロポート刊
1,400円

議論しあった頃が懐かしい。今考えてみると、興味を持っていたというよりは、唯々面白がっていたと言うべきであろう。

面白さが興味に一歩前進したのは、お恥かしいことだが、せいぜいここ10年来のことである。建築設計の現場で幾つかの仕事をさせていただいて、さらに、今先生の高弟である竹内芳太郎先生の「年輪の記　ある建築家の自画像」「野の舞台」等に導びかれて、ようやく興味に到達しつつある現況である。

今和次郎の魅力、一言でいうと、横方向に思考する魅力であろうか。水平方向に物事を捕える魅力であろうか。的確に物ごとを見透す眼力。その内に秘められた暖かいまなざし。「まずこれがきちんと書けるように、それから議論を」とおっしゃられた先生の言葉は、まさにそんな感じで、今に大切な思い出である。

――今和次郎は、民間学者の名にふさわしく、専門家に対してよりも、より多くの一般の人々を対象に文章を書き、学術誌に発表する論文でさえも、その態度をつらぬいた。そのため彼は、随筆家であって学者ではない。そこには体系も方法もないではないか、などといわれていた――少し長くなったが本書〝あとがき〟からの引用である。いわゆる学問ではないと言う。いわゆる学者先生の発言、わからぬでもない。それはそれでいいのではないか、ほっときゃいいんじゃないか。今先生の学問には、立派な体系があるぞということを示したかったと言う著者の気持ちは理解できるとして、無理に学問学問と、いわゆる学問にこだわらない方が、むしろこれからの新しい、より広々とした展開が期待できるのではないか……。とは言うものか。何となくわいわいがやがや群がって、いわゆるブームに終わってしまってはいけない。

今先生の遺されたものが、ようやく広く社会全体、人々の注目を集めざるをえない状況にたち至った今日、これからの展開が楽しみである。

＊　　＊　　＊

本書は、「考現学」の頃迄の、今和次郎の全体像がたくみに要約されている。ずっとおそばにおられた川添登さんにしてはじめて可能な作品である。あまりにまとまりすぎているため、この一冊で事たれり等と思われる恐れ、なきにしもあらず。――読者の方々が、原典にあたられ、それぞれにお考えいただくための手引書として、本書を読んでいただけば幸いである――と言う著者あとがきの言葉を、最後に引用させていただきたい。

短　評

街角ルネサンス

湖国に息づく西洋建築

増田耕一編

一昨年毎日新聞滋賀版で連載され、好評を得ていた「街角ルネサンス―湖国に息づく西洋建築―」が近江文化叢書の一冊に加えられ刊行された。湖畔の街角にあるメモリアルな近代建築43棟が紹介され、郷土の遺産としての価値が改めて見直されている。

ここで採りあげられているものには明治初期の擬洋風と呼ばれる和洋折衷式建築から、赤レンガ建築、大正期に入ると近江兄弟社のヴォーリズの初期洋風建築、田中松三郎の小学校建築など近江の風土に根づいた洋風建築、それに西洋古典のルネサンス式の堂々たる銀行建築も現れる。昭和初期にはヴォーリズのキリスト教会建築や、得意としたスパニッシュスタイルの逸品が並び、琵琶湖ホテル、滋賀県庁舎などアーキテクトによる第一級の作品も紹介されている。

近代建築43棟のパレードは予想外の密度をもっていた。しかし隣接都市京都のストックや、大阪の活力と比べると、やはり小品が多く素朴な洋風建築が過半を占めている。しかしながらこの書の企画で最もねらい所とされたのは、ふだん見慣れた街角の洋風建築から様々な町の近代史、物語を掘り起こし、具体的な建物を通して街角の歴史とキャラクターの再発見を試みようとしたことだ。そのため通例の建築ガイドの類と少し性格を異にして、

私が読んだ本

住み手主体の住宅設計

竹山清明（生活空間研究所）

様々な格好の良い住宅が、毎月の建築マスコミに満載されている。内外コンクリート打ちはなしの住宅やバタフライ屋根の住宅、ポストモダンの住宅など、普通のデザインではない、設計者の造形意欲の発散や、人より際立ちたいという怨念が籠もったデザインの住宅が、建築関係の様々な雑誌に、多数取り上げられている。デザイン的には確かになかなか優れた物が多い。デザイン構成として優れた物、普通ではなかなか考えつかないような斬新なデザインの物など、見ていてなるほどと感心する物も多い。しかし、それらの雑誌の立派な写真の側に付けられている平面図を眺めていると、はてと首を傾けてしまう事が多い。家族の快適な住み方がイメージできない平面計画や、見せ場の吹き抜けのある立派なホールばかりが大きく大切な家族の生活の場は片隅に追いやられているような平面計画が非常に多いからである。

デザイン的に見ても、一見すれば非常に斬新なのだが、本当にそこにずっと生活して行く住まい手のための視覚的・情緒的・文化的に豊かな暮らしをつくり出すためのハードとしての物づくりを行おうとしているかどうかと言う点について言えば、これも大いに疑問な物が多い。住み手のためのアメニティの高いデザインというよりも、建築マスコミの側から言えば、目新しくてアピール度が高くそれを掲載することによって本が売れやすいデザイン、設計者の側から言えば、造形意欲を満足させ他の設計者から際立つようなデザインの追及が主としてなされているように思えるのである。

住宅のデザイン的・技術的な基本的構成要素であるディテールについても、問題のありそうな物が多数、建築マスコミを賑わしている。間違いなく雨が漏るであろうディテール、結露でどうにもならないであろうと思われるディテールなどが、目新しいデザインである事を理由に大手を振って罷り通っているが、大いに疑問のあるところである。写真等を中心としたこれらの建築マスコミは若い技術者に影響が大きいが、彼らがこのようなディテールをひとつの規範として住宅や建築の設計を行っている例を多数知っているからである。私自信も昔、ディテールに悩み、建築マスコミの雑誌に掲載されていた納まりを用いようとした時、上の者から「そんな事したら、後でえらい事になるからやめとけ。」と一喝された事があるが、このような状況は今も変わっていない。



＊　　＊　　＊

「家族と住まい」（山本厚生・中島明子編著、ドメス出版）という本がある。多数出版されている住宅関連の図書の中で、数少ない真の意味で住み手の側に立とうとしている住宅設計論であると言えよう。文中の、住み手と共に住み良い住宅のありかたを懸命に探る著者ら設計者の姿勢は、爽やかでさえある。私自信、住宅設計を主たる業務にしている関係上、様々な住宅設計に関する本に目を通す事になるのだが、その多くが、先に述べたように、設計者の専門家としての自己主張が中心となった物である。多くの場合、住み手の住要求が、設計者の設計理論の陰にかくれてしまっているように見えるのは僻目であろうか。

「私たちは、人びとのありのままをよく分析し総合して捕え、さまざまな経験を新しい課題に応用して、その条件にこそふさわしいものを的確に創造し得る力を持たねばなりません。同時に、人びとが正しく理解し、十分に納得し得るように、わかりやすく表現し、説明できる力をも持たねばならないと思います。……人びとが自らの生活を前進させようとする志向をもち……多くの人びとと力を合わせてそれを遂行しようとする人間的資質を本質的に持っているものと考えています。……住む人主体の住まいづくりを進めてきた人びとが『これこそ本当に求めていた成果だ』としみじみ実感するものには、人間らしく生き得る環境を望む人びとと私たちとの共通する意図が生きているにちがいないし、そういうものを豊かに提供できることに、私達の真の専門性があるはずだと断言できます。そして、そのことは優れて創造的な活動だと私は考えます。」と「家族と住まい」の中で強く述べられている。

単なる形の遊びとしてのデザインだけにのめりこんで総合的なプランやディテールなどをおろそかにするのではなく、この本にくどいほど述べられている真の意味での「住み手主体の住まいづくり・まちづくり」に、きちんとした技術力を基盤として、真剣に取り組む中にしか、建築家の今後の展望は開けていかないのではないかと私は考えている。そのような方向を模索しようとしている方々に、この本の一読を強くおすすめしたい。

たけやま　きよあき
1946年兵庫県生まれ
京都大学大学院修士課程修了（1970年）後、兵庫県建築部営繕課・住宅建設課を経て、生活空間研究所を設立、現在に至る。
主な作品
牛窓山荘、清荒神コーポラティブハウス、甲子園コーポラティブハウス、ピッコロシアター、兵庫県立・明石市立図書館
生活空間研究所
神戸市中央区海岸通3番地海岸ビル ☎078－392－5057

短　評

建築と都市のデザイン

嶋田勝次著

北野で育ち、以来神戸の建築とまちづくりにかかわり続けてきた著者の小論文・エッセイを一冊にまとめたもの。異人館、ポートアイランド、居留地と、今関西に話題を提供し続ける神戸の息吹きが聞こえてくる。住民と行政の狭間で六甲の緑と瀬戸内の海に恵まれた街・神戸を見つめる著者の心意気が見えてくる本だ。　増渕昌利（神文書院刊　2,000円）

建築サイドの視点で語るというより、建築主、居住者の意図や意識にウエイトが置かれているのだ。最近の建築はスクラップアンドビイルドの発想で、いよいよ消費財化しているが、今までのすぐれた建築は、建築主の所有物であると同時にその地域の個性をつくる共有の資産として、世代を越えて記憶されてきたものだが、そういう近代の遺産を守り、それを生かして魅力的に生きることのむずかしさと、貴重さをそれぞれが訴えている。

山形政昭／大阪芸術大学講師（サンブライト出版刊1,200円）

書評委員（敬称略）
伊藤郁郎（日建設計）
伊從　勉（京都大学教養部助教授）
太田隆信（坂倉建築研究所大阪事務所長）
加藤邦男（京都大学建築学科助教授）
橋本敏子（生活環境文化研究所所長）
増渕昌利（神戸市営繕課）

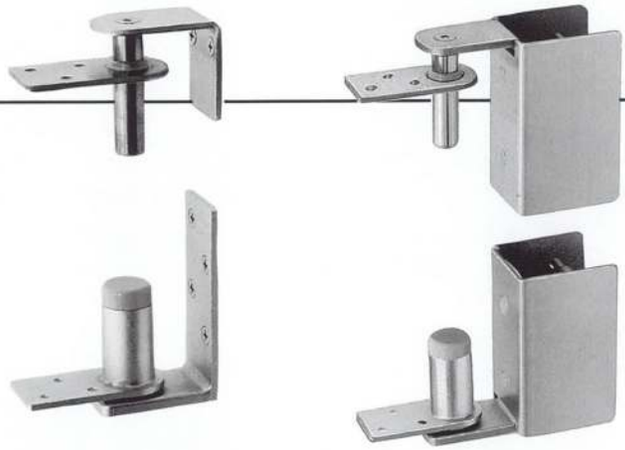
BEST ARCHITECTURAL HARDWARE



No.110
ノイズレスヒンジ

リング部分にナイロン系、ポリアセタール系樹脂の複合により、20万回開閉試験(JIS A1511に基づく)の結果、いつでも滑らかに、静かに摩耗率の少ない開閉が実証されました。
RA方式採用により軸芯のセリ上り防止付です。

●材質
羽　根：ステンレス鋼 SUS304
軸　芯：ステンレス鋼 SUS304
木ネジ：ステンレス鋼 SUS304
リング：ナイロン、デルリンの複合
●仕上　：ヘアライン



No.1602-C　　No.1602-CT
ニューグレビティヒンジ

ラバトリーブース、湯沸室、カウンター、配膳室、手術室等、扉の自重で開閉する為、キシミ音を解消し、滑らかに、静かに閉まります。
10万回開閉試験の結果、外観、機能に影響なくまさにメンテナンスフリーを実現しました。

●材質
本　体：ステンレス鋼 SUS304、SC13
軸　：ステンレス鋼 SUS304
●仕上　：ヘアライン

1000シリーズ商品により、トータルデザイン・カラーとなります。

ノイズレスヒンジ・ニューグレビティヒンジ主な納入先

●大阪府立体育会館
●名古屋市立総合体育館
●広島市民球場
●大垣野球場
●スズカサーキットG棟
●アシックス本社
●広島市工業技術センター
●綾部市老人福祉センター
●中部電力本社ビル
●トヨタ病院
●日建設計ビル2号館
●徳川美術館
●最上富士ホテル
●ホテルニューオータニ大阪
●芦屋第二山口マンション
●鈴の宮団地

BEST 太田興業株式会社

本　　社：〒101 東京都千代田区神田紺屋町41　TEL 03−257−7700　FAX 03−256−2708
大 阪 店：〒543 大阪市天王寺区上本町9−3−7　TEL 06−779−7004　FAX 06−779−7563
工　　場：ベスト青梅／〒198 東京都青梅市新町2220　TEL0428−31−7201　FAX0428−31−7203

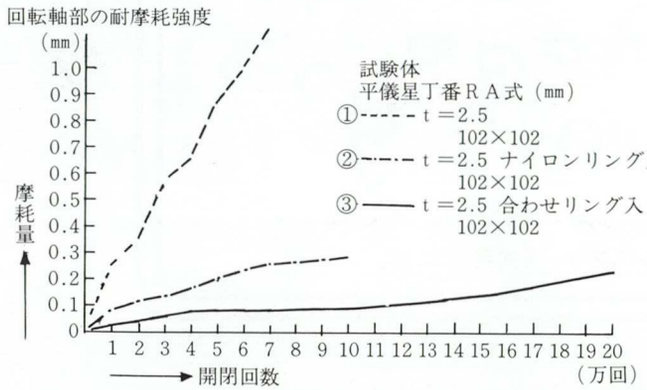
ノイズレスヒンジ、グレビティヒンジ

太田興業株式会社
本　社　東京都千代田区神田紺屋町41　ＴＥＬ03－257－7700
大阪店　大阪市天王寺区上本町９－３－７　ＴＥＬ06－779－7004

1．ノイズレスヒンジ(合わせリング入り丁番)

1）開口部のかなめとしての丁番

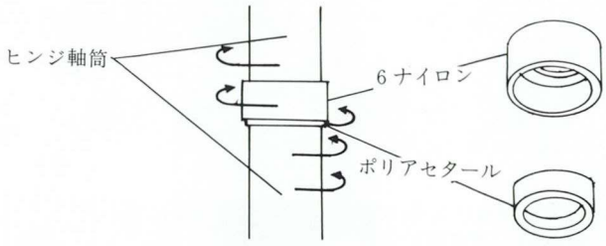
丁番は建具の大きさ、重量に対して、正しく設計、材料選定、施工を行わないと、後日クレームとなって返ってくる。我々施工者は丁番に対する認識がもともと薄い上に、コストダウンの必要性から、丁番の材質、大きさ等々業者任せになりがちとなり、その結果、ともすれば安価だが品質の悪いものが施工され、後日丁番がへたったり、狂ったりして、建具の吊り下がり、異音の発生や反りが生じ、その影響で錠前のラッチング不良、ドアクローザーの作動不良などが生ずることになる。



内装用の木製建具においては、ステンレスＳＵＳ304製の丁番が使用されることが多いが、上図に示すように、丁番の軸筒の節にリングを捜入することにより、摩耗量が低下することがよくわかる。図中の①はリングなし、②は６ナイロン単体のリング、③は６ナイロンとポリアセタールの２つを摺動させる合わせリングである。特筆すべきことは、③の合わせリングの摩耗率の驚異的な低さである。

2）ベストノイズレスヒンジの特徴

太田興業㈱社製のノイズレスヒンジは、構造がしっかりしていて精度も良い。特に(a)ヒンジの耐摩耗強度が飛躍的に高い。(b)開閉時のヒンジのキシミ音が無い。



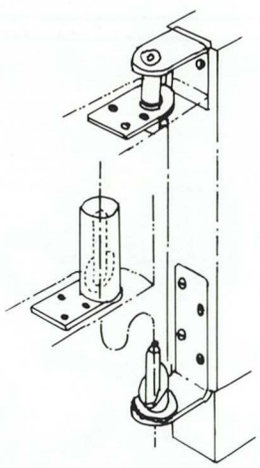
同製品には、上述の合わせリングが使用されており、上図のように６ナイロンとポリアセタールの摺動の為、従来のヒンジのように、軸筒の端面と端面、又は軸筒の端面とリングが逆方向に回転する為に、摺動時に激しい摩耗が生じたり、リングが切削されるような現象が起きない為に、極めて耐摩耗強度の高いものとなっている。又、異種樹脂のリングを組み合わせることにより、摺動時に発生する異音を完全に消去することに成功している。

材　質	羽根、軸筒	ステンレスSUS304	
	リング	６ナイロン＋ポリアセタール	
サ　イ　ズ	厚さ	高さ	幅
	2.5	102	89
	2.5	102	102
	2.5	127	102
	3	127	127

2．グレビティヒンジ

内装用木製建具とともに使用頻度の高い公共建築のトイレブースの建具金物は、従来、スプリング式ラバトリーヒンジが一般的に使用されてきた。スプリング式ラバトリーヒンジは、スプリングの反撥力を利用して扉を開閉させるものであるが、その為どうしてもスプリングのキシミ音を解消することができなかった。又、使用上、構造上、故障が多く、何らかの改善が必要であった。

グレビティヒンジの特徴



太田興業㈱製グレビティヒンジは、上述したラバトリーヒンジの問題点に着目して開発されたものである。スプリングのかわりに、下部ヒンジにテーパーをつけ、扉の自重を利用して開閉させる為に、次の特長がある。

①スプリングのキシミ音が発生しない。
②構造が簡単な為、故障が起りにくい。
③扉の開閉スピードの調整が要らず、一定である。
④常時開、常時閉、内開、外開の設定を、ヒンジを付け変えることなしに簡単にできる。
⑤金具が少ししか見えず、扉の外観がスマートである。
⑥ケンドン式の吊り込みの為、非常時に簡単に扉をはずすことができる。

等、機能面はもとより、セキュリティに対しても配慮がしてある。又、開閉試験10万回時点で、ヒンジの摩耗0.08㎜と、従来の常識で言えばほとんど０に近く、驚く程の耐摩耗強度がある。

中川　徹／建材委員

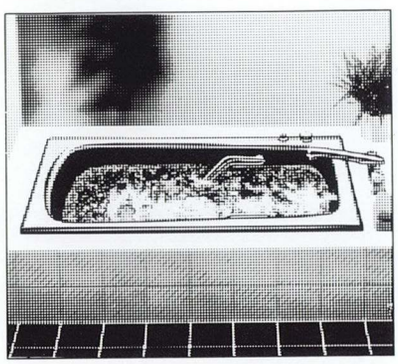


空気を吸わせると、お湯も生き返ってくれました。

お湯に吹き込む気泡が、気持ち良い、〈気泡浴槽〉

TOTO

TOTOの気泡浴槽とはいったいなんだッ。それは空気を含んだお湯が心地よい、泡の出るお風呂のことだッ。この泡の働きはたいしたもので、洗っただけでは流せないような汚れや疲れを落としてしまえる。お湯も汚れてしまうけれど、TOTO独自のろ過機付きタイプなら大丈夫。お湯をきれいに保ちます。また、この泡は、背側と足側に噴出口があって、気泡の量も強さも角度も、簡単な操作で自由にコントロール。だから好き勝手に気泡浴が楽しめます。あまりの気持よさに、みんなの入浴時間が長くなってしまいそうだけれど、そこはTOTOに免じて、大目に見てください。



※カタログご希望の方は、〒530 大阪市北区曽根崎2-3-7 梅新第一生命ビル東館 東陶機器株までご請求ください。

受託試験におけるコンクリートの圧縮試験に関する調査

財団法人 日本建築総合試験所
所 在 地…吹田市藤白台5－8－1 〒565
電　　話…(06)872－0391 FAX…(06)872－0784
業務時間…平日：9：00～17：00
土曜：9：00～12：00

本報告は、当試験所の本所工事用材料試験室、と4つの分室で昭和61年4月より昭和62年3月にかけて依頼のあったコンクリート圧縮強度試験についてまとめたものである。

1．集計対象

集計の対象としたコンクリートは受託試験のうちレデーミクストコンクリートで下記に示す7項目の条件をすべて満たしているものとした。

(1) 呼び強度が既知であるもの。
(2) 供試体の形状・寸法がφ10×20（cm）の円柱形供試体で、1組の供試体数が3本のもの。
(3) セメントは普通ポルトランドセメントを使用しているもの。
(4) 骨材は普通骨材を使用したもので、かつ粗骨材の最大寸法が20mmまたは25mmのもの。
(5) 空気量は4±1％のもの。
(6) 養生方法は標準水中養生（以下、養生区分Aで表わす）または現場水中養生（以下養生区分Dで表わす）のもの。
(7) 試験時の材令が1週（7日のみ）または4週（26日～32日）のもの。

2．集計方法および集計結果

集計の方法は同一条件の供試体3本の圧縮強度の平均値（JASS 5T 603、JIS A 5308の1回の試験値）で集計した。その集計結果を**表－1**及び**表－2**に示す。

3．まとめ

i）受託の状況

レデーミクストコンクリートのうち最も多く受託されたものは**表－1**及び**表－2**からもわかるように、呼び強度210、次いで240で両者で総受託件数の59％を占め、また呼び強度180～270の範囲のもので97％を占めている。また季節別にみると、春季は呼び強度240、夏季は呼び強度210、秋季は呼び強度210～240で、冬期になると呼び強度255～270が多いが、これは気温補正による呼び強度のランクアップによるものであろう。

ii）呼び強度と圧縮強度との関係

4週の圧縮強度の標準水中養生を平均値$\bar{x}$でみた場合、**表－2**に示すように呼び強度に対し、1.29～1.51倍となり、現場水中養生は0.99～1.44倍となっている。

個々の圧縮強度でみた場合、呼び強度を下回るものは標準水中養生のもので、呼び強度180で0.6％、呼び強度210で0.5％、呼び強度240および270で0.4％であり、また、呼び強度の85％を下回るものは呼び強度180で0.1％、呼び強度210、240では、いずれも0.1％である。

iii）圧縮強度の分布

データ個数の多い呼び強度のものについて圧縮強度の分布状況は正規分布に近い分布を示しており、例年と同様の傾向である。

iv）月別の圧縮強度の変動について

4週材令の圧縮強度についてみれば標準水中養生のものは夏季に低く冬季に高い傾向にあり、この傾向も例年と同様である。

（中村孝一）

表-1　コンクリートの圧縮強度に関する集計結果（呼び強度別一覧表）〔材令：1週〕

呼び強度	養生区分[1]	データ個数 n（個）	平均値 $\bar{x}$（kgf/cm²）	標準編差 σ（kgf/cm²）	変動係数 ν（％）	$\bar{x}$／呼び強度	x_{max}（kgf/cm²）	x_{min}（kgf/cm²）	構成比率[2]（％）
135	A	8	127	21.5	17.0	0.94	162	91	0.0
	D	2	103	7.1	7.0	0.76	107	97	0.0
150	A	43	143	24.9	17.5	0.95	210	103	0.2
	D	37	135	23.7	17.6	0.90	177	80	0.2
160	A	69	150	32.0	21.5	0.94	254	100	0.3
	D	18	146	16.3	11.2	0.92	179	120	0.1
180	A	826	160	29.1	18.3	0.89	303	70	4.1
	D	460	158	25.1	15.9	0.88	235	78	2.3
195	A	45	173	29.2	17.0	0.89	256	117	0.2
	D	55	164	24.6	15.1	0.84	209	102	0.3
210	A	3,817	180	27.1	15.1	0.86	319	81	18.9
	D	3,495	182	25.2	13.9	0.87	311	88	17.4
225	A	771	197	27.3	13.9	0.88	310	103	3.8
	D	1,144	189	24.3	12.9	0.84	323	117	5.7
240	A	1,658	211	28.4	13.5	0.88	396	117	8.2
	D	2,520	201	28.5	14.2	0.84	343	97	12.5
255	A	1,336	230	30.0	13.1	0.90	333	142	6.6
	D	2,008	204	30.6	15.0	0.80	330	96	10.0
270	A	455	245	31.7	13.0	0.91	375	162	2.3
	D	966	218	30.4	14.0	0.81	334	112	4.8
300	A	71	277	28.7	10.4	0.93	363	202	0.4
	D	277	244	30.8	12.7	0.82	326	171	1.4
350	A	12	338	63.4	18.8	0.97	495	223	0.1
	D	35	305	32.2	10.6	0.87	369	245	0.2
400	A	1	299	0.0	0.0	0.75	299	299	0.0
	D	1	220	0.0	0.0	0.56	220	220	0.0
合　計		20,130	－	－	－	－	－	－	100.0

注）1）A：標準水中養生　D：現場水中養生　2）総データ個数に対する各呼び強度のデータ個数の割合

表-2　コンクリートの圧縮強度に関する集計結果（呼び強度別一覧表）〔材令：4週〕

呼び強度	養生区分[1]	データ個数 n（個）	平均値 $\bar{x}$（kgf/cm²）	標準偏差 σ（kgf/cm²）	変動係数 ν（％）	$\bar{x}$／呼び強度	x_{max}（kgf/cm²）	x_{min}（kgf/cm²）	呼び強度未満のデータ個数	呼び強度の85％未満のデータ個数	構成比率[2]（％）
135	A	89	204	27.6	13.6	1.51	265	152	0	0	0.1
	D	25	194	30.6	15.8	1.44	268	148	－	－	0.0
150	A	377	218	27.1	12.5	1.46	341	132	2	0	0.5
	D	162	211	28.1	13.4	1.41	293	149	－	－	0.2
160	A	732	232	29.1	12.6	1.45	371	136	1	0	1.0
	D	58	223	29.0	13.1	1.40	300	167	－	－	0.1
180	A	5,490	249	29.8	12.0	1.39	431	150	34	8	7.6
	D	1,525	240	27.0	11.3	1.33	355	143	－	－	2.1
195	A	289	269	29.6	11.1	1.38	364	200	0	0	0.4
	D	151	257	25.4	9.9	1.32	324	171	－	－	0.2
210	A	17,958	276	28.5	10.4	1.32	449	137	84	13	24.9
	D	9,517	270	25.2	9.4	1.29	415	151	－	－	13.1
225	A	2,750	300	32.0	10.7	1.34	471	205	6	0	3.8
	D	3,052	284	27.4	9.7	1.27	407	195	－	－	4.2
240	A	6,890	317	31.4	10.0	1.32	474	169	26	7	9.5
	D	7,838	298	29.0	9.8	1.24	460	158	－	－	10.8
255	A	4,130	348	34.4	9.9	1.37	487	196	12	2	5.7
	D	4,988	312	32.4	10.4	1.23	453	182	－	－	6.9
270	A	2,457	362	35.3	9.8	1.34	506	236	9	0	3.4
	D	2,932	328	32.8	10.0	1.22	450	212	－	－	4.0
300	A	299	403	37.3	9.3	1.35	566	305	0	0	0.4
	D	645	359	38.0	10.6	1.20	477	220	－	－	0.9
350	A	86	450	47.5	10.6	1.29	540	296	2	1	0.1
	D	85	407	41.7	10.3	1.17	499	227	－	－	0.1
400	A	12	527	61.4	11.7	1.32	592	406	0	0	0.0
	D	2	395	134.4	34.1	0.99	489	299	－	－	0.0
合　計		72,539	－	－	－	－	－	－	176	31	100.0

注）1）A：標準水中養生　D：現場水中養生　2）総データ個数に対する強度のデータ個数の割合



加藤　力（かとう つとむ）
京都工芸繊維大学住環境学科助教授

高木　登（たかき のぼる）
住宅・都市整備公団関西支社
住宅事業第2部長

谷山　隆（たにやま たかし）
コンコード建築設計事務所代表

田中弘成（たなか ひろなり）
大林組建築設計第三部部長

7月号から12月号まで上記の4氏が担当

背中の個性

後姿で演技するとは名優の一つの条件である。後姿に代表される人間の背中は、だれも皆同じ無個性、無性格に思われているが、実はそうでない。細かく調べてみると、じつに様々な個性がある。立っている時より座っている時のほうが背中の個性は強く出る。椅子の座りごこちで大事なのは、座面よりもむしろ背もたれで、背中の個性に合った背もたれをあてがってやることが肝心である。

最近では、事務椅子にも、いろいろなものが出回ってどれを選んで良いのか難しい。だが、基本は簡単で、衣服を選ぶと同じように自分の気に入ったものを選べばよい。その際、背もたれに注意する。オフィスでは、同じメーカー、同じタイプの椅子を皆そろって使用することなどない。各人が気にいったものをそれぞれに使えばよい。まして、住宅ではダイニングセットなど、セットで同じ椅子をそろえる必要など全くない。家族それぞれが自分自身で自分の椅子を選べばよい。同じ椅子で整えなければインテリア空間がまとまらないというのはウソである。空間の個性化が叫ばれているが、人間に一番身近から部分の個性化についても見直したい。

（T．K）

人と車

私が子供の頃、道は人が歩くところだった。車といえば郵便配達の自転車の物売りの荷車が通る位で、普段は子供達の遊び場でもあった。近くの国道でさえ、たまに荷馬車やトラックが通り過ぎるだけで、ローラースケートで自由に走り廻ることができた。それが今では車が道に溢れかえり、すっかり環境が変ってしまった。

最近、家内と二人で憧れの金沢の街を歩いてみたが、やはり車の洪水で古都の情緒も台無し、全く期待外れであった。車に対する安全対策も徐々に進められてはいるが、古い街道筋や住宅街の中には、車のすれ違いさえ困難な所も多く危険な状態が益々深刻化している。特に老人や子供が車にはねられる事故が増加しているのが痛ましい。自動車が普及することによって私達の生活は確かに豊かに、便利にはなった。しかしその代償として失なったものも大きい。これからのまちづくりに必要なことは、人が安心して歩ける環境を取り戻すことであり、そのためには、たとえ車の便利さを犠牲にしてでも道路を歩行者優先にする発想の転換が必要であろう。しかし、もっと大切なことは、人が互に思いやる心のゆとりを取り戻すことではないだろうか。

（N．T）

行政技術者への期待

公共施設の公開コンペ是非論は以前から多く論じられているが、常に行政側の厚い壁に阻まれている。その最大の理由は、時間と金がかかり過ぎるうえ実績もなく技術力が未熟な建築家が当選した場合の危険性だ。

時間と金の問題については制度等の問題は残るかも知れないが、公共施設をより良いものにするために時間をかけて計画し、経費が高くついても、その流れが公開されておれば市民には十分説明がつくはずである。問題は後者についてであろう。公開コンペは実績にかかわりなく広く英知を求め、新しいアイデァとデザインを求めることに意義がある。したがって単なる無難な案で終ることには疑問が残る。仮に実績も組織力もない若い建築家の案が選ばれたとしよう。この時こそ行政技術者の出番ではないか。行政の技術者は日常の業務の中で、実績ある設計事務所と手を組み日毎、技術力を高めるため努力しており、そのノウハウは相当蓄積されているはずである。このノウハウを新しいアイデア実現のために発揮することは、とりもなおさず建築文化創造へ直接貢献することになる。すばらしいことだ。（T．T）

高齢化社会の住宅

高齢化社会の到来が情報化や国際化とかいった話題と共に最近マスコミによくとりあげられるようになっている。高齢化先進国といわれる北欧諸国の高齢者住宅をこの間テレビで見たが、そこに住んでいる老人達はそれぞれ実に快適な生活を楽しんでいる様子がうかがえる。公共が住宅政策を社会保障の一環として位置づけ、かなり早い時期から高齢者住宅に取組みつくられている。コミュニテイケアを含むいろんなサービスをも受けられる住宅が老人達のために彼等が今まで住み慣れた町で高齢者の比率に対応して供給されているとのことであった。わが国でも最近、民間のシルバー産業で医療サービス付の立派な老人マンションがつくられるようになり、すばらしい環境、設備、行きとどいたサービス等をセールスポイントにしているが、とにかく高価で一般の人にはとても手の届かないものがほとんどである。

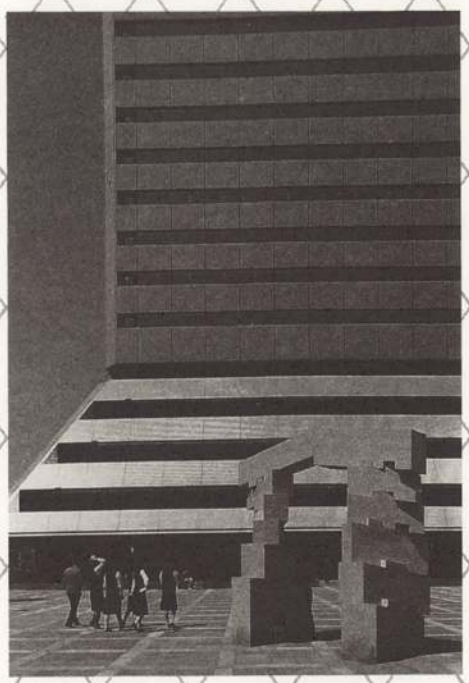
大都市圏での地価対策と共に都市住宅についても見直そうという気運の中で、今こそ公共が主導して高齢化社会での住宅政策を真剣に考え、老人が若い人達と共に近接して住み、それぞれの自立性を維持しながら高齢者が孤立しないで安心して生活ができるまちづくりに取組む時期ではないだろうか。

（H．T）

特集

建物と街並みの接点

—建物の外構—



総論●建物と街並みの接点

街並みと外構／加藤晃規

各論Ⅰ●地域計画と外構—計画論—

大阪ビジネスパークにおける外構計画／松本敏廣

ベル・パークシティの環境デザイン／今井哲也・塙哲夫

ポートアイランドファッションタウンの外部空間計画／浅野高史

各論Ⅱ●建物と外構—設計論・材料論—

子どものメイズ—アゼリアハウス「エトひろば」／上田篤・田中充子

RE 1st—丘は丘でありえるように芝生を—／大石義一

サントリーホールの外部空間／山口哲生

梅田センタービルのオープンスペース／岩本義夫

成晃学院摂津ひかり幼稚園の中庭／上原正行・茨木保

吉本ビルディングのアトリウムとサンクンガーデン／小川清一

ポケットパーク—府立青少年会館「ヤング・スクエア」／吉羽逸郎・河野哲夫

本号特集編集幹事

荒木弘之／内山修之／大木利文／水口譲／山下仁志／山田敏捷／横井征夫／平岡博／田中直人

総論□建物と街並みの接点

街並みと外構

加藤晃規

最近、まちづくりのなかの景観整備についての議論が盛んである。さまざまな立場から、街並みを魅力的に造り変えてゆこうとする気運が高まってきており、その手法についてのいろいろな研究がある。ちなみに、これらの試みを概括的にみてゆくと、①自然環境の保全、②歴史的環境の保全、③公共空間の整備、④建物デザインの規制・誘導、といった視点に大別されるようである。(1) そして、それらに共通する考え方を一言でいえば、都市空間が社会的な場である、とする認識であるように思われる。そうした理念のもとで、個々の建物なり公共施設が、社会的施設としての〈構え〉を要求されだしてきた、といってよい。

しかし残念ながら、わが国においての街並みの継続性や一体性は、ヨーロッパの状況に比べて容易ではない。土地所有権の絶対性や活発な経済活動、それに豊富な建材や構法の存在から、外国人の目からみればオモチャ箱をひっくり返したような街並みが容易に出現している。多くの識者達は、それらの現象を、都市空間が社会的な場である、とするコンセンスがないからだと批判するだろう。あるいは、都市を形づくる主体のうちに、街並みの哲学が確立していないからだと指摘するだろう。

こうした悲観論から、都市計画上の上位計画を用意することが徐々に進められてきている。最近の景観整備に関する盛んな議論も、これらの都市計画的な枠組みをいかに設定するか、これが直接の目標になっていることはいうまでもない。

しかし、そうした都市計画上の諸手段を用意することも重要であるが、他方で、個々の具体的な開発のなかで、社会的施設としての個々の建物がどのような役割を果たすことができるのか、開発主体や設計者によってそうした問いが創造的に検討されない限り、魅力的な街並みは出現しないであろう。これらの具体的な開発のなかで検討される〈外構〉は、とりわけ、街並みの行方を大きく左右するものである。

外構の発生

一般に〈ガイコウ〉といえば、敷地内の空地に関する計画やデザインを指す。訓読みすれば〈ソトガマエ〉であり、広辞苑によれば、それは〈建物の外部の構造〉というほどの意味がある。英語に直せばsurroundingsに当たる。

そうした文脈からは、計画敷地を、建物とその周囲の外構部分に分けてしまうことができる。つまり、内部空間とこの内部空間によって切り取られた後に残る残部空間の二ゾーンに分けて計画するやり方である。しかし、この種の二元論での〈ソトガマエ〉とは、あくまで建物を中心に考えたときの、周囲の付随的なあり様を指すにすぎないだろう。建蔽率60%の敷地にメいっぱい建物を建て、残りの空地について、ガレージを設けたり、専用の庭にしたり、物置き場にしたりするがごときの〈ソトガマエ〉である。そこでは、あくまで建物の機能が優先し、ソトガマエは残部空間をとり繕う意味しかもっていない。

しかもたないというのは少し言い過ぎであるかもしれない。なぜなら、こうした考え方は、建物が大自然の真っ只中に立地する場合にはきわめて当たりまえの認識であるからだ。大自然のなかでは、どんなプリミティブな構築物がつくられようとも、その構築物と周囲の自然的領域との間には、なんらかの媒介的な領域が存在する。森林を開拓して住居を設けるとき、住居の規模以上の樹林地を伐採して平坦空地を確保することを考えればよい。そこは、大自然から建物を防護するためのバッファーであったり（床が高くされてそこへの階段がつくられるように）、逆に、建物を大自然へとつなぐ庭園・菜園であったりする。もっとも素朴な場合でも、排水路が掘られたり、犬走りがつくられたり、出入口がつくられてくる。

いわば自然という残部空間を、建物へなめらかにつなぐ媒介的領域であり、そこには、機能の存在をはっきりと指摘できるのである。水の上を船が走ればその周囲に白波がたち、空を飛行機が飛べばまわりに乱流が起こるように、建物もその周囲に、必然的に、〈ソトガマエ〉をもつものである。これを、外構の発生契機ないしは発生的様相と呼びたい。

都市の建築

では、高密度に市街化された都市ではどう考えたらよいのだろうか。

周囲は自然地ではなく、同じような人工的空間である。当然、先の発生的様相とは異なる考え方が求められてくるはずだ。実際には、いわゆる外構をもたない、建蔽率100%の敷地を私達は用意しているのである。

しかし、繰り返しになるが、周囲に何らかの外部環境をつくり出さない建物単体はあり得ない。だとすれば、外構らしきものがみられない場合は、それがどこかへ転移されていると考えるべきなのである。隣の敷地へ侵入していたり、街路空間へにじみ出ていたり、あるいは建物のなかに無理やり閉じ込められているのだ。そのための歪みが種々の都市問題を引き起こしてくるのである。曰く、日照の不足、通風の悪さ、騒音、醜悪な景観、心理的圧迫感、災害の危険性、などなど。こう考えてくると、外構のない建物は、機能において欠陥のある構築物だといっても差しつかえないことになる。

そうはいっても地価の高い場所での空地の確保は容易ではない。また、個々の敷地のなかで猫の額ほどの外構にどれほどの意味があるだろうか。むしろ、複数の敷地群（街区規模）で空地や外構を考えた方が効果があるのではないか、より豊かな様相になるのではないか、そうした考え方も説得性があろう。個々の敷地には独自の外構がないかもしれないが、街区として考えてみれば、都市的スケールの外構が備わっている、という姿である。そのためにはいろいろな手続きが必要であり、たとえば壁面線指定とか建築協定といった手段があろう。地区詳細計画であらかじめ外構用のスペースを確保してゆくことも考えられるだろう。公園や広場をつくり、個々の敷地の外構計画をそこへ集中的に転嫁することもありうるし、街路空間を個々の敷地群と一体化して計画するやり方もあろう。さらに、公開空地制度を駆使したり、建物内にアトリゥウムを設けることなどもすでに行われている。

これらの都市的スケールの外構は、その具体的な様相がそのまま街区や通りのイメージを形成しやすい。それだけに、この都市的スケールの外構を計画してゆくことは、個々の敷地にたつ建築を超えて〈都市の建築—Architecture of the City〉を対象にしていることになる。ここに、都市の外部空間を豊かにする、ひいては、街並みをつくりだす外構の役割が大きく期待されてくる。

街並みということ

街並みといえば、すぐに歴史的街並みが思い浮かぶ。地域の歴史的伝統や自然的条件、それに人間の都市活動が交錯して、長い時間をかけてつくられた街並みである。そこには、社会的・風土的文脈とセットになった、特定の形態の様式があり、しかもその様式が安定的に存在している。

これに対し、特定の性格を表現しない、雑多な建物が集合する一般市街地では、街並みというものの実体があいまいである。そうなると、街並みをどのように把えたらよいのか、あるいは街並みなどということを課題にとりあげること自体、無理なことなのであろうか、そうした疑問が湧いてくる。

現行の法体系からすれば、街並みを構成する原単位は各敷地のもつ建築的様相であると考えねばならない。その所有者や開発者によってバラバラに変容されうる原則論があるからである。しかし、実際には、全く勝手な変容がバラバラに起こっているわけでもなく、その証拠に住宅地らしいとか業務街らしいとか、あるいは若者の集まる通りらしいとか風致豊かなといった街並みの形成がある。外部的な法規制のコントロールがあることはいうまでもないが、それ以外に、個々の変容のなかで、周辺環境である風土ないしは歴史的な形成文脈が解読されて、それらに対応した変容が起こっているからである。

一定の界わいにみる地区イメージが無言の社会的規範として働いていたり、有能な開発者や設計者によってそれが解読され、創造的に継承されたりすることがあるからである。とりわけ、通りとか水辺とか界わいといった、領域的ひろがりのなかでこの種の変容が考えられるのである。

とすれば、性格のはっきりしない一般市街地においても、街区レベルや地区レベルで街並みのアイデンティティを見つけ、積極的にこれを育ててゆくことは不可能なことではないように思われる。問題は、個々の敷地を超えたところにある共同的秩序に対してどれだけ敏感になるかということであり、その共同的秩序をいかに創造的に仕掛けてゆくかという積極的な姿勢の問題なのである。

街並みを左右する個々の要素が建物であるなら、この街並みの骨格となるのが街路であろう。そして、この街路空間へ建物を結びつける働きをするのが外構である。この場合の外構は、街路と建物とのあいだにひろがる媒介領域の実体だと位置づけてもよい。この街路—外構—建物という枠組みの関係性から、立体的な街並みの様相が決定されてくるわけで、したがって、

この関係性をデザインすることで街並みを操作しうると考えられる。[2] 言い換えれば、共同的秩序として、街区や通りに沿ってどれだけユニークな関係性をデザインできるか、そこに一般市街地の街並みの品位と面白さもかかっているわけである。

公と私の区別

この媒介領域としての外構について、それが公共部分なのか私有部分なのかをあまり厳密に問うと、生産的な議論に結びつかない。街を歩く人は前述の三つの要素の関係性がつくり出す立体的な景観に感動し、それらを一体的空間として利用しているからだ。官民境界（官々境界も含めて）や民々境界にあから様な境界装置が存在する様相は、しばしば街並みの貧困化につながっているし、個々の構築物を互いに対立する存在物へと押しやっている。ブロック塀や鉄条網、ガードレールやU字側溝が街並みを貧しくしている事実を挙げるだけで十分であろう。

しかし、この境界線のあいまい化は、しばしば管理上の要求と矛盾してくる。防犯上とか安全上のためにやむなく境界装置が必要になることがある。また、費用負担の問題として、メンテナンスの責任範囲を明確にしておく必要に迫られることもある。いずれも、実践的な課題としてたち現れるからやっかいだが、このような要求に対して、安易に、物理的に対応してしまえば、確実に街並みは貧しくなろう。物理的な媒介領域をひろげるとか、時間をかけて境界問題を検討するとか、その利用形態に関するソフトなルールを確立するとか、豊かな街並みをつくり出すうえで試みられるべき方法やデザインは多い。この意味で、外構の様相は地区の文化度を測る尺度だといっても過言ではない。

外構とアクティビティ

より都市的なスケールの外構ということでは、複数の街区や一団地のなか、あるいは数キロメートルに及ぶ道路沿いや川沿いの外構がある。それらはスケールの大きさゆえに、公共部分で計画されることが多く、当然のことながら、市民・国民といった抽象的な利用者の福祉に寄与することが求められてくる。はじめから骨格的な要素が設定されて、そこに公益的な使われ方や象徴的な景観を盛り込むことが意図されたりする。眺望権を設定したり、スカイラインを決めたりして、あらかじめ骨格となる風景の演出シナリオを描くこともできる。歴史の散歩道、水辺の遊歩道、ショッピングモール、空中歩廊、緑の都市軸などは、こうした大がかりな外構計画を伴うものの代表であろうが、しかし一方で、骨格的要素のスケールの大きさゆえに周囲の街並みとの結びつきが弱くなる危険性をはらんでいる。公共性の優位のもとで、個々の建物の内部空間が犠牲にされたり、画一的な景観が数百メートルも続いたり、要するに公私の区分けを明快にすることからくる、一種の空間の味気なさ、活気のなさが危惧されるのである。

ここでも、外構は豊かな街並みをつくり出すために計画されるべきである。場所の違いによる多様な景観を受け入れ、必要であれば個別的・例外的な利用形態も受け入れる柔軟なデザインが必要であろう。これらの都市スケールをもった外構も、場所ごとにとりあげてゆけば、その近くに立地する個々の敷地の建物と有機的に結びついているはずのものだから、そうした私的なものとのかかわりがなくて場所の活性化はありえない。団地などでは、防災への配慮から日常的には消防車の通らない空地が、結果として死んでしまっている例をしばしば見受けるし、周囲の街並みに開放した方がよい公園や広場をよく見かけるのである。

公共の管理になる外構部分では、常に、安全性や経済性が優先されがちである。しかし、率先してアクティビティをつくりだしてゆく広場の思想を忘れてはならない。街並みとは、そこに人間がいてはじめて成立するキーワードなのである。

外構と街並み

外構を計画するうえでは多種多様な素材の選択が可能になっている。土、石、樹木、水、建材等々、より質の高い自然的環境と人工環境を融合させるべく、選択される素材の幅は広い。しかし、街並みの景観をどのように構成してゆくのか、外構計画部分をどのような利用に供してゆくのか、そうした視点から素材を整理してみると、三つぐらいの類型に分類できると思われる。

第一はツチ系の外構である。これには裸地をそのまま利用するものから、レンガ・石・コンクリートで舗装するものまでが含まれる。このスペースの特徴は視線をさえぎる要素がないことであり、太陽の光が十分に射し込み、周囲の街並みをよくうかがうことができる。そのなかでさまざまなイベントを企画でき、建物と一体になった使い方も容易である。人が集まり、通過することを主たる行動様式に設定でき、それだけに床面のデザインがきわめて重要になる。いわゆる広場的外構の典型であるが、夏の陽射しをどのように考えるかが課題になろう。

第二はミドリ系の外構である。これは都市における自然的環

境の創出を主目的にしており、樹木や花壇、芝生などの植物を基調においている。そのため、他の人工的要素を覆ったり、隠す働きをもち、街並みも緑視率の高い景観を期待できる。自然的景観を演出することが主たる目的であるから、積極的に利用することとは矛盾する場合が多い。また、管理という面からすれば大変な労力が必要になる。植栽を終えた時点がすべての出発点であり、人工的環境のなかでその成育を程よくコントロールしてゆくキメの細かいメンテナンスが伴わなければならない。またそうでなければ街並みの豊かさを創り出せない。

このミドリ系の外構には、パーゴラや巨大遊具を設けて疑似自然を演出するやり方もある。樹木と同じように外構スペースの一部を占拠し、それによって建物と街路空間の関係をつくり出す点で共通するからである。超高層ビルの足下や大規模な建築物では、こうした外構が人間的尺度の街並みをつくるために不可欠であろう。

第三はミズ系の外構である。これは、水路を設けたり、池や噴水をセットしたりするものがある。あるいは、川や海などの水辺地の利用がある。そうした水面の存在は、その上部をオープンにする独特の空間担保力がある。またそれだけに、水面が広ければ領域が分断される性質もあり、街並みの連続感を意図する場合には、扱い方に注意がいる。しかし、高きから低きへ流れる水の本性は、街並みに方向性やダイナミズムをつくり出してくれるし、特定な機能をもたないアメニティ要素としての水は、かなり高級な街並みイメージを約束してくれる。

水の導入には、いつも、安全の問題と経済性の議論が伴う。また冬季のことを考えると水の存在の魅力は半減するという。しかし、外構の発生的契機を振り返ってみれば、それは雨水をいかに合理的に、そして美的に処理することではなかったか。水たまりのできる舗道、汚れた池、つまった排水路、それらはことごとく外構計画の不備であるとされてきた。そう考えると、水は外構デザインの基本であり、建物や都市にとって避けて通れない要素でもある。街並みを構成する技法として、このミズ系の外構がもっと見直されて然るべきであろう。

ところで、これらのツチ系、ミドリ系、ミズ系の三類型はいずれもモデル的整理であり、実際には、ケースに応じてそれらが複合的に採用されている場合が多い。しかし、このなかでどのモデルを採用するかによって街並みの性格を決めてしまうこともでき、通りや地区のアイデンティティ形成にとって有効な選択類型であろう。

車の問題

街並みを構成しようとする外構計画にとって、車の処理は大問題である。モータリゼーションの進んだ今日、車のない都市は考えられないし、むしろ、セカンドカーの時代を迎えつつあると考えた方がよい。最近では、歩車分離より歩車共存を目指したボンネルフ型の考え方が一般化して、車のない都市はますます現実感が遠のいた。

これらの車の駐車スペースは、大半が街路と建物の媒介領域にとられ、外構計画の主要な対象となっている。しかし、本来、走っている姿の方が美しい車は、駐車しておいても決して美しくはない。まして、所狭しと何台も車が停まっている光景は街並みをことごとく台無しにしている。外構計画や建物計画のなかで駐車場を隠すことができれば理想的であろうが、そこまでは無理としても、車より歩行者の方が優位に扱われるようなデザインをもっと開発すべきであろう。

街並みというとき、そこには歩行者の存在が基本に据えられている。ゆっくりと歩き、周囲の環境を読みとり、さまざまな人々と出会う、そうした体験のなかに街並みのイメージが形成され、共有されてくるのである。この基本的行動様式がない限り、豊かな街並みとか個性的な街並みとかは期待できないし、仮に仕掛けたとしても、理解されないだろう。

おわりに

外構という場合、民有敷地内の中庭や屋上も含まれるだろう。かつては、これらの外構は街並みに関係ないと考えられてきた。しかし、建物が高層化してゆく昨今、高い建物の窓からみえる景観が重要になり、空からみられる街並みを考慮した外構計画も求められつつある。

そうした意味で、高密度に市街化された都市では、あらゆる都市空間が社会的な場になりつつあるといえ、そこに存在する建築物や構築物（看板・電柱・照明器具等のアーバンファーニチュア）や土木構造物のすべてが、それなりの人間的な〈構え〉を要求されている。そうした状況での外構は、もはや建物等の付随的事がらではなく、街並みの質を直接左右する、もっとも重要な要素なのである。

注1）安田丑作「都市景観整備の実践と景観研究の課題」都市計画、138号
注2）『街並み形成活動を支援する住環境・都市計画システムに関する研究』住宅建築研究所、1985年

（かとう　あきのり　大阪大学工学部環境工学科助手、工博、建築家）

大阪ビジネスパークにおける外構計画

松本敏廣

ＯＢＰ（大阪ビジネスパーク）は、大阪市東区城見地区に位置する広さ26haに及ぶ地域で、地区の南には大阪市民のいこいのオアシスとも言える大阪城公園があり、地区の周辺は寝屋川および第２寝屋川に取り囲まれた、大阪を代表する水と緑豊かな都市景観を有する所である。

ＯＢＰは、このすぐれた立地をいかすために、新しいビジネス拠点の街として、これまで実現しえなかった街づくりのコンセプト、『公園の中の都市』ビジネスパークの建設を目ざしている。

すでにＯＢＰの街には、Twin21、富士通関西システムラボラトリ、ホテルニューオータニ大阪がオープンし、１年が過ぎようとしている。ＯＢＰは大阪城公園、大阪城ホールと一体となった街として活動し、多くの人々がおとずれる大阪の新名所となりつつある。

ウォーターフロントの位置づけ

ＯＢＰ地区における外構計画のポイントは、計画地区外周を取り囲む水辺に面して配置されている延長約２kmに及ぶリバーサイドプロムナード公園である。

リバーサイドプロムナード公園の特色は、大阪都心部の河川で見られる護岸壁の立ち上がりによって水辺が身近に取り込まれていないロケーションが多い景観上の問題を、ＯＢＰ地区は上町台地の北端に当たる立地性から地盤が高いため（大阪梅田地区より約５m高い地盤高）、河川の護岸壁を作らず、河川敷を利用して水辺に近づける断面構成となるよう計画されていることである。

このことによってリバーサイドプロムナード公園は、水と緑によって構成される中之島、桜の宮公園との連続性を確保し、大阪城公園と一体になった都市景観を積極的に演出することとなった。

さらに、公園の緑化ゾーンは河川対岸からの景観および大阪水上バスから（水面から）の景観にも配慮し、公園の幅員11～14mに加え、公園に沿ったＯＢＰ外周道路7.5mと、さらに各宅地外周部の建築協定によって確保される幅員６mの協定緑地ゾーンとを一体化させるデザインとなっており、各宅地における建物の完成時には実質的に24.5～27.5mの幅のある緑のプロムナードゾーンを形成することとなる。

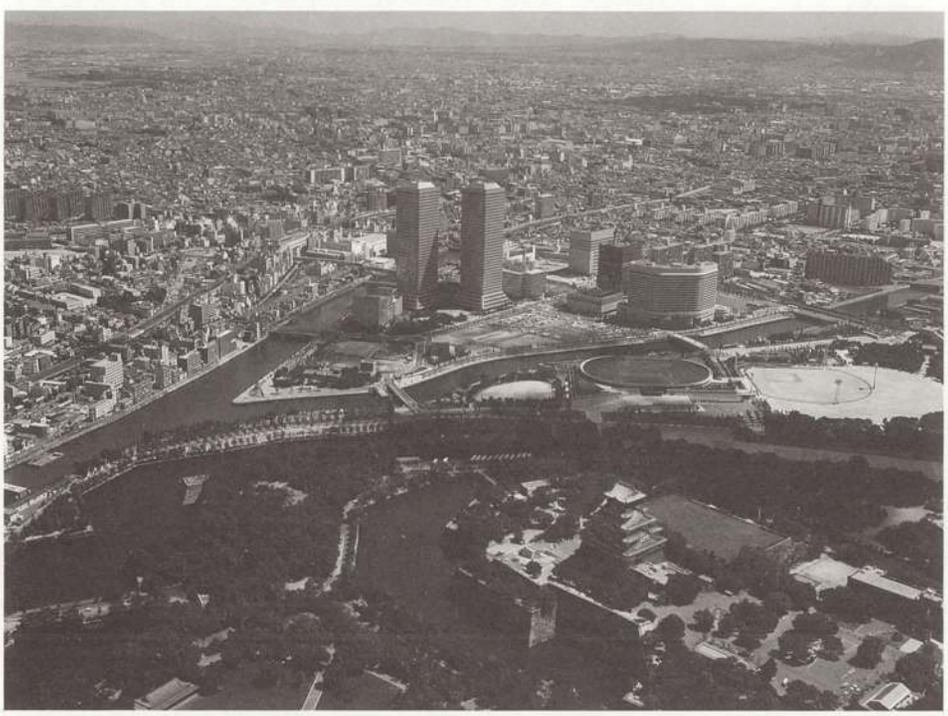
スーパーブロックとオープンスペースデザイン

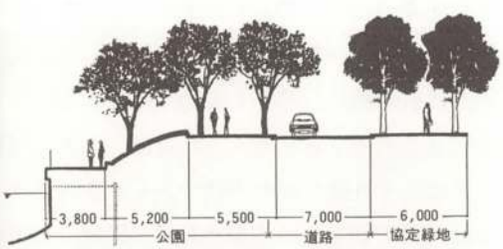
ＯＢＰ地区の外構計画のもうひとつのポイントは、オープンスペースデザインである。

ＯＢＰのまちづくりの特色は、26haの区域が５つのスーパーブロックによる構区で形成されており、それぞれの街区外周部は建築協定により、６mと10mの協定緑地（壁面線の指定）が確保され、道路空間への演出をおこなっている。

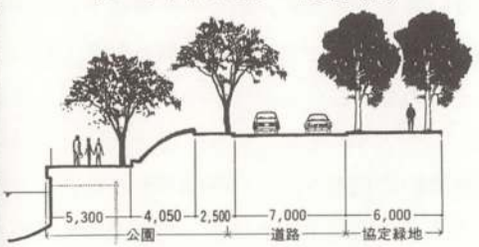
さらにスーパーブロックは、建築協定により４割は空地とされ、さらにその約半分は総合設計制度の公開空地となって、大きなエントランスプラザやイベントプラザであったり、豊かな緑と花のある緑地であったり、時には屋根のある広場として演出されるよう計画され、公園の中の都市、大阪ビジネスパークにふさわしいオープンスペースデザインが計画、実行されている。

（まつもと　としひろ　株式会社日建設計大阪スタジオ計画主管）





リバーサイドプロムナード公園（北）



リバーサイドプロムナード公園（南）

ＯＢＰのウォーターフロントデザイン

◀水と緑の大阪と連続するＯＢＰ

各論□地域計画と外構—計画論—

ベル・パークシティの環境デザイン

今井哲也／塙哲夫

昭和40年代に始まる三井不動産の大規模住宅地の開発は、宅地造成、戸建住宅、中高層集合住宅の分野で事業を展開してきている。これらの住宅開発においては、当初から環境創造を基本理念として、その土地のポテンシャルを生かし、周辺環境との調和を考えながら特徴ある住宅開発を行ってきている。

これらの経験を通して私達は環境の大切なことを学んだ。「人々が自然との対話を求めていること」、「その自然を背景として人と人とのふれあい、コミュニティを求めていること」である。

昭和58年、第3回「緑の都市賞」（読売新聞社、都市緑化基金主催）で三井不動産が「建設大臣賞」を受賞したのは、住宅地におけるこのような「緑を背景としたコミュニティの充実」が評価されたようである。

21世紀に向けてわが国の経済社会が変化する方向として国際化、高齢化、成熟化が言われているが、これらの変化に対応しつつ、活力のある居住環境を形成することが「新しいふるさと」として住宅開発において必須の条件となる。

「地域環境を考え、快適でうるおいのある街づくり・人々のふれあいのある街づくり」、これらを基本理念として、21世紀へ展開する街づくりをめざしたのが、「ベル・パークシティ」である。

環境デザインの目標

今日の住宅問題は地価高騰、都市構造の跛行、環境の悪化等により深刻化した結果、量から質の時代へ、モノ中心からヒト中心の時代へと変化し始めている。都市中心においては高層高密化が余儀なくされ、これにより生み出された空地、外部空間をどう質的に高めていくかが私達の最大の課題であった。

集合住宅の特徴は、豊かな外部空間であり、この空間はコンクリートで仕切られた住戸内での生活を補完するのに欠かせないものであり、「緑を背景としたコミュニティの場」を形成する上で最も基本となるものである。したがって、私達にとってこのような「コミュニティを育成する器」をどのように作っていくかが計画上の最大のポイントとなってくる。

まず「住み・働き・憩う」といった都市生活本来の姿を実現することである。都市居住においてはさまざまな利便性が確保されており、そういう中で休日の感覚、すなわち「遊・休・知」といったものを日常の中に持ち込み充実させることであろう。そうした日常の中では集団の場をより豊かにし、あらゆる世代、男女が参加できる趣味、娯楽、文化、運動等諸活動の場を確保することが充実した「コミュニティライフ」を実現することとなる。子供から老人までのあらゆる世代が人と人、人と自然とのふれあいの中で、その街に参加できるとき、そこにふるさとの意識が芽生え、永住の地になっていくと思われる。

このような「新しいふるさとづくり」こそ環境デザインの目標であると考えている。

環境デザインの実施手法

環境デザインの目標を実現するための具体的方針として、以下を挙げる。

（1）安全でわかりやすく美しい街並みを形成すること。
（2）その土地の持つポテンシャルを原風景として再創造すること。
（3）多様なコミュニティ空間を演出すること。
（4）緑が多いこと。
（5）幼児・児童の安全な遊び場を実施すること。

さて、ここでは「環境デザイン」という技法を提案しているが、従来、住宅開発においては、建築・土木・造園などといったさまざまな分野の専門家がおのおののテリトリーを計画していくといった手法が一般的である。「緑を背景としたコミュニティ空間」を創造しようとするとき、これらの専門分野が総合的に組織化され、計画設計を推進していかなければならない。

私達は最初の面開発である千葉ガーデンタウン以来、この組織を「広場会議」と呼んでおり、街路空間、広場空間からロビー空間に至るまでの「環境デザイン」を実施してきている。さらにコミュニティに対する仕かけ、イベントの提案、住民との共同設計なども実施している。

ベル・パークシティにおける「広場会議」のメンバーは事業主、建築設計事務所、建設会社、販売会社を含む開発に関係するすべての人々で構成されており、特徴はメンバーとして芸術家を多数参画させていることである。彫刻家、画家を主体としているが、その結果、オリジナル性の高い空間が形成されている。

ベル・パークシティ

計画の背景および理念

西日本の中核である大阪市は、昭和30年代、重化学を中心とした生産型都市としてめざましい発展を遂げた。しかしその後のさまざまな要因により、現在、人口流出、商工住混在街区の残存等の都市構造の跛行性、およびそれらに付随する公害、防災等の諸課題に直面するに至っている。このような状況のもと、今、21世紀に向けての都市づくり・地域づくりプロジェクトが展開されつつある。

ベル・パークシティもこのような背景のもとに昭和54年からスタートした。開発にあたっては、「住み・働き・憩う」といった都市生活本来の姿に戻るともいうべき、大阪市の300万人呼び戻し構想に基づき、約3600戸の住宅を中心に各種関連施設を盛り込んだ再開発事業とした。

計画の概要

当計画敷地は、旧淀川の河岸に位置し、梅田から北東3kmという準都心地にある。旧用途は、鐘紡（株）淀川工場等であり、周辺は、町工場等の多い商工住混在地域となっている。

計画の基本については、当社の大規模集合住宅地での経験の蓄積

ベル・パークシティ

全体計画概要

事業主体：三鐘都市開発株式会社・三井不動産株式会社・カネボウ不動産株式会社・株式会社デベロッパー三信・進和不動産株式会社

所在地：大阪市都島区友渕町１丁目８番地他

地域・地区：準工業地域・一部住居地域・準防火地域
容積率200%（一部300%）・建ぺい率60%

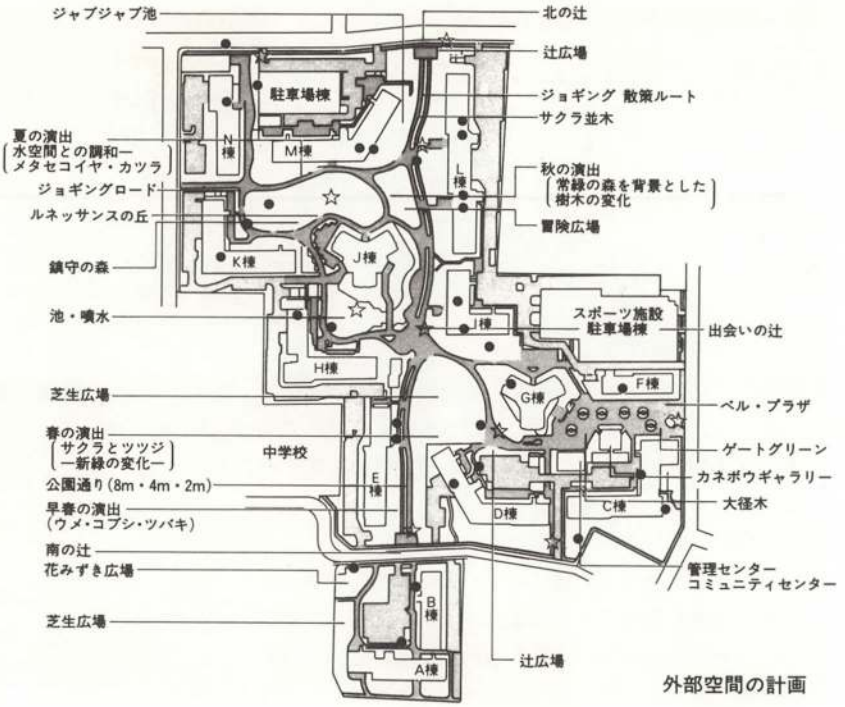
敷地面積：152,590㎡

計画戸数：3,619戸（予定）

計画人口：12,666人（3.5人／戸）（予定）

土地利用：建ぺい率28%・空地率72%・容積率248%（予定）

	地域・地区	敷地面積	住戸数	容積率
画地Ⅰ	住居地域　200%	10,361㎡	292戸	269%
画地Ⅱ	準工業地域・一部住居地域 200%	105,718㎡	2,785戸	256%
画地Ⅲ	住居地域　200%	24,559㎡	492戸	190%
画地Ⅳ	準工業地域　200%（一部300%）〈247%〉	4,624㎡	—	281%
画地Ⅴ	準工業地域　200%（一部300%）〈244%〉	5,262㎡	—	289%
画地Ⅵ	準工業地域　200%（一部300%）〈242%〉	2,066㎡	50戸	240%



外部空間の計画

外構主要施設の仕上（＊実施または案）

種別	施設名称	内容	数量	仕様／グレードA	B	C
通路	公園通り	W2.0+4.0m、辻広場	3,400㎡	タイル、＊レンガブロック	＊インターロッキング、特殊平板	コンクリート平板、コンクリート、アスコン
	敷地内通路	W4.0m	6,000	タイル、レンガブロック	＊インターロッキング、特殊平板	コンクリート平板、コンクリート、アスコン
	〃（サービス）	W1.5~2.0m	1,500			＊コンクリート、アスコン
	外周遊歩道	W2.5m	1,800		＊インターロッキング	カラーアスコン
広場	ベルプラザ	100×30m	3,000	タイル、＊レンガブロック	＊インターロッキング	コンクリート平板
	大池	60×70m	1,300	＊自然石	＊コンクリート加工	
	冒険広場	40×50m	1,800	＊木製遊具、ジャブジャブ池		
	鎮守の森					
公園	中央公園　北公園		4,300、500㎡	＊北の広場	＊芝生広場、P.L、P.L	
S.F.	時計塔、彫刻、パーゴラ			＊ベル広場(雲)、南、北の辻(波)、中央の辻(泉)、出会いの辻(人)、鎮守の森(地蔵、祠)、時計・パーゴラ		
駐車場			16,000㎡		インターロッキング、カラーアスコン	＊アスコン
遊び場	トットロット	各棟		＊舗装(木レンガ・木すのこ)、幼児用遊具・ベンチ		
	プレイロット	4ヵ所		＊舗装(レンガ・真砂土)、木製コンビネーション遊具・ベンチ		

を生かし、さらに発展させることにより、市街地内での環境創出を大きな柱として、「美しい公園都市の創造」をテーマに据えた。

具体的な計画テーマについては、①定住型都市住宅の供給、②水と緑のシティルネッサンス、③オープンな環境の創出、④賑わいと文化の演出、を設定し、計画の策定にあたった。

環境デザインの特徴

計画敷地は、画地Ⅰ～Ⅵ（約15ha）の６つの区画からなり、計画の中心的存在である画地Ⅱでは、板状住棟の内側に超高層住棟を２棟建てることによって、広い中庭空間を確保することができた。この中庭空間を中心に前述した４つの方針を展開するにあたり、美しい公園都市に日常生活の「安らぎと出会い」を演出することを主題として、「歴史と文化」「歩行者と遊び」「水と緑」の３つの視点から街づくりを進めた。

面・多様なオープン・スペース　画地Ⅱには、広さだけでなく、用途の異なる４つの広場を設けている。

東のベルプラザ（約3000㎡）は、彫刻（雲）や噴水、時計塔等と大径木を中心とした植栽で構成され、ゲートとしても、カネボウギャラリーおよび超高層住棟の前庭としても文化的な雰囲気を形成する。

中央南の芝生の広場（約5000㎡）は、子供達の多様な遊びを吸収する原っぱであり、スポーツ広場であり、集会、盆踊り、花火大会などのお祭り広場でもある。

中央北の池の広場（約4000㎡）は、約1300㎡の水面を有する池を中心に、大阪の水の都のイメージを残した涼感のある空間である。

北には、住民の郷土の森ともなる鎮守の森（約6500㎡）がある。土を盛り、丘をなし、散策の小径がめぐり、その東側には、遊びの水であるジャブジャブ池や活発な児童のための冒険広場がある。

線・いろいろな「みち」　敷地外周部には幅員2.5mの遊歩道を設け、大阪市の歩道と合わせると幅員4.75mの並木道が出来る。敷地内において「みち」は、歩車分離されており、車から隔離された歩行者のための安全空間である。大きな軸として画地Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを南北に縦断するのが桜の並木道「公園通り」であり、そのほか、「みち」は８m・４m・２mと幅員を変えた構成を行い、利便性とプライバシーとの調和を図っている。

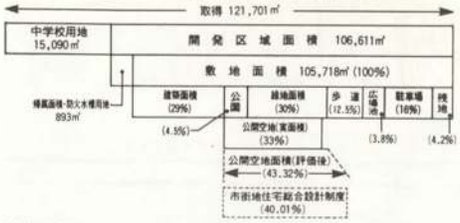
点・遊びと出会いのスポット　トットロットは、３・４歳前後の幼児を対象とし、保護者の監視のもとで雨天でも遊べるよう各棟足元に配置している。プレイロットは、５・６歳前後の児童を対象とした遊具中心の遊び場で、２～３棟に１ヵ所の割で配置している。このように、利用年齢に応じた遊び場を設けるほか、前述した鎮守の森、冒険広場、芝生広場などが、より活発な遊びのためのスペースとして用意されている。

人は歩き、出会えば立ち止まり、言葉を交わす。そこにコミュニティが発生する。ここで計画された出会い辻は、こうしたアクティビティーの器として、配置されており、ベンチや彫刻が置かれ、床はレンガや大理石モザイクなどの模様貼りのアートペーブで、楽しさの中での出会いを演出している。

緑化計画

集合住宅地における緑の意義は、①都市景観の向上、②「新しい

ベル・パークシティ画地II土地利用計画



緑化計画

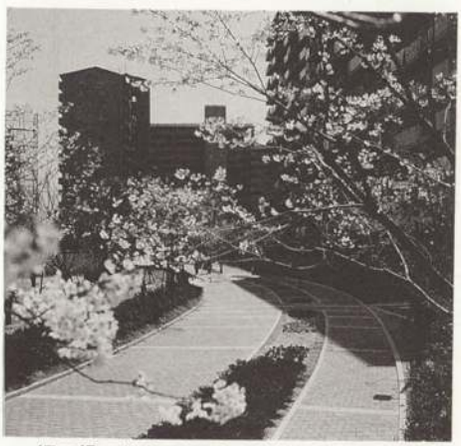
	画地 I	画地II	画地III	合 計
開発区域面積	10,361㎡	105,718	24,559	140,638㎡
計画戸数	292戸	2,785	492	3,569戸
緑地面積	3,480㎡	31,550	8,600	43,630㎡
植栽樹木数	7,600本	71,000	18,200	96,880本

主要植栽樹木

〈高木〉 アラカシ、クスノキ、シイノキ、マテバシイ、ヤマモモ、イチョウ、ケヤキ、コブシ、サクラ、モミジ等

〈中木〉 ウバメガシ、サザンカ、ツバキ、ネズミモチ、モクセイ、モッコク等

〈低木〉 アセビ、カンツバキ、クチナシ、ツツジ類、ジンチョウゲ、イヌツゲ、アジサイ、ハギ、ヤマブキ等



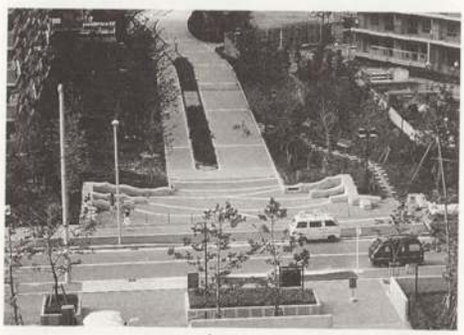
旧工場のサクラ200本を移植した公園通り



ベル・プラザ



プレイロット



南の辻



トットロット



中央の辻



ロビー

ふるさと」の創造、③庭都市の形成、④自然度の高い緑地の造成、といったことが考えられる。ベル・パークシティにおいても、それらの意義を十分に踏まえ、下記のような方針のもとに計画を進めた。

情景のある空間（名所空間）の形成　都市生活の中に四季の景色が出現する空間の形成を行っている。春のサクラ、ツツジ、新緑、夏の木陰、秋の紅葉、冬のサザンカ、ツバキ、枯木立等と、これらを背景とした印象的な空間の演出である。

公園通りは、旧工場のシンボルとして正面からの通路に並木として植栽されていたサクラをテーマに、計画地内より約200本を移植してサクラ並木を再生する。

常緑照葉樹林（鎮守の森）の造成　本格的な、より自然度の高い森をつくることは、住民のシンボル空間として位置づけられ、人工的素材を中心とした住宅地ではオアシスとなる。このように時とともにより多様で安定した生活環境を提供するべく、広いスペースに常緑照葉樹を主体とした樹林地を計画している。

わかりやすい街並みの形成　緑の構成により、空間を特徴づけ、わかりやすい街並みを形成する。計画では、主要な入口部にゲートグリーンとして、クスノキ・ケヤキ・イチョウ・プラタナスといった景観木で導入部を明確に意識させ、また、住棟への入口にはポケットコートとして、おのおの個性のある演出を施し、棟のシンボルとなるテーマ樹を設けている。

建築物と調和する景観構成　高層建築物の及ぼす景観上の影響は、主に圧迫感であり、これを緩和し、より美的でヒューマンスケールをもった景観に修景するために、超高層住棟に対しては、大径木あるいは、樹林等の緑のマスにより、圧迫感の解消を図っている。その他、散策路においては並木により板状住棟との景観の調和を図り、敷地外周部においては緩衝林により街路の修景を行っている。

既存樹の活用　計画にあたっては、旧工場敷地において生育良好な高木約500本を再利用することとした。とくに並木として親しまれていたサクラ、高さ10mを超すクスノキ、タイサンボク、アキニレ等は、歴史を継承するものとして、積極的に取り入れている。

おわりに

集合住宅が都市における重要な生活基盤となってきた現在、確固として開発理念と繊細なデザインが必要とされるのは当然のことである。そしてその群としての大規模集合住宅地を建設することは、すなわち「都市環境」を創出することなのである。

「都市生活」の本質を考えるとき、そこに展開される環境がいかに大切かは、誰もが理解できることであろう。子供達はその街で生まれ成長していく。人間性豊かな大人に育つための基盤は、すぐれた環境である。また居住者が自ら外部環境に働きかけ、外部空間を生活の中に位置づけ、「新しいふるさと」が生まれ、本来の都市生活が始まると言えよう。

私達の用意した「コミュニティの器」がどのように「都市」で生き続けるか、都市景観に貢献するか、今後とも入居者の声に耳を傾けながら21世紀の街づくりへ展開していきたい。

（いまい　てつや　三井不動産株式会社大阪支店住宅事業課課長代理
はなわ　てつお　東洋造園土木株式会社営業二部副部長・技術士）

各論□地域計画と外構—計画論—

ポートアイランドファッションタウンの外部空間計画

浅野高史

ファッションタウンの構想

昭和56年、ポートアイランドの完成を記念して神戸ポートアイランド博覧会——ポートピア '81が開催され好評を博したが、その会場跡地が“ファッションタウン”である。昭和62年9月現在でファッション関連の企業25社が建物を完成させ操業中であり、最終的には38社の進出が予定されている。

開港によっていち早く西洋文化と出会った神戸は、ハイカラなまち、エキゾチックなまちとして知られ、ファッション都市としてすぐれた条件に恵まれていたが、神戸がファッション都市づくりを一つの明確な目標として掲げ、歩み始めたのは、昭和47年7月、市長の「ファッション都市づくり」の表明からである。翌48年には神戸商工会議所が「ファッション都市化」を提唱し、ここに「公共」と「民間」の協力によるファッション都市づくりがスタートすることになった。

“ファッション”はともするとアパレルを中心とした産業分野に限定されて解釈されるきらいがあるが、神戸の場合、これにとらわれず、人々の生活全体——衣・食・住・遊といったさまざまな面で、豊かさを生み出す産業をファッション産業としてとらえている。さらにファッションを産業のみでなく、市民、広くはまち全体のものとしてとらえているのが特徴である。

このような理解のもとに、ポートアイランドの一つの顔であるファッションタウンは、街ぐるみ一つのファッションとなることが要請された。すなわち、ファッションタウンは、基本的にはファッション卸売業務のまちであるが、まちそのものがファッション性をもち、そこに働き、憩い、集う人々と相まって、神戸らしい、明るく、そしてハイセンスな街づくりが必要とされたのである。

ファッションアベニュー基本計画

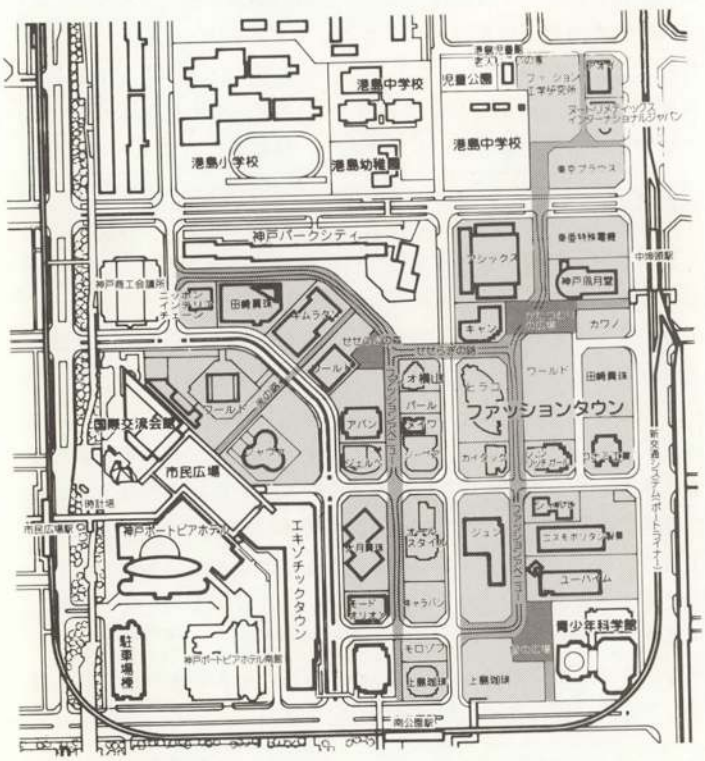
ファッション性の高い街とはどのような街をさすのであろうか。まず第一に、多様な価値観のもとで計画される個々の建築物の調和を図りつつ、質の高い、個性のある街である必要があるだろう。さらに加えて、主要な道路空間（公共空間）を軸として、公私両空間の接点に着目し、調和と統一のとれた外部空間の形成が大切である。

このような観点から、ファッションタウンの外部空間計画では、以下のような基本事項が定められた。

(1) 動線処理と街路の性格づけ

ファッションタウン内の街路を、ファッションアベニュー（歩行者専用道と人車共存の道路）と一般街路とに区分する（図—1）。ファッションタウンにおける物流機能（商品の集配送）は一般街路に分担させ、ファッションアベニューは歩行者および乗用車のみとして、貨物車および大型車の走行は認めない。

このような街路の性格づけに伴い、ファッションアベニューは歩道部分、車道部分ともにインターロッキングブロック舗装とした。



図—1 ファッションタウン □ファッションタウン ■ファッションアベニュー



図—2 ファッションアベニュー・光の路(みち) -樹々を照明でデコレーション。公私両空間との一体的整備で幅員に拡がりをもたせている。

車道部分のインターロッキングブロック舗装は、アスファルト舗装との差別化によって、運転手にファッションアベニューが歩行者系道路であることをイメージづけるのをねらいとしている（図―2）。

さらにファッションアベニューでは車道を蛇行させることにより、車の走行にある程度の制約を与え、人間優先の街路空間とするとともに、視覚的な変化、リズムを演出した。

また、ファッションアベニューでは、すぐれた街路空間の形成へ向け無電柱化を図った。

(2) 空間構成の演出――導入部、交差点、ポケットパーク

市民広場や周囲の一般街路からファッションタウンへの導入部においては、サイン、植栽、照明等によってファッションアベニューの入口を演出した。また交差点では街かどの小広場を計画し、植栽の工夫等によって景観にメリハリをつけている。さらに、歩行者動線の要所にポケットパーク（せせらぎの森、かたつむりの広場、星の広場）を設け、民有地内の小広場、公園等との一体的計画により、ファッションアベニューに変化と奥行きを与えた。せせらぎの森はポートピア '81の際の休憩所をそのまま保存したものであり、かたつむりの広場にはその名にちなんだモニュメントが置かれている。また星の広場にはちょっとした運動のできるアスレチックファニチュアが設置され、人々を楽しませている（図―3）。

(3) 半公共空間の整備

ファッションアベニュー基本計画の最大の目的は調和と統一のとれた外部空間の形成にある。そのためには街路や公園といった公共部分の美しさだけでなく、進出企業の建築敷地と公共部分とのつながりが適切でなければならない。こうした見地から、ファッションアベニュー沿いの壁面後退部分（半公共空間）の整備についてつぎのような方針を定めた。

建屋周辺　道路からの壁面後退は3 m以上とし、塀の設置は禁止する。壁面後退部分の舗装は公共部分の舗装仕様に準ずることを原則とし、段差等は設けない。各建屋への導入部分には、各企業間で仕様統一を図ったサインにより企業名の表示を行う。

ファッションアベニュー沿いの植栽計画　壁面後退部分に限らず街路から直接見える部分の植栽については、公共部分の植栽との調和に十分注意する。

ポケットコーナー　壁面後退部分にはポケットコーナー（ベンチ等を設置した休憩コーナー）を設置し、一般市民に開放するよう努める。ベンチ、クズいれ等の形状は各企業間で統一する。

ショーウィンドウ　ファッションアベニューに面して、各企業はショーウィンドウ等を設置し、一般歩行者の目を楽しませるように工夫する。または、建物内のショールームをガラス越しに見せるなどの建築平面計画上の対応も考える。

個々の建築物の意匠の検討（形態・材料・色彩等）と合わせ、以上に示す方針に基づく半公共空間の整備の検討をへて、ファッションタウンの建設はすすめられている（図―4）。

(4) サイン、ストリートファニチュア、植栽、屋外照明の計画

ファッションアベニューの空間構成要素であるサイン、S.F、植栽、屋外照明について、公共空間を対象に、基準となる仕様を設定した。これらの仕様は、前述の半公共空間の整備にあたって、調和を図る見地から参考とされている。

たとえばサインではその種類、書体、色彩、ピクトグラム等を定め、まちの認識度を高めている。また、S.F、植栽、屋外照明については、標準仕様や設置の基準を定め、統一のとれた街路空間の形成をめざしている。

ファッション都市神戸へ向けて

ポートアイランドファッションタウンの経験は、いま、第二の海上文化都市六甲アイランドの街づくりに生かされている。また、異人館を中心とした北野界隈、明治の面影の残る旧居留地、ウォーターフロントの再開発メリケンパーク、ハーバーランド等、ファッションタウンとともにファッション都市神戸の特色ある核となる地域の整備がすすめられている。さらに景観に配慮した道路網でこれらを結ぶ試みも始まっている。ファッション都市神戸の実現へ向けて、今後ともこれら点と線の両面からのアプローチが大切である。

（あさの　たかし　神戸市開発局計画課）



図―3　星の広場のアスレチックファニチュア



図―4　リオ横山ビルの前庭 ――建物コーナー部分を雁行状にセットバック。半公共空間の舗装、植栽はせせらぎの路(みち)との調和を図っている。

子どものメイズ――アゼリアハウスの「エトひろば」

上田　篤／田中充子

弱者は、自分のテリトリーの中では強者の侵入に対し防衛することができる。それは、多くの動物についてもいえることである。また、人間にとっても同じことがいえる。

> 動物は自分のなわばりの中心に一番よくなじんでおり、そこにいる時その動物の戦意が最も盛んだということ。言いかえると、動物が「最も安全だと感じている場所」、つまり攻撃が逃走の気分によって抑圧されることの最も少ない場所にいるときは、最低値の刺激によって闘争が起きるということである。この「本営」から遠ざかるに従って戦意も同じ割合で減少し、周辺に近づくにつれ動物はますます心細く、恐怖をかき立てられることになる。――攻撃　コンラート・ローレンツ著

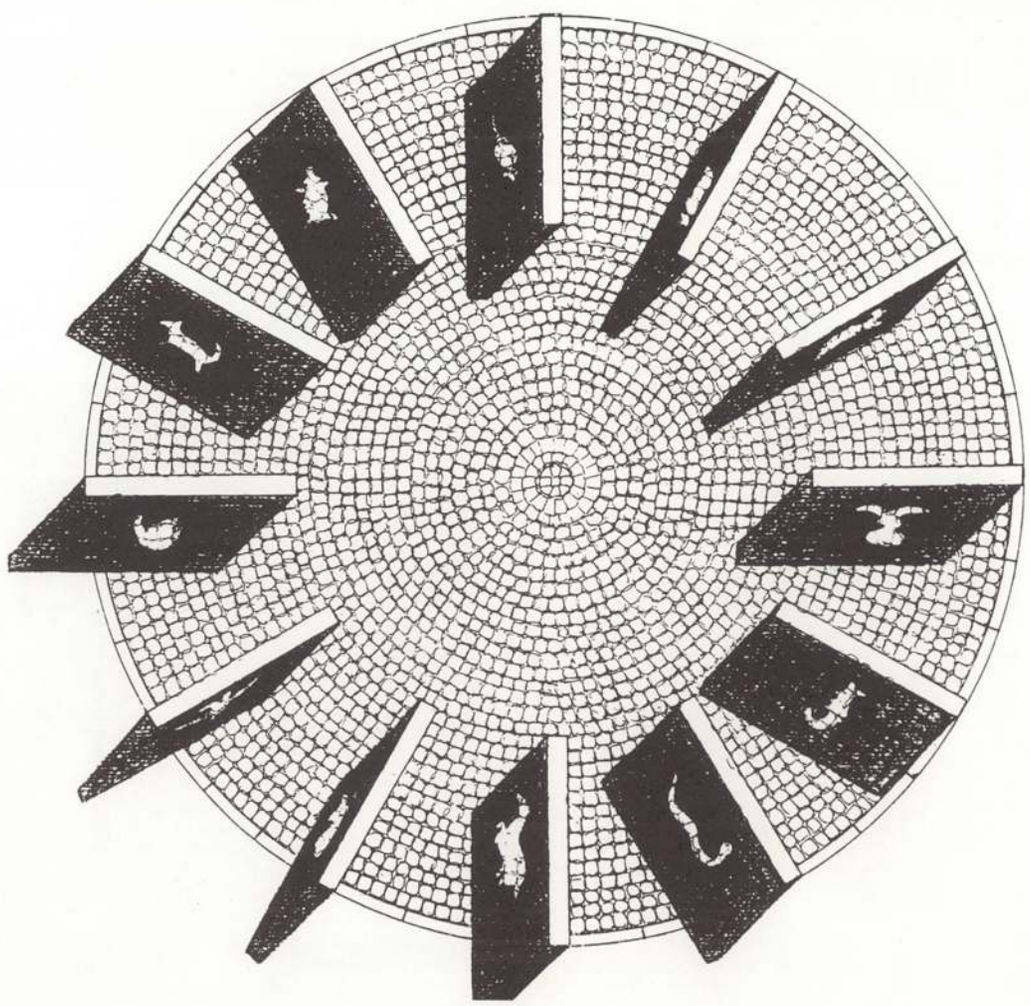
とくに、子どもにとって安全でしかも魅力ある空間をつくることは、現代の都市の中ではたいへん困難な状況にある。都市における人間の利用可能な空間が限られてき、なおかつ空間の量的拡大も求めにくいなかで、それは空間構造のなかにもとめるしかない。その意味で建築と同じように、あるいはそれ以上に外構を充実させることが大切である。

アゼリアハウスは、建設省の優良住宅の一つとして、その設計が上田篤に依頼された。当地は千里山丘陵の一部に位置し急斜面に立地するため、地形をいかした外構計画が必要であった。われわれがまず心がけたことは、公営住宅に義務づけられたプレイロットとよばれる空間を子どもにとっていかに楽しいものにするかであった。

一般に、公営住宅におけるプレイロットに備えられる主な遊具および施設は、ブランコ、ジャングルジム、すべり台、鉄棒、砂場といったものであり、しかもこれらは、どこの公営住宅も申し合わせたように画一的である。そこで、アゼリアハウスでは、つぎの三つのことを考えた。①迷路（ラビリンス）のように子供のテリトリーをつくる、②見通しのきくところもある、③ちょっとスリルがあること、である。

図のように、コンクリートの屏風状の板を放射状に12枚並べ、12のスペース（テリトリー）をつくった。そこは12組の子どもの遊び場となり、年齢や成長の度合いによってそれぞれのある種の隠れ家となる。

12枚のパネルには十二支の動物が描かれている。そしてそれぞれ動物の一部分をくりぬき、場所によっては、子どもはその穴をくぐり隣のテリトリーへ行くことができる。テリトリーは、それぞれ独



立しているだけでなく、この穴によって繋がっている。

たとえば、ネコとネズミとは、一方的にネコが優位で天敵関係にありながら、ネズミがネコに食いつくされて絶滅することはない。それは、ネコの入れない小さな穴や隠れ家、テリトリーを、ネズミはいっぱいもっているからだ。ネズミはネコの攻撃にあえば、その中で逼塞し、ネコの数が減少すれば、ふたたび増えはじめる。ネコとネズミは、エコロジカルにバランスをとって、平和的に共存している。12のパネルでつくられた空間は、半独立だが、完全に独立しているのではない。

第二は、全体として見通しのきくところをつくる。中心がそれである。ここに立てばすべてが見え、母親はひと目で子供の安全を確認することができる。

第三に、ちょっとばかりスリルのあることだ。それはパネルからパネルへの穴くぐりである。小さな子どもたちなら……。

隠れ家は子どもにとってラビリンス状であるが、母親にとってはある場所からは展望がきき、明快な空間となる。

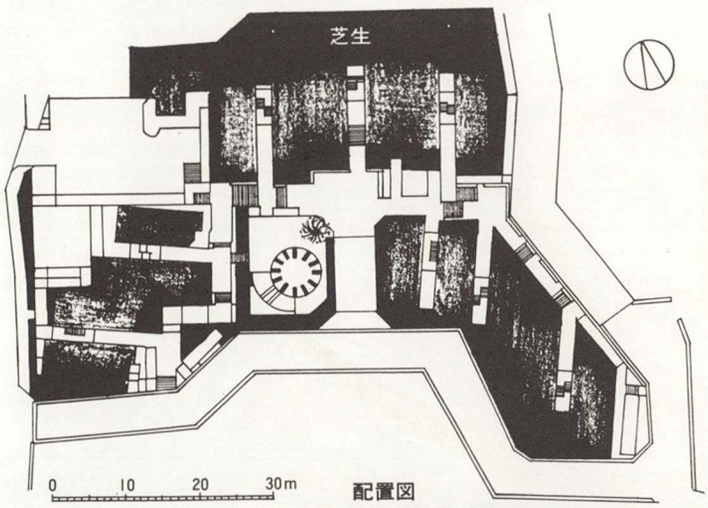
最後に、12枚のパネルには十二支のグラフィックが描かれているが、それは、エッフェル塔でも、パンダでもかまわない。ここでは、日時計を兼ねて、十二支(えと)をつかった。

住棟の外壁は白色で、ペーブはグレー。ベランダに一部、ピンクとブルーのストライプが見えかくれしている。いずれにしても団地全体のイメージは白っぽく、おさえた色調となっている。そこで、「エトひろば」では、カラーをふんだんに用いた。12枚のコンクリート打放しのパネルにペンキを吹きつけ、表と裏をそれぞれ紺とオレンジの二色で塗り分けた。その中に、十二支の動物がさまざまな色でペイントされている。

企画の段階でペイントの維持管理、またパネルによじ登ったり、くぐったりする子どもの安全性をめぐって、吹田市との間で相当議論されたが、それらは危惧でおわった。

団地入居後訪れてみると、大きな子はパネルによじ登り、小さな子は穴をくぐって遊んでいた。そして、他の団地のプレイロットに比べ、はるかに人気を博していた。ひろばの真ん中では、母親たちがさかんに立ち話をしていた。

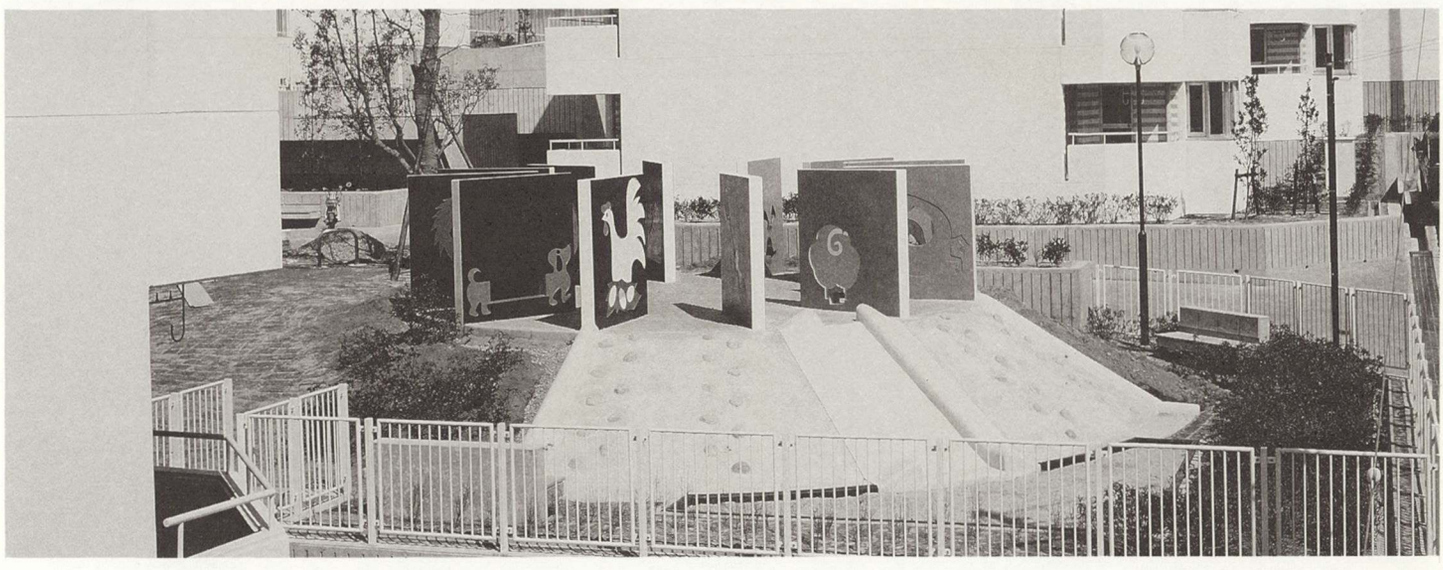
（うえだ　あつし　京都精華大学教授／たなか　あつこ　京都精華大学講師）



配置図

アゼリアハウス

建物用途　集合住宅
所 在 地　吹田市千里山月ヶ丘２番
施　　主　吹田市
建築設計　上田篤アトリエ
監　　理　小西設計
建築施工　清水建設・田中組建設共同企業体
面　　積　敷地面積　4,524.10 ㎡
　　建築面積　1,427.359㎡
　　延床面積　3,874.73 ㎡
構造規模　ＲＣ造　地上３階
工　　期　昭和59年11月～昭和61年３月



Re-1st—丘は丘でありえるように芝生を—

大石義一

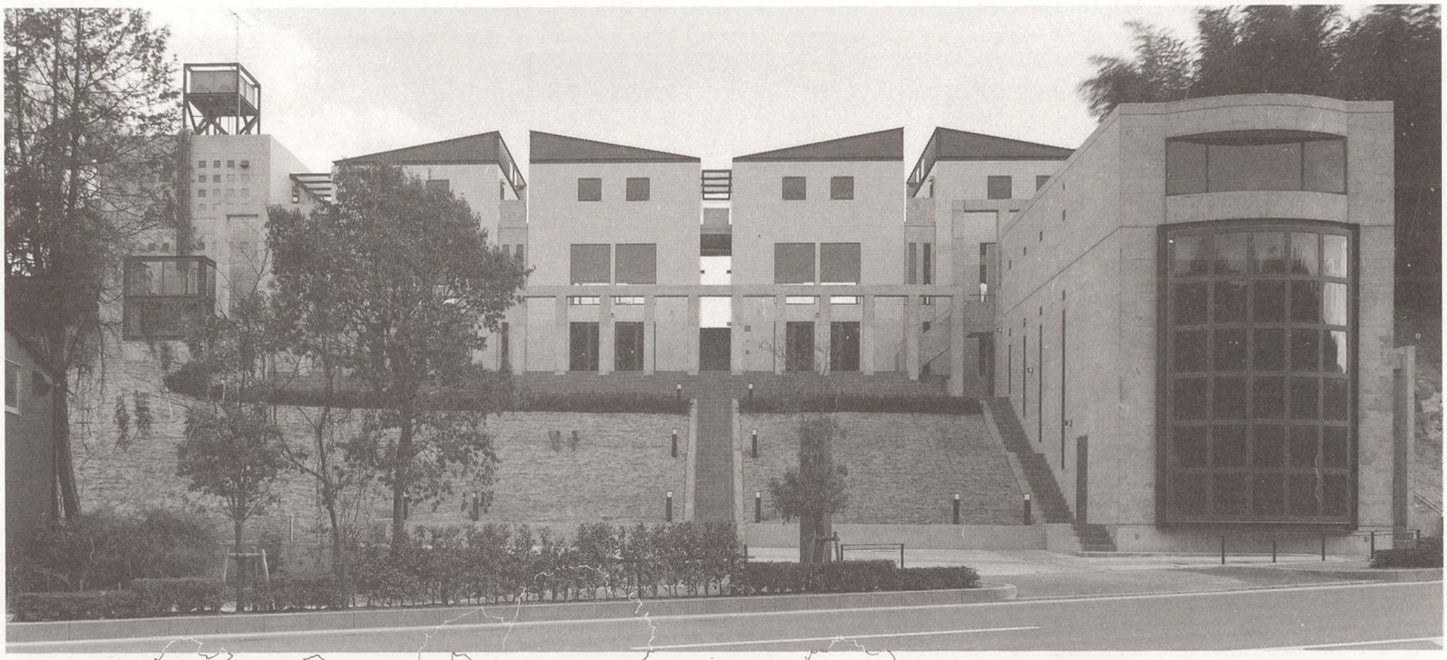
10数年前にロンドンからカンバーノールドにバス旅行した際にみた芝生の景色は、日本での地被植物の持つ陰鬱さはなく、洋々とおおらかであった。イングランドのなだらかな丘陵を被いつくす芝生と牧草には、放牧された牛や羊の群れが遠くまで点々と続いていた。それは、クリストが島々を被い、谷に幕するあの人々の心をおおらかにし、人と自然とがたわむれることを教えてくれるパフォーマンスに非常によく似たものを持っていた。

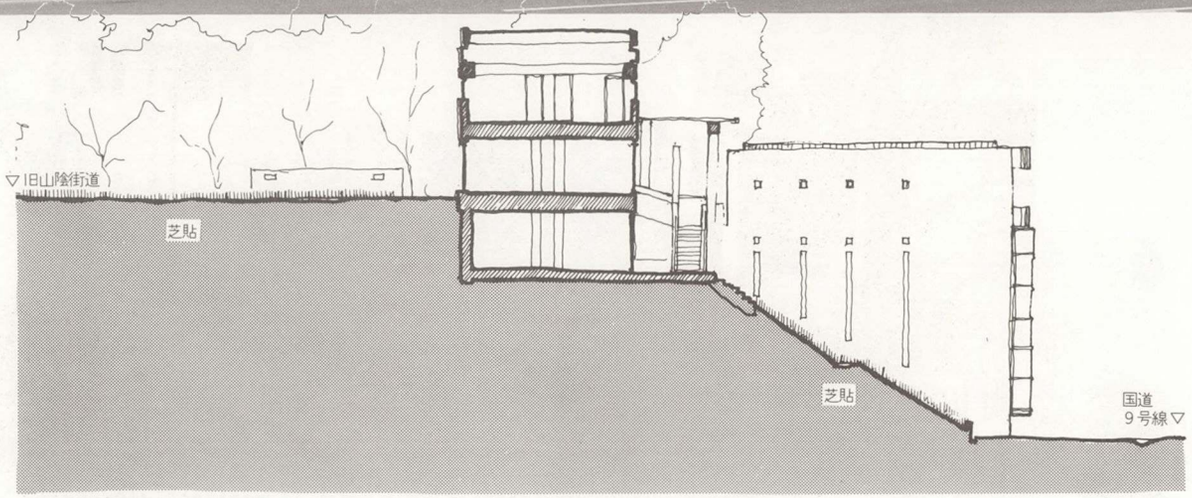
私はそれまではフランスやイタリアでみる宮殿の庭園、いわゆる中世ヨーロッパ庭園の幾何学的な植栽計画のひとつとして芝生の役割というものをみてきた。しかしそこには往時の権力者の持つ小さな満足が目立って、何となくさびしく感じていたものであった。

わが国で使われる芝生の計画手法は、この宮殿庭園型の手法に類しているようで、市役所前の広場の小さな緑地や都市公園にある芝生には、大地の息吹をみせるおおらかさはなく、緑化計画の小さな義務感だけが目立っているようである。それでなお、芝生の管理には手間がかかるとか、芝生の育成によろしくないとかの理由で一年中立ち入り禁止になっていたりする。

建物の外構計画で扱う芝生も一般的には庭園・公園型に類しているようである。ほとんどの場合、敷地外構計画の機能的優先順位からみると、芝貼りは後位に位置しているらしく、建物と道路などのつなぎめの地や、不整形な余り地、また第二次計画までの暫定処置としてのつくろいのスペースなどに多く使われる。また、芝生の施工は石やタイル張りなどより簡便であるばかりか、工事費も安価である。したがって、通常における外構に対しての残り少ない工事予算からみても、きわめて利用しやすい外構素材であると同時に、建物をひきたてる消極的な素材としても位置しているようである。そんな芝地が、都市の中にはあまりにも細切れに散らばっているようである。

とは言え、イギリスでみた広々と続く芝地と、庭園あるいは公園の芝地とは、その計画段階からして役割や位置付けがあきらかに違





っているのだから、単に一方だけを批判しても始まらないとは思う。

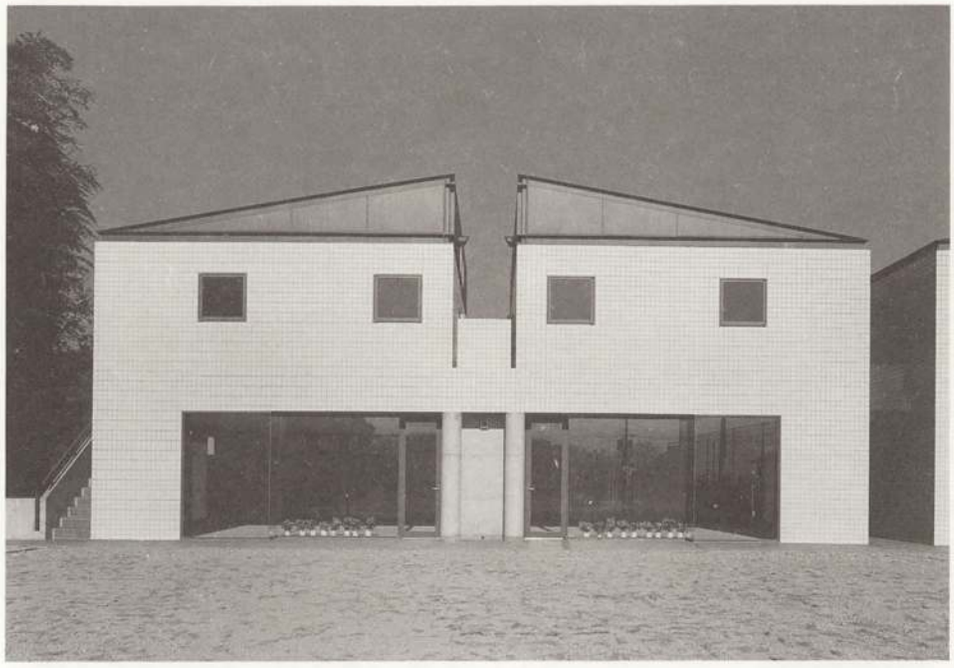
今回の Re－1st の敷地は、京都の西山連山の裾にあたる丘陵地帯の一画をなして、遠く、広く京都を眺望できる恵まれたところにある。最初にこの敷地をみたとき、イギリスの丘陵が持つあの洋々とした広がりにはほど遠いが、大地のおおらかさの記憶をつなぎとめられる敷地、すなわち丘は丘のようでありえる敷地ではないかと期待した。外構計画の中で庭園・公園型があるなら、大地からナチュラルに沸き広がるベーヴ型の手法もあってよいだろうと考えた。

計画は、敷地の北側と南側の役割をゾーニングすることから始まった。

北側は国道９号線に接し、道路からは30度ほどの勾配で斜面が上がって12mの高さの丘状になっている。商業施設という建物用途からすると表玄関になる。南側は旧山陰街道に接して、周辺は山林農地集落のはずれのように静閑としている。街道からは３mの高さの斜面なので、車でのとりつきはこちらの方が楽である。いわば、農家に入るのに〝庭をまわって縁にでて、コンニチワ〟のごとく、日常的な出入口、お勝手口である。

建物計画はこの敷地のほぼ中央に北と南を分断するように配し（一部は９号線に接する）、それぞれの敷地の部分特性を明らかにした。北の９号線側は、登り斜面のほとんどを残し、丘の上に建物がそびえる状態として、その斜面は芝貼りにし、この敷地が丘であることを記憶させた。南の旧街道側は建物の南面に平坦に広がる敷地を残し、一面の芝貼りを計画した。残念ながら工事途中で駐車台数の増を求められ縮小されたが、北の芝地も南の芝地も原則として大地の一部として扱い、無理な造成をさけた。芝貼りにしても、当初は芝生にこだわったわけではなく、大地を被う草花（クローバー、レンゲなど）がのびのびと広がっている様をイメージしていた。全体としては、地被植物としての芝貼りの中に建物が配され、外部階段や回廊がとりつくという外構計画である。イギリスのように牛や羊はいないが…。

（おおいし　よしかず　京都芸術短期大学助教授）



Re-1st

建物用途	商業施設
所在地	京都市西京区樫原盆山
設計監理	大石義一＋都市デザイン研究所（鬼丸貞利）
建築施工	東急建設大阪支店
面積	敷地面積　1,741.98㎡
	建築面積　439.55㎡
	延床面積　1,208.12㎡
工期	昭和60年１月～昭和60年12月

〈データ〉（造園施工管理・技術編より）

芝は、大きく、

- 夏型芝――夏緑で冬は地上部が枯れる芝（暖地型・南方型）
- 冬型芝――常緑芝（寒地型・北方型）

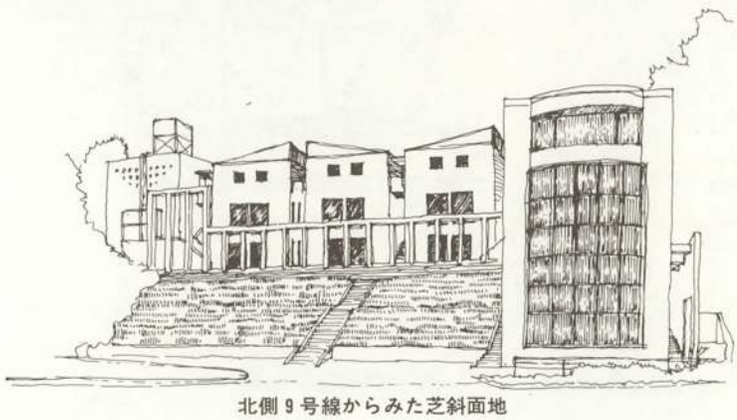
に分類され、また日本芝と西洋芝に分けられる。

日本芝の特色は、

- 夏型芝で葉質は硬い。
- 土壌に対する適応性が大きく、地味不良地に耐える力が大きい。
- 踏圧に耐える力はあるが、日陰を嫌い、１日数時間の日照を要する。

などで、温暖な気候風土のわが国には適した芝である。さらに日本芝の中には、ノシバ、コウライシバ、ビロードシバがあり、Re-1st ではコウライシバを使用した。コウライシバはわが国の造園では最も多く使われている品種で、寒地を除いた本州・四国・九州で植栽されている。葉幅は1.0～4.0mm。夏型・葡萄型・苗繁殖の芝である。

一般的に、芝生は管理作業が大変で、除草、刈り込み、目土、追肥などの世話が挙げられる。Re-1st の場合はオーナー自ら管理にあたるわけで、刈り込みのときなどは３日はタップリ要するようである。



北側９号線からみた芝斜面地



南側の平坦な芝地

サントリーホールの外部空間

山口哲生

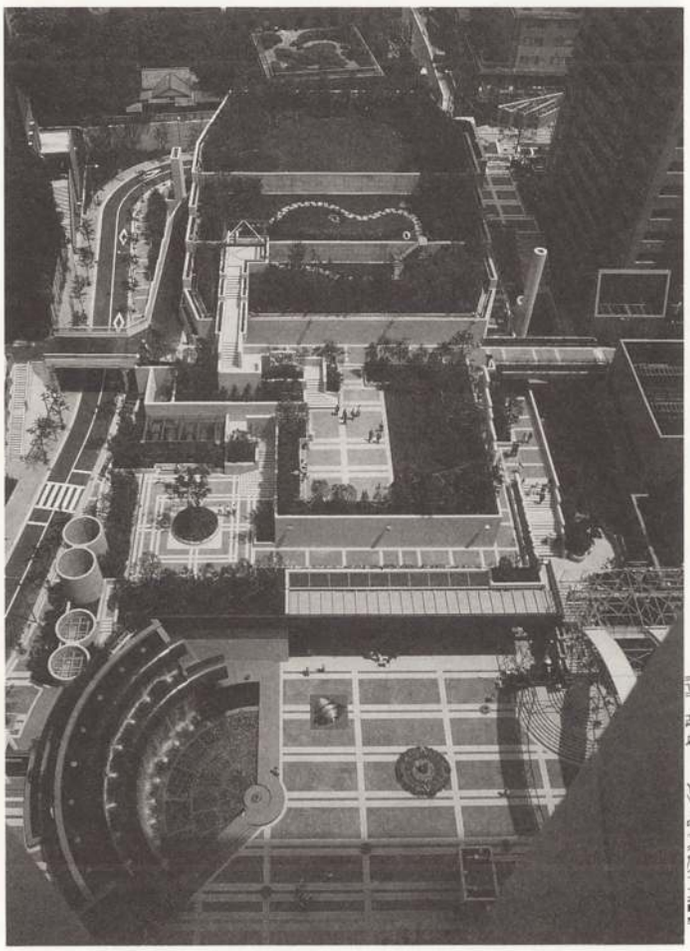
サントリーホールは、クラシック音楽専用ホールである。「音楽は演奏者と聴衆が一体となって創り、共に喜び楽しむもの」という基本コンセプトで建設された。一口にクラシック音楽といっても、14世紀から現代までに作曲された厖大なストックと、多種多彩な演奏形式、これに演奏者の個性が重なって広範な音楽の世界が展開される。楽曲と演奏者がつくる独自の抽象の美の世界に、聴く人間の反応が加わって、音楽は多くの人に喜びと安らぎの輪をひろげる。音楽を楽しむ聴衆は単に美しい音楽、響きを楽しむだけではなく、その周辺に一連の期待感と満足感を求める。

ホールといえば残響何秒といった性能基準で評価をする性能第一の考え方がとかく表面に出てくることが多いが、音楽が成立する場として、その具体的な演奏の場としてのホール内の響きは最重要事項としても、その雰囲気および全体の空間構成は、ホール内にとどまらず、街並みからホールの立地している環境、ホールの前庭、ホワイエまで音楽を楽しむための道具立てとなるように演出されて、はじめて本当の楽しみが創造されるものであり、単にホールで美しい音楽を楽しむことのみであれば、高品位テレビとオーディオ技術で十分な美しい音楽を楽しむことも、現在では可能ではなかろうか。

世界のコンサートホールの外部空間、立地環境にもいろいろあるが、「ウィーンのムジークフェラインザール」、アムステルダムの「コンセルトヘボー」、大阪の「フェスティバルホール」のように、街の中の一つの建物としてその前庭を明確にもっていないもの、ロンドンの「ロイヤルフェスティバルホール」、リンツの「ブルックナーホール」、デュッセルドルフの「トーンハレー」、東京の「都文化会館」等、都市の中でも自然環境にめぐまれた立地にあるもの、それにロンドンの「バービカンセンター」、ロッテルダルの「ドゥ・ドーレン」等、都市の複合施設の中でプラザに面したものがあるが、サントリーホールもこれに該当する立地にあるといえる。

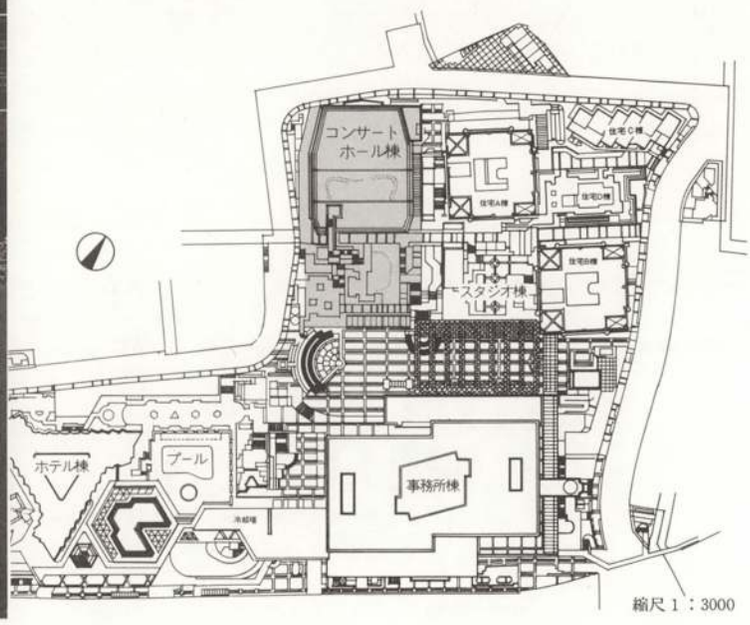
サントリーホールは、赤坂、六本木の中間に位置するアークヒルズ内に建設された。都市のアメニティーとして東京を代表する両地区にまたがり、21世紀をめざす複合施設であるアークヒルズは、都市文化としての音楽を楽しむ都市環境を十二分に備えた街を形成しているが、その中心は中央に計画されたプラザである。テレビ朝日のサテライトスタジオ、全日空ホテル、レストラン「マエストロ」、「カフェコンチェルト」「バー・マエストロ」といった施設とともに、噴水と滝、テラスパーゴラ、その他の造形物が加わって、コンサートホールとしての街並みと雰囲気が十分に演出された場となっている。

プラザ、滝、テラスパーゴラ、屋上庭園等は、入江三宅設計事務所とアメリカ在住のエキステリヤデザイナーのサッド西田氏との共



サントリーホール

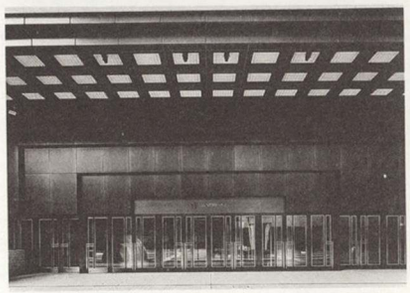
建物用途　コンサートホール
所在地　東京都港区赤坂１丁目13－１
施　主　森ビル株式会社　サントリー株式会社
建築設計　安井建築設計事務所　入江三宅設計事務所（躯体・外装）
監　理　森ビル一級建築士事務所　安井建築設計事務所　入江三宅設計事務所
建築施工　鹿島建設株式会社
面　積　建築面積　3,022.23 ㎡
　　延床面積　12,149.23 ㎡
構造規模　SRC造　地下４階　地上２階
工　期　昭和58年11月～昭和61年３月

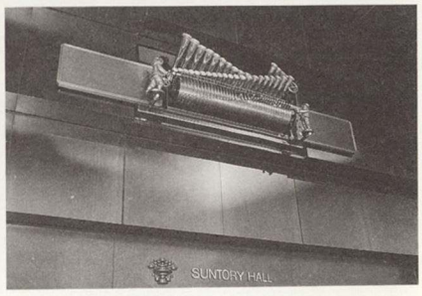


同計画にわれわれも参画し、実施設計を入江三宅事務所がとりまとめた。その中で独特のデザインとなっているテラスパーゴラは、アメリカでよく見られるコンクリート打放しの色合いを、サッド西田氏が強く要望され、その骨材には大変な苦労をともなった。プラザ全体の舗床は、豆砂利洗出し仕上のコンクリートブロックパネルと磁器質タイルで、白黒のモノトーン仕上げとなっているが、材料的に素朴な仕上がりで、プラザの脇役としてあまり強い主張をもたない方向は、一つの策として成功したのではないかとおもう。

ホールの前庭、プラザには、コンサート開演時間をめざし、期待で胸をふくらませた人々が三々五々集まり、プラザは熱気あふれた場となるが、そこに一つの演出をこころみた。ホールの正面デザインは、音楽の殿堂にふさわしい重厚さと品格を表現し、黒色の発色ステンレスパネルと、ゴールドメッキされたモールディング付きの框ドアーを採用したが、ドアー上部の発色ステンレスパネル部の中央に「からくり」を装置した。「からくり」は街の中の集人効果をねらったものが多いが、この場合はコンサート前の期待に満ちた人々に一時的な共有空間を提供し、より期待感を高めるとともに、ホワイエ、ホールと続くコンサートライフに話題を広げることも期待している。「からくり」は、誰にでもわかるエンターテイメントとしてプラザの主役となり、人々の対話の創出要因として役立っていくものとおもう。ヨーロッパでは古くから、街角、広場に「からくり」が見られるが、都市環境の成熟、プラザの活性化には、日常的な小イベントとして、「からくり」がその主役をつとめていくことになる。街の中の装置は、日常的に見ることのできる情況にあるよりも、見ることのできる時間が限られている条件下にある方が、より情報性が高いのではないかと考える。街の活性化に対する演出として、時間の概念をとり入れること、ある時間でしか出会うことのできない小さなエンターテイナーたちが、その役割をはたしてくれる。プラザの一角で小さな出来ごと「からくり」が動きだし、音楽が流れる。そこに人々が集まり、小さな集まりは大きくなって一つの風景をつくり出し、集まった人々が共有の場を演出することは、新しい楽しみの発生にもなるだろうし、それを体験した人と、しない人の落差が情報となって増幅してゆき、コンサートライフがより幅の広いものとなることを期待した。サントリーホールの「からくり」は、自動演奏装置として誰でも一度は聞いたことのあるオルゴールを、その大きさでは世界一のものを計画したが、ホール内の巨大なパイプオルガンとも関連させるために、パイプの音による「パイプオルゴール」を装置した。開演30分前の開場に合わせて約3分間の演奏は、まさしく今日のコンサートの序曲としての役割を見事にはたしてくれている。(やまぐち　てつお　株式会社安井建築設計事務所設計部)







梅田センタービルのオープンスペース

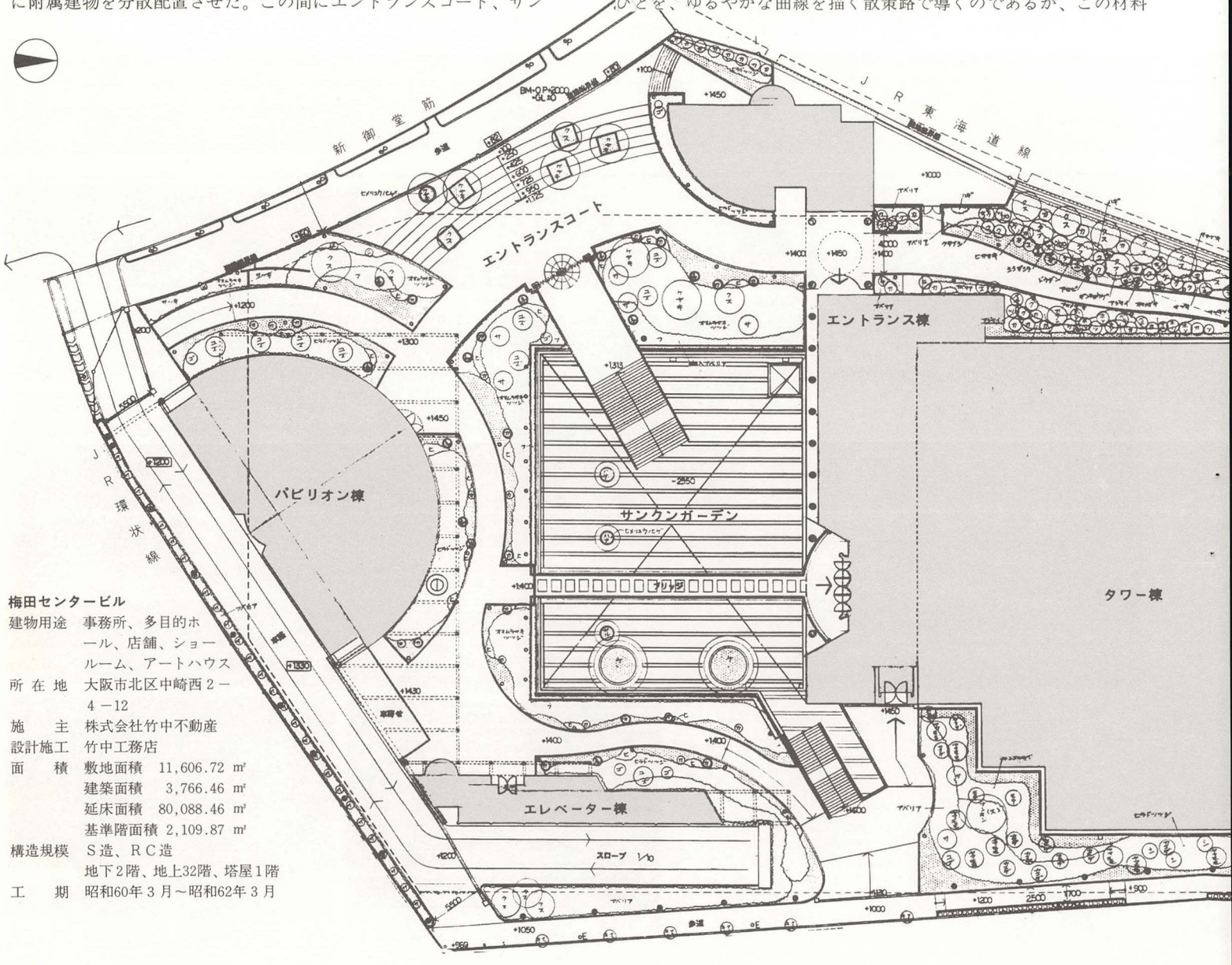
岩本義夫

大阪駅の東約500 mにあり、西南を新御堂筋、西を東海道線、南を環状線に囲まれて、北梅田と呼ばれる地区の一画に位置している。周辺は住宅とオフィスビル・工場等が混在し、空地と緑の少ない地区である。今後都市再開発の可能性が高く、都心の梅田地区隣接地として、梅田センタービルはその玄関口となる重要性を持っている。

当ビルの外構計画の基本方針は、①可能な限りオープンスペースを確保する、②都心のアクティビティを拡げてゆく、③都心のアメニティを高めてゆく、の3点であった。この基本方針に沿って配置計画をし、外構の仕上材料の選択と植栽計画を行った。敷地面積は11,607㎡と、単体の建築地として非常に大きな敷地である。そのうち68%をオープンスペースとして確保し、58%に当たる6,780 ㎡は公開空地として認定された。

配置計画は、新御堂筋から東側への通り抜けを視覚的にも機能的にも可能となるように、タワー棟を敷地のほぼ中央に置き、南と北に附属建物を分散配置させた。この間にエントランスコート、サンクンガーデン、アートプラザ、緑の散策路に代表されるオープンスペースを配した。

外構に使用した仕上材料は、透水性床材（アートロック）・磁器質タイル・花崗岩・インターロッキングと植栽である。透水性床材（アートロック）は、エントランスコートに始まり東・南・北へと繋がる散策路を経て東側道路の歩道へと、人が歩く部分に使用した。選定した理由は、クリスタルでハイテクなタワー棟と、周辺の街並みや人びとを結びつける接点としての床材に相応しい、見た目にも、足触りも「やわらかい」ハイタッチな感じを持っているからであり、散策路の曲線にマッチする、方向性のない材料だからである。色合いは、建物の外装に合わせてグレーとした（美濃霞の砕石をエポキシ樹脂で塗り固めたもの）。また透水性があるので排水溝が不要となり、グレーチングをなくすことができた。新御堂筋からのエントランスコートは、敷地への主要導入部である。ここより各建物へ人びとを、ゆるやかな曲線を描く散策路で導くのであるが、この材料



梅田センタービル

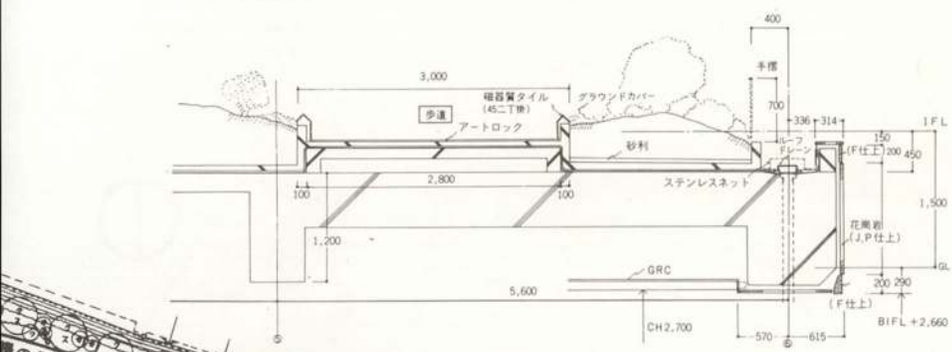
建物用途	事務所、多目的ホール、店舗、ショールーム、アートハウス
所在地	大阪市北区中崎西2－4－12
施主	株式会社竹中不動産
設計施工	竹中工務店
面積	敷地面積 11,606.72 ㎡ 建築面積 3,766.46 ㎡ 延床面積 80,088.46 ㎡ 基準階面積 2,109.87 ㎡
構造規模	S造、RC造 地下2階、地上32階、塔屋1階
工期	昭和60年3月～昭和62年3月

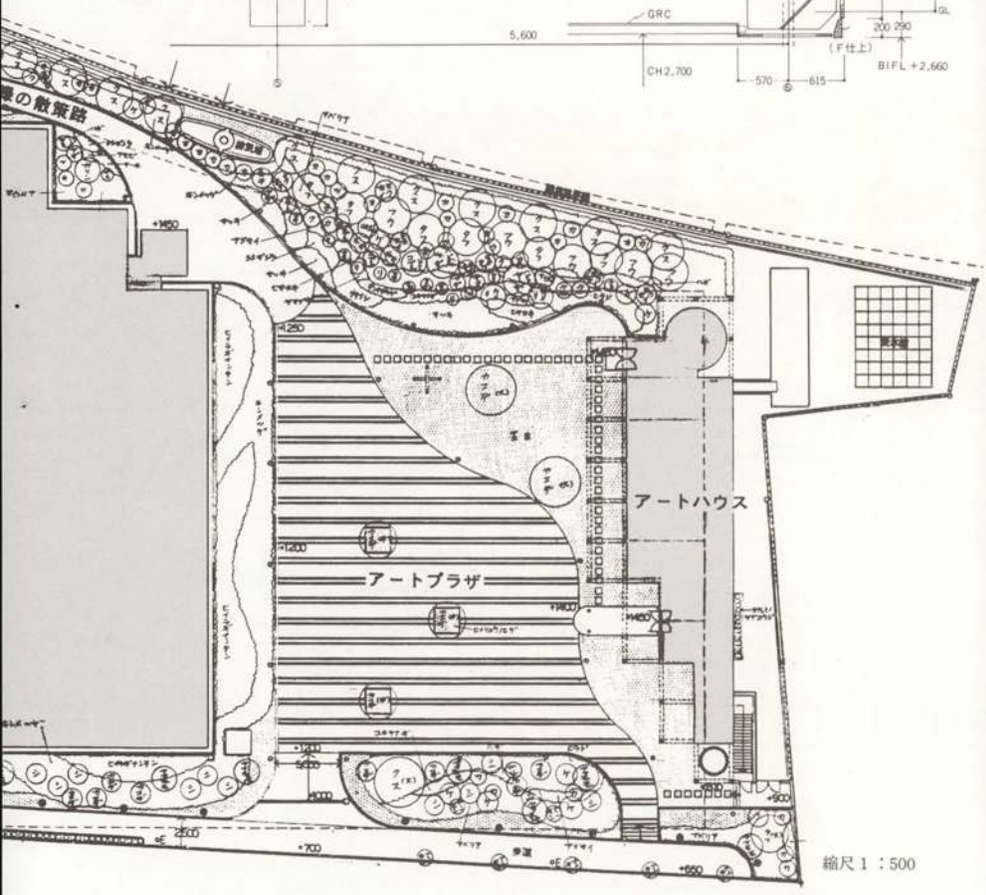
により、人びとを心地良く導いてゆく雰囲気は出せたといえる。

インターロッキングは、御堂筋の歩道に接するエントランス部分と歩道に使用した。新御堂筋の歩道は、本年度より大阪市が北梅田・新御堂筋都市美観推進協議会の協力を得て改修し、舗装と植樹帯を新設する計画となっているのを、先取りして実施したものである。

磁器質タイルと花崗岩は、サンクンガーデンとアートプラザと名付けた広場に使用した。サンクンガーデンは、地下1階にあり、飲食店舗に囲まれたアクティビティの高い外部のロビー空間である。広場としての自律性を高めるために、床は黒い磁器質タイルの中に白い花崗岩のストライプ模様を入れ、四周に黒い花崗岩の列柱のある回廊を設けた。これに対し約30度傾けた花崗岩の階段を東と西に貫入させ、整然とした秩序に変化をもたせるとともに、新御堂筋から東側道路への動線を導いた。広場の東側には、地下2階に植えた2本の大ケヤキとサルスベリ、ハナミズキの樹、さらにベンチとテントを配して賑わいを出した。

アートプラザは、タワー棟とフォトサロンのあるアートハウス、東と西の雑木林に囲まれた広場である。アートハウスの前庭としてだけでなく、屋外のエキシビジョンの舞台として利用されるように、床は磁器質タイルとし、模様はサンクンガーデンと反転させ、白い地に黒のストライプを入れ、周囲を植栽と芝生で囲み、落ち着いた雰囲気を出した。アートプラザとエントランスコートを結ぶ路が、緑の散策路である。タワー棟と東海道線の高架にはさまれた厳しい環境を、多種多様の樹木を繁らせることで、小鳥の声が聞こえる安らぎの小径とすることができ、アートプラザやアートハウスへの導入路としての雰囲気づくりができた。緑地面積は約2,800㎡で、高木311本、中木515本、低木約1万本とグラウンドカバーを植え、ビルのオフィスワーカーだけでなく周辺住民にも憩いの場を提供した。この緑が年々増えてゆくとともに、オープンスペースが都心のアクティビティとアメニティを高めることに貢献し、人びとに愛され生かされてゆくことを祈る。　（いわもと　よしお　株式会社竹中工務店設計部）





縮尺1：500







成晃学院摂津ひかり幼稚園の中庭

上原正行／茨木　保

あおい　おそらに　あかいやね
さんかくぼうしの　とけいだい
おしろのように　うつくしく
ゆめが　いっぱい　あふれてる
せっつ　ひかりようちえん

かざみどりには　まけないよ
げんきで　つよい　ひかりのこ
こころも　からだも　たくましく
ぷーるで　たのしい　みずしぶき
せっつ　ひかりようちえん

あかるい　えがおで　すなおなこ
ひかりのように　まっすぐに
みんな　なかよく　てをつなぐ
ぼくも　わたしも　ともだちの
せっつ　ひかりようちえん

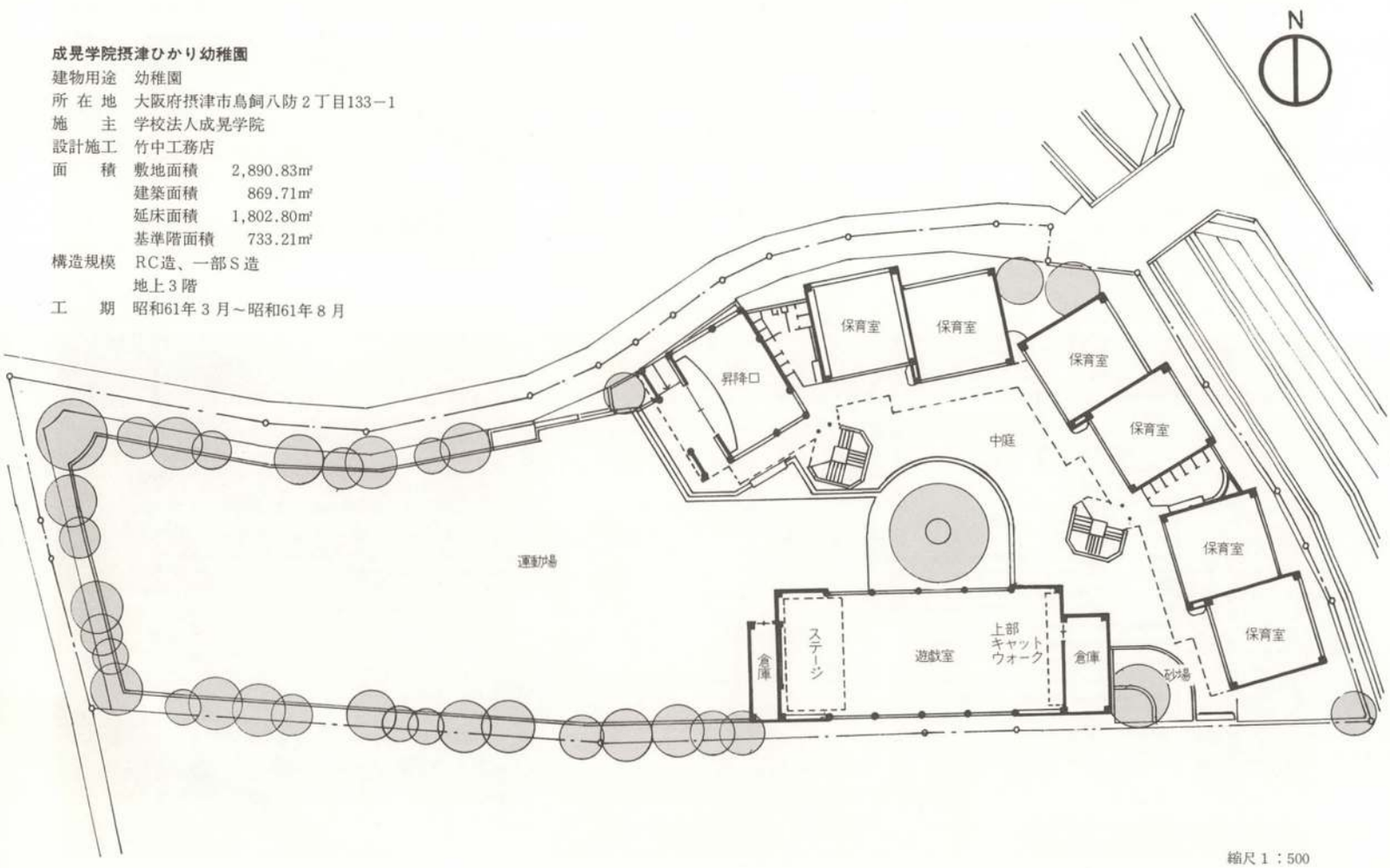
これは、摂津ひかり幼稚園の園歌である。一般的にいって、私立の教育施設を計画するとき基本的に考えられることは、創始者の思想を明確に具現化することであろう。園舎全体に、理想、モットーに即した雰囲気づくりが必要となる。

小学校へ入学する前、幼年期を過ごす子供達が、少しでもその精神にふれ、おのずと染まっていく。そして青年期、さらに親となり子を育てるとき、当時の思い出が、建物に関する心象風景として現れる――この個人の成長の過程に強くかかわりあうであろうことを考えると、当然のことながら、計画に対する思いいれが生じるというものである。

家庭生活の延長線上にある幼稚園。バスで迎えられたときから、友達と叫びあい、ふざけ、泣き、笑いさざめき、日々を体験する。家では経験できないことが期待される。子供の目を活き活きさせるものがあれば……との願いがおのずと出てくるのである。

このプロジェクトも、園舎移転の話が起こってから完成まで、非常にきりつめられた工程の中で、井上一成理事長（衆議院議員）の熱意を強く感じつつ、自由闊達な討議をくりかえし具体化された。

成晃学院摂津ひかり幼稚園
建物用途　幼稚園
所 在 地　大阪府摂津市鳥飼八防２丁目133－1
施　　主　学校法人成晃学院
設計施工　竹中工務店
面　　積　敷地面積　2,890.83㎡
　　建築面積　869.71㎡
　　延床面積　1,802.80㎡
　　基準階面積　733.21㎡
構造規模　RC造、一部S造
　　地上３階
工　　期　昭和61年３月～昭和61年８月



縮尺１：500

子供達をとりまく環境は、ふだん生活をしている街の中と少しも変わらない——凝縮された界隈がここにあるという認識で出発している。敷地面積の割には収容人数が多い。しかも土地は不整形である。50m走をやる。プールの長さも15m必要。バスの発着と乗降スペースは……等々。

結論は、囲いこみの中での透けたもの、を提供することになった。

運動場の端から、クスノキめざして走りこむ。保育室からとびだせば皆の顔がすぐ集まる。プールデッキからも、のぞきこめる——そこに中庭がある——この庭とつながる遊戯室。上下階を結ぶ八角形のガラス箱は階段。屋根がないから、雨や風はもちろん、真夏の太陽もさえぎらない。自然そのものであるが、子供にとっては軒下の延長、縁側のつづきみたいなものであり、ひなたぼっこしながら、お弁当をひろげる場にもなっている——開放的な中庭になっている。

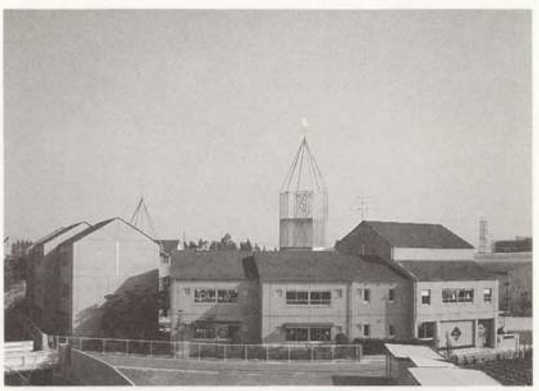
とにかく難解な言葉は必要としない。直截そのもの、歌にあるものすべてを、子供に理解されるものとして集約したのである。両手で水をすくうような形の敷地、その掌中の玉になぞらえたのが、この庭である。

材料は、できるだけ木をつかいたい。これは最初からの願望であった。園舎の計画では、環境のゆとりはもちろんのこと、材質的にも豊かな温かさが必要である。

保育室の床、壁。階段の段板。昇降口から中庭に至る木レンガ。子供達の足や手にふれるものに木を……これも理事長との打ち合わせで最初に決まった。自然の弾力性、保温力、安全性、美しい木目、日射による照りかえしを防ぐ……利点は十分にその目的を達している。しかし、部屋の中は掃除しやすいが、床のウッドブロックの目地にはゴミ、砂がたまって大変だ。半年を経過して目地詰めを再度行った。また段板も昼夜の伸縮に耐えず、一部が割れた。雨のしずくが寄って水たまりが出来、大人が滑った。一方、木レンガの木口にたまった雨は、乾燥が遅く、ぬかるみができて上靴をはいた子供がすべる。つまり、良いことづくめではなかったという、この一年である。

（うえはら　まさゆき　株式会社竹中工務店設計部設計課長
いばらき　たもつ　株式会社竹中工務店設計部設計課）











吉本ビルディングのアトリウムとサンクンガーデン

小川清一

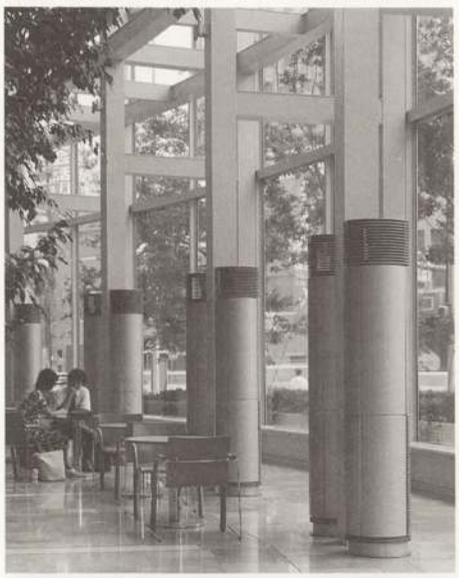
アトリウム　建築におけるアトリウムは、歴史的にもその時代の都市生活の要望に応じ、その魅力を種々の形で具体化してきている。この吉本ビルディングにおけるアトリウムは、ビル全体のエントランスホールとして、またプロジェクト全体の核施設、それも広場として位置付けており、外部から切り取った内部空間であると同時に、公開空地としての承認にもとづく内部空間の外部演出が必要であった。また、内部施設との関連では、多層型ショッピングの上層部への客導入の上で重要な演出空間、媒体空間として機能している。

アトリウムの平面は、ホテル高層棟と店舗棟に挟まれた、外部に向かって拡散する扇状の形態である。ホテル高層棟により構成される壁面は、外装のブライトなモノトーンの乾式タイルをそのまま導入している。店舗棟はバルコニー状とし、各階で空間の一体化をもたせるとともに、広場を囲み、空間への参加の場としている。扇状に拡がった外部側は、自動昇降幕を併設した透明曲面ガラスのアルミカーテンウォールとし、外部への拡がりとガラスのもつ外部への参加とドラマの演出スクリーンとしている。

人が集まり何かメモリアルな都市空間を感ずる広場の床には、石がよくにあう。歩く場合の安心感に合わせ、なぜか公共性を生み出す。各地の街の教会前の広場で見られる扇状のパターンは空間認識とその規律づくりに役立つと同時に、上部からの視覚的理解と楽しみを提供する。

植樹については、樹を内部に植え込むことは何か過保護性は拭えないが、環境に順応性があり、内部に適した樹種を選択することで

シンプルなデザインのアトリウムの空気吹出し口





扇状に外部に拡がるアトリウム



その不自然さを回避している。ここではベンジャミーナを床直植えし、足元には石貼りのグレーチングを設けている。空調の吹出し、上部モビール用照明ポスト等、できるかぎりシンプルな形に集約し、外部ファニチャーとしてデザインしている。植木の下には椅子、テーブルを配し、やすらぎといこいの場を提供している。

サンクンガーデン　地下1階のサンクンガーデン(公共歩路)は、地下連絡路の混雑緩和と地下街からの客導入の目的で設けたパブリック施設である。相互の安全性の確保と環境の浄化、すなわち変化の演出としてサンクドしたガーデンと歩路を一体化し、外光を地下階に導入、内部の外部化をつくり上げている。

フロアーからは地上の樹々が見え、蔦がたれさがり、空を仰ぎ見ることができる。サンクドした壁面には滝をイメージさせる大理石のレリーフや壁面スリットが表面化した外燈をあしらっている。床は、大勢の人々の歩行に耐えるとともにブライトな都市の路にふさわしい材料として、300角表面研ぎリブ付磁器タイルを採用し、排水溝にも床との一体化と機能を追求、タイルはめ込み蓋としている。階段手摺には透明ガラスを採用し、空間が狭くならないよう配慮した。

外部の内部化、内部の外部化　外部を切り取って内部化する、内部を外部に開放する。都市施設の高度化、都市生活の成熟に伴い、内外をこえた建築空間の提案が種々の場においてそのヒエラルキーの概念認識にもとづき幅広く展開されるであろう。

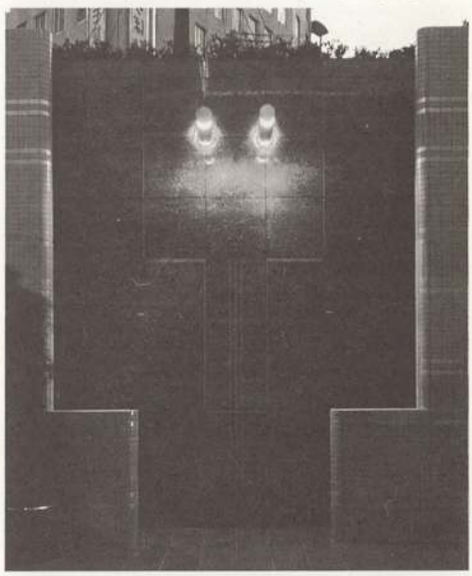
——詳細図は次頁に掲載——

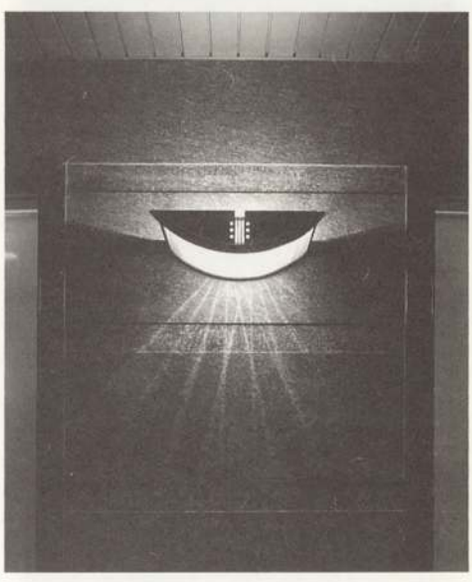
（おがわ　せいいち　株式会社竹中工務店設計部）

地下1階の公共歩路（サンクンガーデン）

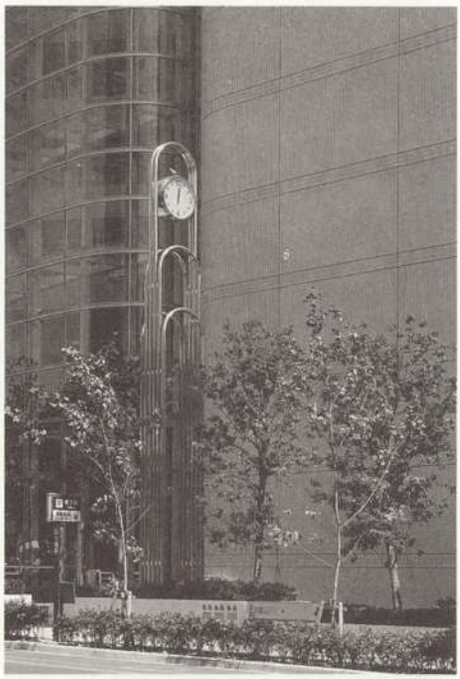


公共歩路の壁面スリットにデザインした外燈





吉本ビルディング



時計塔

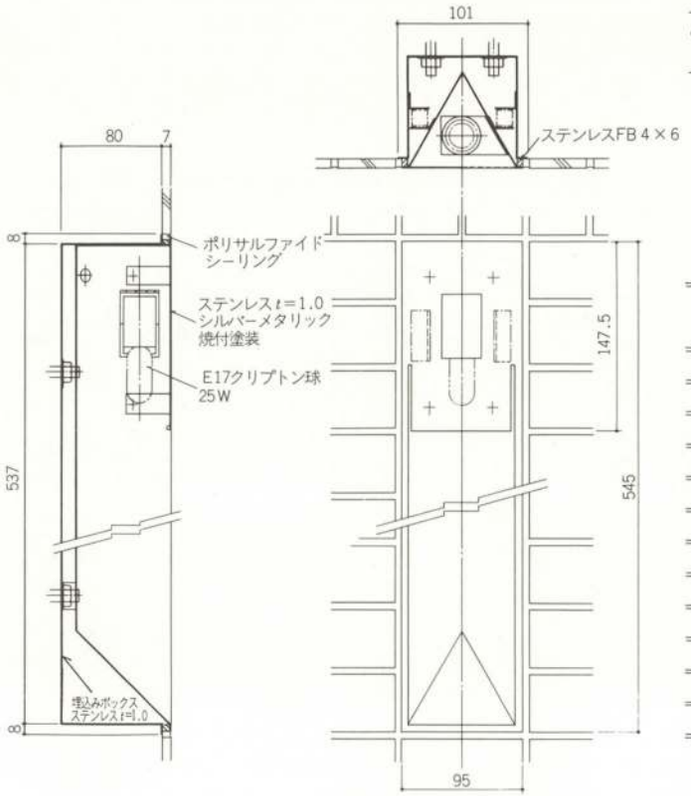


アトリウムの石貼りグレーチング

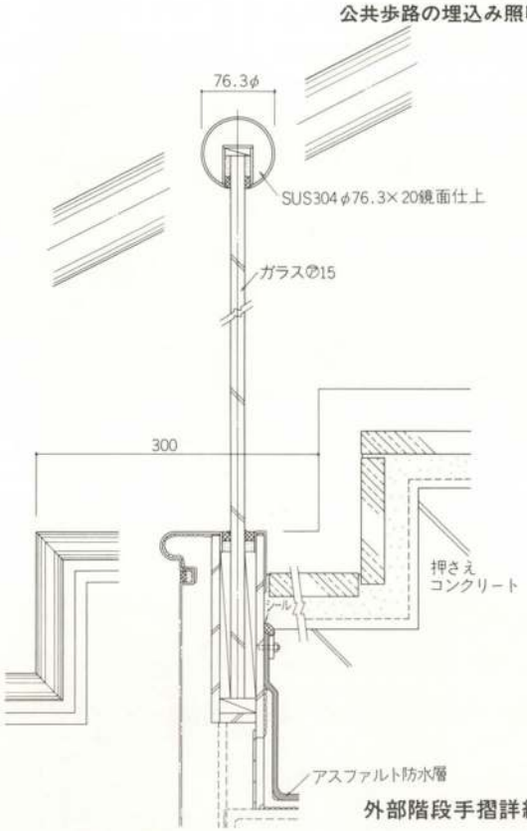


ガラスを採用した外部階段手摺と側壁の埋込み照明

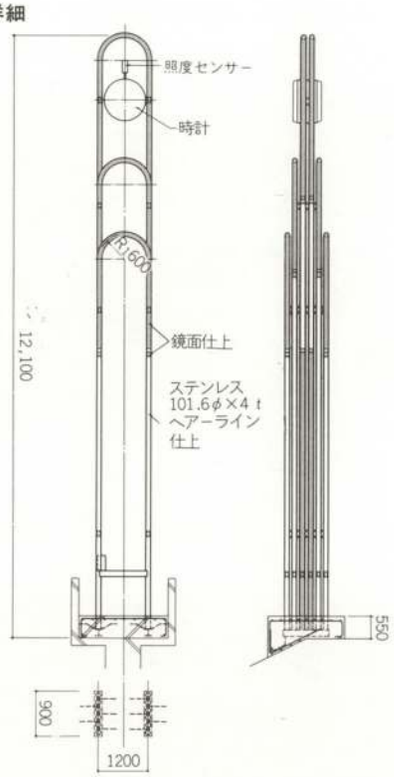




公共歩路の埋込み照明詳細

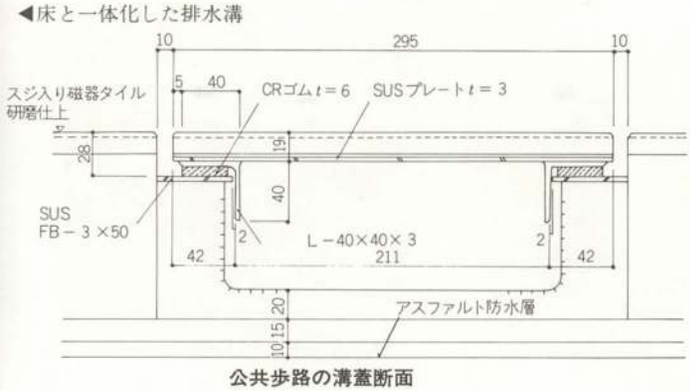


外部階段手摺詳細



時計塔

◀床と一体化した排水溝



公共歩路の溝蓋断面

吉本ビルディング

建物用途	ホテル、店舗
所在地	大阪市北区梅田1－8
施主	吉本ビルディング株式会社
設計施工	竹中工務店
敷地面積	7,004.52m²
建築面積	5,314.64m²
延床面積	88,028.88m²
基準階面積	1,155.15m²
構造規模	S.SRC.RC造 地下4階　地上34階 塔屋2階
工期	昭和58年12月 ～昭和61年9月

ポケットパーク—府立青少年会館「ヤング・スクエア」

吉羽逸郎／河野哲夫

都市に大きな公園を設けることが困難になっている現在、建物回りの小さいスペースを有効に利用して、うるおいのある憩いの空間をつくるため、ポケットパーク事業をすすめてきた。「ヤング・スクエア」では、若者が自由につどい憩える、緑豊かな外部空間を創り出すことと、都市の緑化と、景観の向上をテーマとして計画した。

平面計画　設計上の問題は、敷地前面の幹線道路の騒音や目ざわり感から、人間のための落ち着いた静かな都市空間を取り戻すことにあった。ポケットパークでは、テーマである「若者」に主眼をすえ、それぞれ特徴のある三つのゾーンを設けた。

■「交流広場」は、若者の自己表現の場にふさわしい機能を持ち備えているものとし、円形ステージと、その観客席として使える段状テラス、スピリットシンボルとしてのケヤキの大木、広場の入口のコンクリート製のフレーム、そして飲食物を提供できるキオスクで構成されている。工作物一つ一つにはファッショナブルなデザインを施し、粋な雰囲気づくりに努めた。この広場では、演劇、屋外映画、屋外彫刻展等、多目的に使用できるように設備機器も備えている。

■「屋外展示コーナー」には掲示ボックス20台を配置し、写真、絵画、ポスター、コミュニケーションボードなどとして利用でき、自己表現の場になるようにしている。前述の直径10mの丸い野外ステージと、一辺10mの正方形の展示スペースと、幾何学模様のペーブメント等により、敷地全体を幾何学的パターンで構成した。

■「語らいのコーナー」は、小ホールと民家にはさまれた位置にあるため、ベンチ、デスクを配置し、楽屋裏の打ち合わせに利用できるほか、附近住民も手軽に利用できるスペースとしている。

植栽計画に当たっては、常緑広葉樹を密植し、道路騒音を減衰させることと、視覚的、心理的に前面の高速自動車道を分断する効果を狙った。また四季おりおりの変化を楽しめるように、樹木の選定を行っている。

材料　「ヤング・スクエア」のテーマである「若者」の感性に訴えられるよう、デザインモチーフとして円、三角、四角、曲線等の幾何学的パターンを用いた。

床材は、それぞれのエリアの特徴を引き出すため、円形ステージでは床にコンクリートほうき目仕上げとノンスリップ平板の組み合わせとし、6本のプロセニアムポストはコンクリート打放しのウレタンエナメル塗仕上げと、コンクリート砂り仕上げの2本セットとして、変化をつけている。このステージと観客席になる段状テラスの間は通路として、ノンスリップ効果と、大木に水分を少しでも供給することをねらいに透水性タイル（セラミック系）を使用した。透水性床材は各種開発されているが、ソフトなイメージや永たまりのない歩行感等、歩行者のイメージに合う材料である。

都市はどんどん舗装され、土は貴重な存在となる。オープンスペースの計画においては、できるところは土でと考えているが、快適性を考慮すると、地被植物が適当ということになる。段状テラスでは芝生を張りつめ、大地の香りを残した。また芝生は踏圧でいたむ心配が懸念されたので、グリーンテクターを施し、万全を期した。

ベンチ、デスク、掲示板、花だんなどのファニチャーのデザインは、原則として手づくりのディテールとしており、灰皿、ごみ箱のデザインもそれらにマッチする既製品を選んでいる。

ローコストを計るため、既設の土間コンクリートにタイルで目地やパターンを入れることにより、楽しさや変化をつけることも行った。また道路からの車の進入部ではピッコロ石の部分を設けて、車のスピードを落とさす配慮も行った。

照明計画では、照明方式を、ポケットパーク全体を照らすのではなく、できるだけ足元に器具をセットし、全体がファンタスチックに演出できるように計画した。

その他の設備では、「展示コーナー」の頭上に設置された指向性の高いスピーカーからのＢＧＭにより、騒音のマスキング効果をはかったりしている。

（よしば いつろう　大阪府建築部営繕室／かわの てつお　大阪府建築部営繕室）

大阪府立青少年会館ヤング・スクエア

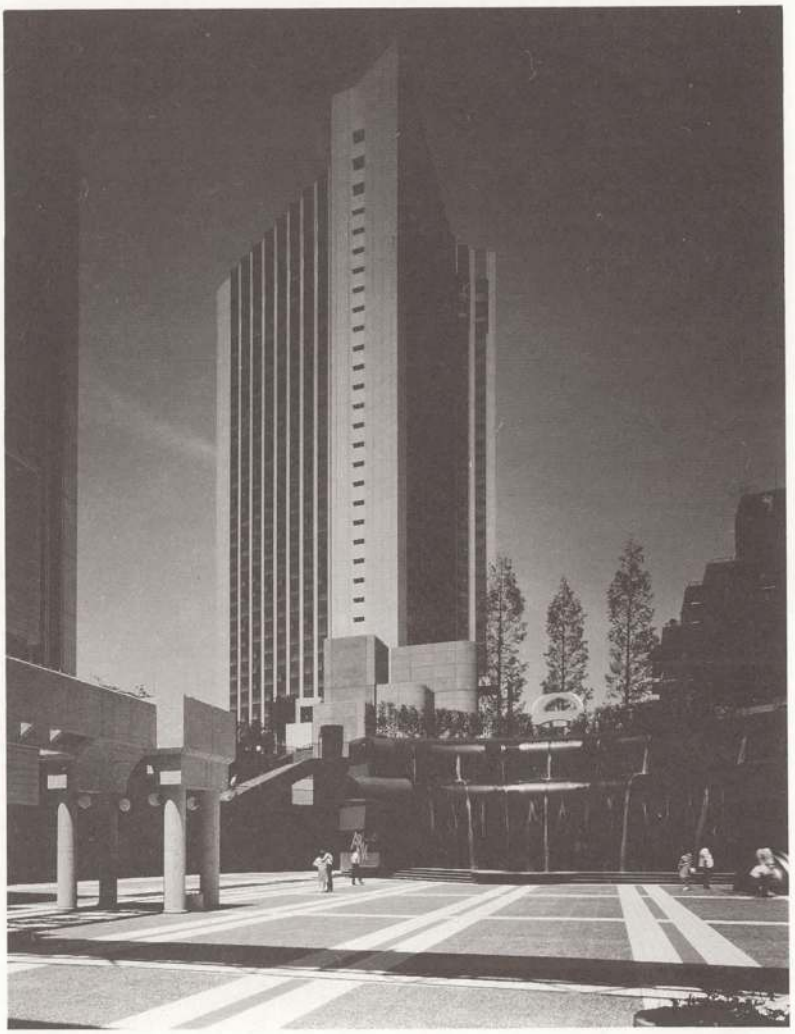
建物用途　ホールおよび事務所
所在地　大阪市東区森の宮中央2－13－33
施主　大阪府
建築設計　基本・実施／大阪府建築部営繕室　実施協力／設計事務所ゲンプラン
監理　大阪府建設監理協会
施工　外構工事／日本土建工業所　植栽／菊水園　電気／東陽電気
面積　敷地面積
9,798 ㎡
構造規模　ＲＣ造
地下　1階
地上　5階
塔屋　1階
工期　昭和60年7月
〜
昭和60年10月



屋外展示コーナー▷



INAX



人・間・空・間たいせつに

INAXが提唱する「環境美」は、都市空間を再構成する都市美、
高質の住まいづくりを推進する生活美、
そして企業イメージを建築物で高める企業美——
この3つが柱となっています。
そしてここに共通する基盤は、「セラミック技術」です。
台所、浴室、トイレなど水まわりはもとより、
門、庭園、玄関まわりなどのエクステリアをカバーし、
さらに建築の内外装から街の広場づくりへと、
INAXタイルの世界は大きく未来をひろげつつあります。

世界のトイレ・バスプラザ「エクサイト」
XSITE

東京・赤坂アークヒルズ最上階に新名所、XSITE（エクサイト）は約1500㎡のスペースに欧米10ヵ国約30社のトイレ・バス・水栓金具400点余りとアクセサリー・ファンシーグッズなどを常設展示しています。

株式会社INAX　大阪支店　〒550 大阪市西区新町1－7－1　TEL.06-532-6081

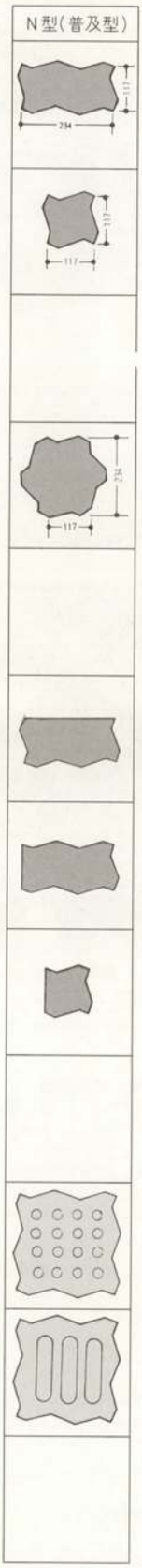
コンクリート舗装材料

インターロッキングブロック

ヨーロッパでは約30年の実績をもつインターロッキングブロックは、昭和48年に西ドイツから技術導入され、製造販売を開始してから、各社ともわが国におけるインターロッキング舗装の普及に努め、土木に、建築に着実に浸透してまいりました。これも、インターロッキング舗装が、コンクリートのもつ耐久性とアスファルト舗装のもつ交通開放の早さ、および補修のしやすさをそなえ、従来の舗装では得にくいファッション性と自然環境への思いやりから生まれた新しい感覚の舗装として認められてきたことによるものと確信しています。

その特長は以下の通りです。

1) 独創的な路面デザインができます。
2) 耐久性にすぐれています。
3) 雨の日の歩行、車輌の走行も安全です。
4) 再舗装が容易です。
5) 寒冷地の施工にも適しています。





大阪国際見本市会場



ベル・パークシティ



ポートアイランド―ファッション地区―

組合員名

アイエルビー株式会社滋賀事業所
(びわインターロッキングブロック株式会社)
大阪ロードマスター株式会社
京阪コンクリート工業株式会社
神戸ロードマスター株式会社
坂井ブロック株式会社
太陽セメント工業株式会社

近畿インターロッキングブロック協同組合
インターロッキングブロック協会近畿支部

〒532 大阪市淀川区西中島3丁目12−15(第5新大阪ビル) 電話06(306)4605 FAX06(306)4604

自然石100%の透水性床材

アートロック

〔アートロック〕は、大自然の河川から採掘された自然石を、モチーフとした新しいタイプの舗装材です。透明な特殊エポキシ樹脂で接着されたひとつひとつの小石の構造は、無数の空隙ができるため、瞬時に水を透過させます。したがって従来の舗装材に見られる水たまりや、水はねがなく、雨水等も大地へ自然に還元させます。

これまで、単調な舗装仕様が一般的であった公園園路やプールサイドをはじめ、各種施設の雰囲気をこの新しい舗装材「アートロック」により変えることができるようになったわけです。

都市環境と建築の質とのかかわりあいに関心が高まる明日の時代にむけて一度演出してみてはいかがでしょう。

1 特長

1). 透水性・通気性に優れています。

小石と小石の接着面以外は、無数の隙間ができます。床面に流れてきた水は瞬時に透過し、流れでます。コンクリートやその他の床材のように、表面に水がたまることはありません。

2). 柔軟性に富み、耐久力も抜群。

点接着のため弾性力に富み、心地よい歩行感が得られ、重量や振動を原因とするクラックの心配もなく、車輌通行も可能です。

3). いつまでも美しい仕上がり。

結合力の高い特殊エポキシ樹脂を用いているため、自然石を高い強度で保持します。また固化された自然石は、化学物質や汚染物質に対して高い抵抗力を持ち、自然石の美しい色あいを長く保ちつづけます。

4). スピーディーな仕上がり。

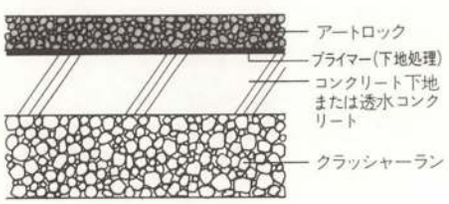
特殊エポキシ樹脂は、低粘度タイプで、混合しやすく、硬化時間も速硬化で、20℃以上の温度での施工の場合は、翌日歩行ができます。

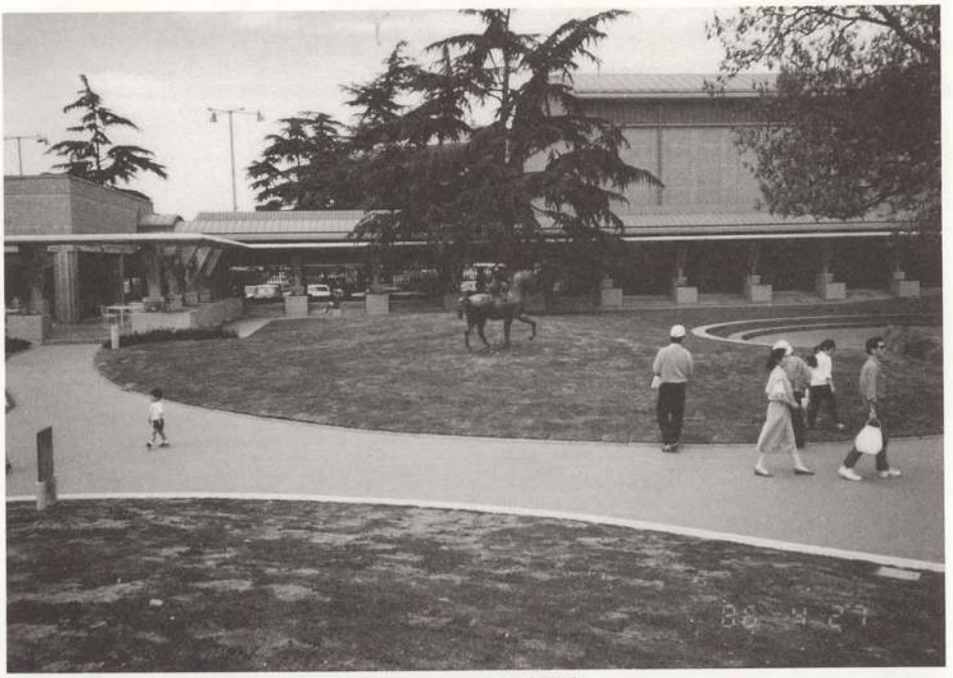
5). 抜群の耐寒・耐熱性。

エポキシ樹脂で覆われた施工表面は、真夏の直射日光や厳寒時の気温変化にも無理なく耐えます。

2 標準仕様

標準仕様を下図に示します。





世田谷区立美術館（東京）



梅田センタービル（大阪）





国営昭和記念公園（東京）

3 基本物性

アートロック用樹脂の強度変化

	養生直後	200時間照射後	試験方法
圧縮強度 (kg/cm²)	391.8	293.8	JIS K-6911
曲げ強度 (kg/cm²)	139.5	97.7	JIS K-6911
引張強度 (kg/cm²)	216.0	158.2	JIS K-6911

アートロックの強度変化

	養生直後	200時間照射後	試験方法
圧縮強度 (kg/cm²)	108.5	106.4	JIS A-1108
曲げ強度 (kg/cm²)	64.5	63.2	JIS R-5201

4 主な用途例

- プールサイド
- 遊歩道、歩道橋、側道
- 公園園路、池、流れ
- 建物アプローチ、ポーチ、バルコニー、エントランス
- 駐車場、庭園

5 代表的な施工例

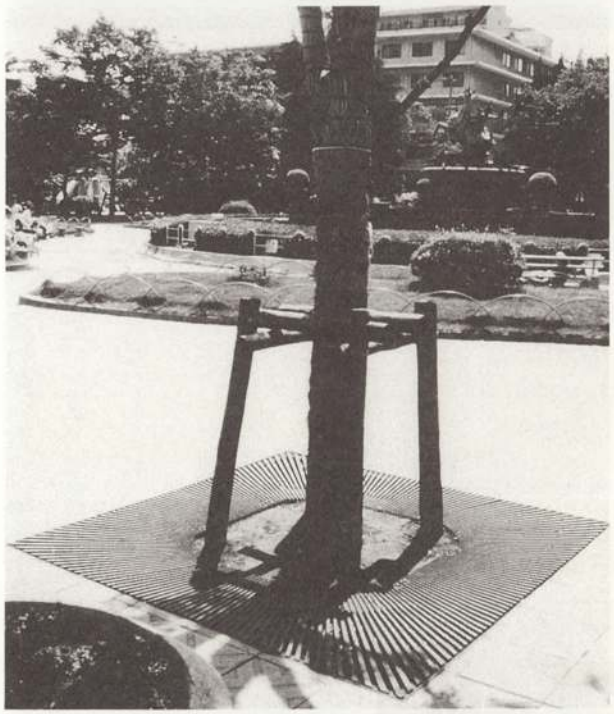
全国大学入試センター	昭和58年4月
全日空万座ビーチホテル	昭和58年4月
東京ヒルトンホテル	昭和59年6月
国営昭和記念公園	昭和60年4月
世田谷区立美術館	昭和60年12月
北九州志井公園	昭和61年6月
建部観光レクリエーション	昭和61年6月
梅田センタービル	昭和62年3月
吹上浜海浜公園	昭和62年5月

株式会社
エムアンドエム

〒104 東京都中央区新富1丁目4番1号
TEL. 03—551—1031(代)
FAX. 03—551—1049

快適な生活空間の創造をめざして

ツリーキーパー



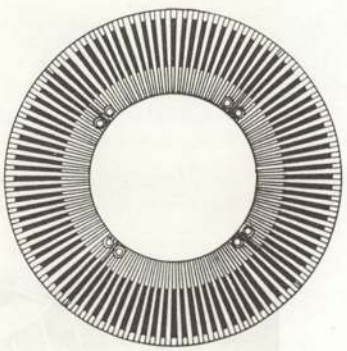
■樹木保護蓋デザイン例

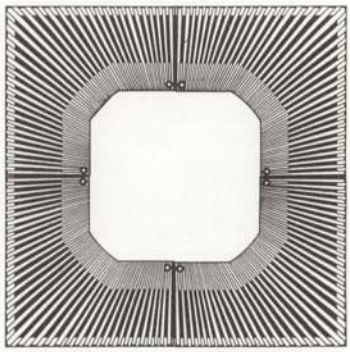
◇デザインは、スポークタイプのシンプルな細目透かし模様で、立体感ををもつニューデザイン感覚です。

◇材質は高級鋳鉄（ダクタイル鋳鉄）を使用しておりますので、車両が通過しても割れません。

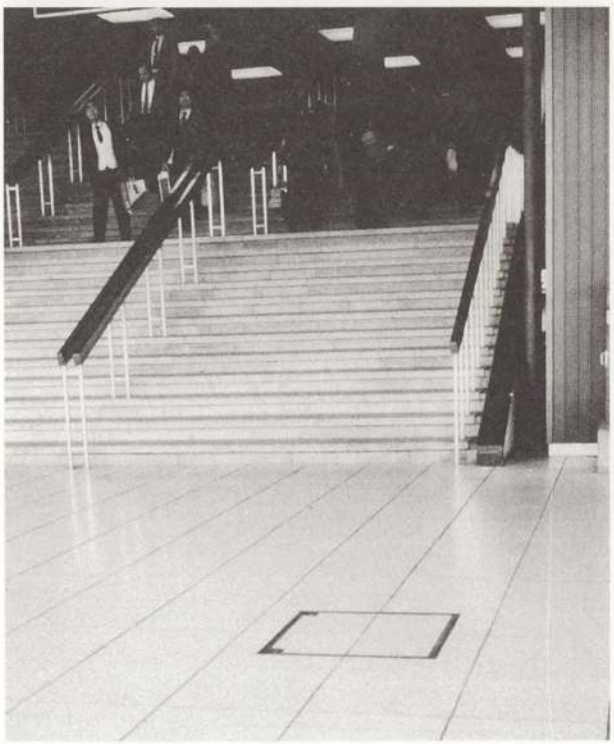
TSR型
- φ 1500
- φ 2000
- φ 2500
- φ 3000

TSS型
- □ 1.060
- □ 1,200
- □ 1.500
- □ 2,000





スライドカバー

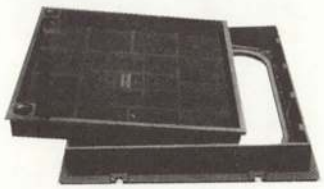


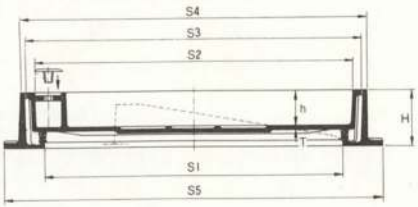
■カラー舗装用鉄蓋(MIB—D型)

◇インターロッキングブロック、厚物ブロック等周囲の床仕上げに合わせた化粧舗装ができます。

◇蓋の開閉は一人でできるスライド開閉方式です。

〔用途〕
1．共同溝
2．上下水道施設
3．電設
4．その他諸施設点検口用蓋





〔仕様〕
寸法は、下表のほかに、750□、900□、600□×1,200等があります。

寸法表

単位：mm

型式	寸法	S1	S2	S3	S4	S5	h	H	T	重量 kg	通行車両の最大積載量
MIB-D	450	450	490	526	544	600	70	110	6	57	6トン車以上
	500	500	540	576	596	650			6.5	63	
	600	600	640	676	696	760			7	80	

環境社会の道を開く

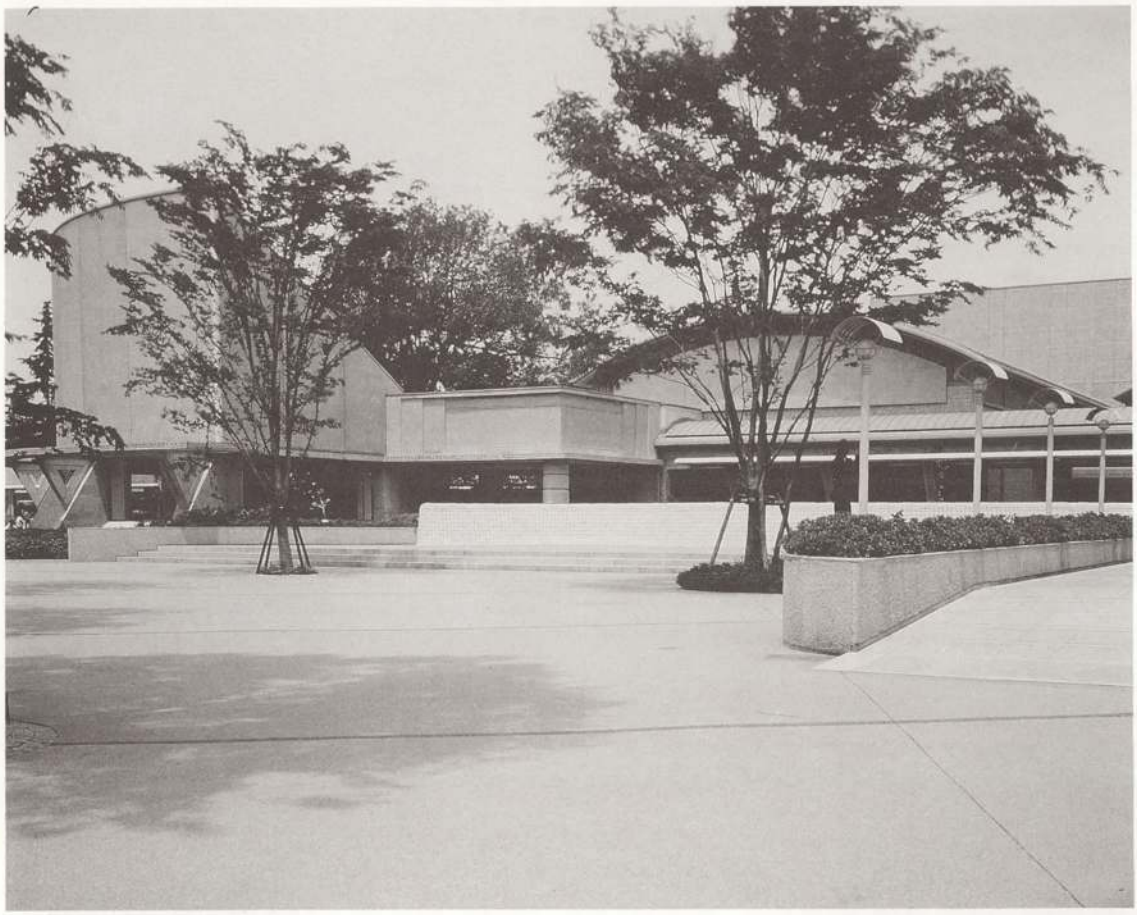
DKC 第一機材株式会社

本社 〒115 東京都北区赤羽1丁目64番地11号
電話 （代表） 03－902－3141

札 幌☎(011)511—3537　仙 台☎(022)236—2681　新 潟☎(0258)24—1530　群 馬☎(0273)46—8185
東 京☎(03) 902—3141　多 摩☎(0425)72—8899　埼 玉☎(0487)94—3211　千 葉☎(0472)46—4881
横 浜☎(0462)38—2120　名古屋☎(052)961—7071　大 阪☎(06) 744—5761

都市設計に潤いのアイテム アーバンロック

今、都市生活者が求めているのは、安らぎと潤いに満ちた自然。ヤブ原産業㈱は天然石を使った床・舗装材「アーバンロック」を開発、都市化が進む街の中に自然感にあふれる快適な空間づくりに貢献している。



アーバンロックは、山や河から採取した自然石を使っており、自然感と美的感覚を満足させる最新床・舗装材として注目されている。

アーバンロックの構造は、自然石を接着させて造られており、無数の空隙ができるため、瞬時に水を透過させるという透水性、通気性に優れているのが大きな特長。

雨の日の水たまりや水はねなどの心配もなくなり、雨水を地中に還元するので地下水への影響も起こさない。

また、アーバンロックは、結合力の高い特殊バインダーを用いているので、自然石を高強度で保持し、耐久性・耐摩耗性に優れ、化学物質、汚染物質に対して抵抗力が高いのも特長。

同製品は、30数種類という豊富なカラーを揃えており、場に応じたカラーを選べ、公園などの広場からプールサイド、ショールームまで幅広く採用されている。

その他の主な特長は、①自然石の美しさをいつまでも保ち、褪色性に優れる。②水洗いをするだけで鮮やかな床面がよみがえる。③文字・マークなどオリジナルなデザインができる。④心地よい歩行感……など。



ヤブ原産業株式会社
東京都文京区湯島3-39-5 TEL. 03(836)4111
FAX. 03(835)3760 〒113

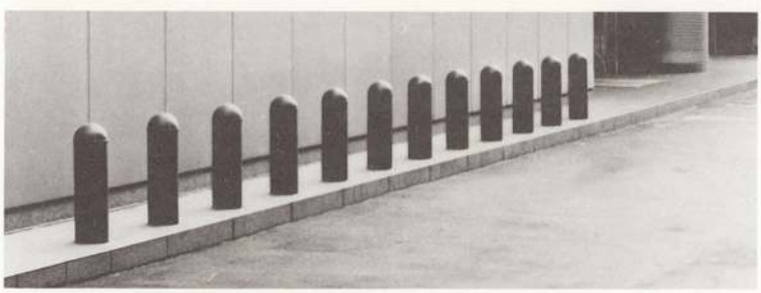
札幌支店	TEL.	011(742)1201	大阪支店	TEL.	0726(25)8560
仙台支店	TEL.	0222(45)9731	福岡出張所	TEL.	092(721)5120
新潟支店	TEL.	0258(92)2728			

エキスポール®
車止
ボラード



街並に美しく答えます。

都市の中で行動する人々にとって街路や公園の緑が大切なものであるように、近頃では、
建築をとりまく公共遊地の利用のされ方も、巧みに自然をとりいれるなどさまざまな努力がはらわれています。
そんな中で、敷地境界線と歩道をへだてるランドマークや車止めの果たす役割も、本来の機能だけでなく、
街並にいかに美しくとけこむか、人の目にどれだけ親しみやすいか、など、
より高いレベルでの完成度が求められています。
エキスポールのストリートバージョンとして好評のボラードは、それらの要求を
洗練されたデザインと選びやすい多彩なバリエーションで見事に応えます。



UNION 建築工事金物製品の
株式会社ユニオン
本社――大阪市西区南堀江2-13-22 〒550 ☎06(532)3731㈹ FAX(533)3747
大阪ショールーム――大阪市西区京町堀1-17-16 〒550 ☎06(443)6620㈹ FAX(443)6640
東京営業所、ショールーム――東京都江東区白河2-9-5 〒135 ☎03(630)2811㈹ FAX(630)2816
名古屋営業所――名古屋市東区筒井町1-14-9 〒461 ☎052(935)6021㈹ FAX(935)6023
株式会社ユニオン装飾金物
大阪市浪速区日本橋5-7-23 〒556 ☎06(631)4771㈹ FAX(643)7538
建築のこころ伝わる確かな製品を

憩



ストリートファニチュア

街なかでの生活にも、くつろぎや語らいを求める場が欲しいもの。コトブキの**ストリートファニチュア**は、街路や公園、モール街など、都市のオープンスペースに爽やかなオアシスをつくりだします。

導

コミュニティサイン

ますます巨大化、複雑化する都市空間。都市生活をよりスムーズに、快適に暮らすために、サインは不可欠。見やすく、判りやすく、周囲の美観もそこねないコトブキの**コミュニティサイン**。



遊



コミュニティ遊具

身体の発育はもちろん、仲間と遊ぶ、遊具で遊ぶことで、協調性や独創性をも培う場であって欲しいもの。自由な発想の遊びのなかで、社会性をも育てたい。コトブキの**コミュニティ遊具**です。

コトブキ

大阪支店／〒532 大阪市淀川区西宮原1-4-11
☎06(396)5111
本　社／〒100 東京都千代田区有楽町1-2-12
コトブキビル　☎03(591)1311

樹木地下支持システム**グランドサポート**

支柱が消えた

ある日突然！
完成された緑が出現します。

前庭や建物まわりでのオーバーな樹木支柱は景観を壊すだけでなく根元周辺の芝刈り作業もやりにくいものでした。グランドサポートはそんな悩みを一気に解決しました。
ぜひ、お問い合わせ下さいませ。



トータル緑化システムを考える

東邦パーライト株式会社

東京営業所　〒173 東京都板橋区南町19－7　☎03－974－3225㈹
大阪営業所　〒540 大阪市東区森ノ宮中央2丁目7番15号　☎06－941－9243㈹
名古屋営業所　☎052－522－1491㈹
金沢営業所　☎0762－44－3347㈹
高松営業所　☎0878－33－1802㈹
広島営業所　☎082－281－1141㈹
福岡営業所　☎092－512－5915㈹

SINCE 1901

YABASHI =石材業界のパイオニア=

内外産大理石・花崗石・ＹＭストーンパネル・建築用石材販売及施工



矢橋大理石株式会社大阪支店　大阪市東区高麗橋2の56東栄ビル　電話大阪06-202-4905㈹

建物と街並みの接点 空間・環境・みどり・くつろぎを設計する 特集●建物の外構

Environmental Site Plannings

建設コンサルタント（造園部門）
測量業者登録
一級建築士事務所
日本造園コンサルタント協会会員

代表取締役 大山雄三
技術士（都市及び地方計画）

㈱ES計画室

□ 都市環境整備に関する調査・計画・設計
□ 自然環境に関する調査・立案・計画
□ 景環形成に関する調査・立案・計画

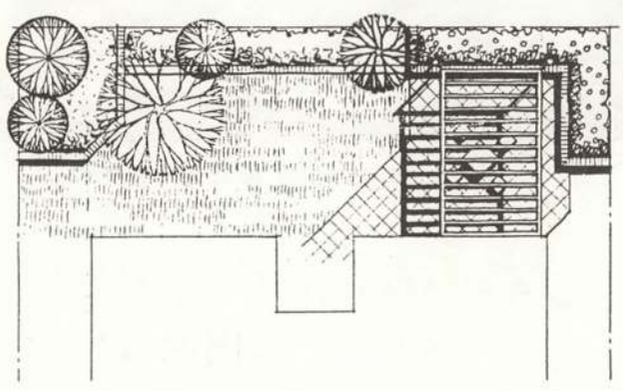
本　　社 大阪市東区道修町３－17高原ビル ☎(222)1965㈹FAX(222)6176
東京事務所 東京都千代田区岩本町1-3-4大里ビル ☎(851)4363㈹FAX(851)4364

緑を演出する

クラレ緑化産業株式会社

建設大臣許可（特）59－8443号

本　　社 〒530 大阪市北区芝田1-4-14（芝田町ビル7Ｆ）
ＴＥＬ(06)374－1605
宝塚営業所 〒665 兵庫県宝塚市中山桜台１－７－１
ＴＥＬ(0797)89－3000
西条営業所　新居浜営業所　熊本営業所

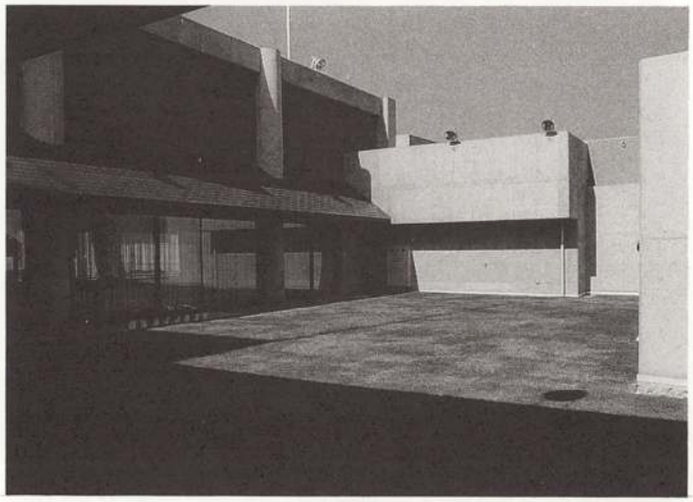


緑と青空
ゆとりとやすらぎの
街造り

- 造園土木・設計・施工・管理
- 門塀外構工事
- 緑化樹木、ポット生産卸
- 緑化土木関連資材販売

都市砂漠をなくす緑のオアシス！

ユニット式天然芝生 グリーンボックス



グリーンボックスは、特殊改良剤と保水剤の層の上に、天然芝を張ったもので、サイズは50cm×50cm×厚さ10cmの正方形。
建物の屋上・テラスで緑化するための要件を満たしています。

① 1㎡当たりの荷重を軽減し、80～140kg/㎡と軽量化に成功。

② 特殊改良の効果で保水性、排水性が良好。

③ 移動が簡単で施工も楽。施工後すぐに使用可能。

また、屋上のコンクリート表面温度は、夏には50～70℃にまで上昇し、夏冬の表面温度差は約70℃と大きく、亀裂の原因の一つともなっていますが、グリーンボックスを施工することにより、屋上の断熱材にもなります。グリーンボックスは、屋上緑化の不可能を可能にした世界で初めて開発されたユニット式の天然芝生です。



グリーンボックスの断面

庭公園緑地開発設計施工管理・建設大臣許可

株式会社 香椎造園

本　　社 〒813 福岡市東区唐原1－2－1 ☎092-661-2001
大阪営業所 〒530 大阪市北区西天満4-11-8 太源ビル3F ☎ 06-365-7672
東京営業所・佐賀営業所・北九州営業所・仙台営業所・名古屋営業所・山口営業所・沖縄営業所

快適空間 ——— それは緑なしでは語れません。



外部空間設計・施工/施設デザイン

☎563 大阪府池田市東山町601－1
TEL(0727)51－7357(代)
FAX(0727)53－5287

株式会社 満樹園緑化部

——いま、やわらかなネットワーク化を求めて。——



㈱上園商会（代表取締役 上園 茂）
〒570 守口市大宮通2-38-1
TEL:06(997)2001 FAX:06(997)2065

㈱規松緑化建設（代表取締役 折田長伸）
〒532 大阪市淀川区西中島5-7-18 アストロ新大阪ビル5F
TEL:06(305)1740 FAX:06(305)1082

グリーンライフ㈱（代表取締役 下里徳光）
〒540 大阪市東区南農人町1-25-3 谷町グリーンハイツ705
TEL:06(946)1128 FAX:06(941)5555

㈱神戸グリーン造園（代表取締役 阪口正浩）
〒651 神戸市中央区小野柄通7-1-1
TEL:078(232)1435 FAX:078(232)1419

㈱寿造園（代表取締役 阪上真人）
〒665 宝塚市山本南3-36-3
TEL:0797(89)2421 FAX:0797(89)2885

小林産業㈱（代表取締役 小林 勝）
〒567 茨木市宿久庄438
TEL:0726(41)2720 FAX:0726(41)0920

㈱深水園（代表取締役 下城 園）
〒581 八尾市服部川418
TEL:0729(99)2299 FAX:0729(97)8503

㈱工房桑和（代表取締役 大塚紀雄）
〒553 大阪市福島区鷺州5-1-12 同和ビル3F
TEL:06(458)1330 FAX:06(458)3762

高村造園㈱（支店長 川原國義）
〒530 大阪市北区太融寺町3-3 中島ビル
TEL:06(312)2929 FAX:06(312)2272

㈱中西総合ガーデン（代表取締役 中西 勝）
〒651 神戸市中央区磯上通6丁目1-11 三井生命ビル6F
TEL:078(231)4128 FAX:078(231)4129

ふじ造園㈱（代表取締役 斉藤栄三）
〒561 豊中市曽根西町1-9-15
TEL:06(843)6633 FAX:06(843)6688

関西外構建設業協会メンバー（50音順）

関西外構建設業協会

建物の外構を演出するグループ集団

※協会に関するお問い合わせは下記へお願いします。
事務局（事務局長 藤田哲夫）
〒556 大阪市浪速区元町3-10-4（外装新聞内）
TEL:06(644)1019 FAX:06(631)8891

関西外構建設業協会 会長 阪口正浩

「建築と社会」誌20年●特集一覧 ――――――――昭和42年～62年

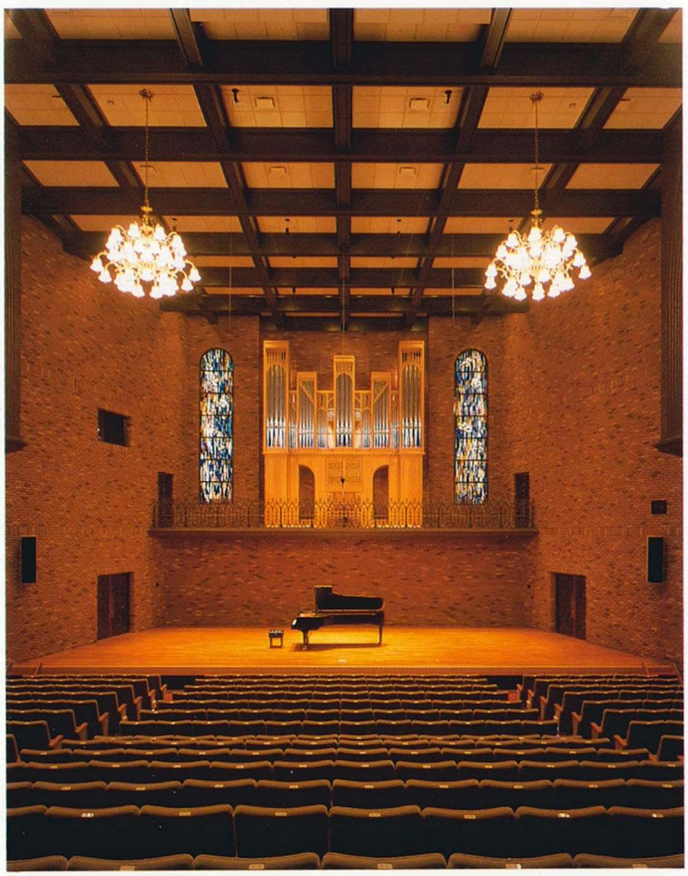
「建築と社会」誌は、昭和42年から大型化しＡ４変形判となった。特集と作品作風頁を二本柱に、シリーズものの頁を織り込み、その時々の社会を反映したテーマを選んで掲載してきた。（58年４月号以降定価950円）購読希望者は事務局（06-348-0635）へ。

＊印は欠号

巻＼号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和42年（48集）	＊国立劇場	＊建設機械	＊日本建築協会50周年記念号	＊社会と建築	都市と流通空間	住宅と設備	生産施設	モントリオール万博	建設資金	最近の外装	第14回青年建築家	建築と生命
昭和43年（49集）	都市生活	＊都市のいこいの場	＊50周年記念事業記録号	＊幼児施設	＊教育施設	＊医療施設	＊都市交通施設	都市供給処理施設	＊群としての住居	都市のアクセサリー	第15回青年技術者	＊新都市計画法の諸問題
昭和44年（50集）	＊建築産業の構造と方向	鉄筋コンクリート構造耐震設計の再検討	計画と住民―中部からの報告	＊老人とすまい	＊建築史の方向―現代によみがえる過去―	＊建築行政に期待するもの	転換しつつある住宅生産	＊解決をせまられる公害問題	＊海洋開発	＊民家の系譜と保存計画	＊第16回青年技術者	＊九州からの報告
昭和45年（51集）	現代社会とは何か	建築と安全	＊日本万国博と技術開発	＊設計のシステム化	＊グッドデザイン運動	高層建築問題	欧米における契約	建築家の課題と責任	＊工事計画	ディベロッパー	第17回青年技術者	＊山陽・山陰からの報告
昭和46年（52集）	住宅―60年代の総括と70年代の展望	都市エネルギーと無公害化ビル	＊建築基準法	＊都市生活とみどり	＊企画と設計のプロセス	解体工学	都市と港湾	＊転換期のニュータウン	＊軟弱地盤と震災	変貌する建築生産	第18回青年技術者	＊自然とレジャ空間
昭和47年（53集）	冬期オリンピックと札幌	600号記念号	インテリアデザイン	＊都市交通問題	＊水利用	＊量産住宅の設備	＊一般号（桂中学）		＊都市住環境へのアプローチ	＊都市防災	第19回青年技術者	北陸の新建築
昭和48年（54集）	建築教育	＊泉北ニュータウンのコミュニティ施設	＊大阪大林ビルディング	＊レジャーと施設	＊大阪国際ビルディング	＊老人コミュニティ	住宅―建築家のすまい	＊新用途地域制と環境	構造と施工	仕上と材料	第20回青年技術者	＊ヨーロッパのまちづくり
昭和49年（55集）	歴史的環境保全	明日の建築はどうなるか	保養所作品	既成市街地の住宅地整備の方策	北摂ニュータウン計画	建築生産と流通機構の変容	ビルの省エネルギ化	高層プレハブ住宅の構造設計	＊みどり	＊屋根防水工事の失敗例とその対策	第21回青年技術者	ビル防災に関する12章
昭和50年（56集）	図書館	東海の新建築	＊インテリア	ＰＣ板を使用した工業化住宅	＊社会・建築・法	＊都市の景観と施設	建築とプレストレストコンクリート	生活排水処理施設のあり方	＊人間環境としてのターミナル	騒音対策と防音材料	第22回青年技術者	＊集合住宅の設備
昭和51年（57集）	証言'76―建築デザインの動向	＊建築基礎構造の問題点	医療施設	＊床工法と材料	建築防災と法	＊市街地整備	工場建築と設備	鉄骨構造のジョイント	集住体のハードとソフト	＊結露防止対策と断熱材料	第23回青年技術者	設備からみた建築の問題点
昭和52年（58集）	＊デザインの動向―部分と全体	兵庫県―その風土と建築・建築界	●日本建築協会60周年記念号●ニュータウンの管理	コンクリートの品質管理と行政指導の方向	＊日影規制と法	＊身障者施設	照明設備	埋立地における構造問題―大阪南港と芦屋浜を例として	日本住宅公団と建築作品	ミニ乱開発から計画的ミニ開発へ	建築における省エネルギー化	第24回青年技術者
昭和53年（59集）	デザインの動向―新旧のコントラスト	＊水	医療施設―病院建築と情報システム	外壁塗装材料	電波障害と建築	組合方式による集合住宅計画	住宅設備	新しい耐震設計	ＣＡＤ―設計とコンピュータ	＊一般号	第25回青年技術者	ビル環境
昭和54年（60集）	＊転換期の再開発	大阪南港ポートタウン	商業空間	コンクリートのひびわれ	＊日影規制	ホテル建築と情報システム	農村施設の変貌	建物の終局強度の検討	庄内のまちづくり	80年代のインテリア	第26回青年技術者	建設業の労務事情
昭和55年（61集）	80年代の都市と建築―まちづくりの歴史と展望	＊●今後の省エネルギーの趨勢●建築金物	＊●最近の銀行建築●安井建築設計事務所作品集	住宅の耐久性	建築行政と法規	最近の防水工法	都市景観とアメニティ	屋内体育施設の設備	水ぎわのまちづくり	今後の外装吹付仕上材	●第27回青年技術者●転機にたつマンション・集合住宅	設計のための新耐震設計法
昭和56年（62集）	職能論	中国の論文―北京の都市計画	＊ポートピア'81	台所まわりの計画と設備	シーリング材の知識	災害と法―安全な環境をめざして	都市住宅―住まい手からの発想	●建築物と風―デザイナーのために●日建設計作品集	住宅・都市整備公団―関西における都市整備を中心とした新公団の役割	間仕切壁の性能評価	第28回青年技術者	障害者の暮らしやすい環境と設備
昭和57年（63集）	新たな商業空間の展開	省エネルギーと開口部	医療施設―地域医療と設備計画	近畿の地盤と地質	都市景観―まちなみ美観への誘い	大阪市庁舎（第１期）	音とホール建築	大スパン構造	昭和設計作品集	●絵本にみるすまいとまちづくり●オー・エム・ホル日航ビル	●第29回青年技術者●地方の庁舎建築	風土・空気と人間
昭和58年（64集）	＊関西の建築文化を考える	マイコンの建築への利用	＊多様化する運動施設	建築と品質管理	計画におけるコミュニケーションとプレゼンテーション	大阪駅とターミナルビル	維持管理と設備更新	東海の将来と文化を考える	オフィス・インテリアの変革	プレストレスト(鉄筋)コンクリート構造	●第30回青年技術者●大阪城国際文化スポーツホール	集合住宅と生活音
昭和59年（65集）	21世紀への関西―魅力あるまちづくりを問う――	関西の超高層ビル	ビルのリフレッシュ内外装補修技術の現状と発展―	建設産業とロボット開発	住環境と法制度	●まちの活性化と商業空間●京都駅南口再開発ビル（アバンティ）	消防設備のポイント	みどりとそれをとりまく人々	高齢化社会と生活空間	床の構工法	●第31回青年技術者●ディテールの思想	光応用システムと建築
昭和60年（66集）	大阪湾物語	東海の現在と近未来	●自由様式への道―建築家安井武雄●建築物の基礎を考える	情報化をめぐる建築・都市事情	ホール―それが生みだす文化―	建物の表情―最近の外壁材料	大阪国際見本市新会場	●建築と水の演出●神戸研究学園都市	都市と健康スポーツ	●接合●日建設計作品	●村野藤吾の一断章●東海特集	第32回青年技術者
昭和61年（67集）	これからの住空間―都市型集合住宅にみる	屋根―そのデザインと素材	●現代デザイン―ポストモダニズム10年●これからの防水工法	インテリジェントビルの建築・設備計画	自治体営繕と公共建築	●建築防災と法●大阪市庁舎	21世紀の住居と設備	●開発●ツイン21	ＣＡＤ―その応用と展開	オフィス空間の構成	第33回青年技術者	インテリア・イクステンションとリニューアル
昭和62年（68集）	入浴物語	腐食	創立70周年記念号	躍動する東海へ	保管・貯蔵施設	室内の仕上床	駅	行政建築家の可能性	シティホテルの設備	宝塚の街づくり	建物と街並みの接点―建物の外構―	第34回青年技術者

昭和設計作品集

創立30周年記念



宝塚市立図書館ベガホール



阿倍野Ｂ１地区市街地再開発事業(阿倍野ベルタ) 1986 大阪市
"Abeno Belta" Redevelopment of Abeno B-1 Area, Osaka





ヨツギビル 1984 大阪市 Yotsugi Rubber's CO. Bldg., Osaka

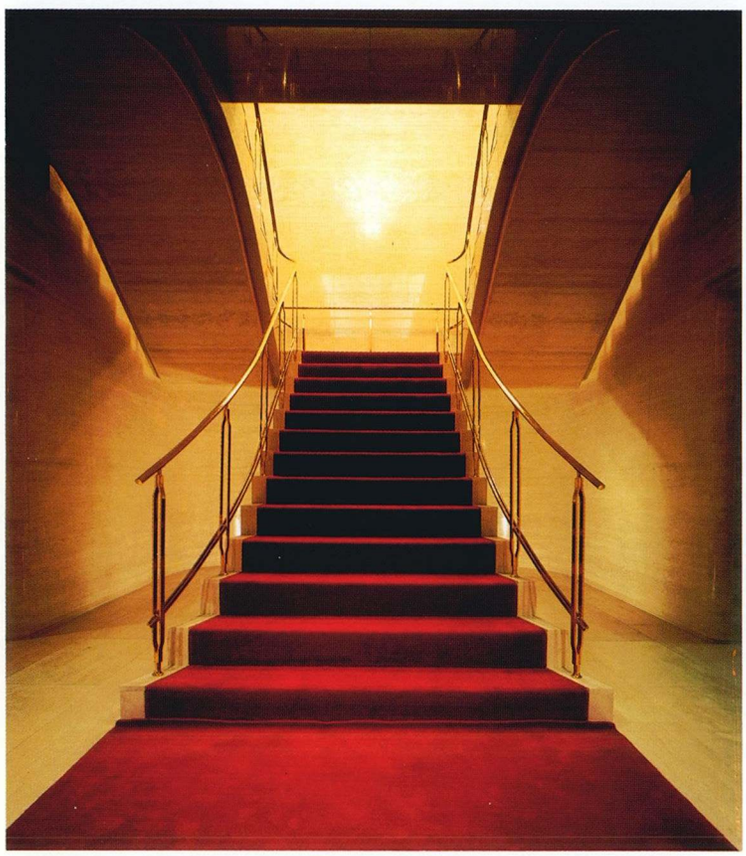
三栄金属本社ビル 1986 大阪市 ▷
San-ei Metal Co. Bldg., Osaka



ヒョウゴファー協業組合氷上工場 1987 氷上町 ▷
Factory of Hyogo-Fur Co-op., Hikami



中華人民共和国駐大阪総領事館
1985 大阪市
The Consulate General of
The People's Republic of China, Osaka







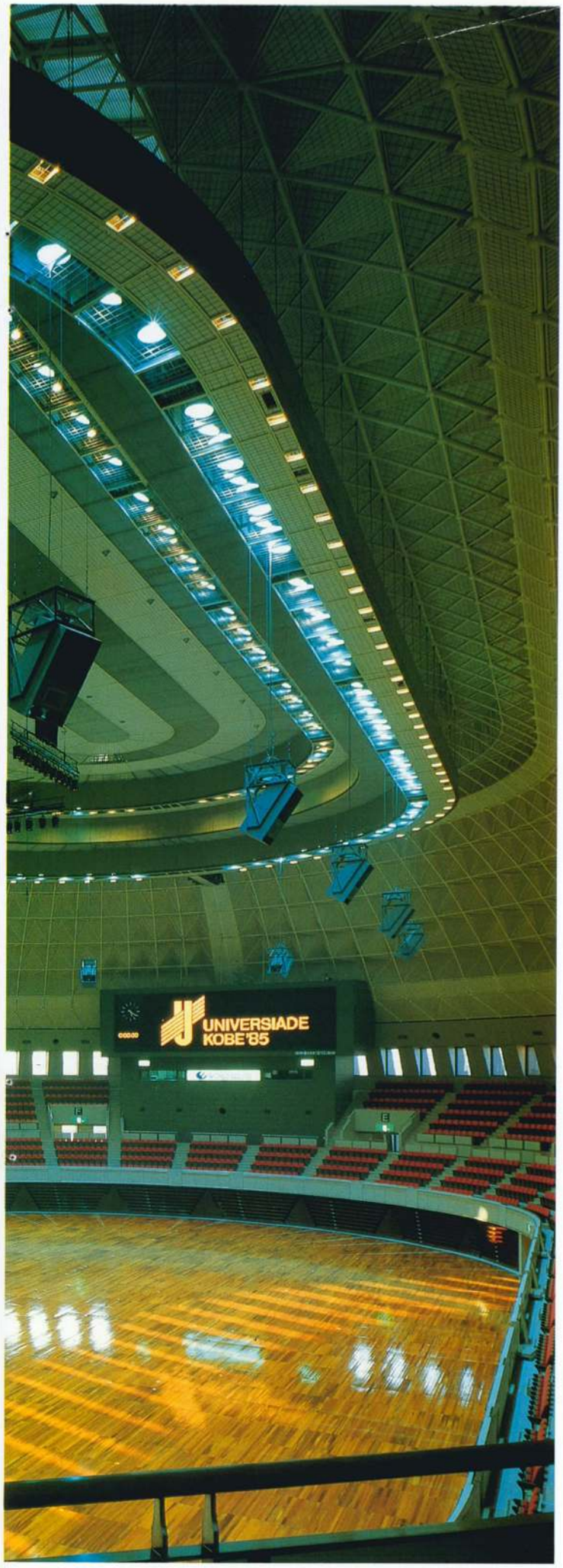

HOSIDEN



ノーリツ中央研究所 1986 明石市 Central Laboratory of Noritz Co., Akashi

◁星電器製造神戸テクニカルセンター 1987 神戸市
Technical Center of Hoshiden Electronics Co., Kobe

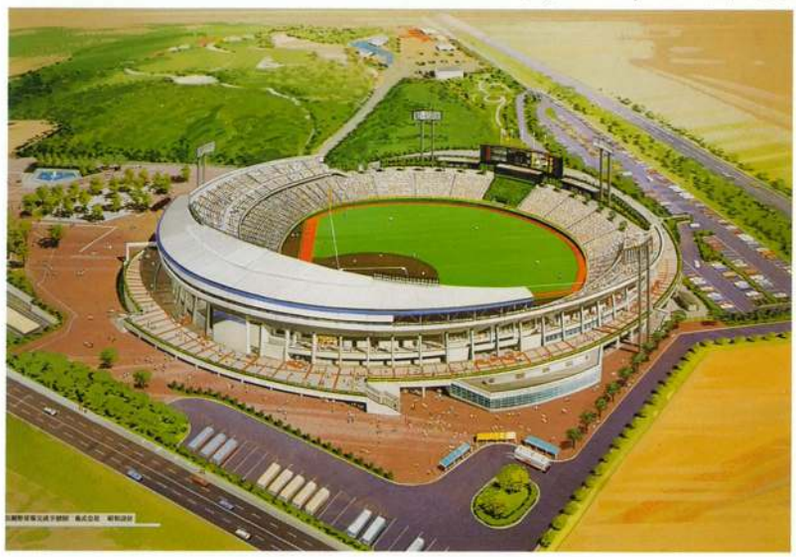

asics アシックス
K
J
I
H
G





ワールド記念ホール 1984 神戸市
"World" Memorial Hall, Kobe

神戸総合運動公園野球場 1987 神戸市
Baseball Stadium, Synthetic Sports Park, Kobe







宝塚市立病院 1984 宝塚市
Takarazuka Municipal Hospital, Takarazuka





堺市総合福祉会館 1986 堺市 Synthetic Welfare Hall, Sakai



尼崎市老人ワークセンター
和楽園 1986 尼崎市
"Waraku-en" Work Center
for the Aged, Amagasaki



羽曳野市立保健センター・休日
急病診療所 1987 羽曳野市
Health Center & Emergency
Clinic, Habikino





西宮市総合福祉センター 1985 西宮市 Synthetic Welfare Center, Nishinomiya



芦屋市立保健センター 1980 芦屋市 Health Center, Ashiya



高砂市福祉保健センター 1985 高砂市 Welfare Health Center, Takasago



フジッコ鳴尾工場 1980 西宮市 Naruo Factory of Fujikko Co., Nishinomiya



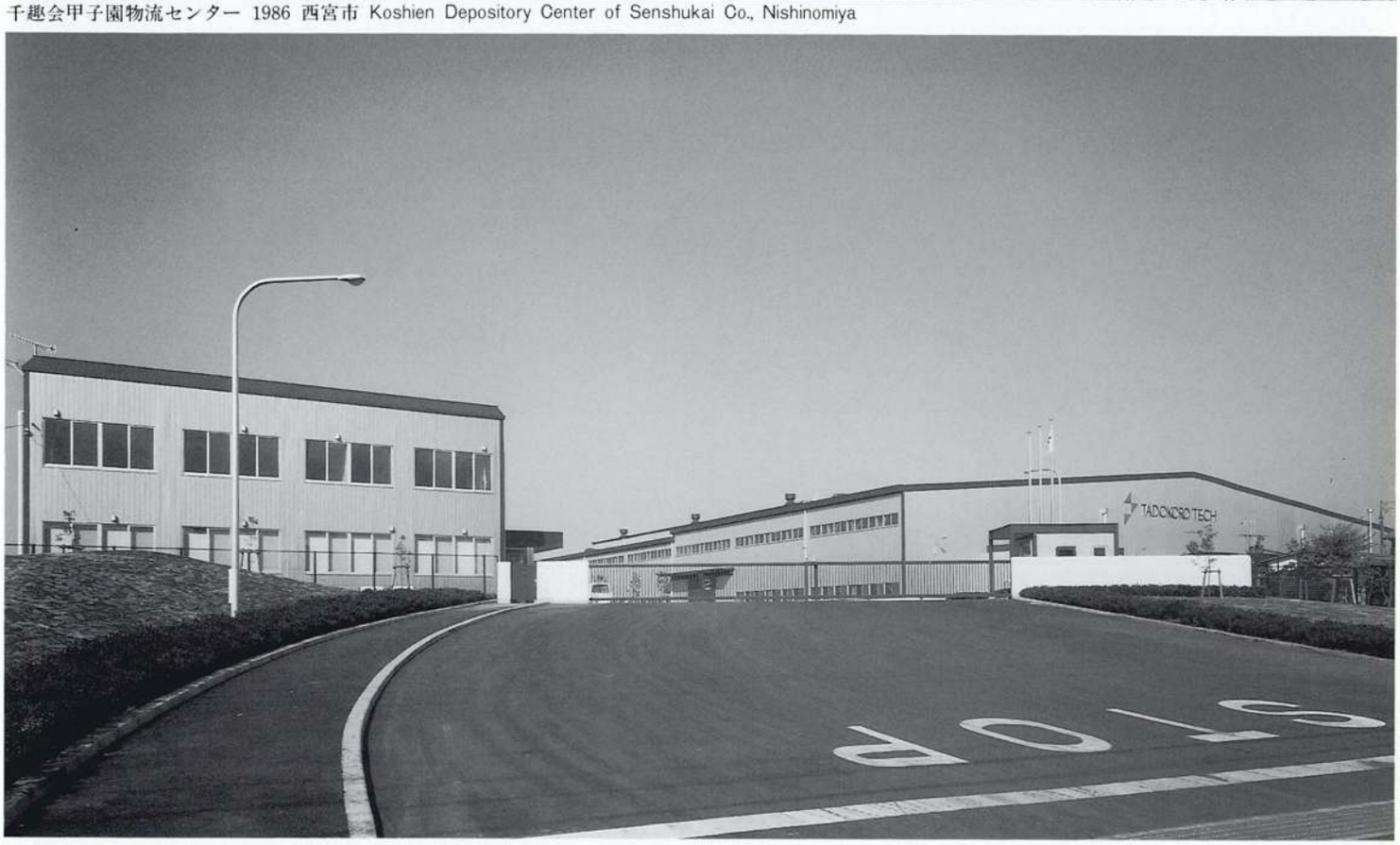
昭和アルミニウム彦根箔加工工場 1985 彦根市 Factory of Showa Aluminium Co., Hikone



フレッシュ阪神集配所 1986 枚方市 Depository of Fresh Hanshin, Hirakata



千趣会甲子園物流センター 1986 西宮市 Koshien Depository Center of Senshukai Co., Nishinomiya



田所テック東京コイルセンター 1986 相模原市 Factory of Tadokoro Tech Co., Sagamihara



大阪市住宅供給公社佃第3コーポ 1984 大阪市 Tsukuda No.3 Corpo., Osaka H.S.C., Osaka



グランドメゾン東香里 1986 寝屋川市 Grand Maison Higashi-Kori, Neyagawa



神戸市都市計画住宅三宮東ハイツ 1980 神戸市 Sannomiya-Higashi Heights, Kobe

昭和設計作品集 設計データ

凡例　建築名　　P.掲載ページ



a. 所在地
b. 建築主
c. 施　工
d. 敷地面積
e. 建築面積
f. 延床面積
g. 構造規模
h. 施設内容
i. 竣工年月　j. 掲載写真撮影者

宝塚市立図書館・ベガホール　P.63



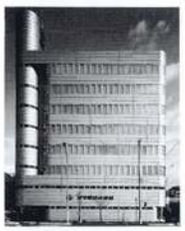
a. 宝塚市清荒神1丁目2
b. 宝塚市
c. 柄谷工務店
d. 5,482㎡　e. 2,367㎡　f. 3,773㎡
g. RC　2F
h. 音楽ホール：400席
i. 昭和55年7月　j. 島修一

阿倍野B1地区市街地再開発事業(阿倍野ベルタ)　P.64



a. 大阪市阿倍野区阿倍野筋3丁目60番地他
b. 大阪市
c. 竹中工務店・フジタ工業・鴻池組建設JV
ダイダン・大栄電気JV，栗原工業・六興電気JV，東洋熱工業・菱和調温・カンダンJV，高砂熱学・丸紅設備・精研JV，三晃空調・大成設備・経塚工業JV，大阪ガス，フジテック，三菱電機，日立，東芝，富士車輌
d. 11,917㎡　e. 10,548㎡　f. 106,569㎡
g. SRC B4 17F　i. 昭和61年1月　j. 島修一

ヨツギビル　P.66



a. 大阪市西区立売堀4丁目14他
b. ヨツギ
c. 鴻池組
近畿電気工事，因幡電気資材
d. 722㎡　e. 581㎡　f. 4,623㎡
g. S　8F
i. 昭和59年6月　j. 河野豊

三栄金属本社ビル　P.67



a. 大阪市西区九条南3丁目20番1号
b. 三栄金属
c. 間組
大橋商会，住友電気
d. 1,514㎡　e. 132㎡　f. 1,087㎡
g. S　B1　9F
i. 昭和61年12月　j. 河野豊

中華人民共和国駐大阪総領事館　P.68



a. 大阪市西区靱本町3丁目9番2号
b. 中華人民共和国駐大阪総領事館
c. 大林組
d. 1,320㎡　e. 1,064㎡　f. 6,388㎡
g. SRC　B1　7F
i. 昭和60年12月　j. 河野豊

ヒョウゴファー協業組合氷上工場　P.69



a. 兵庫県氷上郡氷上町石生
b. ジャパンエンバ
c. 大林組・曽根組JV
三晃空調，近畿電気工事
d. 45,171㎡　e. 11,652㎡　f. 11,662㎡
g. S　2F
i. 昭和62年3月　j. SS大阪

星電器製造神戸テクニカルセンター　P.70



a. 神戸市西区高塚台4丁目3番1及び8
b. 星電器製造
c. 熊谷組
三宝電機
d. 29,372㎡　e. 3,833㎡　f. 13,714㎡
g. SRC　RC　7F
i. 昭和62年10月　j. 島修一

ノーリツ中央研究所　P.71



a. 明石市二見町南二見4番
b. ノーリツ
c. 積水ハウス，前田建設工業・清水建設JV
三機工業，伊丹産業電気工事
d. 60,000㎡　e. 1,408㎡　f. 6,430㎡
g. S　6F
i. 昭和61年1月　j. 伸和実業

ワールド記念ホール　P.72



a. 神戸市中央区港島中町6丁目12番2
b. 神戸市
c. 竹中工務店
明和・三星・朝日JV，大気社，長村商会，三菱電機，松下電工，松工エンジニアリング
d. 10,365㎡　e. 7,739㎡　f. 13,287㎡
g. S　RC　B1　3F
h. 多目的ホール：固定3,522席　可動1,936席
i. 昭和59年8月　j. 松下電工

神戸総合運動公園野球場　P.73



a. 神戸市須磨区緑地台神戸総合運動公園
b. 神戸市
c. 清水建設，熊谷組
小田電気工業所・東洋電気工事・野田・東栄JV，三菱電機，東芝，日本エレベーター，朝日電気工業，恒菱，長村商会，大阪ガス
d. 550,000㎡　e. 12,679㎡　f. 18,907㎡
g. RC　一部S　4F　h. 内外野約35,000人
i. 昭和62年12月予定　j. 水成謙悟

宝塚市立病院　P.74



a. 宝塚市小浜4丁目287番地
b. 宝塚市
c. 奥村組
大気社，東洋熱工業，高砂熱学工業，三晃空調，太陽工業，フジテック，シーメンス，上野製作所，第一工業，三機工業
d. 36,614㎡　e. 6,985㎡　f. 19,636㎡
g. SRC　8F　h. 病床数 300床
i. 昭和59年1月　j. 河野豊

堺市総合福祉会館　P.76



a. 堺市南瓦町22−1，2
b. 堺市
c. 戸田・西川建設工事共同企業体
須賀工業，大阪ガス，日本電設工業
d. 1,918㎡　e. 1,420㎡　f. 8,678㎡
g. SRC　B1　7F
h. 多目的ホール：496席
i. 昭和59年3月　j. 島修一

尼崎市老人ワークセンター和楽園 P.77



a. 尼崎市昭和通1丁目412番地他
b. 尼崎市
c. 京島工務店
小畑工務店，四国電設工業，大阪ガス
d. 900㎡ e. 495㎡ f. 717㎡
g. S 2F
i. 昭和61年3月 j. 内田写真

羽曳野市立保健センター・休日急病診療所 P.77



a. 羽曳野市誉田4丁目23番1号
b. 羽曳野市
c. 飛島建設
高砂熱化学工業，日本電設工業，斎久工業
d. 1,437㎡ e. 586㎡ f. 2,264㎡
g. RC 5F
i. 昭和62年3月 j. 石堂瑛三郎

西宮市総合福祉センター P.78



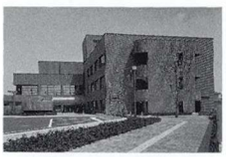
a. 西宮市染殿町50－1
b. 西宮市
c. 新井組
竹中工業所，カンダン，大阪ガス，近畿電気工事，東京芝浦電気
d. 9,573㎡ e. 4,155㎡ f. 8,958㎡
g. RC 一部S B1 5F
i. 昭和60年3月 j. 河野豊 SS大阪

芦屋市立保健センター P.79



a. 芦屋市公光町21番1
b. 芦屋市
c. 新井組
d. 726㎡ e. 290㎡ f. 938㎡
g. RC B1 3F
i. 昭和56年3月 j. 河野豊

高砂市福祉保健センター P.79



a. 高砂市高砂町朝日町1－2－1
b. 高砂市
c. 大成建設・塩谷運輸建設JV
d. 6,892㎡ e. 1,900㎡ f. 4,005㎡
g. RC 一部S 3F
h. ホール：450席
i. 昭和59年3月 j. 高塚フォト・サービス

フジッコ鳴尾工場 P.80



a. 西宮市鳴尾浜1丁目22番5
b. フジッコ
c. 清水建設
川重商事，太陽工藤工事
d. 7,781㎡ e. 2,913㎡ f. 6,047㎡
g. S 3F
i. 昭和55年11月 i. 河野豊

昭和アルミニウム彦根箔加工工場 P.80



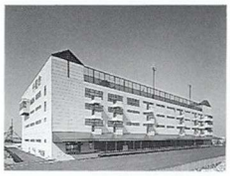
a. 彦根市清崎町60番地
b. 昭和アルミニウム
c. 大成建設
d. 233,193㎡ e. 5,546㎡ f. 6,320㎡
g. S 2F
i. 昭和61年6月 j. JINK

フレッシュ阪神集配所 P.80



a. 枚方市大峰南町4040番6号
b. 阪神百貨店
c. 阪神土木工業
中央電気工業
d. 2,809㎡ e. 1,288㎡ f. 1,782㎡
g. S 2F
i. 昭和61年6月 j. 伸和実業

千趣会甲子園物流センター P.81



a. 西宮市鳴尾浜1丁目3番11
b. 千趣会
c. 竹中工務店・東洋建設JV
近畿電気工事・太陽工藤工事JV，三冷社，三機工業，日本オーチスエレベータ，日日本ドライケミカル
d. 15,116㎡ e. 5,892㎡ f. 18,988㎡
g. S 5F
i. 昭和61年7月 j. スタジオ・アーチ

田所テック東京コイルセンター P.81



a. 相模原市田名字福岡3853－1外
b. 田所テック
c. 間組
日宝工業，ヤマト電気エンジニアリング
d. 26,756㎡ e. 11,100㎡ f. 13,147㎡
g. S 2F
i. 昭和61年10月 j. 三輪晃久写真研究室

大阪市住宅供給公社佃第3コーポ P.82



a. 大阪市西淀川区佃2丁目124番地
b. 大阪市住宅供給公社
c. 前田建設工業
中国電気，扶桑管工業，大阪ガス，三菱電機
d. 10,629㎡ e. 3,152㎡ f. 21,326㎡
g. SRC 14F
h. 住戸数：218戸
i. 昭和59年11月 j. 内田写真

グランドメゾン東香里 P.82



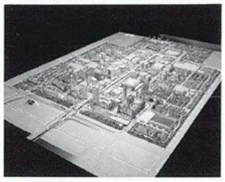
a. 寝屋川市成田東町884
b. 大東土地
c. 大林組
d. 1,330㎡ e. 519㎡ f. 1,385㎡
g. RC 3F6層
h. 住戸数：16戸
i. 昭和61年9月 j. SS大阪

神戸市都市計画住宅三宮東ハイツ P.83

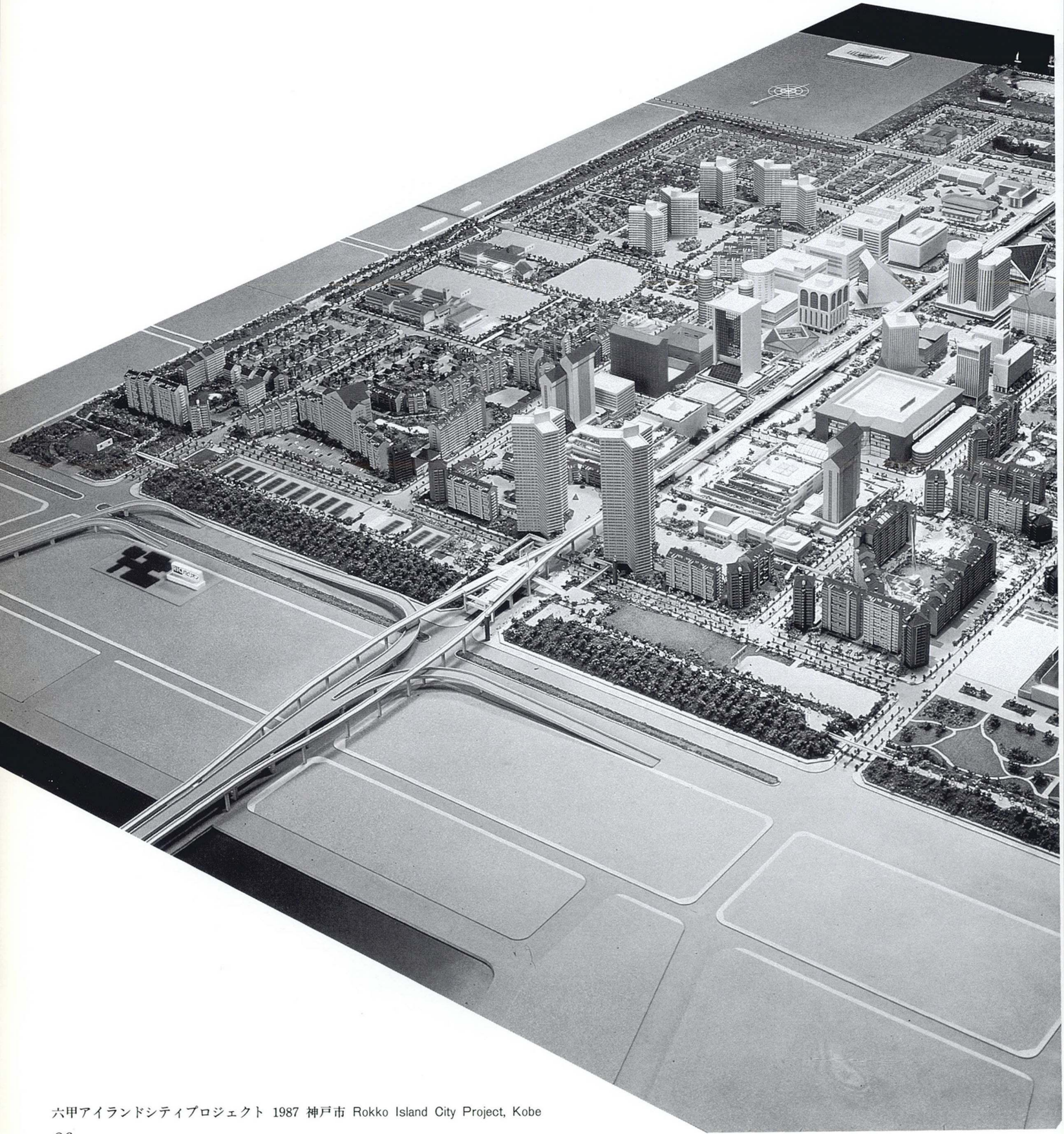


a. 神戸市葺合区二ノ宮町1丁目
b. 神戸市
c. 竹中工務店
早水電気工業，富士設備
d. 2,418㎡ e. 1,146㎡ f. 9,106㎡
g. SRC 14F
h. 住戸数：100戸
i. 昭和55年9月 j. 河野豊

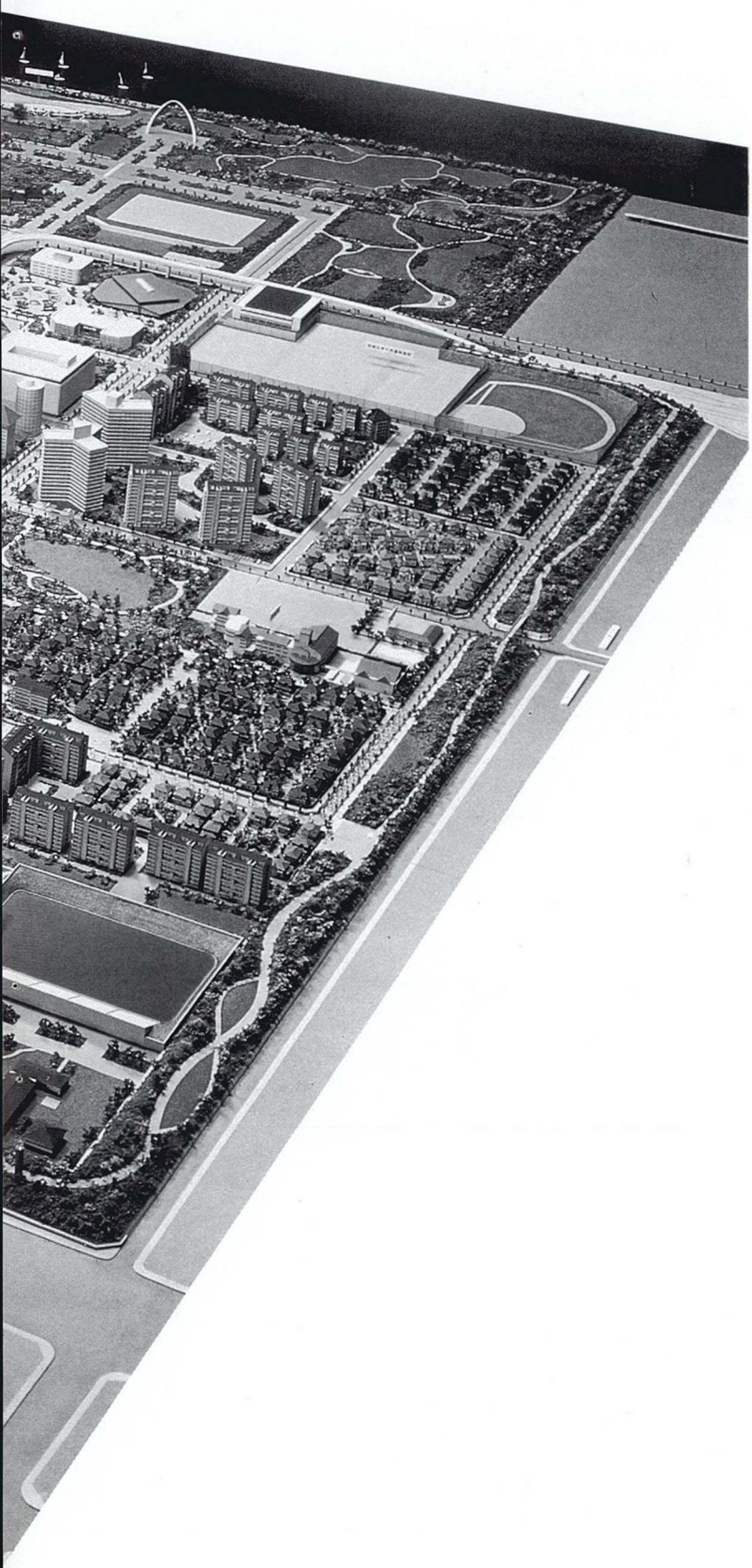
六甲アイランドシティプロジェクト P.86



●住宅ゾーン
事業主：積水ハウス＋アーバンライフ，計画戸数：4,200戸(中高層4,000戸，低層200戸)，駐車場：2,700台，駐輪場4,200台，予定人口：15,000人，入居予定：昭和63年3月
●業務・商業ゾーン
事業主：積水ハウス＋アーバンライフ＋信泉不動産，建築面積：72,100㎡，延床面積：33,000㎡，使用開始：昭和64年4月 j. 積水ハウス



六甲アイランドシティプロジェクト 1987 神戸市 Rokko Island City Project, Kobe



昭和設計作品集

創立30周年記念

関連広告目次

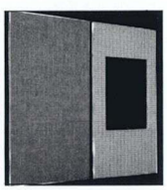
八千代電設工業……表2
タキロン……17
太田興業……18
旭化成工業……88
川崎製鉄……89
神戸不燃板工業……90
三精輸送機……91
昭和アルミニウム……92
日本スピンドル製造……93
アトラス……94
青井黒板製作所……94
伊丹産業電気工事……95
エービーシー商会……95
オイレス工業……96
オリエンタルコンクリート……96
オリエンタルメタル製造……97
小野田建材……97
大島応用化学工業……98
大塚オーミ陶業……98
奥平工業……99
カンダン……99
三協アルミニウム工業……100
三建設備工業……100
三晃金属工業……101
三晃空調……101
三神工業……102
三冷社……102
志野陶石……103
信越ユニット……103
新菱冷熱工業……104
住友電設……104
住友ゴム工業……105
タジマ……105
ダントウ……106
田島順三製作所……106
田島ルーフィング……107
大気社……107
ツルガスパンクリート……108
東光電気工事……108
東芝……109
東邦パーライト……109
東洋シャッター……110
東洋熱学工業……110
ナカ工業……111
ニチベイ……111
日新工業……112
日本オーチス・エレベータ……112
日本ファイリング……113
日本ファスナー工業……113
フジモリ産業……114
不二サッシ……114
不二熱学……115
文化シャッター……115
福田鋼機……116
ヤマト電気エンジニアリング……116
山武ハネウェル……117
ユニオン……117
旭ファイバーグラス……118
浪速建材工業……118

ダイナミックな壁面に
格調高いテクスチャー

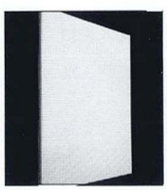


新登場 グランデバリエーションパネル

ヘーベルグランデには、表面が無仕上げの一般パネル・開口付パネルの他、次のようなパネル表面に仕上げを施したバリエーションパネルがあり、多様な意匠性の要求に応えています。



グランデタイルパネル
特殊仕様による接着モルタルを用い、工場でグランデにタイル（磁器またはせっ器質）を圧着貼りしたパネル。一層重厚感あふれるグランデ建築を創ります。



グランデプレコートパネル
フッソ樹脂の吹付け仕上げ工程を工場で行って納品するパネル。非常に品質の安定した製品をお届け出来ます。



グランデMCパネル
グランデに1.6㎜厚の鋼板（ホーロー鋼板またはフッソ樹脂鋼板）を張付け一体化したパネル。表面に光沢を持つ、格調高い近代的な建築を創ります。


一般パネル

旭化成建材が世界で初めて開発した大型ＡＬＣパネル・ヘーベルグランデは幅900～1,800mm。すぐれた耐震・耐火・断熱性，施工性・経済性等に加え，その意匠性が建築家の豊かな感性に応え，斬新・重厚・端正な表情のハイグレード建築を誕生中。グランデには，一般パネルの他，バリエーションパネル等各種パネルがあり，いま最も脚光を浴びている外壁構成材です。一般パネル規格＝版幅：900～1,800mm。版厚：125mm・150mm。版長：2,700～4,500mm（10mmピッチ）。許容荷重：120kg/m²・200kg/m²。

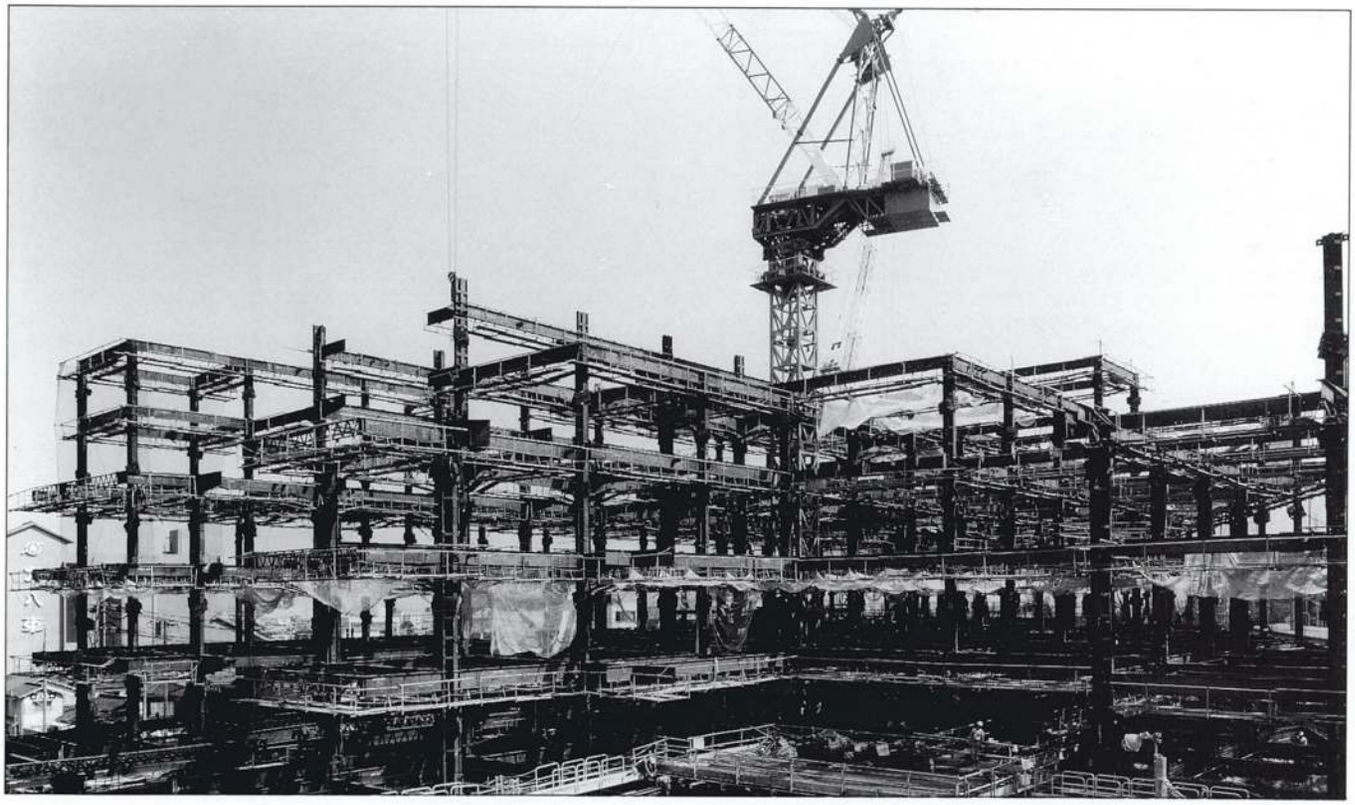
ヘーベルグランデ

東京03(507)7855 札幌011(221)0805 仙台022(223)5155 金沢0762(31)7188 名古屋052(221)9654
旭化成建材
大阪06(347)3847 広島082(247)6131 高松0878(22)0305 福岡092(721)7264

中日本旭化成建材株式会社 〒530 大阪市北区堂島浜1丁目2番6号(新大ビル) ＴＥＬ06－347－3847

時代に贈る158サイズ

新技術による新しいH形鋼の誕生です。



川鉄のSRC構造用H形鋼

ハイスレンド-H®

川鉄の「ハイスレンドーH」は、ウェブの薄肉化により、
14シリーズ158サイズで新しくデビューしました。
これにより多様な設計条件におこたえし、経済設計が
可能となりました。

川崎製鉄

東京／建材営業部建築建材グループ　☎03-597-3985
大阪／建材営業部大阪建材グループ　☎06-315-4553

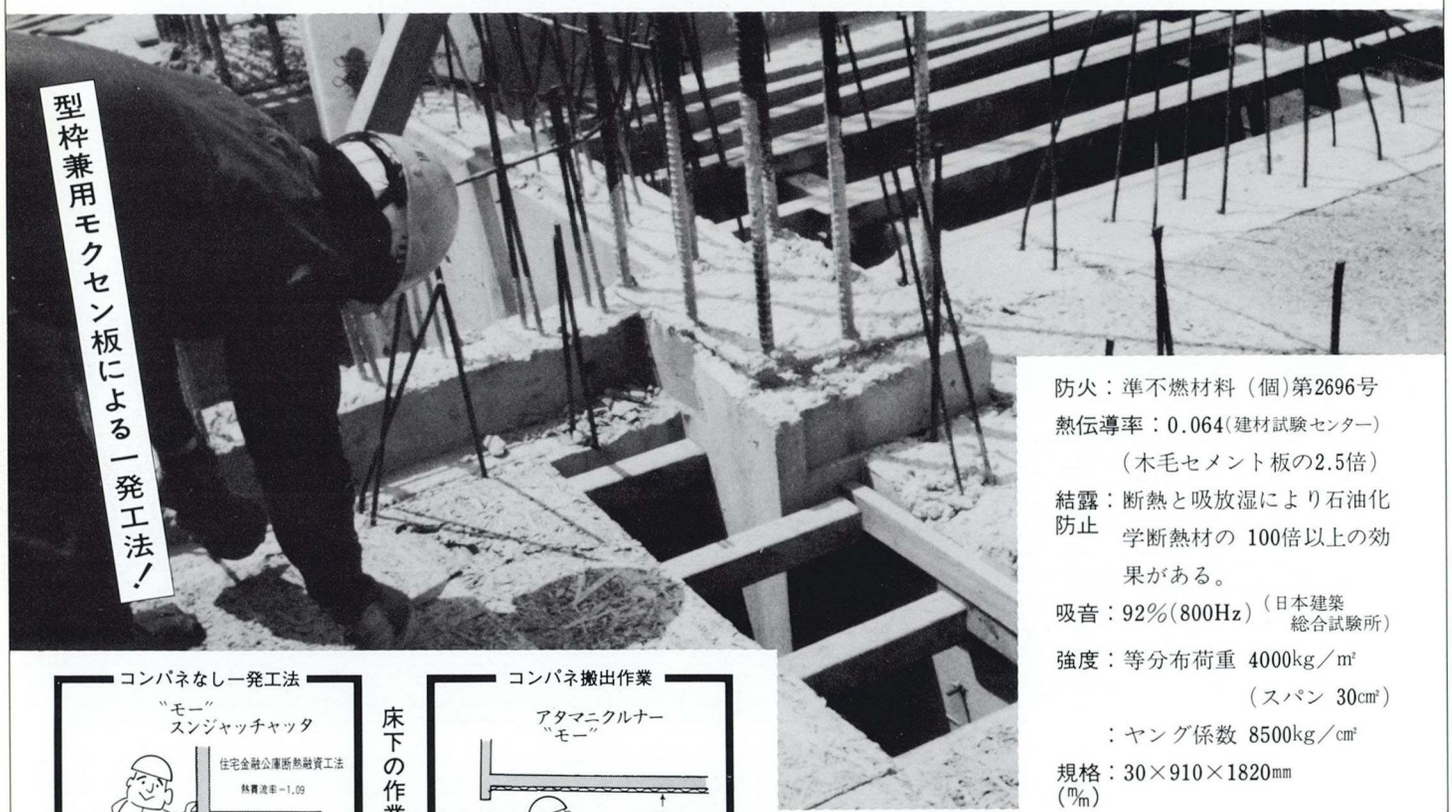
型枠兼用モクセン板

ストロングボード・K（製品記号 S.K）

“コンクリート打設に使用すれば”

（本誌新建材紹介コーナーNo.48）

コンクリート建物に断熱保温性能と吸放湿による調湿性能および防音性能を附与して住みよい環境をつくるばかりでなく、コンクリート打設時にはそのフィルター効果によって余剰水を脱水し、緊密にして収縮クラックの少い堅牢なコンクリートを形成します。また初期結露の防止にも卓効があります。尚その上にコンパネ省略の一発工法は、工期の短縮と経費の節減につながるなど、**ストロングボード・K**は将に21世紀へ向って前進する建材です。勿論、防火、防煙性能も抜群です。



防火：準不燃材料（個）第2696号

熱伝導率：0.064（建材試験センター）
（木毛セメント板の2.5倍）

結露防止：断熱と吸放湿により石油化学断熱材の 100倍以上の効果がある。

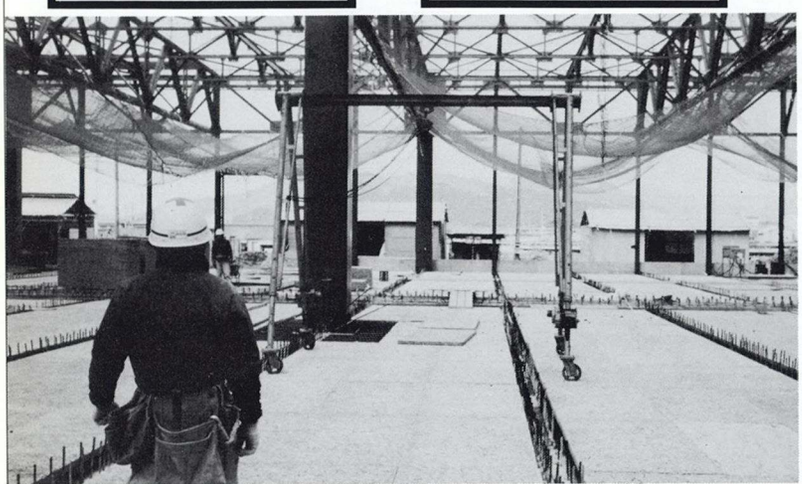
吸音：92%（800Hz）（日本建築総合試験所）

強度：等分布荷重 4000kg／m²
（スパン 30cm²）
：ヤング係数 8500kg／cm²

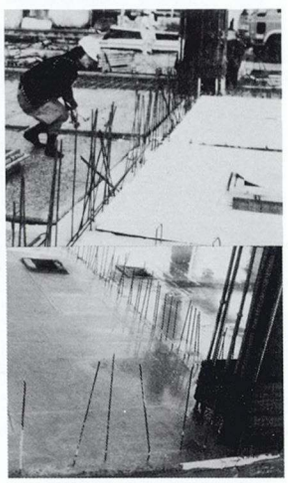
規格：30×910×1820mm
（m/m）

床下の作業比較

コンクリートの耐久力は3倍に。



施工風景



写真上（コンクリート下地に）
- 右側（白色）石油化学断熱材
- 左側ストロングボードK（S.K）

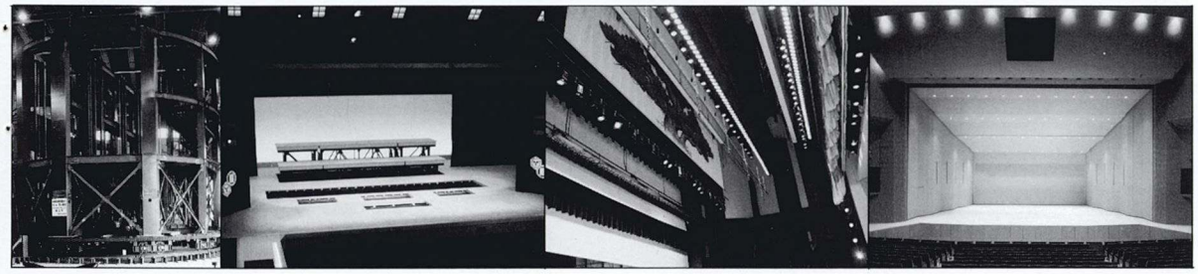
写真下（コンクリート打設直後）
- 右は下地（石油化学断熱材）に透水性がないので浮水現象（ブリージング）をおこしている。（光って見える）
- 左は下地（ストロングボードK）に透水性があるのでコンクリート中の余剰水は脱水されて浮水のない緊密なコンクリートとなっている。これは右に比べて結露をおこさないと同時に耐久性は3倍となる。

神戸不燃板工業株式会社

〒673-05 兵庫県三木市志染町三津田431
TEL.（07948）7—3121(代)

SANSEI YUSOKI CO.,LTD

all over the world.

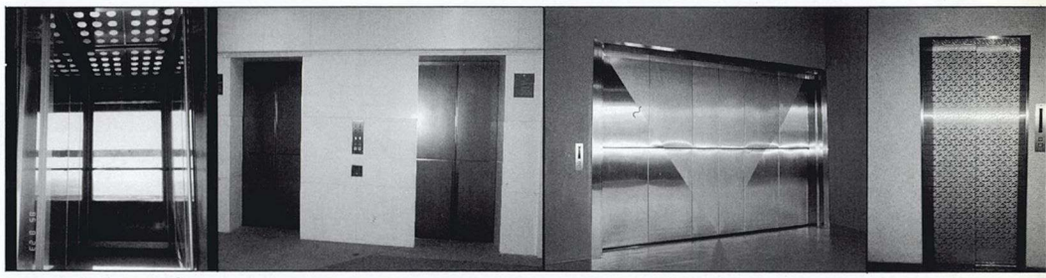


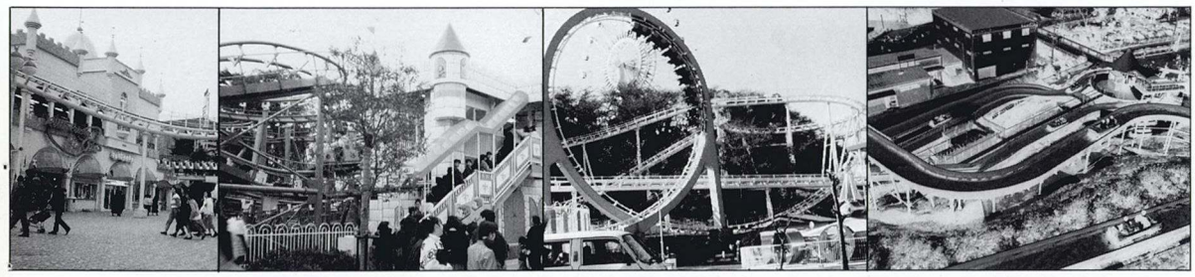
STAGE ENGINEERING

舞台機構

ELEVATORS

昇降機





AMUSEMENT RIDES

遊園地施設

三精輸送機株式会社

本　　社：〒564　大阪府吹田市江坂町1丁目13番18号　　TEL 06(385)5621(大代表)

第一事業部（舞台機構部門）　　TEL 06(385)5624（代 表）

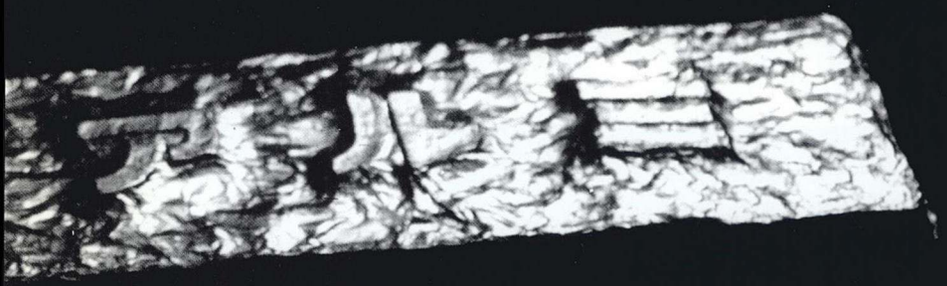
第二事業部（昇降機部門）　　TEL 06(385)5625（代 表）

第三営業部（遊園地施設部門）　　TEL 06(385)5626（代 表）

東京支店：〒151　東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目32番6号(大西ビル)　　TEL 03(356)5651（代 表）

工　　場：福知山　　出張所：札幌，青森，秋田，仙台，名古屋，金沢，広島，福岡

拡く、深く。現代と未来をつなぐ昭和アルミ。



現代社会にとっていまや不可決な金属となったアルミニウム。軽量性、通電性、耐食性、非磁気性などの特性は、きわめて高い利用価値をもっています。これらの優れた特性を利用し、家庭用品から車や航空機、産業機械や先端科学の分野まで、じつに多彩な力を発揮しています。アルミニウムの総合メーカーとして発展してきた昭和アルミは、その専門知識や技術を結集し、今後ますますルミニウムの応用分野を拡げる努力をいたします。そしてアルミニウムが社会にとってもっともっと有益で有意義となる時代を、昭和アルミは目指します。



冷蔵庫からクリーンルーム(恒温・恒室)まで先進の技術でニーズに応える。

昭和アルミの断熱パネル

——使い易い高機能と多彩な商品群——

高品質のアルミ製品を創造。昭和アルミの源泉ともいえる3つの柱。

堺製造所

堺製造所はアルミの溶解から加工までの一貫生産を目的に建設された、いわば昭和アルミの母体ともいえる製造所。技術陣の豊富な経験と知識に加え最新設備の導入により、アルミ地金の溶解から圧延、押出によるアルミ製品の基礎となる押出形材、板、条、箔などの展伸材を製造しています。

彦根製造所

昭和アルミ第三の製造所として、プレハブ冷蔵(凍)庫のパネル専門工場、ビール用アルミ缶工場、押出し形材の一貫生産工場を次々に完成させた彦根製造所。クリーンルーム化された工場も建設され、食品や医薬品の包装材を生産。ユーザーニーズに的確な対応を見せています。

小山製造所

アルミ加工品では最もユニークなものの一つ、ロールボンド製造を生産することを主目的として建設された小山製造所。今日では、各種製法による熱交換器・押出し形材や箔などを生産しています。

SHOWA 昭和アルミニウム株式会社

事業場

大阪本社 ☎0722(33)1181 東京本社 ☎03(239)5311 名古屋支店 ☎052(582)7851 大阪支店 ☎06(315)1281 福岡支店 ☎092(771)6938

営業所：札幌・仙台・金沢・北関東・静岡・高松・広島・熊本・鹿児島 海外事務所：米国ニューヨーク州

新しいテクノロジーの時代へ。

21世紀を目前に控え、さらなる飛躍をめざし、
持てる技術開発力、生産力の
総てを結集して、新しいテクノロジーの時代を切りひらきます。
あらたな日本スピンドル製造の挑戦にご注目ください。

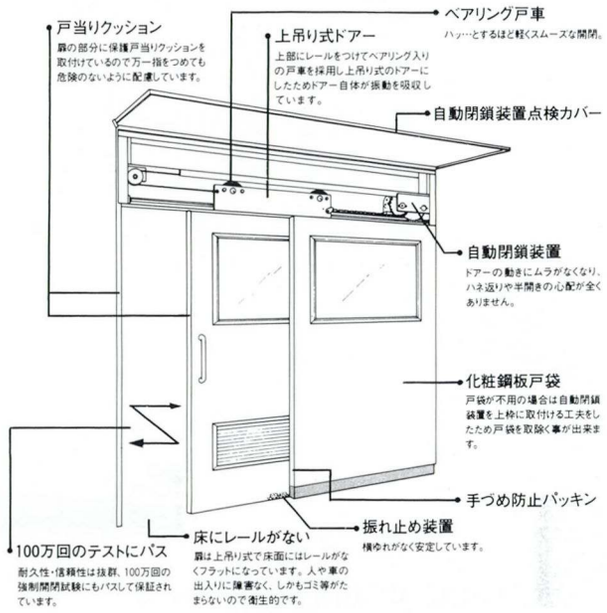
“サイレント”引戸

日本スピンドルのサイレント引戸は、発売以来その機能性、安全性、耐久性、また洗練されたデザインにおいて全国の官公庁、民間建築に数多くの信頼と実績を得てまいりました。
又、病院、老人ホーム、学校、福祉施設、住宅とどこにでも安心して使用して頂けるドアです。

防火仕様

日本スピンドルのサイレント引戸は、防火認定試験にもいち早く合格しており、全国の公営住宅の身体障害者用住宅の玄関ドアとしても、数多くの実績を持ち官公庁にも、絶大な信頼を得ています。

認定番号　防火戸第863号



SPKオープンスクールシステム

学校用可動間仕切

● 可動間仕切SPK-2型の特長

1. 天井レールから吊りさげ、レールに沿って自由に移動できます。
2. 天井レールに吊り下げますから、床面にレールがいりません。
3. パネルは四周を気密パッキングで密閉します。また、床面には固定ボルトを落とし、衝撃荷重にもビクともしません。

フッソ樹脂塗装ステンレス鋼板

建築用外装ファッション化粧材・1㎡当り 材工共41,000円

シルバーハイパネル

■ 特長

①１㎡当り41,000円－「ステンレスは高い」という常識をみごとに打ち破りました。
②ステンレス材＋フッ素樹脂焼付塗料で抜群の耐久性と耐候性を発揮します。
③汚れも水で簡単に落とせます。傷によるサビの発生も全くありません。
④カラフルな色彩と美しい表面仕上げ、デザインも自由自在、個性ゆたかなバリエーションが楽しめます。
⑤1,450度までの耐熱性を有するステンレス基材、特殊加工をプラスして耐火性も安心。
⑥ステンレス独自の有利性を生かし、孔明けやタッピングなどの加工も思いのままです。

■ 仕様

①使用材料
パネル原板／ステンレス鋼板(標準SUS430)
標準板厚1.2～1.5㎜、板幅1,219㎜、長さ3,000㎜
裏打材/珪酸カルシウム板(難燃2級以上)岩綿吹付
前処理/特殊化成処理
塗装/下塗:エポキシ樹脂系特殊粉体焼付塗装
上塗:2液硬化性フッ素樹脂上塗焼付塗装
コーキング/バッカー充填後プライマー塗布。
シリコン系コーキング仕上げ
②表面仕上げ　フラット仕上げ、光沢仕上げ
模様仕上げ、艶消し仕上げ
③色　調　標準24色

日本スピンドル
NIHON SPINDLE

● 総発売元

日本スピンドル製造株式会社　建材事業部

：〒567　大阪府茨木市東太田2-2-51　☎(0726)26-5761(代)

☆先教に感えて網く
アトラス ノンスリップ。

ATLAS®



☆カタログご請求次第お送りします。

● 新発売!! 合成ゴム成形ST(N)型・(W)型登場

手摺りを兼ねた車ずり　抗菌剤混入・雑菌防止

- リンターガードレール WGR150
- リンターレール(ビル用・住宅用)カラー手摺
- NEWリンターユニットタイル
- ショック ストッパー・コーナ
- SG ステンレス手摺
- ステンレスグレーチング
- 配線用ピット枠・蓋

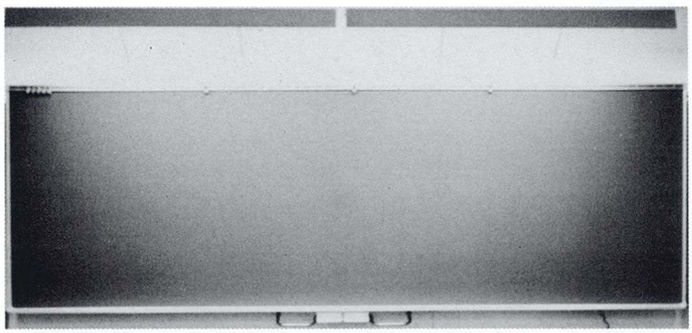
ATLAS®

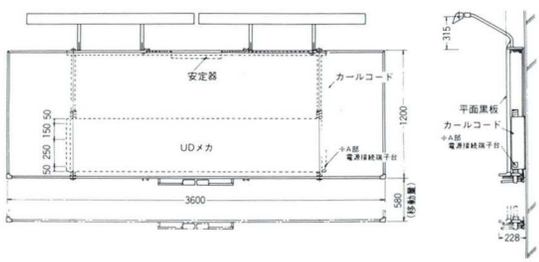
株式会社 アトラス

大阪市天王寺区東高津町11−9(日生上本町ビル)　電話 (06)765-2360㈹
東京都荒川区西日暮里2-29-6(秋山ビル)　電話 (03)802-4591㈹
福岡市東区松島5−7−3　電話(092)622-0611㈹
大阪・東京・横浜・名古屋・広島・福岡・高松・北陸・高崎・仙台・札幌

新製品

パンライトが UDスライダー黒板の照明問題を解決!





パンライト付 UDスライダー黒板 PAT.第1463461号

- 黒板自体に取付ける新しい黒板専用灯です。
  動く黒板、UDスライダーには最適です。
- 既存の黒板にも取付けられます。
- コンピューター設計の反射鏡により、板面がすみずみまで明るく見やすい。

株式会社 青井黒板製作所

本　　社 〒530 大阪市北区西天満6-5-8　TEL. 06(312)6321(代表)
東京支店 〒165 東京都中野区新井1-1-5　TEL. 03(387)3330(代表)
名古屋支店 〒461 名古屋市東区泉3-26-7(山田ビル) TEL.052(931)2740
営　業　所 札幌・埼玉・千葉・神奈川・静岡・岐阜・奈良・四国・九州

関西電力認定　電気工事一式設計施工

伊丹産業電気工事株式会社

代表取締役　北嶋政次

伊丹市千僧字樋掛田１の10

電話　(0727) 83−4438(代)

FAX　(0727) 77−2199

素材が創る快適空間

イノベーションプラスリノベーション
INNOVATION+RENOVATION

●

㈱ABC商会はいま、数々の商品でイノベーションを
そしてまた増・改築、改装のシステムでリノベーションを皆さまにご提案いたします。

ぜひ一度、ABC商会のショールームへ

●ヨーロッパ調のエレガントなデザインと使い易さを追求した超高級サニタリーウェア**エルジャー**。●デコラティブフォーセットでは世界最大のバリエーションを持つ**ハーデン社製水栓金具**。●天然石を超えるデザインと質感、90%以上の天然石からなる樹脂含有加工大理石**アームストーン**。●203種類の豊富な色柄から、あらゆる要望にお応えする世界の床材**アームストロング長尺床材**。●好評の天然石シリーズに豊富な新柄が加わりさらに充実したバリエーションの**ナチュラタイルアジャックス**。●一体成型のキッチンシンク、シリコーンシーラントをラインナップに加え、インテリア素材としてさらに美を演出する**デュポンコーリアン**。そして多機能を誇る樹脂系無機系**塗床材**など、アメリカやヨーロッパ、日本の一流建築材、インテリア材を一堂に展示しております。最適な素材との出逢いの場としてABC商会のショールームをご利用下さい。

ショールームへどうぞ。
素材が創る快適空間
イノベーションプラスリノベーション
床、壁、天井材から、照明、厨房
浴槽製品までお求めやすく豊
富に、ショールームへぜひ…

大阪 06(943)2839
OMMビル8F●日曜・祭日休館



東京 03(507)7117
●年中無休(12/30〜1/4のみ休館)

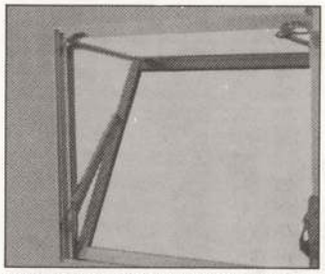


名古屋 052(263)1455
昭和ビル1F●日曜・祭日休館

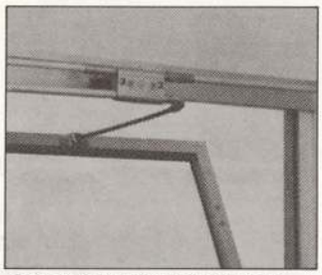


●カタログをご請求ください●
(株) ABC 商会
〒100 東京都千代田区永田町2-12-14
宣伝課　係

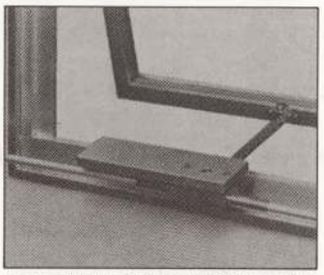
広範囲にわたる施工実績が
優れた信頼性と、
設計・施工から



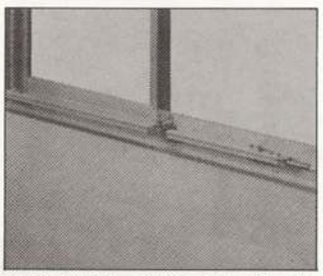
●SL-80シリーズ／滑車とワイヤーロープ、スティを組み合せたシンプルな構成の外倒し窓のワンタッチ開放システム。



●SL-250シリーズ／フレキシブルなギャードケーブルと歯車の組み合せにより、外倒し・内倒し窓を確実に開閉する手動開閉システム。



●SL-300シリーズ／プッシュプルチェーンとギャードケーブルの組み合せによって広範囲な高窓の開閉に適応するコンパクトなシステム。



●SL-550シリーズ／ギャードケーブルの特長をさらに発展させた、高級開閉システム。高級機としての理想的な諸機能と美観をそなえています。

アフターサービスまでの、
万全のフォロー体制を
お約束いたします。

●BCJ-防災-110号
電動手動併用自然排煙装置
●BCJ-防災-120号
手動(一回転ハンドル)自然排煙装置
●BCJ-防災-121号
手動自然排煙装置(ワンタッチ開放式)
●BCJ-防災-195号
電動自然排煙装置
●BCJ-防災-202号
電動自然排煙装置

キャブレックス®オペレーター
排煙・換気・採光用高窓手動開閉装置　関係法規適合

●キャブレックス オペレーターは多様なニーズに応えるため、この他にも機種や作動方法のバリエーションがそろっています。

OILES オイレス建材株式会社
本　　社　〒106 東京都港区芝大門1-3-2 芝細田ビル　☎(03) 433-1265
大阪営業部　〒564 大阪府吹田市垂水町3-18-9 ユーコービル　☎(06)380-0021

快適空間を生む。PC

プレストレストコンクリート工事の設計・施工
プレストレストコンクリート製品の設計・製造

KK オリエンタルコンクリート株式会社
大　阪　支　店

大阪市北区芝田２－６－23(全日空ビル)
電話　(06) ３７２－０１０４
FAX　(06) ３７５－１３１０

個性的に
屋根をメイクアップ

(建設省認定不燃(個)第1405号　建設省指定耐火構造R0074)

〔鋼板製〕オリエンタル フネンシングル

オリエンタルフネンシングルは、
亜鉛鉄板を芯材に琺瑯着色した
石英粒子で被覆しました新しい
屋根材料です。
金属の持つ軽量で強いという
機能性と石英粒子の独特な色調 色感が
これからの屋根を個性的に
メイクアップします。

不燃材料
30分耐火構造
☆屋根30分耐火構造の指定を受けています。

鋼板製 軽くて!われず
R加工が可能

住宅・店舗・マンション他各種建築物の
屋根材として御好評を得て居ります。



オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社☎(06)412-5131㈹　大阪支店☎(06) 488-1081㈹　名古屋支店☎(052)581-2781㈹
建材事業部☎(06)488-1081㈹　九州支店☎(093)201-2831㈹　広島支店☎(082)293-8151㈹

東日本地区総発売元 オリエンタル建材株式会社

〒335 蕨市塚越5丁目6番32号　☎(0484)45-7411

建築土木のあらゆるニーズに応える技術と製品

株式会社小野田

- **ブライスター**(静的破砕材)……岩石・コンクリートの静かな破砕材
- **小野田エクスパン**(膨張材)……コンクリートのひびわれ防止混和材
- **ユーロックス**(無収縮グラフト材)……逆打ち壁・柱、鉄骨ベース部分の充填モルタル
- **小野田NN・NN-P**(防水材)……コンクリートの躯体防水混和材
- **エースライト**……セラミック系人造木材・建築内装材
- **小野田リフリート工法**……コンクリート躯体改修工法

その他各種材料を取り揃えています。

株式会社小野田

本社
〒110 東京都台東区上野5-15-14 御徒町CYビル
☎ 03-837-0912

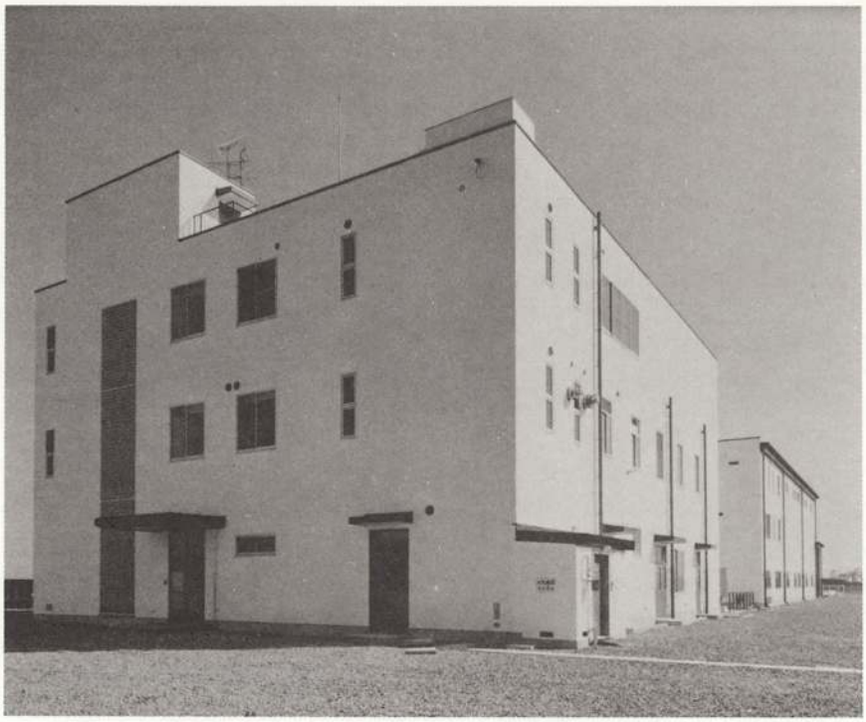
支店
札　幌 ☎011-221-5855　　大　阪 ☎ 06-373-8811
仙　台 ☎022-221-4511　　高　松 ☎0878-51-6505
東　京 ☎ 03-837-0921　　広　島 ☎082-261-7191
名古屋 ☎052-221-7011　　福　岡 ☎092-781-5331
■営業所／盛岡・福島・新潟・関越・千葉・横浜・静岡
北陸・姫路・松山・岡山・山陰・山口・大分・鹿児島・沖縄

●耐酸被覆鋼板のパイオニア

大島応用化学工業は

創立40周年をむかえました。

〝ニーズの先取り〟を合言葉に製造から施工までの一貫したシステムをとってまいりました。
この理念をさらに発展させ、飛躍するよう努力をかさねます。



大阪市港湾局
北港処分地(管理棟)▶

〈耐酸被覆鋼板〉
■ケミカラーオーシマメタル
(COM-S)不燃(個)第1326号
■エバーブライトメタル
(EBM)不燃(個)第1880号
■ケミカラーオーシマメタルSUS
(COM-SUS)
不燃(個)第1326号

〈粉体樹脂被覆鋼板〉
■オーシマポリメタル
(ORPM)不燃(個)第1723号

防蝕耐酸被覆金属板　製造販売並現場責任施工

大島応用化学工業株式会社

本社　〒535 大阪市旭区太子橋1-15-22 電話06-954-6521 Fax06-954-6480
●支　店/東　京・名古屋・新居浜●工　場/新居浜・寝屋川
●営業所/四日市・岡　山・広　島・宇　部・福　岡

ハイテク・セラミック

大型美術陶板(壁面装飾)

600×3,000×20㎜

OTセラミック(内・外壁、床に)

600×600×8㎜

大塚グループ

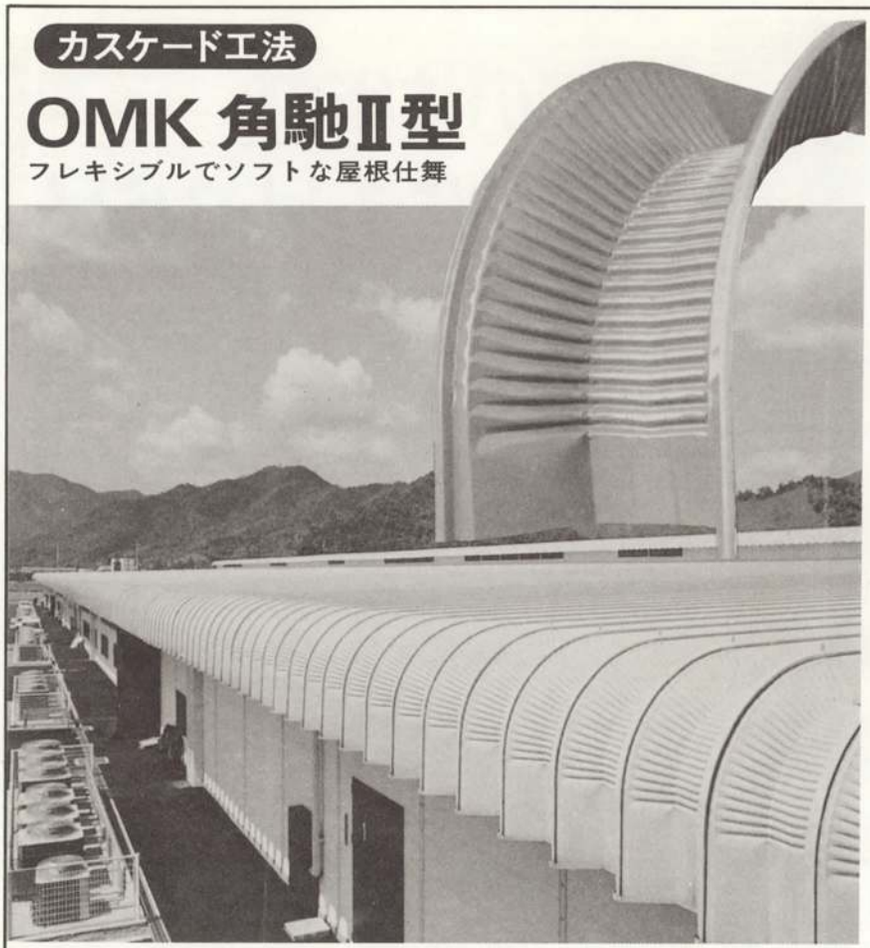
大塚オーミ陶業株式会社

本　社　大阪市東区豊後町10　TEL　06(943)6695
東　京　東京都千代田区神田司町2－9　TEL　03(294)1388
工　場　滋賀県甲賀郡信楽町字柞原　TEL　0748(82)3001

カスケード工法

OMK 角馳Ⅱ型

フレキシブルでソフトな屋根仕舞



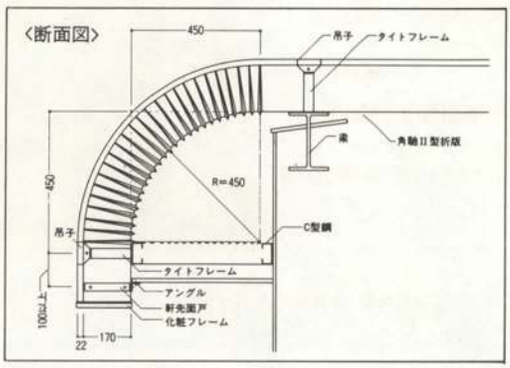
▲兵庫ファー協業組合氷上工場(設計 昭和設計 施工 奥平工業)

●特長

1．美しい形状
R状のカスケード(小さな滝状)に連続プレス成型しており、優美でソフトなイメージを表現できます。

2．水密性、耐風性
折り曲げヒダの溝は、雨水が切れるよう工夫、凍結や風雨の吹き込みを防ぎます。また軒先の空間はシャッターボックス 雨どい などの取付部として利用可能です。

3．自由な加工性
長尺品のまま、断熱材裏打ちのままプレス成型が可能です。また、軒先はずしや垂直下の才長も自由に可能です。



●OMK製造販売・お問い合わせは…

奥平工業株式会社

大阪府松原市岡７丁目338-1　☎0723－35－0500㈹

●責任施工 奥平工事株式会社　☎0723－35－1500㈹

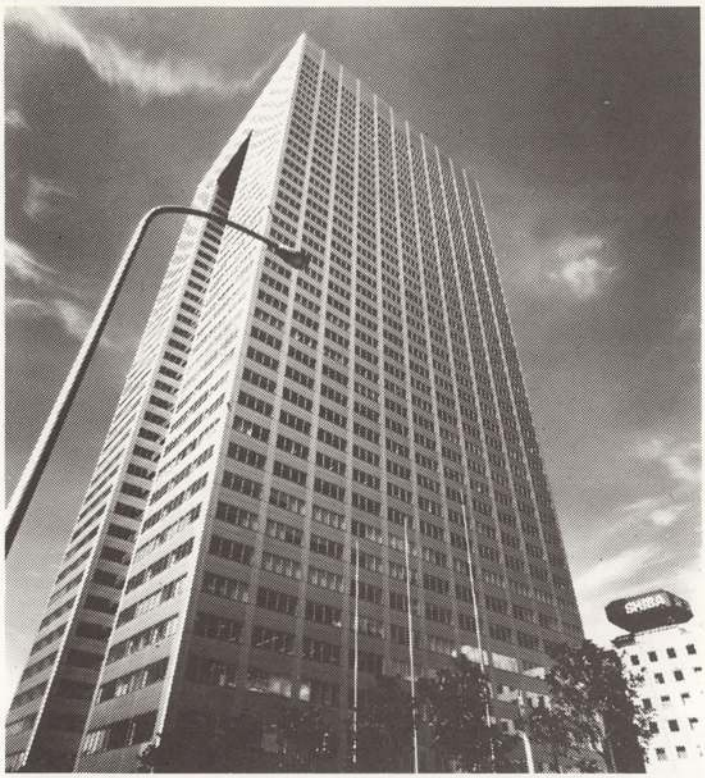
設備設計施工
空 気 調 和
給排水衛生
各種プラント

製造販売
各種送排風機

株式会社 カンダン

取締役社長 仙田四郎

本　　社　大阪市住吉区万代６丁目１番１号　TEL 06(672)1281
支　　店　東京都大田区大森北５丁目８番11号(三栄ビル)　TEL 03(765)6457
営 業 所　名古屋・広島・福岡・神戸
工　　場　和泉・小牧



信頼の技術で——可能性にチャレンジ！

ますます個性化・多様化する建築物。三協アルミは、環境・規模・構造・用途に応じたビル用サッシ、カーテンウォールをはじめ、取替サッシなどの改装用製品、内外装材や各種建材にいたるビル用建材製品を総合的に取り揃えています。
私たちは「豊かな暮らしに役立つモノ」は何かをテーマにこれからも実績と経験に裏づけられた信頼の技術で、進化しつづける建築物に常にチャレンジしていきます。

あらゆるニーズに応える
ビル用建材

三協アルミ

三協アルミニウム工業株式会社　本社／〒933 富山県高岡市早川70／ビル建材部 ☎(0766)20-2201

SKK

クリーン環境時代のリーダー

●空気調和●衛生設備●公害防止●防災設備
設計・施工

三建設備工業株式會社

取締役支店長　久保田登

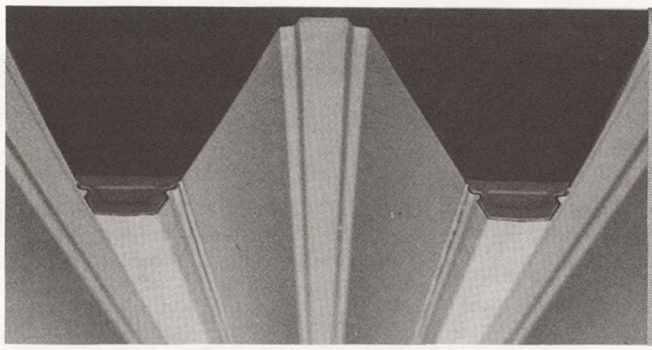
大阪支店　〒530 大阪市北区紅梅町3番5号　☎(06)352－1131(大代表)
本　社　〒103 東京都中央区日本橋かぎがら町1－35－8　☎03(667)3431
支　店　札幌・仙台・横浜・名古屋・中国

三晃式
屋根・壁 嵌合タイプのFシリーズ

美しさ、防水性、施工の省力化を一新した屋根・壁システム誕生!!

三晃は、従来の馳や重ねタイプとは発想を異にした、嵌合タイプによる新しい屋根・壁工法〈Fシリーズ〉を開発しました。キャップをワンタッチではめ込むだけで、ボルトが表面に現われない、優美な屋根・壁がスピーディーに施工できます。

折版 F-80、F-200　サイディング F-400　瓦棒 F-40





三晃金属工業株式会社

大阪支店　〒541　大阪市東区大川町27番地（住生淀屋橋ビル）
電話　大阪(231)8571～8番

本社　〒104　東京都中央区京橋2-9-2第一ぬり彦ビル
●長尺営業部☎03(567)3558(直通)

神戸営業所　☎078(341)3081
大津出張所　☎0775(24)7572
福知山出張所　☎0773(27)2372
泉南出張所　☎0724(66)4763～4
奈良出張所　☎07442(4)1034
高松営業所　☎0878(22)4451
松山出張所　☎0899(33)6055
東京支店　☎03(567)5101～4
名古屋支店　☎052(582)0311
広島支店　☎092(248)1576
福岡支店　☎092(441)3551
札幌支店　☎011(241)4271
仙台支店　☎022(225)7591
金沢支店　☎0762(23)4980～2

理想の環境創りをめざす

本　　社	〒540　大阪市東区城見２丁目１番61号　ツイン21ＭＩＤタワー	電話 06-949-1371
大阪本店	〒530　大阪市北区西天満３丁目13番20号	電話 06-363-1371
東京本店	〒160　東京都新宿区西新宿２丁目６番１号　新宿住友ビル	電話 03-344-1911
東北支店	〒980　仙台市大町２丁目２番10号	電話022-261-3002
名古屋支店	〒450　名古屋市中村区名駅南２丁目14番19号	電話052-581-8571
広島支店	〒730　広島市中区紙屋町１丁目２番22号	電話082-247-4535
九州支店	〒810　福岡市中央区大名２丁目４番22号	電話092-761-3795
営　業　所	札幌・横浜・京都・神戸・松江	
出　張　所	青森・秋田・盛岡・宇都宮・千葉・川崎・富山・福井・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄	

株式会社 三晃空調

取締役会長　尾亀　清四郎
取締役社長　齋藤　顕

快適で安全な環境を創る
品質保証とは何ですか

品質問題を発生させないための予防活動を
重点におき、
受注からアフターケアに至る、
各ステップ毎の品質保証を確実に行い、
客先から信頼される品質を提供することです。

〔設計・施工〕

空調設備工事

衛生設備工事

防災設備工事

三神工業 株式会社

取締役会長　瀬戸栄史
取締役社長　高谷俊作

本　社　〒651　神戸市中央区磯辺通２丁目１番11号
☎078(231)1234代

大阪営業所　〒555　大阪市西淀川区花川２丁目18番８号
☎06(473)9005代

給排水衛生　冷凍冷蔵
空気調和　プラント設備　設計・施工

よりよい快適さを求めて
水と空気と人と
快適空間の創造。

株式會社 三冷社

□本　　社　大阪市東住吉区今川８丁目３番14号　〒546　TEL(06) 705—2125番(代)

□京都支店　京都市右京区西院寿町31番地　〒615　TEL(075)313—8778～９番
□神戸支店　神戸市灘区高徳町５丁目５番１号　〒657　TEL(078)842—3000番(代)
□四国支店　高松市鶴市町2046番地の１　〒761　TEL(0878)82—2161番(代)
□高砂営業所　高砂市荒井町新浜２丁目７番36号　〒676　TEL(0794)42—５９１８番
□九州営業所　福岡市博多区那珂１丁目３番33号　〒816　TEL(092)451—２８２５番

Architectural Ceramics & Tiles by Shino Toseki

都市の景観

炻器質(せっきしつ)です。



日本の土、日本の色。
博シリーズ〈法楽塼〉は、窯業科学に支えられた炻器質タイル。
さまざまな条件に対応できる機能性に加え、
豊かな表情は新しい都市景観への調和をねらっています。
現代建築を考えるとき、
炻器質〈法楽塼〉にご注目ください。

■志野インテリア・エクステリアタイル製造販売
■イタリア・ドイツタイル輸入販売
■陶壁画・陶板・陶芸品制作
■スイミング・プール関連施設輸入販売

株式会社 志野陶石

本　社：〒604京都市中京区御池御幸町西北側
TEL(075)222-2311㈹
大　阪：〒540大阪市東区京橋1丁目 OMMビル8F
TEL(06) 943-1536㈹

東京営業所：TEL (03)797-0501㈹　京都営業所：TEL(075)255-3020㈹　名古屋営業所：TEL(052)971-2315㈹　福岡営業所：TEL(092)475-6960㈹　仙台営業所：TEL(022)263-2818㈹
高松出張所：TEL(0878)21-1030㈹　広島出張所：TEL(082)261-4010㈹　プール関連施設部：TEL(03)797-0321㈹　浅井工場：TEL(0749)74-2571㈹　中央物流管理センター：TEL(0572)55-5105㈹

●ニーズに応じてお選びいただける表面材とエッジの組み合わせ。
●清潔で使いやすいデザイン。
●施工性の良さ。

シンエツ
トイレブース
トイレ内装システム

その他 主なる取り扱い製品
●塗床材料
エポローン
ウレタローン
●内外装塗材
リブカット・リブカット弾性
エポキシカラロックRE・RS
メトロックS
●改修工事用材料
メンテコート(外装用)
ポリバルーフ(屋根用)

最適な生活空間を創る
信越ユニット株式会社

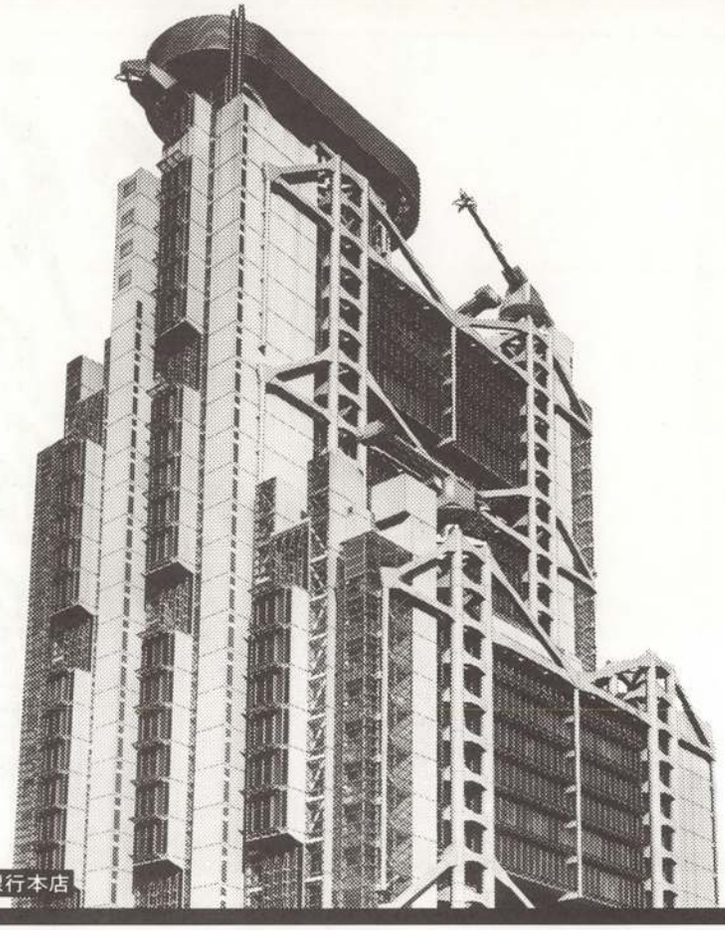
本　社　〒101 東京都千代田区神田佐久間町3－19
TEL (03)861-2691㈹　FAX (03)866-1312
大阪支店　〒530 大阪市北区中之島3-6-32 大阪ビル
TEL (06)441-3791㈹　FAX (06)443-0241

札幌営業所 TEL(011)644-2221㈹ FAX(011)644-1142
仙台営業所 TEL(022)299-3102 FAX(022)299-0318
新潟営業所 TEL(0252)41-0472 FAX(0252)41-8984
東京営業所 TEL(03) 894-5561 FAX(03) 800-9105
千葉営業所 TEL(0472)42-8341 FAX(0472)46-5714
大宮営業所 TEL(0486)43-3412 FAX(0486)44-3524
横浜営業所 TEL(045)502-0721 FAX(045)502-1072
名古屋営業所 TEL(052)451-0285 FAX(052)452-0247
広島営業所 TEL(082)273-4351 FAX(082)273-1180
福岡営業所 TEL(092)411-9085 FAX(092)471-8475
青森出張所 TEL(0172)35-4531
秋田出張所 TEL(0188)64-0367
八王子出張所 TEL(0426)45-6281

世界が認めた新菱の技術。



最新、最高の建築技術を駆使した今世紀最大の建造物。
世界中のトップ企業が参加した一大建設プロジェクト。
ハイテクの英知を結集した香港上海銀行本店ビル。
新菱冷熱は空調・電気システム工事を担当し、
あらためてその技術力に高い評価をうけました。
技術で世界に貢献する新菱冷熱にご注目ください。



香港上海銀行本店

さわやかな世界をつくる
新菱冷熱工業株式會社
SHINRYO CORPORATION
本 社 〒160 東京都新宿区四谷 2-4 ☎(03)357-2151(大代)

——誠実と技術でお応えする——

住友電設

取締役社長 相 馬 一 男

住友電設株式会社

本社／〒553 大阪市福島区福島7丁目22-8 ☎(06)452-1151(大代)
東京／〒105 東京都港区芝２丁目２—17 ☎(03)454-7311(大代)

営業種目
設計・施工・監理

●電力工事
発変電設備工事
架空送配電線工事
地中送配電線工事

●設備工事
ビル電気設備工事
工場電気設備工事
防爆電気設備工事
計 装 工 事
空 調 工 事
給排水衛生工事
特殊配管工事
消防施設設備工事

●プラント工事
●情報システム工事
光伝送システム工事
CATVシステム工事
各種アンテナ装置工事



●住友ゴムでは体育・スポーツと弾性舗装、あるいは品質管理と工場建築の床といった、いわば足もとに視点をおいた研究を重ねています。
●人の足やボールと競技床の関係、FA工場やCR室の床機能などの研究から生まれた独創的なスポーツ床や舗装技術は、プレー性と安全性、あるいは品質や制御性の向上といった成果となり、スポーツ、建築、生産と広い分野に貢献しています。

住友ゴムは
足もとを科学しています。

住友ゴム工業株式会社
建材部

本社開発 〒651 神戸市中央区筒井町1丁目1番1号 ☎078(232)7223(代表)
東部地区営業 〒107 東京都港区赤坂1丁目1番12号・溜池明産ビル ☎03(585)9147(代表)
西部地区営業 〒651 神戸市中央区筒井町1丁目1番1号 ☎078(232)7223(代表)

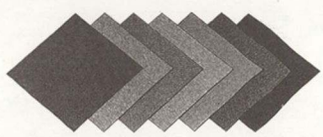
●弾性床/ラザーコート●全天候弾性舗装/マスターズコート、ポリタン●サンド・フィル芝/オムニコート、オムニターフ●多機能塗り床/グリップコート



TAJIMA

あらゆるスペースで、発揮する性能。

個性豊かに揃った4タイプ、12種類。



スペースが異なれば、そこに求められる床の条件も異なります。オフィスなど機能や居住性を優先するスペース、ホテルや店舗など高級感やイメージを大切にするスペース。タジマセンイ床タイルは、そうしたスペースごとに異なる用途に、4つのタイプの製品群でお応えします。美しさにプラスしたさまざまな性能が、あらゆるスペースで発揮されます。
目的にあわせて、機能にあわせて、お選びいただけるタイルカーペットの実力派です。

タジマのセンイ床タイルシリーズ

●高級仕様のカットパイルタイプ
タピスSX タピスSXプリント ビショップ

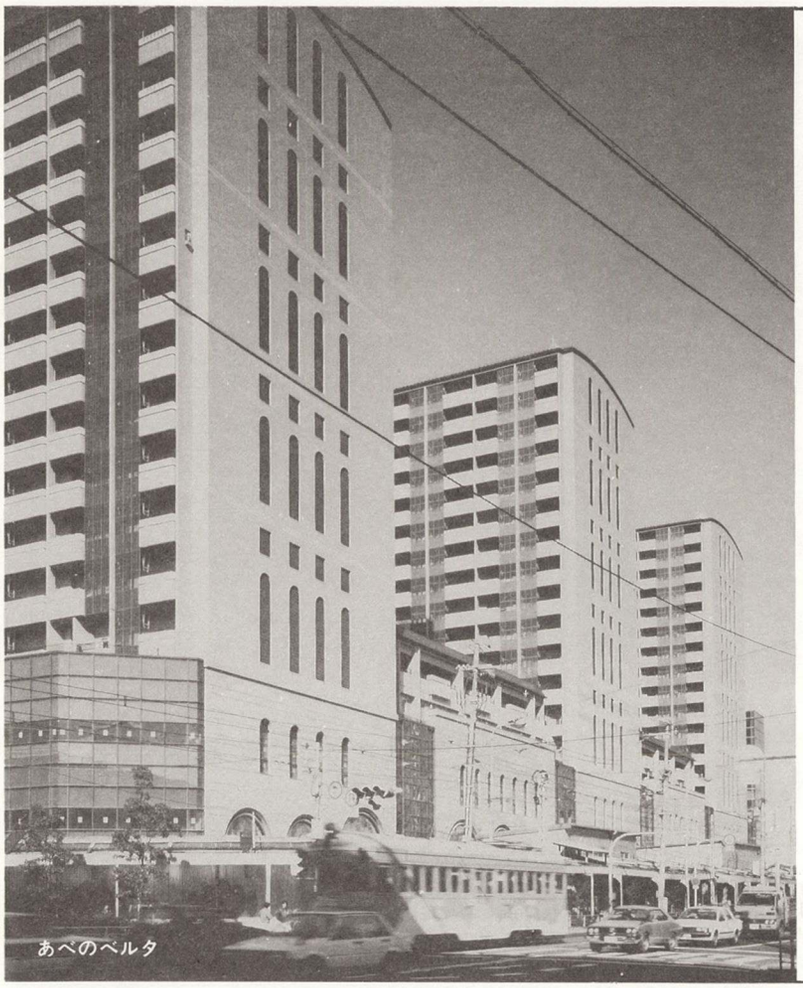
●汎用性に富むループパイルタイプ
タピス タピスセレクト タピスFG ルーク プレーヌ

●特殊機能をもつ、スペシャルタイプ
タピスOA エレキャン プローチェ

●高歩行に耐える、ヘアータイプ
クラブ

床を創る
株式会社タジマ

本社●〒564大阪府吹田市南金田1丁目10番18号
TEL06(385)2781(代)
東京営業所●〒105東京都港区西新橋1丁目21-8第2鈴木ビル
TEL03(591)2491(代)


あべのベルタ

タイルづくり一世紀

DANTO

DANTO ダントー

大阪本部　〒550 大阪市西区江戸堀1-12-8
安田生命ビル　☎(06)448-6251

大阪営業所　〒550 大阪市西区阿波座1-2-3
☎(06)533-2435

神戸営業所　〒651 神戸市中央区八幡通3-1-19
日精ビル　☎(078)261-0715

人と光のコミュニケーション——タジマスカイライト

Tajima Skylight

Tajima

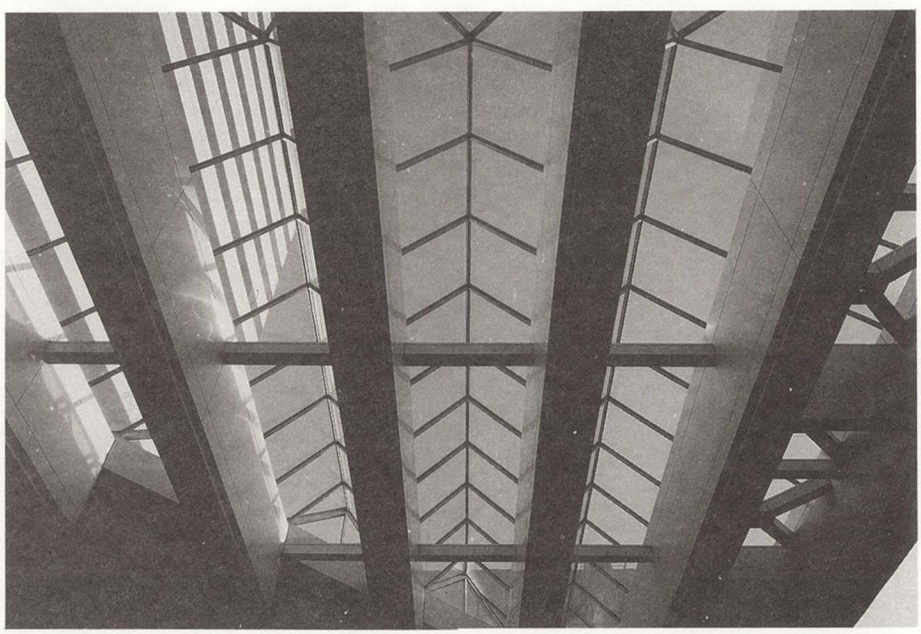
「もっと自然の光を建物に」

デザインと機能が一体となり開放的な空間を作り出す〝タジマスカイライト〟。耐久性に優れたステンレスを使用。豊富な各種部材を用意していますので、幅広いデザインの可能性に対応します。

イメージを拡げるデザイン

- 片流れ型スカイライト
- ピラミッド型スカイライト
- 切妻型スカイライト
- 複数切妻型スカイライト
- 複数ピラミッド型スカイライト
- ドーム型スカイライト
- アーチ型スカイライト

カタログをご希望の方は、お気軽にお申し込み下さい。



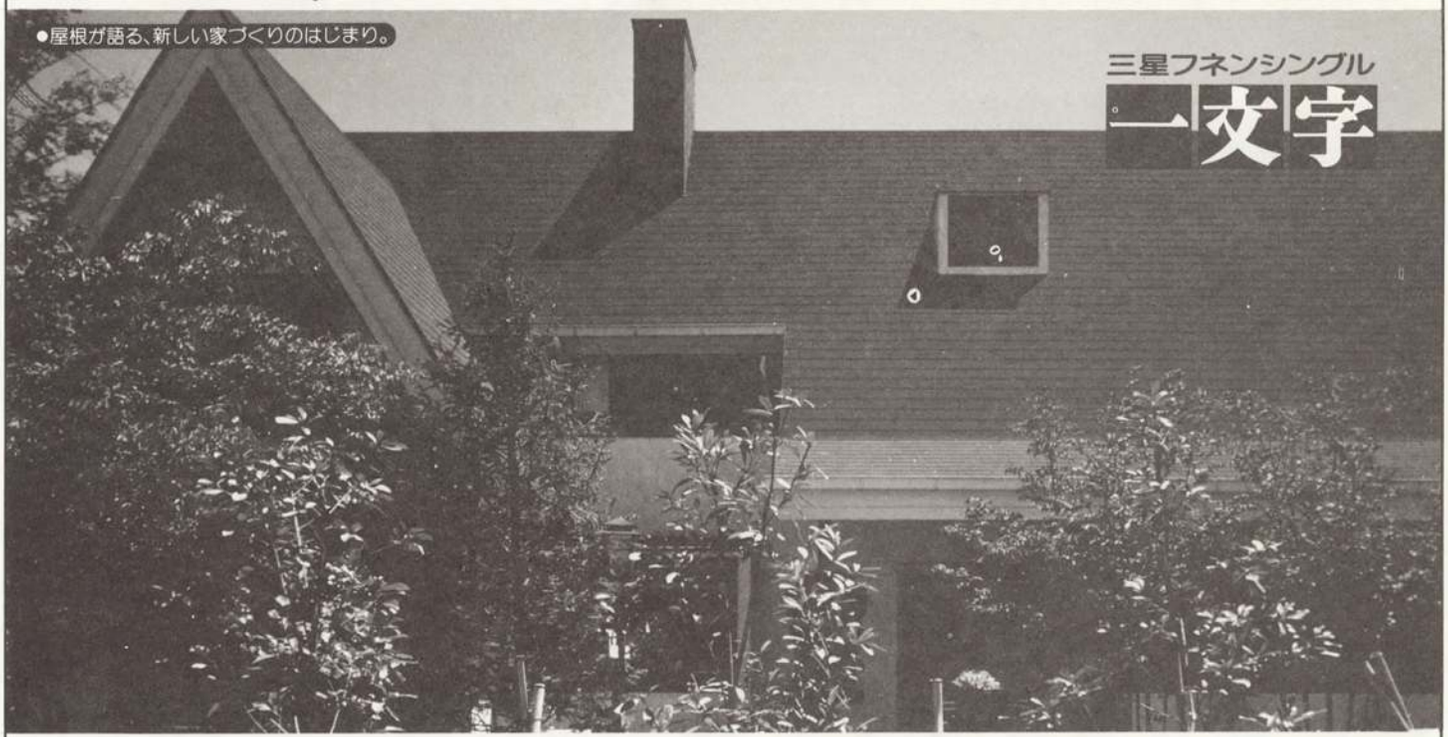
株式会社 田島順三製作所

本社　〒100 東京都千代田区永田町2-14-3 TEL 03-581-6291(大代)
仙台・横浜・名古屋・大阪・福岡・ロサンゼルス・タイペイ・ホンコン・シンガポール・クアラルンプール・マニラ・シドニー

くっきり、鮮やか。

――屋根はいま、新しい表情をもった

柔らかな質感、鮮やかなライン、深い色どり。美しい葺き味でフネンシングル・一文字は日本の屋根に確実に定着してきました。親しめる建物や環境づくりにあわせて選んだ、新色7色がそろって、さらに個性的、さらに魅力的になりました。



西日本三星シングル工事協同組合
田島ルーフィング株式会社

大　阪　☎550 大阪市西区京町堀1－10－5　TEL06 (443)0431
広　島　☎730 広島市中区西平塚町8-13　立駐広島ビル　TEL082(246)8625
福　岡　☎810 福岡市中央区港2－1－29　TEL092(712)0800
東　京　☎101 東京都千代田区岩本町3－11－13　TEL03 (862)8531

商品は空気です。

大気社の空気調和設備は，一般空調，産業空調，特殊空調の3部門。オフィスビル・住宅から各種近代工場・病院にいたるまであらゆる空間をカバーし，数かずの実績をあげています。



熱と空気のエンジニア

株式会社

大気社

●営業種目

空気調和設備/給排水衛生設備/塗装設備/公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本社　東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル☎03-344-1851(大代)
大阪本社――☎06-448-3603（代）
大阪支社――☎06-448-5851（代）
名古屋支店――☎052-211-1535（代）
九州支店――☎092-431-2147（代）

プレストレスの強靱性を建築に…。



千趣会甲子園物流センター　外壁(横使い)120厚

軽く、強く、そしてより遠くへ
壁と床が、建築がプレストレスに支えられる時代に、しなやかに強いスパンクリートが生かされます。
耐久性、耐火性、遮音性……。確かな高性能が快適な居住空間、作業空間をつくりだし、やすらぎと生産性を守ります。

壁・床用穴あきＰＣ板

ツルガスパンクリート株式会社

大阪本社　大阪市北区茶屋町18－21(豊崎ビル)　TEL 06(374)1245
名古屋営業所　名古屋市中村区名駅4丁目7番35号(毎日会館内)　TEL 052(571)7481代
神戸工場　神戸市西区伊谷町福谷字助広339－2　TEL 078(991)1956

良心的な電気工事

●ゆたかな経験

●すぐれた技術

東光電気工事株式会社

取締役相談役　杉山　慎　　取締役会長　松本福男　　取締役社長　菅　保之

東京都千代田区西神田1－4－5　〒101　電話／東京292－2111大代表
支社／札幌・仙台・丸の内・新宿・横浜・名古屋・大阪・九州

TOSHIBA

ハートのあるエレベーター

東芝エレベーターは、乗客の多様でデリケートな要求に対し、常に知的で心のこもったサービスを提供するために、優れた半導体技術を駆使し、エレベーターシステムの効率を飛躍的に高め、ビルの唯一の交通機関として信頼性の高いエレベーターを造り続けています。



東芝エレベーター

株式会社 東芝　関西支社昇降機部

〒550 大阪市東区本町4の29　電話(06) 244—2290～9

先端技術をくらしの中に…E&Eの東芝

湿式が結露を追放

SRC・RC・S造勾配屋根には

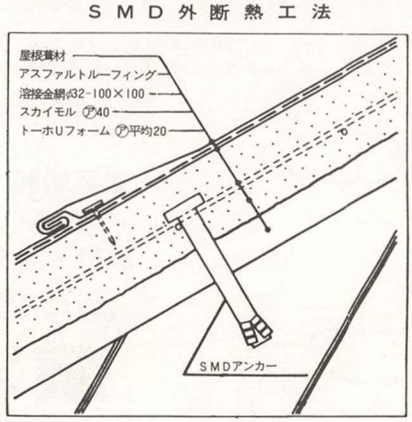
SMD外断熱工法

高品質部材と責任施工システムで確かな安心を

密着度の高い湿式工法

特長＝①躯体を保護します。②内部結露の心配がありません。③優れた断熱性能を発揮します。

SMD外断熱工法



SMD外断熱工法に使用する各部材の特長

各種屋根仕上材の使用が可能

SMD外断熱工法の採用により、銅板・コロニアル・シングル・天然スレート・瓦・長尺鉄板など様々な屋根仕上材を建物の用途、形状に合わせて自由に選べます。

東邦スカイモル

屋根下地材としての必要条件である保釘力・作業性などに優れた特性を有する東邦スカイモルは、すでに全国的に数多くの実績がございます。

トーホUフォーム(硬質ウレタンフォーム)

数多い断熱材の中で、特に断熱性能の高い硬質ウレタンフォームは、スプレー発泡ですから下地との密着性に優れています。

生活環境の向上に貢献する。

東邦パーライト株式会社

〒540 大阪市東区森ノ宮中央2丁目7番15号
☎(06)941-9445㈹　FAX(06)947-0171

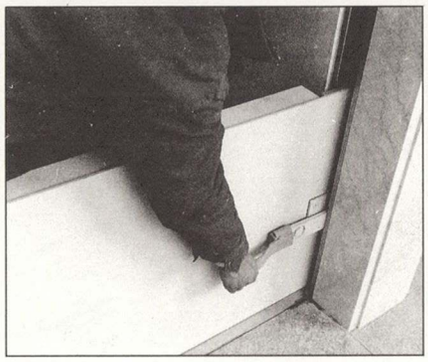
東京営業所＝東京都板橋区南町19番7号(〒173)　☎(03)974-3225㈹ FAX(03)974-3926
名古屋営業所＝名古屋市西区城西1丁目9番8号(〒451)　☎(052)522-1491㈹ FAX(052)531-1381
営業所＝金沢☎(0762)44-3347㈹　広島☎(082)281-1141㈹
高松☎(0878)33-1802㈹　福岡☎(092)512-5915㈹

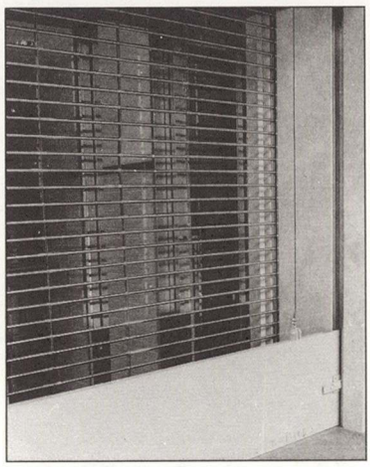
シャッターゲート

浸水から地下の設備、そしてオフィスを守る。

シャッターと同様に、……
平常時は天井内に収納、安全装置付。
非常時に降下させ、浸水を防ぎます。
一人で、簡単に、短時間で設置ＯＫ。
深夜でも、突然の出水にも対処ＯＫ。
回転クサビで圧着、水密性を高める。

シャッターゲートの詳細および専用カタログは、弊社最寄りの営業所までお問い合わせください。





ビル開口部の防災総合メーカー

東洋シヤッター株式会社

大阪本社　大阪市東区両替町１－12　日本生命谷町ビル　☎06-943-6571

東京・横浜・仙台・静岡・名古屋・富山・京都・神戸・岡山・広島・高松・福岡・他主要都市

MODAIR

青い空と白い雲
それがわたしたちの願いです



理想的な空気の環境をつくり
人々の健康と企業の発展に貢献する
技術の東熱

空気調和・給排水衛生設備・クリーンルーム・バイオクリーンルーム設備
設計・施工

あすの空気調和をになう

東洋熱工業

常務取締役
大阪支店長　杉山光治

大阪支店　大阪市西区靱本町３丁目１番27号
電話　大阪(443)８０７１番(代表)
本　社　東京都中央区京橋２丁目５番12号
電話　東京(562)大代表１３５１番



『イザという時
頼りにしてるわ』

☆より安全にモデルチェンジしました

NEWタイプ新登場

ステンレス製収納ケースもよろしく!

☆TVCM放映中



毎日曜日
(日本テレビ系)
NNNニュース
日曜夕刊提供

床埋設式避難器具

タスカール®

●ゆれない伸縮はしご内蔵(緩降装置付)

国家検定合格之証 検

自治大臣承認品

住まいの安全を考える

ナカ工業

〒100 東京都千代田区内幸町1-1-1インペリアルタワー10F
☎03(501)8211／大阪☎06(308)5541／札幌011(661)7611

大型空間自由自在型。

高遮音スライディングウォール サクセション



加古川商工会館

主な特長

●建築基準の界壁遮音値500Hzで40dBをはるかに上まわる50dBという画期的な遮音性能を実現。室内の音を外にもらしません。
●1枚のパネルで10㎡まで製作可能。幅1.45mなら高さ7mの長尺パネルも製作できます。
●高精度ランナーとレールの組み合わせで、パネル走行はきわめて軽くスムーズです。
●独自のシール機構は、ワンタッチレバー方式。素早く簡単にパネルセットができます。
●パネルはスチール製が基本ですが、仕上げの表装材は布地など自由に選べます。
●両開き潜戸付パネルもあります。

主なご採用先(順不同・敬称略)

帝国ホテル・軽井沢プリンスホテル・グランドヒル市ケ谷・鴨川グランドホテル・山口グランドホテル・横浜迎賓館・台東区役所・香川県庁議会議事堂・国立総合児童センター青山劇場・仙台郵便貯金会館・長野郵便貯金会館・愛知厚生年金会館・長崎厚生年金会館・西武鉄道本社ビル・大崎ニューシティ・美津濃千里ビル・FM東京本社ビル・関西テレビ・千葉工大・東京女子短大・愛知県赤十字血液センター・出光興産中央訓練所・東京医科大病院・慶応病院・秋田総合保健センター、その他

Creation of Human Space

株式会社ニチベイ

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-15-4TEL.(03)272-2011㈹

5分間でわかる新防水仕様

●技術が生んだ、時代が呼んだ

防水のすべてを

この一冊に！



日本アスファルト防水工業協同組合

総合防水メーカー

日新工業株式会社

東　京■120/東京都足立区千住東2—23—4☎03(882)2424(大代表)

大　阪■☎ 06(533)3191(代表)　九　州■☎092(451)1095(代表)

名古屋■☎052(741)6257(代表)　札　幌■☎011(281)6328(代表)

広　島■☎082(221)1019(代表)　仙　台■☎0222(63)0315(代表)

エレベーター。

このすばらしい現代文明を、

築き上げたもの。

ヒューマンな技術で未来をクリエイトする

OTIS

日本オーチス・エレベータ株式会社

本　　社　〒163 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号(新宿NSビル)
TEL.(03)349-1351(大代)

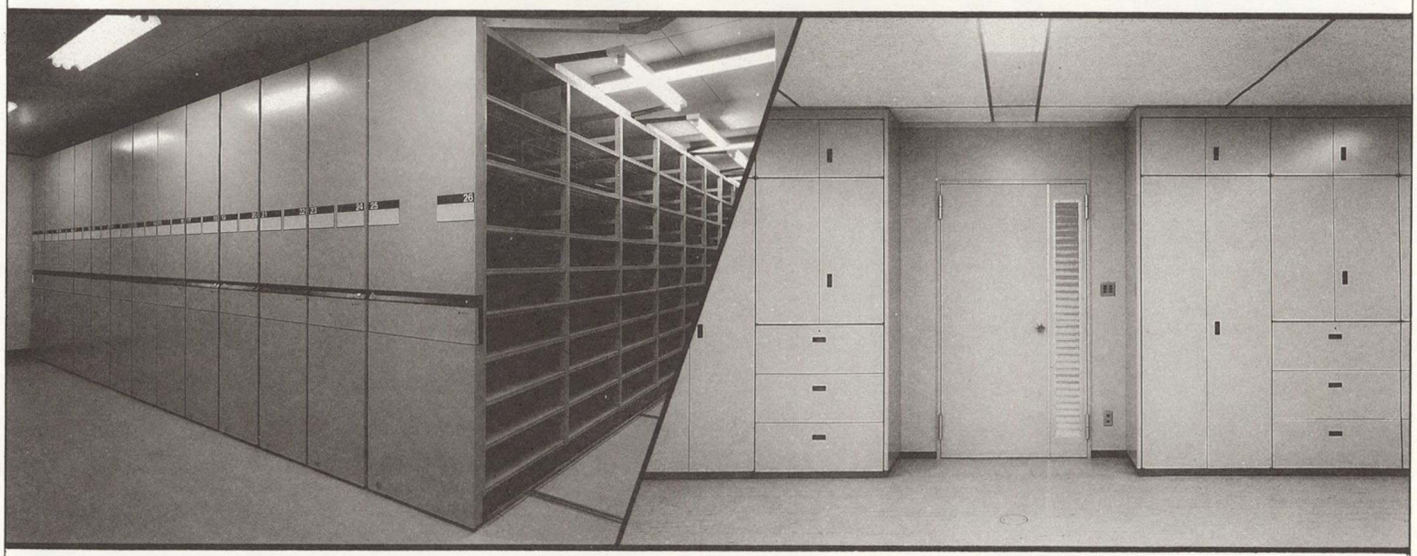
近畿支店　〒540 大阪市東区城見二丁目1番61号(ツイン21ナショナルタワー)
TEL.(06)949-1331(代)

神戸営業所　〒650 神戸市中央区三宮町一丁目5番1号(住友銀行三宮ビル)
TEL.(078)391-4502(代)

京都営業所　〒600 京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町579番32号
(野村不動産京都ビル) TEL.(075)361-5371(代)

多彩な空間を活かす多・彩・な・シ・ス・テ・ム

スペースの生産性を高める日本ファイリングの優れた思想と確かな対応



時代のニーズに合った豊富なラインナップ。日本ファイリングは「より良い保管システムの創造」をテーマとして、研究開発に、新分野開拓にと、広範な活動を推し進めてまいりました。それは一方で多彩な標準製品となり、他方ではそれぞれのニーズに応じた専用システムを供給する技術力として蓄積されました。これが発展して、その分野独自の専用製品・専門システムとしてまとめられています。

●可動棚／スタックランナーシリーズ、フロントランナー
●図書館家具　ビブリオシリーズ、木製家具シリーズ
●文化財収蔵・展示設備／絵画ラック、展示パネル
●間仕切／パネラックN、クロスウォール、マルチウォール

よりよい保管システムを提供する

日本ファイリング

本　社：〒101 東京都千代田区神田駿河台1-6(主婦の友ビル)
☎03(294)1751
大阪支店：〒542 大阪市南区南船場4-1-9(南船場第1東洋ビル)
☎06(271)3091
営業所：札幌011(241)8574　仙台022(297)5855　横浜045(651)2214
名古屋052(582)7075　広島082(246)8226　福岡092(721)7601

川鉄ハイテンションボルト
川鉄のリバートルクボルト

ハイテンションボルト

ＪＩＳ認定　許可番号　第573080号

建設省認定　建設省認定番号　建設省兵住指発第1558号

リバートルクボルト

建設省認定　建設省認定番号　建設省住指発第239号

日本ファスナー工業株式会社

本社及び工場　〒538　大阪市鶴見区今津北4丁目7番18号
電話　大阪（06）968-1800(代表)
東京営業所　〒105　東京都港区浜松町2丁目11番7号ＴＭビル５Ｆ
電話　東京（03）436-0620
東京試験所　〒335　埼玉県蕨市北町5丁目9番6号
電話　蕨（0484）46-1658

従来の常識を変えた煙突材料

フジモリの

ハイスタック



★軽　量（比重0.4ｇ/㎤）

★施工が早い（耐火レンガの約1/10の速さ）

★断熱に優れている（耐熱温度1000℃）

★改修工事にも適している（ユニット煙突）

★自由な型状ができる（丸型、角型）

※煙突に関する御相談は
フジモリ産業まで気軽にどうぞ

フジモリ産業株式会社
〒541 大阪市東区博労町２－41（中博ビル）
TEL 06－271－4131



風雨をシャットアウトする「等気圧理論」

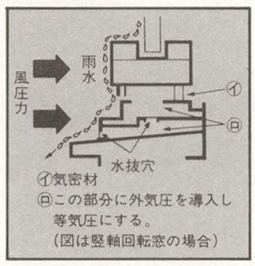
超高層ビルでは、雨は上から降るとは限りません。ビル風という独特な風にあおられるなどして、横からも、時には下からも激しく降ります。それらをシャットアウトするのが、サッシという傘なのです。

厳しい条件下のビルではたいへん高い水密性能が要求されます。不二サッシは、その高い水密性能を得るため、カーテンウォールやサッシに「等気圧理論」を応用しています。

雨と風とが同時に作用すると、室内と室外では圧力差が生じます。その時、すき間の一方の側に水があると、たとえ小さなすき間であっても、水は圧力の高い方から低い方、つまり室外から室内に侵入してしまうのです。これを最も効果的に解決するには、すきまの両側の気圧差がなくなるような構造にすればいいわけです。これが「等気圧理論」です。

「等気圧理論」の応用など、超高層ビルでつちかった不二サッシの技術は、マンション用サッシをはじめ住宅用のサッシにも確実にフィードバックされています。超高層ビルと同じサッシの傘が様々な建物を風雨から守っているのです。

●等気圧構造



サッシの歴史は不二サッシの歴史

不二サッシ

不二サッシ株式会社大阪支店
〒541 大阪府大阪市東区本町4-4-1
（本町野村ビル）
TEL (06)262-2541

不二熱学は、
水と空気と太陽のエネルギーを生かし、
生命(いのち)あふれる環境づくりをめざしています。

設計施工

●空気調和設備●衛生設備●低温設備

㊊ 不二熱學工業株式會社

取締役会長　近藤康一
代表取締役　近藤　徹

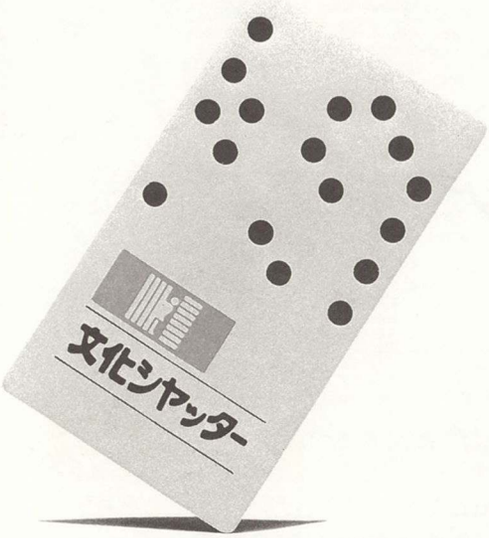
本　店　〒542 大阪市南区南船場２丁目１－１
TEL 06（261）2436
FAX 06（262）2498
支　店　東京・名古屋・神戸・福岡
営業所　横浜・浜松・京都・奈良

文化シヤッター

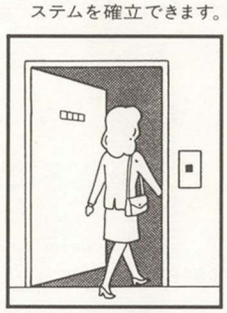
さらに進化した、
インテリジェント・カードロックシステム。

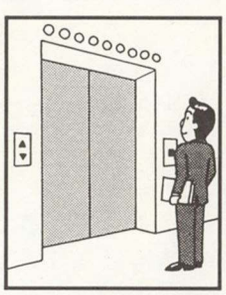
VC-2000

磁気や電気を使用しない、独自のメカニズムによるカードロックシステム〈VCシリーズ〉がさらに進化しました。〈VC-2000〉は1枚のカードで、ビル出入口の入退室から各室のドアロック、さらに用途に応じたアクセスコントロールなど、一貫したセキュリティ・システムを確立します。ホテル、マンション、オフィス、さらに最近注目されているインテリジェントビルなどに最適なシステムです。



●カード使用者の特定はもちろん、使用時間、曜日、月日まで、各出入口や各室の条件設定に応じ、すべての人々の入退室を管理し、記録します。マスターユニット一台で、ドア制御は30ヶ所、カード管理は1,400人まで登録することができます。
●カードはパンチングされたプラスチック製。この1枚でオンライン、オフライン双方に対応します。磁気カードと異なり、カードの自主発行、自主管理も可能です。
●VC-2000は、カードロックシステムとの連動によって、同じカードによる一貫したトータル・セキュリティ・システムを確立できます。


各出入口の制御に


エレベーターの特定制御に


タイムカードの役割も


会計管理システムの一環に

文化シヤッター株式会社 大阪支店/〒532 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14 住友生命新大阪北ビル9F ☎06(399)2777(営業推進部)

金属製建具工事・施工

JIS表示許可工場

福田鋼機株式会社

代表取締役　福　田　武　雄
専務取締役　福　田　貞　夫

本社工場　〒660 尼崎市金楽寺３丁目17
電　話　06－401－5565(代)
FAX　06－401－2900

システムの開発と電気・計装・空調設備の高度化を推進する

YAMATOW ELECTRIC
ENGINEERING CO., LTD.

ヤマト電気エンジニアリング株式会社

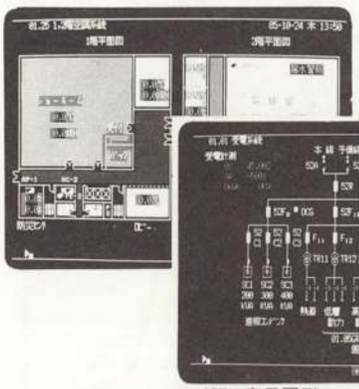
取締役社長　山　本　永　造

本　　社　〒530 大阪市北区西天満５丁目１番３号　TEL06(364)3056(代表)　FAX06(365)8731
大阪本店　〒530 大阪市北区西天満５丁目１番３号　TEL06(364)7171(代表)
東京本店　〒102 東京都千代田区外神田3-13-2(下島ビル)　TEL03(253)0811(代表)
支店・営業所　札幌・苫小牧・仙台・名古屋・京滋・京都・神戸・加古川・岡山・三原・広島・新居浜・松山・福岡・沖縄・千葉

使いやすさを徹底追求

SAVIC2000は管理点数約500～3000点の建物、工場に適した分散形総合管理制御システムです。

（●本格派の日本語表現機能 ●分散処理による高度の拡張性 ●省エネルギー制御
●光ファイバによる通信 ●使いやすいマンマシン・システム ●高い信頼性）



●制御関係のオペレータ設定用の画面です。
●制御設定項目以外に制御状態の情報も表示されます。

●グラフ表示図形
豊富な図形シンボルにより表現力豊かなグラフが作成できます。



Savemation —— Saving by Automation

山武ハネウエル

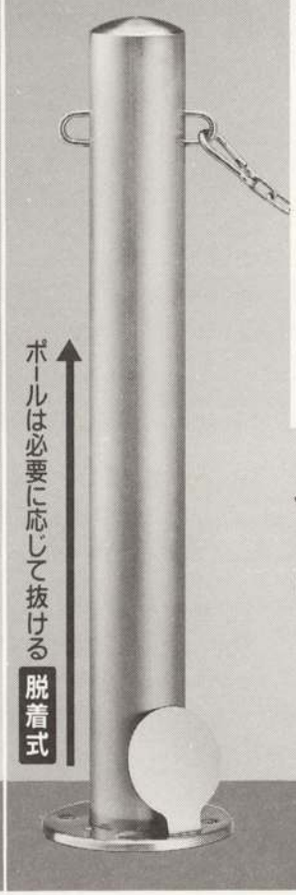
ビルシステム事業部
本　社 150 渋谷区渋谷2-12-19 ☎(03)486-2321・2344
大阪支店 530 大阪市北区芝田2-6-23 ☎(06)376-0355

セービック
SAVIC 2000
分散形総合管理制御システム

EX1110 pat.



EX1350 pat.





人と車と建物へ……
エキスポール® 車止

UNION 建築工事金物製品の 株式会社 **ユニオン**

本社——大阪市西区南堀江2-13-22 〒550 ☎06(532)3731㈹ FAX(533)3747
大阪ショールーム—大阪市西区京町堀1-17-16 〒550 ☎06(443)6620㈹ FAX(443)6640
東京営業所、ショールーム—東京都江東区白河2-9-5 〒135 ☎03(630)2811㈹ FAX(630)2816
名古屋営業所—名古屋市東区筒井町1-14-9 〒461 ☎052(935)6021㈹ FAX(935)6023
建築のこころ伝わる確かな製品を

信頼の GWP グラスロン保温筒



FIBER ◆ GLASS **旭ファイバーグラス**

本　社／〒163 東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル　TEL(03)348-0535

東　京 (03)348-0541　札幌(011)241-4351　青　森(0177)41-1780　静岡(0542)54-2811　四　国(0878)34-6511
大　阪 (06)364-3491　仙台(022)264-2255　郡　山(0249)34-4346　長野(0262)28-3072　南九州(0992)25-5516
名古屋(052)561-2471　広島(082)293-5041　北関東(0280)92-0872　新潟(025)241-5276
福　岡(092)431-8221　南関東(0467)74-4012　北陸(0762)49-8937

「オーダーメード」のサッシ・カーテンウオール・パネルは
品質に定評のある「ナミケン」へ



㋮JIS表示許可工場

(NK) **浪速建材工業株式会社**

本　　社　大阪市西区新町1丁目4番26号(四ツ橋中央ビル)　TEL　06(533)3855(大代表)
大東工場　大阪府大東市中垣内7丁目248　TEL 0720(72)2451(代)
東京営業所　東京都千代田区神田東松下町25(ロールスビル)　TEL　03(256)4471(代)
滋賀営業所　滋賀県大津市におの浜3丁目4番46号(サカタビル)　TEL 0775(24)2539(代)
福岡営業所　福岡市中央区天神町4丁目1番18号(サンビル)　TEL 092(761)3391(代)

営業品目

サッシ・ドア(アルミ、スチール、ステンレス)　　外装パネル(アルミ、スチール、ステンレス)
カーテンウオール(アルミ、スチール、ステンレス)　　交換サッシシステム(特許工法使用)

構造の頁

152
超高耐久性コンクリート

（その1）

斉藤　俊夫

ポルトランドセメントの発明から160年――さまざまな建築物、土木構造物が、半永久的な寿命を求めて、鉄筋コンクリートでつくられてきた。しかしその半面、半永久的と考えられていた鉄筋コンクリートの寿命が意外に短いことが明らかになってきた。

この現象の大きな要因として、コンクリート構造物を短期間に破壊する、アルカリ骨材反応および海砂による塩害などが挙げられる。

しかし、これらの特定の原因に起因し、その被害の範囲が比較的限定されている特別な要因によらずとも、鉄筋コンクリート構造物の寿命が相当に短くなっていることも見過ごすことはできない。

このような観点から、竹中工務店では、鉄筋コンクリート構造物の寿命を飛躍的に高めるための技術開発の必要性を痛感し、研究開発を進めてきた結果、通常の鉄筋コンクリート構造物の10倍程度の耐久性を有する超高耐久性コンクリートを開発した。

鉄筋コンクリートの寿命を短くする要因

半永久的と考えられていた鉄筋コンクリートの寿命を著しく短くさせる要因としては、つぎのようなものが考えられる。

①大気中の炭酸ガスが徐々にコンクリートの中に浸透して、そのアルカリ性を弱め（コンクリートの中性化）、内部の鉄筋をさびさせる現象

②コンクリートが乾燥に従って収縮し、ひびわれが発生し、コンクリートの内部に有害物が侵入する現象

③海岸地域において風とともに飛来してくる海塩粒子がコンクリートの中に侵入し、塩分が鉄筋をさびさせる現象

とくに、最近は自動車の排気ガスが発生させる窒素酸化物、工場から排出される亜硫酸ガスなどの大気中における濃度の増加も、コンクリートの寿命を短くする原因を形成している。

超高耐久性コンクリートの特徴

(1)下記に示す作用により、コンクリートが有害物質により侵食される速度がきわめて緩慢であること。

①コンクリートの組織の中に気泡や空隙が少なく、組織自体が緻密であること。（このことは炭酸ガスをはじめとする酸性ガス、塩素イオンなど鉄筋コンクリートに有害な物質の侵入の経路が小さいことを意味する）

②コンクリートの中に混和された特殊な化合物が、組織の中に入ってくる有害物質を吸収する機能を発揮すること。

(2)乾燥に伴う収縮ひずみが、通常のコンクリートの約$\frac{1}{3}$なので、乾燥収縮亀裂がほとんど発生しないこと。

(3)コンクリートの組織の中に気泡をほとんど含まないにもかかわらず、凍結融解に対する抵抗性がきわめて高いこと。

以上のような特徴により、鉄筋コンクリートの寿命が在来の技術によって得られるものの10倍以上、通常の環境下では500年以上の水準が得られる。

超高耐久性コンクリートを構成する要素技術

(1)コンクリート組織を緻密化し、乾燥収縮を半減させるグリコールエーテル誘導体の利用。

コンクリートは凍結融解の作用を受けると、その表面から劣化現象を起こす。これを防ぐ手段として、空気連行剤をコンクリートに混入し、微細な気泡を混入することが一般に行われているが、これは、一方でコンクリートの中性化をはじめとする劣化現象を促し、かつ乾燥収縮を増大させてひびわれを発生させやすいなどの欠点を伴っている。

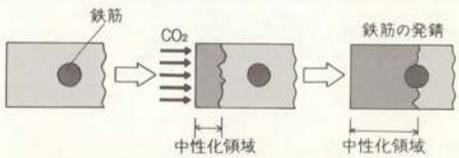
われわれは、このような問題点を解決するために研究開発を進めてきたが、つぎのような三つの機能を同時に満足させる化合物を見出した。

①コンクリートの中に、一切空気を連行しない。（逆に空気を追い出して組織を緻密にする）

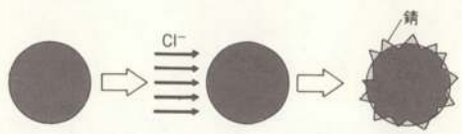
②それにもかかわらず、コンクリートに十分な凍結融解抵抗性を与える。

③コンクリートの乾燥収縮を、通常のコンクリートの$\frac{1}{2}$程度に低減する。

この化合物は、水に不溶のグリコールエーテル誘導体であり、この種の機能を持つ化合物をコンクリートに用いる技術は、世界でも初めての試みである。



図－1　中性化による劣化



図－2　塩素イオンによる鉄筋の発錆

(2)炭酸ガス、塩素イオンなどの有害物質を吸収する機能を持つ化合物の利用。

大気中の炭酸ガスは、つぎのようなプロセスを通じてコンクリートの中性化を促進し、コンクリートのアルカリ性を低下させていく。**（図－1）**

$$Ca(OH)_2 \rightarrow CaCO_3 + H_2O$$

また、コンクリートの中に侵入した塩素イオンは、つぎのようなプロセスで鉄筋のさびを発生させる。**（図－2）**

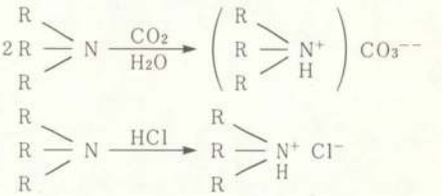
$$Fe \rightarrow Fe_2 \rightarrow Fe_3O_4、Fe_2O_3$$
$$C\ell^- \qquad Fe(OH)_2、Fe(OH)_3$$

このような反応は、大気の中に炭酸ガスが存在する限り、また、海岸地域においては潮風が吹く限り、宿命と考えられてきた。

われわれはこのような、コンクリートの宿命ともいえる問題を解決するために、有害物質を吸収する機能を持つコンクリートの可能性を検討した。

その結果、炭酸ガスをはじめとする酸性ガス、塩素イオンのいずれをも吸収する機能を持つコンクリートの開発に成功した。この機能は、アミノアルコール誘導体の一種をコンクリートに添加することにより生ずるものであり、このような機能をコンクリートに付加する技術を確立したのも、同様に世界でも初めてのことである。

アミノアルコール誘導体と炭酸ガスおよび塩素イオンとの反応は、つぎのように示される。



（Rは水素基またはアルキル基を示す）

以上の反応式で示されるように、アミノアルコール誘導体は、コンクリート構造物の耐久性に対して有害な影響を及ぼす炭酸ガス（およびその他の酸性ガス）および塩素イオンのいずれも吸着するというきわめて好ましい性質を持っている。

つづく

（さいとう　としお　株式会社竹中工務店技術研究所）

設備の頁

155
建築設備配管腐食の物理的防錆方法

木村　靖

近年、建築設備配管の腐食が社会問題となりつつある。本稿では、この問題を物理的見地から報告する。

白ガス管の腐食原因

(1)pH

亜鉛は両性金属であり、pH8～11の間で安定である(図-1)。しかし、実用的には6.5以下のpH値において亜鉛は局部的に溶出し、鉄が露出する。これに対し、鉄はpH4～10で一定となり、酸素拡散に依存する。pHが4以下となると急速に腐食は進行し、この範囲では酸素がなくても鉄は腐食する(図-2)。

(2)温度

蒸留水中の亜鉛は、60～80℃の間に非常に鋭い極大を示す。これは亜鉛の腐食生成物による表面保護被膜の程度が変わるためである。50℃近くまでは保護性のゼラチン状被膜が出来、安定であるのに対し、50～90℃の範囲では密着性も保護性も悪い被膜になり、90℃以上では再び保護性の良い水酸化物被膜になると考えられている(図-3)。これに対し、鉄の腐食と温度の関係は図-4に示されるように開放されていれば、酸素量はそれぞれの温度での飽和溶解度に等しく、80～90℃で腐食速度のピークを持つ。

(3)酸化還元性

金属の溶解反応(アノード反応)、あるいは共存酸化剤の還元反応（カソード反応）の駆動力そのものに影響するので、きわめて重要な因子である。水道水中の主たる酸化剤は、溶存酸素と残留塩素である。溶存酸素は通常８～10mg／ℓ含まれており、軟鋼の腐食速度に与える影響は最も大きいことが知られている(図-5)。また、残留塩素は溶存酸素に比べ1/10以下の濃度ではあるが、強い酸化力を持つ。

(4)流速

同一水質条件下において、流速の違いにより錆の形状が大きく異なる。たとえば流速が速く、運休の激しい揚水配管は小さめの錆こぶが全面に発生するのに対し、高置水槽以下の給水配管は流速が遅く停止が少ないため、きのこ状の大きな錆こぶが局部的に発生する。図-6に、流速と腐食速度の概念を示す。

(5)腐食性イオン

水道水に含まれる代表的な腐食性アニオンには、塩化物、硫酸イオンが知られている。これらのイオンは不働態化の妨げとなり、局部腐食を促進させる要因となる。しかし酸化剤を含まなければ腐食性は示さない。

(6)細菌類

井戸水を使用した場合、バクテリアによる赤水、さらには腐食の促進が見られる。しかし水道水の場合、殺菌を目的とした塩素注入が行われているため、特殊な例を除き、この影響は無視できる。

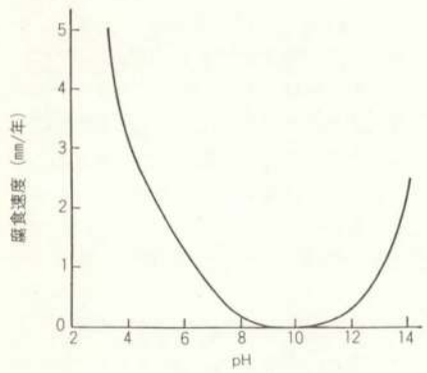
以上、給水管に使用された白ガス管の腐食原因を要約すると、

a）溶存酸素、残留塩素の酸化剤

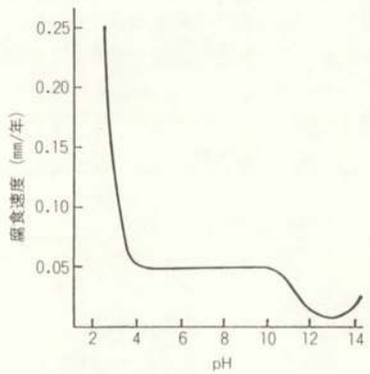
b）塩化物、硫酸イオンの腐食性イオン

c）流速

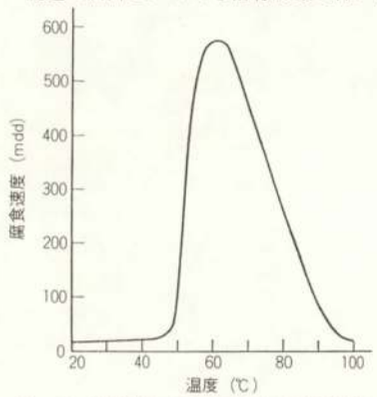
と言える。この腐食原因中、残留塩素と腐食性イオンの除去は、法と金銭面から難しい。しかし、溶存酸素と流速に関しては比較的制御しやすい。流速の制御といっても溶存酸素と深い係わりがあ



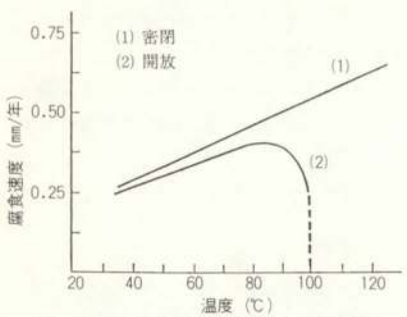
図－1　亜鉛の腐食とpH（常温）



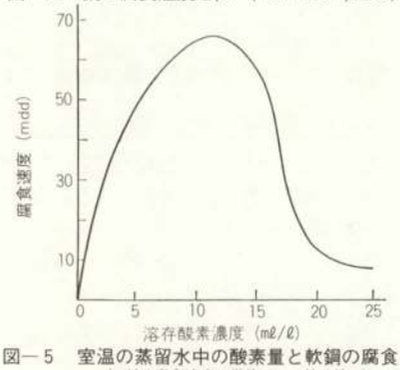
図－2　鋼の腐食速度とpH（HCl-NaOH, 22℃）



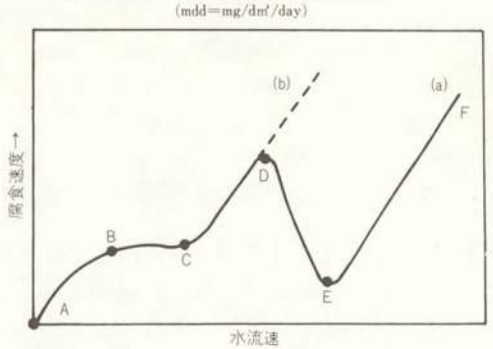
図－3　蒸留水中のZnの腐食と温度の関係



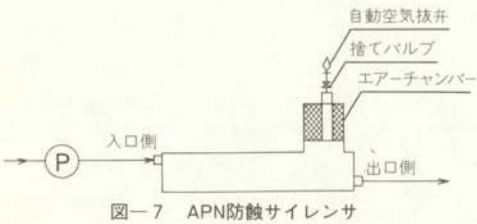
図－4　水中でのFeの腐食と温度の関係



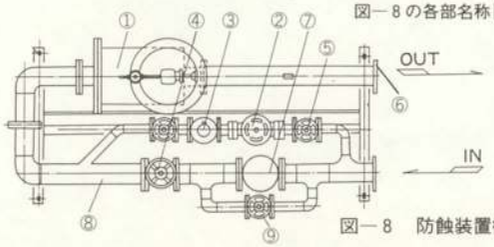
図－5　室温の蒸留水中の酸素量と軟鋼の腐食
(mddは腐食速度の単位で、mg/dm²/day)



図－6　水道速による腐食速度の変化（概念図）



図－7　APN防蝕サイレンサ



図－8　防蝕装置概略

図－8の各部名称▶
① エアセパレーター
② 循環ポンプ
③ 振幅器
④ メインバルブ
⑤ バイパスバルブ
⑥ 接続フランジ
⑦ チャッキ弁
⑧ メイン配管
⑨ チャッキバルブ

▲図－6の凡例
(a), (b)　金属の種類によって異なる曲線
A－B　普通の流速と腐食との関係
C－D　乱流による腐食の増加
D－E　溶存酸素減少による
E－F　溶存酸素の増加による

り、給水管のように使用箇所、未使用箇所が生じ、酸素濃度の不均一が濃淡電池を形成することも予想される。つまり酸素濃度を均一にする手段の一つとして流速制御が考えられる。

銅管の腐食原因

給湯配管に使用される銅管には、孔食および潰食といった腐食が見られることがある。これらの腐食原因を、腐食事例現場からまとめた結果を以下に示す。

〔共通条件〕

a）中規模以上の建物である。
b）非リバースリターン方式である。
c）給湯温度が高い。
d）使用量が多い。
e）溶存酸素が7mg／ℓ以上である。

〔孔食発生条件〕

a）水頭圧が10m以上である。
b）還管断面積／往管断面積＞0.6
c）SO_4^{2-}が20mg／ℓ以上である。
d）Cl^-が15mg／ℓ以上である。
e）Mアルカリ度より全硬度が高い。
f）SO_4^{2-}、Cl^-のどちらかが極端に低い値を示しても、シリカが15mg/ℓ以上ある場合。

〔潰食発生条件〕

a）ピーク時、管内予想流速が2m/sec以上である。
b）循環ポンプによる管内流速が2m/sec以上である。
c）還管断面積／往還断面積＜0.3

以上の条件をまとめると、孔食発生に対しては水質の影響が大きく、潰食発生では流速を主体としたシステム上の点に、大きく影響されるということが言える。

物理的防錆装置

物理的腐食原因並びに防錆概念

腐食原因を考える上で広くは、化学、生物学、物理学に分類できる。

化学上は水質であり、日本の水の9割以上は腐食性である。建築設備においてはランニングコスト、維持管理の面から水処理等は行わず、上水として供給された水そのものを使用している。生物学上は細菌類であるが、上水では浄水場において塩素処理が施されているため、多くの場合問題とされない。物理的原因として、①気泡、②流速、③温度、④ポンプによる圧力変動、⑤加圧給水方式による圧力変動、⑥負荷量の変化による圧力変動等が上げられる。

そしてこれらの要因は、そのシステムによって大きく左右される。

APN防蝕サイレンサ

(1)作用

APN防蝕サイレンサ(**図-7**)は、①エアーセパレーター、②圧力変動（脈動）抑制、③水の流れの整流化、④腐食抑制の作用を有する。

(2)用途

上記作用を基に、下記に示す使用用途に広く用いられている。①給湯・空調配管に発生するエアーの分離除去、②ポンプ脈動音対策、③加圧給水（揚水とも）ポンプによる騒音対策、④空調設備配管の腐食抑制、⑤イニシャルコストの軽減、⑥燃費効率アップ。

APNラストール

(1)作用

図-8に、APNラストールの概念を示す。この装置の働きとして、内蔵循環ポンプを常時稼働させることで、①溶存酸素の気化を図り、5mg／ℓ前後（給水の場合）とする、②発生した気泡の除去、③圧力変動の抑制、④酸素濃度の濃淡をなくす、⑤振幅器により水中へ微少振動を与え、腐食生成物をより緻密なものとし、より保護性の被膜とする、が上げられる。

(2)用途

上記作用を基に、下記に示す使用用途に用いられている。①給水・給湯既設鉄管の赤水、腐食抑制対策、②給湯用銅管腐食（孔食・潰食）対策。

最後に

今後、建築設備は各種配管材質の多様化、空調設備においては効率アップを追求してのシステムの複雑化などにより、一層腐食対策が難しくなることが考えられる。したがって、現在における防食対策とは、環境の違いによる腐食形態を判定できる技術者が必要であり、その技術者が各現場に見合った防食対策を判定することが何より重要と考える。

（きむら やすし　木村防蝕株式会社技術部部長）

設備配管を腐食・騒音から守る

APN
防蝕サイレンサ



■防蝕サイレンサの特長

1．**溶存空気の分離除去**　循環する液体中には必ず溶存状態の気体や混入した空気があります。これが腐食の元凶です。防蝕サイレンサは循環系統内で、この元凶を除去します。

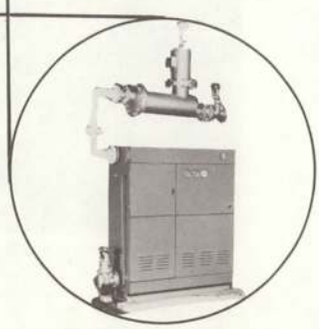
2．**ポンプ発生脈動の抑制**　ポンプによる強制循環システムでは、ポンプ脈動の発生は避けられません。この気泡がらみの乱流も、配管内面の保護皮膜を損傷させ、サビの原因となります。防蝕サイレンサはポンプ吐出側で脈動乱流を抑制し、腐食の原因を除去します。

3．**腐食生成物の捕集**　配管内の停滞部でサビが堆積し、その下では局部的腐食が発生します。防蝕サイレンサは配管内を浮遊するサビを捕集し、新たなサビの発生を防止します。

■ラストール®による腐食抑制効果 ——給湯・給水系——

ラストール® が給湯配管(循環システム)、および高置水槽方式の給水配管システムに対して配管内面の腐食抑制効果を発揮するのは、次の作用をもっているからです。

①溶存空気(気泡)の分離除去
②ポンプ脈動の抑制ならびに調整
③腐食生成物の捕集
④硬質保護性被膜の形成



ラストール®

防錆・防食の調査・設計・施工・管理
木村防蝕株式会社
(社)日本防錆技術協会会員

本　　社　東京都千代田区神田東松下町43(工業ビル)　電話 03(254)9741(代表)　〒101
札幌支店　札幌市中央区北三条東5丁目5(岩佐ビル)　電話011(271)2611(代表)　〒060
大阪営業所　大阪市東区内本町2-57-2(ダイアパレスビル本町)　電話 06(947)1821(代表)　〒540

施工材料の頁

155

鏡面タイル

秋本　良樹

タイルは、意匠性・耐久性・経済性および施工性に優れた素材であり、建築物の外壁や内外装床に数多く使用されている。

タイルの表面テクスチャーには、素地面・施釉面・凹凸面・スクラッチ・ラスターと多種多様の表現方法がみられる。鏡面タイルは、タイルの意匠を広げるバリエーションのひとつであり、光沢・色合い・形状を変えて、建物に存在感をもたせることが可能な施工材料である。

装飾性の点で本磨き石材に匹敵し、かつ経済性に優れた鏡面タイルについて紹介する。

鏡面タイルの製造

鏡面タイルは、焼成されたタイルの表面を磨くことにより製造する。研削・研磨・バフ仕上げ装置を有する連続研磨機械を使用して、タイルを効率良く、多量に、かつ安価に加工する。形状の小さな鏡面光沢のセラミックス建材は、工業製品として市場に提供できるメリットをもつ。

鏡面タイルに用いるタイルは、下記に示す例のように、素材・色調・形状などの自由度が大きく、多様な設計イメージの要請に応えることができる。

材質；磁器質素地，炻器質素地，特殊釉
成型；乾式成型品，湿式押出し成型品
形状；小口平（108×60㎜），90㎜角より大きいサイズ
色調；自然石調，練りこみもの，土もの等

表1　施工例

現　場　名	所在地	施　工　面	施工㎡数	使 用 タ イ ル	施 工 法
新宿グリーンタワー	東京都	低層階外壁	1,300㎡	100×200㎜単色フラット面	手張
INAX桜橋ビル	東京都	外壁	1,400㎡	300×200㎜リブ面	オムニヤ板
新霞ケ関ビル	東京都	外壁	13,000㎡	108×　60㎜リブ面、フラット面	PC版
吉本ビルディング	大阪府	コンコース、プロムナード床	1,200㎡	300×300㎜フラット面、リブ面	手張
モードオリオン新本社ビル	兵庫県	外壁	2,400㎡	92×　92㎜リブ面、フラット面	手張

良く焼き締まった磁器質素材は、ち密・堅硬で、耐磨耗性・耐久性に優れており、磨くと高い光沢を得ることができる。

鏡面タイルの特長として、つぎの事項があげられる。

(1)　意匠性に富む。

設計者のイメージを表現する色調や模様が任意に設定できる。また、リブやエンボス等の凸部への鏡面加工が、安価に可能である。鏡面タイルの一例を**写真1**に示す。

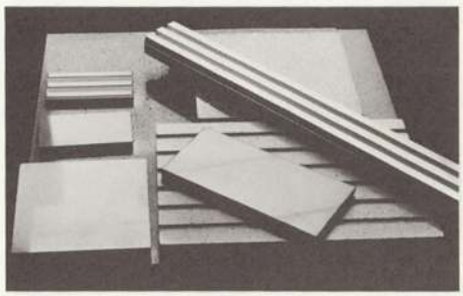


写真1

光沢は、素材により異なるが、Gs(60°)40～90の光沢度が得られる。

(2)　品質に優れている。

外観形状、強度、物性等の品質は、既存のタイルと同じであり、建材としての要求品質を満たす。また、工業製品であるため、均質性に優れている。

(3)　施工性に優れている。

タイルで実績のある湿式工法および乾式工法が採用でき、施工能率や安全性に優れている。

施工実績

昭和60年以来、特注対応により、数多くの実績を積み重ねてきた。代表的な施工例を**表1**に示す。また、新宿グリーンタワーの鏡面タイルを**写真2**に示す。



写真2

鏡面タイル選定のポイント

鏡面タイルの採用計画を行う場合、**表2**の項目を検討することにより、価格面の合理化や品質・品位の向上が可能となる。

表2　鏡面タイル選定

項　目	タ　イ　ル		影響を受ける特性
	有　利	不　利	
表面テクスチャー	リブ面	フラット面	価格
色合い	多色混合、石模様	単色	価格
素材	磁器質	土もの	品質(光沢、ピンホール、汚れ)
エッジ形状	テーパー ⌒	ピンカド ⊓	品質(カケ)

工程スケジュールや仕上がり面において、間違いのない工事を実施するため、設計者と製造者との綿密な打ち合わせが必要である。特注タイル個々の素材・硬さ・形状等を正確に把握し、研磨条件（砥石の構成、研磨圧、スピード等）を設定する。また、色調や光沢は、研磨加工した面状で確認する。

現場納入に際して、欠けや傷について、研磨面への配慮が重要であり、梱包方法や物流方法の工夫が必要である。

リブ鏡面タイルとフラット鏡面タイルの張り合わせや、鏡面タイルをポイントやラインとして使用することにより、意匠的にも価格的にも魅力ある壁面および床面を構成することができる。タイル(300㎜角平）と鏡面タイル(300×75㎜角平，75㎜角平）の張り合わせ床面の例を、**写真3**に示す。



写真3

おわりに

多種多様の建材が建築物に用いられているなかで、高い光沢をもち、優れた意匠性の鏡面タイルは、表面仕上げ材として有力な材料である。

現在、鏡面タイルは、特注対応による受注生産だが、より使いやすくするため、標準品の品揃えが準備されている。また、製造技術や素材開発を進め、品質や価格についての要求に応えていくように努めている。

（あきもと　よしき　株式会社INAX商品開発本部
商品開発部担当課長）

読者の頁

『関西の建築家50』の出版に思う

大阪市立工芸高校　山田　修

このたびは「協会創立70周年記念事業」として、表題の立派な単行本が出版され大慶に存じます。値段を見てびっくりしました。1500円と格安だったからです。さっそく購入しました。

編集委員の皆様方のご苦労は、大変だったことでしょう。お疲れさまでした。今の世の中では、「モノを造る」ことは、初めの企画通りには進まないものです。

さて、わたしの感じました思いを、筆に走らせてみました。ご無礼の点がたくさんあると思います。何分のお許しをお願いします。

1．安藤忠雄抜きでは、本に重みがない

「建築と社会」9月号に、読者の声として「なぜ安藤忠雄氏が掲載されていないのか」の質問があり、答えとして「何度もお願いしたが固くことわられた」とありました。読者の声と編集者の声は、出版前に当然予想されたことです。わたしは「安藤忠雄抜きでは、本の価値が半減する」と感じました。世間の評価も同じだろう、と思います。

いま、日本で、というより世界で「もっとも名前の通っている建築家」といえば、彼が第一人者でしょう。学生や一般の人たちの間では、丹下健三・黒川紀章を頂点とする有名な建築家よりも、安藤忠雄の方がはるかに人気があります。

彼の目茶苦茶に見える理論と鋭い創作力は、一般の常識的な理論をこえた面白味と真実性があり、「人間の生きる楽しさの本質」に迫るものを持っています。それが素直に彼の作品にも出ていると思うのです。

2．モノには順序がある

安藤氏のことわり論をわたし流に理解して表現してみます（安藤氏が怒られるのを承知の上で）。

彼は物事を、本音と建前をケースバイケースでハッキリと割りきります。超多忙な人だけに、物事をテキパキと処理しないと、身が回っていかないからです。彼に限って、一度ことわったものを復活することはありえません。たとえ、手をかえ人をかえて交渉しても…。

当本は、昭和57年8月より同61年9月までの4年間「建築と社会」に連載したものを、そのまま複製したものです。したがって昭和57年8月号に安藤氏が掲載されておれば「彼もことわらなかった」と思いますよ。彼には、昔流のメンツを重んずるところがあります。

すでに当企画が計画された年代に、彼は「住吉の長屋」で建築学会賞を受賞していましたし、新しいタイプの建築家として世間の脚光をあびていました。それ以後、彼は三段とび流に日本を代表する建築家に成長しました。

とくに外国では「タダオ・アンドー」と、その名をはせています。ハンガリー・スペイン・フランス・イギリス・オランダ・スイス・フィンランド・オーストリア・アメリカ・オーストラリアの各国で個展を開催し、まさに世界的な建築家として活躍中です。

そんな彼を、〝トップ賞〟として表敬訪問しなかったのが、つまずきの元です。初めに「モノの順序」を間違えたのです。

大阪出身の大建築家が「いまさら関西の建築家として出られるわけがない」と思います。安藤流にいえば「同一レベルでモノを見てもらっては困るわなァ」ということです。

3．わたしなら、こうする

どうしても「関西の建築家50」の中に安藤氏を後から挿入する、との仮定でわたしなりに考えてみました。

50人と同列には並べられませんから、冒頭に座談会「関西から飛び出た建築家安藤忠雄氏を囲んで」を組み、その最後に彼の作品を紹介します。

特別扱いになりますが、初めに安藤氏をとばした編集委員会側のミス（あえてミスといわせて下さい）と、50人とは同一視できない現状を考え、「止むをえない」という判断です。

これなら、後からの取材に応じていただけたかも知れません。逆に「そんな特別扱いまでして、わざわざボクを取材せんでもエエのんとちがう？ボクがのると、他の人が気の毒に思うけどなァー」という彼の言葉が聞こえてきそうです。

4．50人の人選がむずかしい

建築設計業界は、一匹オオカミの多い世界です。もとの設計事務所から次つぎと分裂・枝分かれをくり返し、独立国家を形成していきます。元の共和国から新興独立国のアルジに格上げされたのですから、独立した本人にとっては思い上がりもあるでしょうし、多忙にのみこまれ建築ジャーナリズムから遠ざかっていかざるを得ない事情もあります。

わたしの友人で、若いときから独立独歩の道を進み、地道に設計業界で活躍していましたが、60歳でピタリと引退、自適している人がいます。一方、実力もないのに服装だけは一流・中味は三流という人もいます。ハッタリをきかせながら何とか当世界を渡り歩いている芸人風の人も見かけます。まさに玉石混在の世界です。「あの人が掲載されて、わたしは掲載されないのか」と思う人は、自信のある方であれば当事者として感じられたのではないでしょうか。わたしも「なぜ、あの人が出ないんだろう」と思った人が五指に余りました（名前を上げたいのですが、遠慮しておきます）。

「建築と社会」の性格からいけば、むしろ既成の有名人よりも無名の新人を発掘する方がいい、とも考えます。「人選をどうするか」は、どの世界でもむずかしい問題です。まして人を選抜する基準は、あってないようなものですから…。

さらにつけ加えれば「おっつけ仕事では、いいモノは造れない」ということです。4年間には変化が生じますし、人の価値観も変わっていきます。したがって「雑誌即単行本のコース」は、ほんとうは無理な計画なんですよ！

河内義就先生を悼む



故　河内義就氏

大正2年6月13日広島市国泰寺町に出生
昭和10年　横浜高等工業学校卒
昭和19年　満州国大同学院終了
昭和10年　逓信省経理局
昭和14年　満州国郵政総局
昭和21年　暁設計事務所入所
昭和26年　河内義就設計事務所開設
昭和60年　勲五等瑞宝章受章

謹んで河内義就前支部長の御逝去に哀悼の意を捧げます。将に広島県の建築界にとって巨星墜つの感があります。

先生は昨年12月風邪を引かれ咳が止まらず、市民病院に約1週間入院されました。また今年2月逓信病院に約1ヵ月入院、退院後は8月頃まで療養につとめつつ事務所にも出ておられたのですが、胸部疾患の病状は好転することなく、自ら8月中旬身辺の整理をされ、多くの役職の辞意を表明されました。9月下旬には御子息、国利君（河内義就設計事務所社長）に後事を托され、10月5日午前2時10分眠るように安らかに天寿を全うされました。享年75歳、聖者のごとき大往生でした。

先生のお人柄は今さら申すべくもなく、人格高潔にして温厚、厳しい世俗に惑わされることなく、技術者としての高いプライドを守り、常に超然として学者の風格を備え、その交友の幅も広く、各界各層の方々から尊敬され、敬慕されていました。趣味は読書。世界のベストセラーは必ず直ちに買い求めるなど、読破した書籍は数知れず、実に博学知悉で、とくに歴史、地誌に深い見識を持っておられました。甘党で和菓子を好み、酒は一滴も口にされることなく、唯一の道楽といえば誰も知るマージャン「河内会」の名はつとに有名です。

建築家としては被爆後の荒廃した時代からその優れた能力を発揮され、都市、町村の復興と建設に多大の貢献をされています。とくにその卓越した先見性と豊かな発想は、建築にとどまらず、都市計画にも及び、刮目に価するものがあります。広島市広域交通網の提言あるいは広島湾埋立開発計画等、何人といえど追従のできない先駆者でありました。広島の地を愛し、広島を憂い続け、設計業界の先達として多くの役職にも就かれていました。

広島県を代表する大建築家の死、その功績は永遠に不滅であり、その理想と精神はニューリーダーといわれる資質高いお弟子さんあるいは後輩の方々により受け継がれ、先生の報恩と餞となることを信じています。

秋深く冷気一入身に滲む候、先生への想いは一層深く、日本建築協会の皆様とともにご冥福をお祈り申し上げます。安らかにお眠り下さい。

合掌

日本建築協会中国支部長　**平本　俊秋**

大阪府で建築美観誘導の手引きをまとめる

近年、まちづくりには機能性のみならず、街並みの個性や調和、また、文化や伝統といった“心のゆとりとうるおい”に関する事柄が求められている。大阪府では美しい街並みづくりを目指し、昭和61年度に建築の美観を誘導する際の考え方や基準等について、専門家・学識経験者で構成する大阪府建築美観誘導検討委員会を設置し検討の結果、「魅力ある景観づくりをめざして」を手引き書としてまとめるべく提言をうけた。

大阪府建築美観誘導検討委員会

○足立　孝	大阪大学名誉教授・摂南大学教授（建築）
岩井珠恵	クリエイティブフォーラム制作室長（ビジュアルデザイン）
紙野桂人	大阪大学教授（建築）
末次攝子	読売テレビ放送参与・大阪府参与（ジャーナリスト）
高橋理喜男	大阪府立大学教授（造園）
富安秀雄	市浦都市開発建築コンサルタンツ代表取締役（都市計画）
鳴海邦碩	大阪大学助教授（都市計画）

○印は会長

この手引き書は、今後、各市町村が建築美観を実際に誘導していく場合に活用できるよう、誘導の基本的な考え方、誘導の実施方法、建築景観資源マップ等、誘導基準の基本的な考え方および誘導基準案について、５章に分けて記されたものである。そして、大阪府ではこの手引き書を基本に、今後、大阪府下の市町村と協議調整をし、実施に移していくものである。

1　建築美観誘導の基本的な考え方

建築物は、街並み景観において視野の中に占める割合が大きく、意匠や材料が多様で景観を効果的に演出できるため、美しい街並み景観の形成を図る上で建築美観の誘導はぜひとも必要である。また、街並みには住宅地・商業地等さまざまなタイプがあり、この特性に応じて美観誘導を行う必要がある。誘導に際して、すでに建ち並んでいる建築物が景観上良質なストックである場合は、このストックを生かして調和を図るものとする。一方、すでに建ち並んでいる建築物が景観上低質なストックである場合や新たに開発されて全く新しい街がつくられる場合は、国際文化都市、大阪にふさわしい優れた景観の街並みに誘導していく。

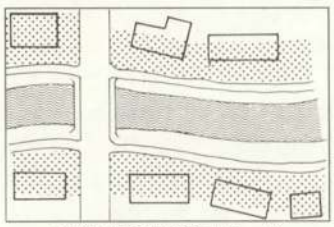
2　建築美観誘導の実施方法

良好な郊外型低層住宅地の例



美観誘導を行う主体は地元市町村とし、市町村は、景観形成に当たって配慮すべき各地区固有の景観資源や箇所を把握するため、建築景観資源マップを作成する。それとともに、具体の地区に適用する建築美観誘導基準を作成し、実際の誘導を行っていく。府は、市町村が参考とすることのできる資源マップの作成方針(3)や建築美観誘導基準の考え方(4)および案(5)を提示するなどして、市町村の誘導の実施に当たって指導・助言を行う。誘導手法としては、地区計画制度、景観条例、取扱い基準による誘導等が考えられる。また、誘導を実施していく上で重要な事柄について審議するための機関である景観審議会を設けることが必要である。

3　建築景観資源マップ等



河川沿いに道路または遊歩道が確保されている場合、道路等に面する建築物を美しくすることにより、水際空間の景観を整備する。

建築景観資源の活用の一例

伝統的な景観の建築物やすでに美しい景観の公共建築物および建築景観が引き立つ河川の周囲やアイストップ等を建築景観資源として地図上に示し、活用を図ることがぜひとも必要である。資源の選定に当たっては、専門的な立場で見て評価の高いものと、地区住民の意識の中で評価の高いものとがあることを見落とさないことが必要である。また、建築美観を形成する上で課題となっている事柄を地区ごとに拾い上げて整理した建築景観課題マップおよび実際に施策として実施することができるものを地図上に示した建築景観マスタープランを作成することが望ましい。

4　建築美観誘導基準の基本的な考え方

①前面道路境界線から建築物をできるだけセットバックし、歩道と一体となったゆとりのあるスペースをつくる。

②敷地内の道路から見えやすい部分には、できるだけ植栽等を行い、うるおいのあるスペースとする。

③屋根や屋上に配慮し、すっきりしたスカイラインを形造るよう努める。

④建築物の外観は、街並み景観の形成に配慮し、すっきりした良い意匠とする。

⑤生活行為（洗濯物等）により街並み景観が雑然とならないように、建築設計上、できるだけ工夫を行う。

5　建築美観誘導基準案

街並みの特性にかかわらず、どのような地区においても共通して用いる基準案はつぎのとおりとする。

- 屋上設備を外部から見えにくくする。
- テレビアンテナの共聴アンテナ化を図る。
- 屋外階段は本体の建築物との調和を図る。
- 配管類はできるだけ露出しないように設置する。
- 正面以外の立面についても正面と同じ材料または色彩とする。

一方、街並みの特性に応じた基準案は、郊外型低層住宅地、町家地区、中高層住宅地および商業系地区の各街並みごとに誘導の基本方向を定め、外壁の後退等、へい・生垣等、材料・色彩、意匠・形態、シャッター・駐車場等、広告物およびその他の各項目について具体的な内容を示したものである。

たとえば、郊外型低層住宅地の一例を示すと、その地区のイメージ（洋風で明るい雰囲気の街並み、和風で落ち着いた雰囲気の街並み等）を尊重し、外壁は前面道路境界線から1.5～3.0m以上後退させる。へいとせず、生垣またはさくとする。屋根の材料、色彩について定める（茶系統の洋瓦、黒色の日本瓦等）。壁の材料について定める（リシンかき落とし等）。壁、さく、ガレージのシャッター等の色はカラー・パレット（使用してよい色の一覧表）を定め、この中から用いる。建築物の高さは地盤面から9.0m以下とし、軒の高さは7.0m以下とする。

（志摩宣彦/大阪府建築部建築指導課主査）

公共建築とデザイン運動 ―神戸市で「公共建築デザインマニュアル」の発刊

都市景観や街並み形成に関する意識の高まりとともに、公共建築が都市景観の向上に果たす役割がクローズアップされてきている。

神戸市では、公共建築が街並み形成の先導的役割を果たすことをめざして、冊子「公共建築デザインマニュアル」（B５判・127頁）を発刊した。

1　公共建築デザインマニュアル

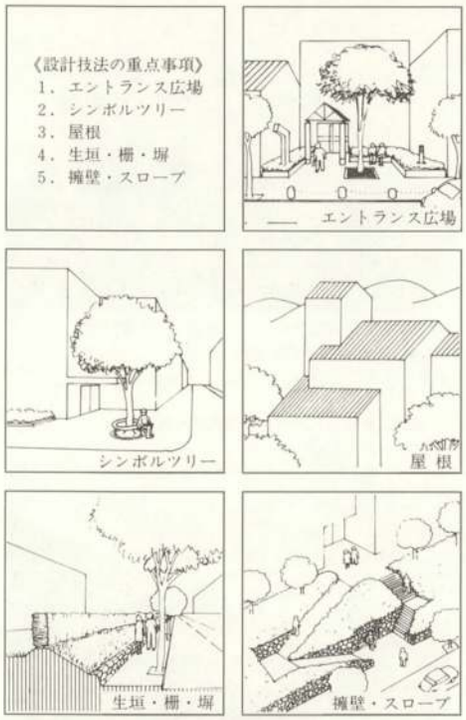
(1)街並みのコンダクター　街並みが美しく魅力的であるためには、個々の建築がそれぞれすぐれたデザインを追求するだけでは限界があり、ちょうど音楽のシンフォニー（交響曲）のようにハーモニー（調和）を形成することが必要ではないだろうか。

ひとつひとつの楽器（建築）がオーケストラの一員としてそれぞれのパート（デザイン）を守りながら楽曲（街の主題、街らしさ）を奏でるとき、はじめてすばらしいシンフォニー（街並み）が生まれると考えている。

この中で、公共建築はオーケストラのコンダクターとしてシンフォニーを形成する指導的・先導的役割を期待されているところである。

(2)デザインマニュアルのめざすもの　デザインマニュアルでは、計画指針と設計技法を整備したが、単にデザイン手法を集積した段階にとどまっていれば公共事業主体が作成する冊子としてはあまり意味がないと考えている。

神戸市がこのマニュアルを作成した意図は、自らの公共建築の水準の向上をめざしたことにあり、この目的に沿って、以下の５つの「設計技法の重点事項」を設定した。(**右図**参照)



設計技法の重点事項

①エントランス広場の整備
②シンボルツリーによる演出
③屋根形態の工夫
④敷地境界部の修景（フェンスの後退・生垣化、緑化）
⑤擁壁の修景・スロープの工夫

この重点事項の実践により、公共建築のクォリティを保ち、一定のイメージを築くことをめざしている。これは、民間企業のCI（コーポレート・アイデンティティ＝企業イメージの創出）運動の主旨にも通じる一つのデザイン運動とも言えるだろう。

2　マニュアルを軸としたデザイン運動

(1)景観行政との連動　立派なデザイン書も単なる参考図書にとどまってしまえば、その価値を十分に発揮することはできない。

このマニュアルでは都市景観条例を中心とする景観行政の諸協議・申請に活用できる構成となっており、いくつかのチェックポイントで参照できるというしかけを工夫している。

これらのしかけにより、遊離しがちなデザイン作業と諸申請作業の連係としてマニュアルが機能することを狙っている。

(2)コミュニケーションの手段　公共建築の建設においては、企画計画を担当する部門から設計・建設、管理部門までさまざまな職場・職員へと業務が引き継がれる。この各組織間の意志疎通の良否が公共建築の出来ばえを左右することもある。

公共建築デザインマニュアルは建築技術職員はもちろんのこと、公共建築に携わる事務職員にも使ってもらえるように『計画指針→設計技法→運用方法』という建設の各フローに対応した連続的な構成であるので、コミュニケーションの手段として役立つことと思う。

なお、当冊子の姉妹編として民間建築の誘導を意図した「建築デザインと街並み」も出版されており、併せて参照していただければ一層よく趣旨を理解いただけると思う。

*

「公共建築デザインマニュアル」および「建築デザインと街並み」（価格はそれぞれ2,500円）は、
①神戸市住宅供給公社・住宅相談コーナー
（078-321-3683～4、郵送申込可）
②兵庫県建築士会神戸支部
（078-351-6500）
で販売中。

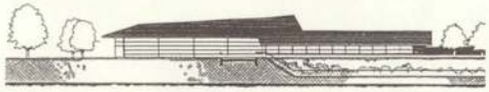
（高橋一雄/神戸市住宅局営繕部営繕課）

「京・白川」―白川周辺景観整備地区調査報告

京都市計画局では、このほど上記調査報告書を発表した。

白川はいうまでもなく、比叡にその源を発し、東山山麓の市街地を縫いながら鴨川に合流する歴史的都市河川である。この流域周辺には、銀閣寺、南禅寺、六勝寺跡岡崎公園、祇園茶屋町等があり、歴史の重要な舞台となったところである。

この調査は、京都大学西川幸治教授を中心にして、その白川をとりあげ、白川の歴史と現況をあきらかにしつつ、白川の川辺の景観とその特性によって10地区に分け、これを「白川十境」と呼び、それぞれの地区について具体的な景観整備の保存修景計画の構想を示したものである。



案内所・休憩所の整備―報告書より―

「ひょうご住宅百選」決まる

「ふるさと兵庫」の財産として見直し、今後の良好な住まいづくりに資することを目的に、優れた住宅の推薦公募をしていた兵庫県は、612件の応募の中から、住宅所有者の了解もとりつけて、100の住宅を認定した。

選ばれた100の住宅のうち主なものを掲げる。

□民家（58件）
箱木家住宅(神戸市)、山邑家住宅(神戸市)、柳田國男生家（福崎町）、永富家住宅（揖保川町）ほか
□近代住宅（20件）
旧ハンター邸（神戸市）、移情閣（神戸市）、旧辰馬喜十郎邸（西宮市）、九鬼隆章邸(三田市）ほか
□現代住宅（11件）
六甲の集合住宅(神戸市)、目神山の家々(西宮市)、西沢文隆邸(伊丹市)、佐用町営平福団地(佐用町)
□家並み（11件）
御影（神戸市）、六麓荘（芦屋市）、龍野（龍野市）、出石（出石町）、河原町（篠山町）、古市（丹南町）

10月15日に三田市民会館で、「国際居住年シンポジウム―世界の住まい、日本の住まい―」が開催され、この「ひょうご住宅百選」の発表とスライドによる紹介も行われた。

第1回大阪市ハウジングデザイン賞決定

大阪市ＨＯＰＥ計画に基づき今年度創設された〝大阪市ハウジングデザイン賞〟は、過去５年以内に建った民間の集合住宅で、計画、構造、設備、管理等に優れた住宅を表彰するものである。

６月15日から７月31日の募集期間に、市内外からはがき総数1196通の推薦があり、この中から審査資料提出があった住宅107点を審査した結果、「３丁目コーポ」、「GSハイム北畠」、「ベル・パークシティG棟」が選ばれた。

3丁目コーポ（大阪市東淀川区瑞光３）



10世帯で土地を共同購入し、コーポラティブの方式によって建設した集合住宅である。北側の既存邸宅に配慮して、建物のフレームは北側への片流れ形とし、外壁は打放しコンクリートで、ユニークな外観をかたちづくっている。
421㎡の敷地を10戸で使いながら、この定住性のある都市型住宅は手作りの味があり、経済的にも評価しうる。

GSハイム北畠（阿倍野区北畠３）



阿倍野区西南部の閑静な住宅地の中で、不整形で起伏のある敷地を巧妙に使い、既存の楠の巨木を生かし、建物のセットバックに変化をもたせ、外壁に落ちついた色調のボーダータイルを貼って、周辺の景観と調和させている。
現在の平均的市民生活からの遊離感は否めないが、大人向きで、質の高い集合住宅である。

ベル・パークシティG棟（都島区友渕町１）



10ヘクタールを超える工場跡地に、面的に都市型住宅が整備されつつある一団地、その中で昭和59年に完成した超高層（36階建て）G棟の容姿は際だち、大川沿いのランドマークになっている。
足回りの諸施設に物足りなさはあるが、超高層マンションの一里塚として、その功績を評価する。

第５回京都美観風致賞

風趣に富んだ自然景観や伝統が息づく京のまちなみと調和した優れたデザインの建築物、緑地・広場、屋外広告物等を対象とした京都美観風致賞に、応募・推薦88点の中から、世界歴史都市会議特別賞３点を含む８点が決まった。

■酒つくりの町
設計　谷直樹（大阪市立大学）/ 京都環境計画研究所
施工　幾田建設
■千丸屋京湯葉本社工場
設計　望田建築事務所
施工　藤木工務店京都支店
■京都国立近代美術館
設計　槇文彦＋槇総合計画事務所 / 建設省近畿地方建設局
施工　竹中工務店・松村組・鴻池組共同企業体 / 覺元造園土木
■土井志ば漬本舗熟成館
設計　吉弥建築事務所
施工　野口建設
■野口家住宅
設計　小谷敏夫設計事務所
施工　熊倉工務店
■青山音楽記念館
設計　莫設計同人
施工　熊谷組・ミラノ工務店共同企業体
■ユーコート（洛西コーポ）
設計　京の家創り会洛西コーポプロジェクトチーム
施工　松村組大阪本店
■京都信用金庫樫原支店
設計　菊竹清訓建築設計事務所 / 栗津潔デザイン研究室
施工　藤田工務 / 西田亀



〔世界歴史都市会議特別賞〕酒つくりの町
所在地：伏見区南浜町247
建築主：月桂冠株式会社　取締役社長　大倉敬一



〔世界歴史都市会議特別賞〕京都国立近代美術館
所在地：左京区岡崎円勝寺町
建築主：京都国立近代美術館長　小倉忠夫

〔世界歴史都市会議特別賞〕千丸屋京湯葉本社工場
所在地：中京区堺町通四条上ル八百屋町541番地
建築主：越智博、越智ミヨコ



〔一般賞：建築物〕土井志ば漬本舗熟成館
所在地：左京区八瀬花尻町41
建築主：株式会社土井志ば漬本舗 取締役社長 土井清一郎



第５回神戸市建築文化賞

神戸の建築文化を高めることを目的に、市民からの推薦にもとづき良い建築物を表彰してきた神戸市建築文化賞も、今年で５回目。

今回は、屋根・玄関まわり・庭・広場等建物まわりの優れたもの、集合住宅および集団的に建つ住宅群、公共建築も対象に含めて、応募建物件数237点の中から11件を選定し、去る10月６日に表彰式を終えた。



〔建築文化賞〕新六甲駅前ビル（太陽神戸銀行六甲支店）



〔建築文化賞〕ユーハイム本社・神戸工場ビル



〔建築文化賞〕アバンビル



〔建築文化賞〕大月真珠本社ビル



〔建築文化賞〕神戸山手女子短期大学３号館



〔建築文化賞〕ダイエー厚生年金基金総合スポーツセンター



〔建築文化賞〕神戸市外国語大学



〔すまいいえなみ賞〕研究学園(1)団地



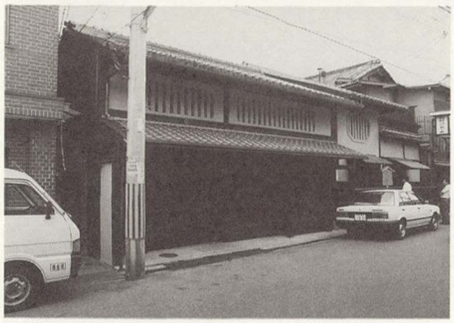
〔すまいいえなみ賞〕名谷コーブタウン



〔部門賞〕神戸海洋博物館

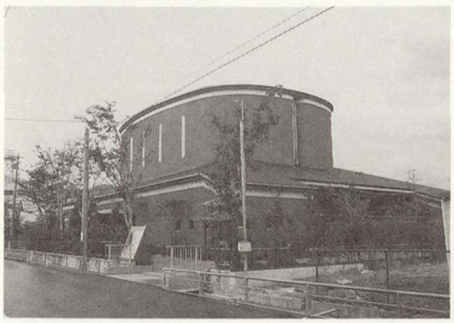


〔部門賞〕モードピア・オールスタイルビル



〔一般賞：建築物〕野口家住宅
所在地：中京区油小路錦小路下ル
建築主：野口安左衛門

〔一般賞：建築物〕青山音楽記念館
所在地：西京区松尾大利町９－１
建築主：青山政次





〔一般賞：緑地・広場〕ユーコート（洛西コーポ）
所在地：西京区大枝北福西町４丁目１の３
建築主：洛西コーポ建設組合（住宅都市整備公団関西支社）

〔一般賞：屋外広告物〕京都信用金庫樫原支店
所在地：西京区樫原口戸１－48
建築主：京都信用金庫　理事長　阿南孝志



〔京都美観風致賞受賞理由〕

酒つくりの町
伏見・南浜において長年にわたり、伝統的な酒つくりの環境の保全とともに酒蔵の連続する町並みの修景整備が進められ、伏見を代表する酒蔵の町並みが徐々に変化してゆく中で、重要な取り組みと認められる。

千丸屋京湯葉本社工場
京の町並みが急変する中で、京湯葉製造を生業とする老舗の連綿と引き継がれてきたイメージを継承し、町屋のデザインを巧みに再生した優れた建築物である。

京都国立近代美術館
岡崎の文化ゾーンに建つこの美術館は、京都の伝統建築がもつ繊細さを現代的なデザインの中に表現した優れた建築物である。

土井志ば漬本舗熟成館
緑豊かな八瀬大原に建てられた、地場産業である志ば漬の醸成庫は、大原の里の風情を継承する優れた建築物である。

野口家住宅
江戸期の京町屋の面影を伝える外観を復元しながら、通り庭を車庫に改修するなど、町家の保存と活用を図った優れた建築物である。

青山音楽記念館
西山の麓の住宅地に建つこの音楽堂は周辺の環境に溶け込み、地域の人々に親しまれている優れた建築物である。

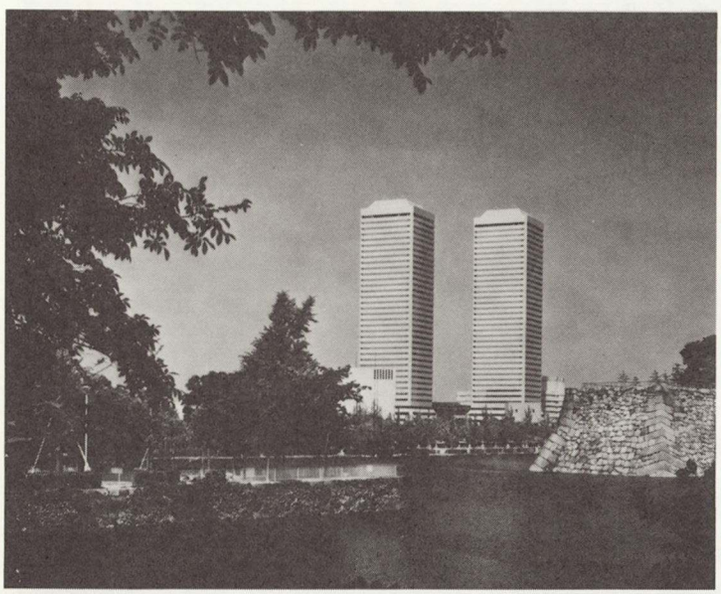
ユーコート（洛西コーポ）
住み手の個性が表出されながら、建築としての一体感が町並みに活気を与えているとともに、中庭や敷地周囲の豊かな緑が訪れる人々にうるおいを与えている。

京都信用金庫樫原支店
物集女街道沿いの住宅地域に建つこの白い色彩の店舗は、斬新なデザインで将来のまちなみづくりに寄与しており、地域名を採り入れたサインは建物と調和した形状と明るくさわやかな色彩に仕上げられ、うるおいのあるまちにふさわしい広告物である。

第７回大阪都市景観建築賞

大阪都市景観建築賞は、推薦建物・まちなみが234件（審査対象有効物件129件）の中から、下記の８点が入賞作品に決定した。

本年は、〝総合的な計画がなされ、優れた景観を創出しているまちなみ〟として、トークティ守口と近鉄上本町ターミナルが選ばれているが、広域のまちなみとしてどちらもターミナル地区であることは特筆されるべきことである。



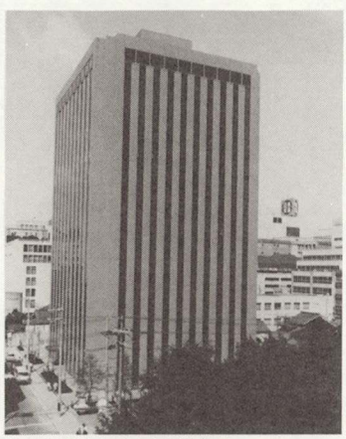
〔大阪府知事賞〕ツイン21



〔特別賞〕トークティ守口



〔特別賞〕近鉄上本町ターミナル



〔大阪市長賞〕日本生命今橋ビル



〔大阪府建築士会会長賞〕丸紅大阪本社ビル



〔奨励賞〕富田林市立藤陽中学校



〔奨励賞〕トヨタオート南海狭山営業所



〔奨励賞〕堺聖テモテ教会

編集後記メモ

■建物の外構は、街並みを考える上で重要な要素だと思います。街並みと建物の接点という場合、とくに、外構がどう街並みと調和していくか、が大事でしょう。たとえ突出した外構デザインだとしても、不調和なものでなく、快い緊張感をもたらすものであればよいと思います。パリのルーブル博物館の中庭中央に、底辺35m平方、高さ22mのガラス張りのピラミッドの入口をもってくる手法など、ルーブルの屋根の稜線をさえぎらない意味でも、それは、不調和でなく、緊張した対立的調和を生んでいるのではないかと思われます。さすがパリです。パリには、これも含めて、10大ビッグプロジェクトと称して、いくつかは完成し、いくつかは工事中のものもありますが、それらが、不調和でなく、新しい街並みを出現させているところは、不思議なくらいです。

そういった意味で、街並みと外構はきってもきれない関係にあり、それに加うるに、三つの「み」の三位一体論として、以前にこの欄でも書きましたように、「みず」「みどり」「みち」の三つのみがどう同化していくかも、重要なファクターとなるでしょう。本号の本文特集は、施工材料分科会の企画からはじまったものですが、単に材料の使い方だけでなく、計画デザインの実例をも含めて、街並みと建物との接点をさぐったものです。

■先日、わたくしたちの日本建築協会事務局員で構成している「むつみ会」の慰安旅行がありました。奥能登をめぐってきましたが、能登半島先端の禄剛崎が浦というところにある「ランプの宿」に一泊しました。まさに、ランプだけの一晩を経験したわけです。江戸時代はかくありなんと実感しました。

一世紀以上も前の生活の夜の薄暗さに、どうして、江戸文化が華咲いたのか、不思議な気もしますが、考えてみれば、電気とちがって、ランプの光にもそれ相応の文化が対応したわけでしょう。今や今世紀末では、「24時間都市」といって、電化の恩恵をこうむっていますが、前世紀以上の生活と比べたら、比較にならないほどの文化が生まれてもよいと思うのです。しかし、あまりにも、「24時間都市」という自由時間がありすぎて、集中力に欠ける点があるのではないでしょうか。かえって、ランプ時代の自由制限時代の方が、文化に対する集中力があったのかも知れないと、一晩「ランプの宿」で考えさせられました。

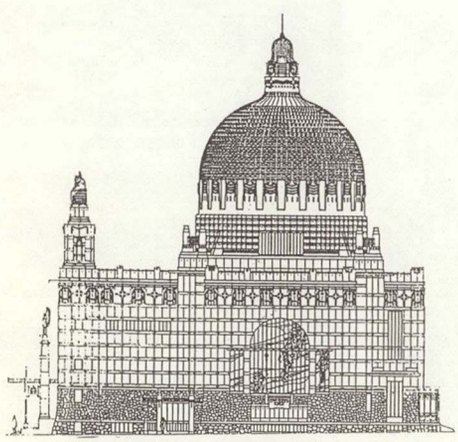
ついでながら、輪島で見た「御陣乗太鼓」の踊りも、奇怪なる面とワカメでつくった髪をふりみだしての太鼓さばきの音は腹にずっしりと響いて、迫力あるものでした。さすが、石川県指定の無形文化財といわれるほどです。

■「ふたつの世紀末の建築を訪ねて」と称して、日本建築協会70周年記念事業の一環として、ヨーロッパ研修旅行が、来る11月21日から12月5日まで挙行されますが、私もこれに参加します。ウイーンからフランクフルト、ダルムシュタット、デュッセルドルフ、ケルン、ブリュッセル、パリ、グラスゴー、ロンドンをめぐる予定ですが、前世紀末の装飾性のにおいが大いに濃く残る街並みと、今世紀末の最新の建物とを比較して見てこようというものです。その両者がどう街並みにとけこんでいるか、この目でたしかめてきたいと思っています。

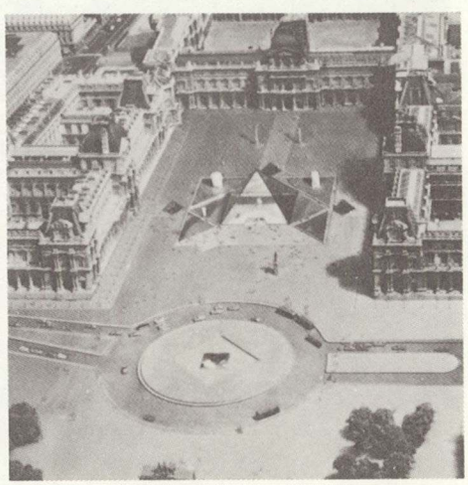
■私はこの11月末をもって定年退職いたします。35年間主として編集を中心に法規・出版に従事してきましたが、歴代の会長、副会長はじめ、編集委員長、委員、ならびにご協力いただいた執筆者・関係者各位に、心からお礼を申しあげて、稿を閉じます。ありがとうございました。

(松井記)




シュタインホフ礼拝堂(ウィーン)


カステルベランジェ(パリ)


ルーブルのピラミッド(パリ)

日本建築協会

月間の動き

昭和62年９月分

理　事　会

第２回常任理事会
30日　４時～５時　於本会会議室
出席者　佐野会長ほか11名
議事　(1)定時評議員会開催の件
(2)日本建築協会諸規程改正の件
(3)建築基準法改正に関する勉強会開催の件
(4)映画と新建材説明会後援の件
(5)デッキプレート床構造設計・施工規準講習会後援の件
(6)会員増強に関する件
(7)入退会者承認の件
(8)報告事項

編　集　委　員　会

第３回施工材料分科会
４日　４時～６時　於本会会議室
出席者　山田幹事ほか３名
議事　(1)10月号「建物と街並みの接点－建物の外構」特集の件
(2)63年４月号施工材料特集の企画
(3)「施工材料の頁」の確認
第７回計画分科会
７日　６時～８時　於本会会議室
出席者　佐野委員ほか２名
議事　正月号「都市居住」特集の企画
第２回書評委員会
８日　６時半～８時半　於本会会議室
出席者　太田委員ほか４名
議事　(1)62/11月号以降の企画と検討
(2)来年の紙面内容について
第５回作品作風小委員会
９日　５時～７時半　於本会会議室
出席者　高瀬副委員長ほか９名
議事　(1)最近の掲載状況・予定
(2)「Gallery」内容報告と今後の検討
(3)作品作風探訪企画
「設備におけるLCCとリフレッシュ」特集
第２回編集幹事会
10日　６時～８時　於本会会議室
出席者　田中脩幹事ほか６名
議事　12月号設備特集「設備におけるLCCとリフレッシュ」の企画
Gallerly打合せ
14日　６時半～９時　於本会会議室
出席者　宮崎委員ほか１名
議事　11月号の紙面検討
第６回編集委員会
17日　４時～６時半　於本会会議室
出席者　長谷部委員長ほか４名
議事　(1)９月号「シティホテルの設備－客室・宴会場を考える」特集経過報告
(2)10月号「建物と街並みの接点－建物の外構」特集の順延と報告
(3)「宝塚の街づくり－逆瀬川駅前地区市街地再開発事業」特集報告
(4)11月号「第34回青年技術者」「ホテル物語」特集の順延
(5)12月号特集の企画
(6)計画特集の企画
(7)来年の表紙デザイン
(8)「建築と社会」発行のためのデータ
(9)収支状況報告、そのほか
第５回投稿欄小委員会
17日　６時～８時　於本会会議室
出席者　増渕委員長ほか４名
議事　10月号以降の企画と検討
第５回広告企画小委員会
22日　４時～５時半　於本会会議室
出席者　長谷部委員長ほか５名
議事　(1)９月号「シティホテルの設備」特集収入報告
(2)10月号「逆瀬川駅前再開発」特集収入報告
〃　「昭和設計創立30周年記念作品経歴」広告経過報告
(3)11月号「建物と街並みの接点－建物の外構」特集広告経過報告
〃　「第34回青年技術者」特集報告
〃　「ARI建築事務所創立25周年記念作品経歴」広告経過報告
第５回「昭和生まれ－関西の建築家50」出版委員会
24日　６時半～８時半　於本会会議室
出席者　加藤委員長ほか７名
議事　(1)臨時増刊号「昭和生まれ－関西の建築家50」出版記念祝賀会及び記念作品展報告
(2)販売促進企画
(3)新企画特別分科会発足の要望
第34回青年技術者選衡委員会
28日　１時半～４時　於本会会議室
出席者　長谷部選衡委員長ほか８名、井上豊・辻野純徳委員は後日出席
議事　第34回青年技術者選衡
第８回計画分科会
29日　６時～８時半　於本会会議室
出席者　田中直人幹事ほか４名
議事　“都心居住”特集の企画

事　業　委　員　会

第４回若い会員の集い小委員会
１日　６時半～10時半　於本会会議室
出席者　石川副委員長ほか９名
議事　(1)前回の事業委員会の報告
(2)「昭和生まれ－関西の建築家50」出版記念－「関西建築家50展」の企画
(3)創立70周年記念事業関係の企画
(4)本年度の事業企画
特別見学分科会
２日　６時～10時　於本会会議室
出席者　山形講師、大川主査ほか２名
議事　創立70周年記念事業・ヨーロッパ研修旅行の企画
第４回広報小委員会
２日　６時～８時10分　於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか６名
議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)「ブラジルの建築家、ホリ氏の講演会」実施報告
(3)「CADの研修会」の企画
住宅展委員会
７日　６時～９時半　於本会会議室
出席者　石川・山形両主査ほか４名
議事　展覧会のタイトル、企画内容その他
第４回見学会小委員会
８日　６時～７時半　於本会会議室
出席者　伊東副委員長ほか９名
議事　(1)前回事業委員会の報告
(2)８月の見学会実施報告
「マイドームおおさか新築工事の見学」
(3)９月の見学会について
「大阪国際交流センター新築工事の見学」
「大阪府立病院新病院の見学」
(4)10月以降の見学企画
第４回事業委員会
10日　０時半～２時　於本会会議室
出席者　西村委員長ほか４名
議事　(1)各小委員会の事業報告並びに事業企画
(2)その他
特別見学分科会
21日　６時～10時　於本会会議室
出席者　山形講師、大川主査ほか１名
議事　創立70周年記念事業・ヨーロッパ研修旅行の資料作成及び今後のスケジュール
住宅展打合せ
21日　６時～９時半　於本会会議室
出席者　奥委員ほか３名
議事　展覧会の資料調査その他
広報研修分科会
24日　６時～７時45分　於本会会議室
出席者　掃部・寺井両幹事ほか３名
議事　「CAD研修会」の企画

出　版　委　員　会

10日　５時～６時　於本会会議室
出席者　須賀委員長ほか５名
議事　(1)〈プロのノウハウ〉と特装本の経過報告
(2)今後のテーマと執筆者選定

建　材　委　員　会

10日　３時半～５時半　於本会会議室
出席者　金井委員長ほか18名
材料説明　アーキスガーデンシステム／担当：松本委員
議事　(1)今後の検討建材
(2)今後の「新建材紹介コーナー」掲載予定

見　学　会

大阪国際交流センター見学会
２日　１時半～３時半
参加者　25名
所在地　大阪市天王寺区上本町８丁目
発注者　大阪市
設　計　大阪市都市整備局営繕部、㈱日建設計
施　工　(建築)㈱竹中工務店・㈱淺沼組・モリタ建設㈱共同企業体
大阪府立病院新病院見学会
７日　２時～４時半
参加者　14名
所在地　大阪市住吉区万代東３丁目１－56
発注者　大阪府
設　計　大阪府建築部営繕室、㈱建築計画・山下設計共同企業体
新日本設備・三輪設備・中村設備設計共同体
監　理　大阪府建築部営繕室、㈱大阪府建設監理協会、㈱新日本設備計画
施　工　(建築)㈱竹中工務店・大成建設㈱・㈱松村組・㈱奥村組　共同企業体

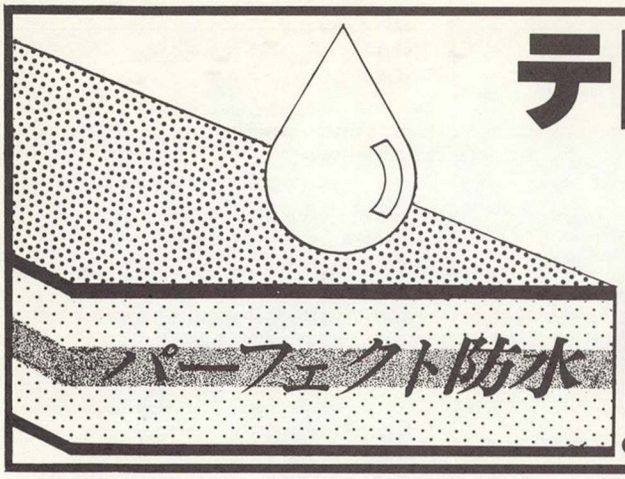
建　築　ク　ラ　ブ

朝食会
８日　８時～９時半　於大阪グランドホテル
演題　「人生を限りなくはばたこう」
講師　㈱サクセスプロモーションキョウト
代表取締役　岩田博志氏
出席者　64名

９月の入会者（敬称略）

〔団体会員５社〕
㈱奥田組　㈱近畿建築構造研究所　新関西化工㈱
㈱リクルートコスモス大阪支店　㈲山陽瓦石井商店
〔個人会員14名〕

伊藤　勉（豊田高専）	上田信也（日建設計）	岡本辰義（岡本建築設計㈱）
久保清一（アルキービ建築・造形・計画事務）	小杉正博（松村組）	河野　靖（大阪府企業局）
佐藤　清（千代田テクノエース）	四家正勝（ヨツヤウレタン）	関田弘史（大林組）
畑中一秀	松尾一久（明石市役所）	桜井信雄（竹中工務店）
高畑顕信（竹中工務店）	山崎慶太（竹中工務店）	



テトカッパー防水層

防水専業の研究・経験から生れたすくない資源のパーフェクトな防水層です。
この防水層は（一層防水）施工するだけで、防水は完璧です。
温度変化に伸びがなく、柔軟性に富み、耐酸、耐薬品性に優れ、腐蝕しません。

カッパー防水帯　コーパータイト　新工法
オクロン防水帯　プレノテクト吹付工法

●お申込次第カタログ進呈

奥山化工業株式會社

本　社	東京都中央区銀座8—4—9	電話03（571）2703
大阪事務所	大阪市淀川区東三国6—1—41	電話06（391）1081-2
埼玉営業所	埼玉県桶川市東1—3—30	電話0487(74)2845-6
厚木出張所	神奈川県厚木市金田259	電話0462（21）1761
名古屋出張所	名古屋市南区若草町33	電話052（811）3660
九州出張所	佐賀県佐賀郡諸富町大字諸富津450	電話0952（47）2945

■防火・防煙シャッター　■軽量シャッター
■ステンレスシャッター　■クリスタルシャッター
■アルミニュームシャッター　その他特殊シャッターの製造

アフターサービスの24時間態勢完備

鈴木シャッター工業株式会社

大阪市北区茶屋町5番2号	電話大阪	06（市外局番）371代表4151～6
北陸営業所　金沢市長田町119番地	電話金沢	0762（市外局番）65—5135～6
神戸営業所　神戸市長田区大橋8-4-7	電話神戸	078（市外局番）611—7971 631—2021

防火・防煙から避難装置まで
建築防災の総合メーカー

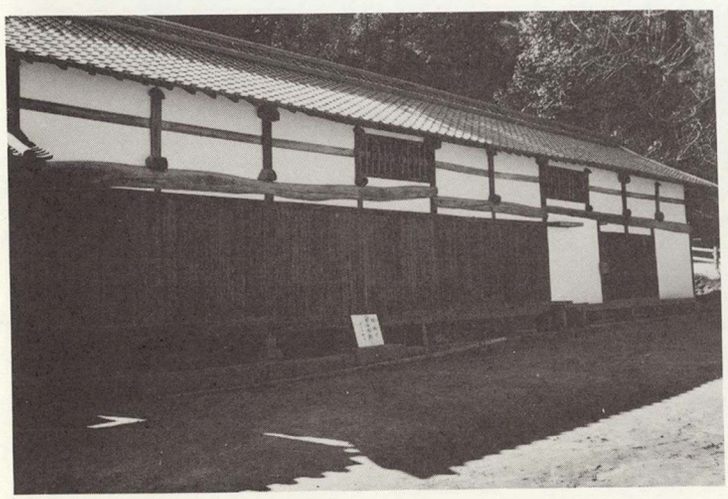
豊かな経験
最新の技術

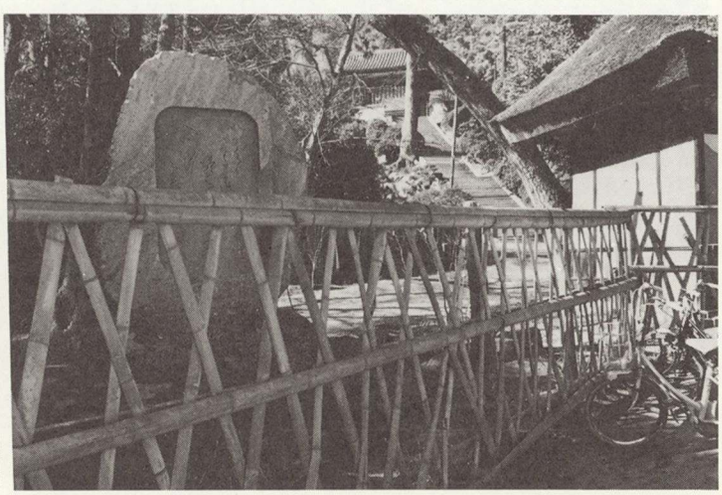
東洋シャッター

東洋シャッター株式会社

本社：大阪市東区両替町1—12 日生ビル　☎（943）6571代表

東京・横浜・盛岡・仙台・水戸・静岡・岡崎・名古屋・富山・大津・京都・神戸・広島・高松・福岡他全国主要都市





空気調和・給排水・衛生・防災設備　設計・施工

株式会社 朝日工業社

本　社　東京都港区浜松町1-25-7　電話 (434)6171(大代)
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59　電話 (302)2271(代)
支　店　北海道・東北・名古屋・中国・九州
営業所　釧路・函館・盛岡・横浜・静岡・京都・神戸

空気調和設備
衛生設備 設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話 (352) 1131 (代)
本　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話 (667)3431 (大代)
支　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

空調・衛生
防災・汚水処理 設計施工

株式会社 大阪城口研究所

取締役社長　城口庸平

大阪市北区角田町2番15号 電話 大阪372局7151(代)
京都市東山区大和大路正面上ル 電話 京都561局4944(代)
神戸市中央区下山手通6－2－8 電話 神戸341局5892

空気調和・衛生設備 設計施工

株式会社 三晃空調

本　社　大阪市東区城見ツイン21MIDタワー　電話 06－949－1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話 03－344－1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06－363－1371
支　店　仙台市大町2丁目2番10号　電話0222－61－3002
名古屋市中村区名駅南2丁目14番19号　電話052－581－8571
広島市中区紙屋町1丁目2番22号　電話082－247－4535
福岡市中央区大名2丁目4番22号　電話092－761－3795
営業所　札幌・横浜・京都・神戸・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・宇都宮・千葉・川崎・富山・福井・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設計施工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441-8231
東京本社　〒104 東京都中央区銀座2丁目2番17号　電話(03)535-5251
支社　名古屋・福岡
支店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・京都・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・松江・徳島・長崎・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン・スリランカ
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58-1511

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む——

株式会社精研

本　社　大阪市南区瓦屋町2丁目11番16号 (オートセンタービル1.2階)
郵便番号542　電話 大阪(06) 768－5031代表
メンテナンス部　電話 大阪(06) 768－1651代表
東京支店　東京都千代田区九段南2丁目2番5号(九段ビル2～4階)
郵便番号102　電話 東京(03) 262－3241代表

■給排水衛生　■冷暖房
■空気調和設備　■その他管工事一切の設計・施工

斎久工業株式会社

本　社　東京都千代田区大手町2-6-2（日本ビル）
電話 03-(270)-7411(代)
大阪支社　大阪市北区堂島1-5-33（中国銀行ビル）
電話 06-(346)-2581(代)
支　店　札幌・岡山
営業所　仙台・千葉・横浜・名古屋・金沢・四国・広島・福岡
出張所　福井・倉敷・松山・宇都宮・静岡・苫小牧

新日本空調株式会社

大阪支店　大阪市北区堂島浜1丁目2番6号（新大ビル）
電話 (06) 344－6031 (代)
本　社　東京都中央区日本橋本石町4-2(三井第二別館)
電話 (03) 279－5677 1(大代)
名古屋・九州・広島・札幌・東海村・北陸・大分

空気調和設備
給排水・衛生水道
電気設備
厨房

環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業株式会社

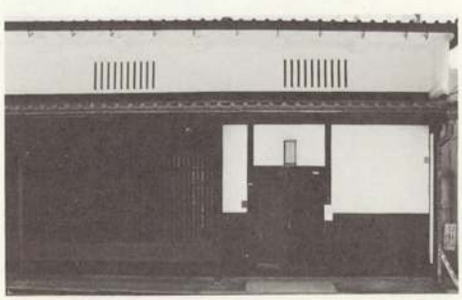
取締役社長　白谷清二
取締役大阪支店長　堀　亀久治
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話 大阪(202) 代表3071
本　店　東京・日比谷・三信ビル
支　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国
営業所　横浜・静岡・豊田・岡山・金沢・新潟・香港

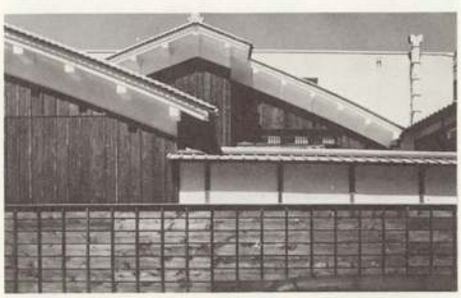
---

cleanair
一年中 秋のすがすがしさ！

創業1901
須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀1丁目2番30号 TEL.06-441-5171(大代表) 〒550







電気・計装工事 設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗 原 信 英

大阪市北区角田町1-1 東阪急ビル TEL06-313-1101
支 店 東 京・名 古 屋・舞 鶴・京 都・天 理
大 阪 南・神 戸・広 島・四 国・九 州

電気設備 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山 本 貴 士

本 社 大阪市北区中之島3－2－4 朝日ビル TEL 大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所 TEL 大阪06(385)1361(代) 京都営業所 TEL 京都075(311)1185(代)
東京営業所 TEL 東京03(574)0665 福岡出張所 TEL 福岡092(771)6168

電気工事設計施工

株式会社 三 興 社

代表取締役 土 井 敏 裕

本 社 大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル7階)
電 話 (361) 3 6 7 1 (代)
支 店 東京都中央区日本橋箱崎町20番5号
電 話 (671) 1 4 7 8 (代)
出張所 川 崎・相 模 原・堺・滋 賀

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
大 阪 支 社

常務取締役支社長 横 田 幸 一

大阪市東区高麗橋五丁目二八番地 電話大阪 (202)0325～9番
本 社 東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支 社 札幌・仙台・丸ノ内・新宿・横浜・名古屋・九州
営業所・出張所 全国主要都市32ヶ所

――誠実と技術でお応えする――

住友電設

取締役社長 相 馬 一 男

住友電設株式会社
本社／〒553 大阪市福島区福島7丁目22-8 ☎(06)452-1151(大代)
東京／〒105 東京都港区芝2丁目2－17 ☎(03)454-7311(大代)

営業種目 設計・施工・監理
●電力工事：発変電設備工事／架空送配電線工事／地中送配電線工事
●設備工事：ビル電気設備工事／工場電気設備工事／防爆電気設備工事／計装工事／空調工事／給排水衛生工事／特殊配管工事／消防施設設備工事
●プラント工事
●情報システム工事：光伝送システム工事／CATVシステム工事／各種アンテナ装置工事

限りなきクリーンに挑戦する!!
電気設備・クリーンルーム・冷暖房設備
給排水衛生設備・計装制御設備・立体自動倉庫
エネルギー集中監視システム・回転式自転車置場
設 計 施 工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉 納 伝 三

本 社 〒530 大阪市北区西天満2－6－8(堂ビル) TEL 06(364)1471
TELEX 523－3287
東京支店 〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル) TEL 03(504)0231
TELEX 222－6724
名古屋支店 〒462 名古屋市北区金城三丁目12－14 TEL 052(991)5131
神戸支店 〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル) TEL 078(881)5571

奉仕感謝の店
タイル工事施工

株式会社 川岸窯業商店

本 社 〒550 大阪市西区西本町1－13－33
電話 大阪 06(532)代0461 〒550
天理営業所 天理市丹波市新町50



Standard Board&Slate

フタバ工業

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5 TEL 大阪06(792)5858(代)



ナニワ瓦株式会社

〒556 大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
☎ 五六一～七四一六
ファックス 五六一～七五四五

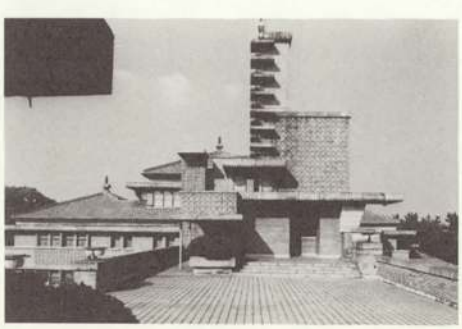
あらゆる屋根工事の相談は、

造園設計施工

富士造園土木株式会社

〒665 宝塚市山本東2－6－17
電話 0797－88－0501(代)







商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－344－1851(大代)　大阪本社 ☎06－448－3603(代)
大阪支社 ☎06－448－5851(代)　名古屋支店 ☎052－211－1535(代)　中国支店 ☎082－247－5541
九州支店 ☎092－431－2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津６丁目８番４号　電話大阪(458)3628番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

第一工業株式会社
大阪支店

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満３丁目６番１４号
電話　０６－３６４－６６６１(代表)
本　社　〒100 東京都千代田区丸の内３丁目３番１号
電話　０３－２１１－８５１１(代表)

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町２０番地の１
電話(681)５１０１～５・夜間専用(691) 1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話(06)352－3501(代)
三重支店　津市栄町２－１１１　電話(0592)26－3610(代)
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53－7431(代)
滋賀営業所　大津市中央２丁目4-28　電話(0775)22－9738(代)

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工

高砂熱学

大阪支店　大阪市北区芝田1丁目4-8(北阪急ビル９階)
電話大阪(372) ２５１１(代表)
本　社　東京都千代田区神田駿河台４丁目２番地

Carrier
冷暖房はキャリア
CARRIER

東洋キヤリア工業(株)デストビューター関西地区
日本冷熱工産株式会社
本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話大阪(384)1201～7

MODAIR

空気調和設備
換気・除塵設備　設計施工

東洋熱工業株式会社大阪支店

大阪市西区靱本町３－１－２７　TEL(443) ８０７１
本社　東京都中央区京橋２丁目９　TEL(562) １３５１
支店　名古屋・福岡

活字のない印刷

日本写植印刷株式会社

代表取締役　神田都義

本　社　〒545 大阪市阿倍野区阪南町7-5-30　☎06(606)1111代
日本写植センター　〒892 鹿児島市名山町4-7 三宝ビル　☎0992(26)4371
津山写植センター　〒708 津山市大手町8番5号 模範店会館　☎08682(4)1771
沖縄写植センター　〒900 南風原村兼城　沖縄印刷団地　☎0988(55)6100

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　社
大阪営業所　大阪市北区西天満５-11-12　電 06－313－1846
枚方営業所　枚方市甲斐田東町９－３　電0720－49－2128

空気調和設備・給排水衛生設備・上下水道施設
環境衛生施設・公害防止施設／設計・施工・監理

山田工業株式会社

本　社　大阪市西区京町堀１－６－８　電話 06(443)8161(大代表)
(環境装置事業部専用)　電話 06(447)0831　(代表)
分析センター　大阪市淀川区三津屋南1-1-35　電話 06(308)1491
支　店　東京・名古屋・福岡
営業所　京都・神戸・姫路・広島・高松・松山

飛鳥野瓦(意匠登録549771号)
渡辺式緩勾配安定瓦(実用新案登録出願中110750 110751)　製造販売
各和洋瓦全般・カラーベスト・モニエル瓦・セキスイカワラU

創業67年　綜合施工卸
久保田鉄工・松下電工㈱・日本モニエル㈱・積水化学工業㈱・富士スレート㈱・特約代理店

瓦寅工業株式会社

本　社　大阪市生野区林寺１丁目５番14号　〒544
電話 06(715) ０２０１代表～５番
営業所　大阪市平野区　工場　兵庫県三原郡(淡路島)

文化庁・宮内庁・各府県庁
国宝 重要文化財 社寺・天理教教会本部　御用達

株式会社 瓦宇工業所

代表取締役　小林麻造

〒630 奈良市西新在家町17番地
電話 奈良(0742)26－２９０１番(代表)

特殊壁装材製造販売　和室に最適

●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)

(株)ホクシンクロス

〒583 大阪府羽曳野市島泉８－173－1
TEL(0729)39－3610

工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子５０１

建設業界をアシストする

ポゾリス

■ コンクリート用混和剤　■ 無収縮グラウト材
■ 鉄筋コンクリート用防せい剤　■ 工業用特殊床材

製造元 日曹マスタービルダーズ株式会社
販売元 ポゾリス物産株式会社

本　　社／東京都港区六本木3－16－26 ☎ 03-582-8811
大阪営業所／大阪市東区北浜３－７ ☎ 06-202-3294

営業種目

●防水工事　塗布防水・シート防水・モルタル防水
●樹脂注入接着工法　各種樹脂注入接着補修工事
●亀裂補修工事　各種樹脂注入・充填・コーキング
●シーリング工事　シリコン・チオコール・ウレタン・アクリル
●吹付工事　アクリル・リシン・弾性タイル・その他
◇建設業許可　大阪府知事許可（般－53）第51225号
◇日本シーリング工事業協会々員

大阪市北区末広町３－２１
星和地所扇町ビル201 S
TEL 06(315)0701

㈱特殊技研

省エネルギー時代の断熱用シート防水材

日立バイナリーシートP

日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。

日立電線株式會社　本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)

デンカCSAファミリー製品

●デンカCSA ……コンクリートのひびわれ防止に
（膨張性混和材）

●デンカタスコン ……鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
（グラウト用無収縮材）

●デンカキューテックス ……コンクリート軀体の漏水補修に
（止水・補修用急硬セメント）

●デンカES ……地盤補強用薬液注入
（土質安定用急硬材）

●デンカΣ1000 ……コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に
（製品用超高度混和材）

電気化学工業株式会社

近畿地区販売店

浜宗産業株式会社

TEL 本社・京都・網野（07727）2－2220
舞鶴（0773）76－0133

金森藤平商事株式会社

TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）272－8501

小浦産業株式会社

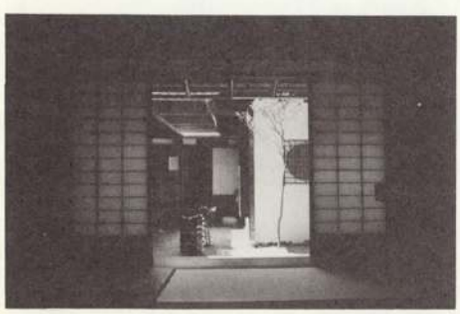
TEL 大阪（06）443－6181

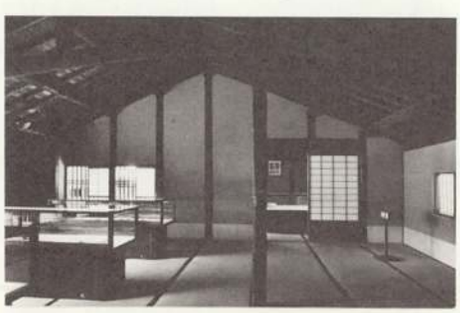
光洋物産株式会社

TEL 大阪（06）584－9241

株式会社トーゴー／本社

TEL 滋賀・守山（0775）83－2381







特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー！

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種
- オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
- オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
- オリエンタルメタル(ＯＰＭ)
- 鋼板製オリエンタルフネンシングル
- オリエンタルオリセラム


体育館屋根フネンシングル

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログを御請求下さい

オリエンタルメタル製造株式会社

大阪本社　〒660　尼崎市昭和南通り３－26 松本ビル　電話大阪(06)412－5131(代)
大阪支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・刈谷・姫路

東京本社及工場　〒335　蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42－3115(代)
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

全国書店で好評発売中

新刊

第8巻応力計算篇
建築構造計算資料集 8
●中川 淳著・B5判・一〇〇頁・定価四〇〇〇円

▼計算図表の集大成▲

構造技術者のための
建築構造問題快答集
●監修 石黒徳衛・A5判・一八二頁・定価二九〇〇円

通巻総目次別刷付録

株式会社建築技術
〒160 東京都新宿区北新宿1-8-1　中島ビル
TEL.(03)363-4211　振替東京0-72417

建築技術者必携の専門誌
建築技術12月号
毎月18日　全国書店で一斉発売
定価 1,200円

―快適な室内環境シリーズ―
特集/防露のノウハウ

結露の防止は、建物の気密化や生活習慣など、いろいろな要素がからんで、なかなか完全な対策をたてにくいのが実状のようです。本特集では、結露の原因を究明する手順や、正しい対策のたて方など、基本事項を解説し、さらに建物の種類別、部位別、季節別、地域別に表面結露および内部結露の故障事例をできるだけ多く紹介します。

1.住宅の防露対策　2.結露の診断と対策のたて方
3.調湿材料の功罪と上手な使い方　4.結露対策事例集

■特別企画／インテリジェントビルのBAS
高度情報化社会に対応すべく事務所ビルもその機能が多様化してきている。ここでは経営者側と利用者側からみたＢＡＳを述べたあと、ＮＴＴが開発した「ＮＴＴ-ＢＡＳ」を解説する。
■本文企画／新GRCカーテンウォールの開発と適用例
■連載企画／建築ソフト：構造計算編PART3

建築と社会　第68輯第11号
昭和62年11月25日発行（毎月1回25日発行）
昭和24年3月19日第3種郵便物認可

露出シート防水材：JISA6009



茨木ローレルハイツ（ロンプルーフ）

近代設備の高層マンションの屋上が ロンプルーフ防水によって、 美しく一変しました。

塩化ビニル系シート防水

ベストプルーフHG®
断熱防水用・歩行用

ベストプルーフHGは最高品質のハイグレード塩化ビニルを主成分にガラスクロスを中間に積層した断熱防水に最適の防水シート。

塩化ビニル系シート防水材

歩行用 ロンプルーフ®
絶縁工法用 ベストプルーフ®

近年とみに増加している建物の改修工事。それに最適な防水工法がベストプルーフUS工法。下地処理が簡易で既存防水層の上から施工でき、工期の短縮ができます。しかも接着剤を使わず特殊な脱気工法の採用によって湿潤状態でも施工できます。絶縁工法は下地のムーブメントを緩衝し美しい仕上りを保証します。

西日本ロンプルーフ防水事業協同組合　大阪市淀川区西中島3-9-13 大北ビル ☎06(304)5155

ロンシール工業株式会社
大阪支店/大阪市淀川区西中島3—9—13 大北ビル7階
☎06(304)2700

●本　社〒101
東京都千代田区神田松永町13「川口ビル」☎03-253-4911㈹
■出張所/●名古屋☎052-935-7063㈹ ●金　沢☎0762-52-2215㈹
●岡　山☎086926-4321㈹ ●広　島☎082-249-3600㈹
●高　松☎0878-31-4177㈹ ●福　岡☎092-472-5857㈹
●鹿児島☎0992-58-6571㈹

雑誌　03379—11

定価九五〇円（送料共）
表紙スケッチ・吉田隆一（説明目次頁）
（正会員の購読料には会費に含めて徴収）